Panasonic

取扱説明書

PTS-RDN0120

読取革命 Ver.11

日本語・英語活字カラーOCRソフト

対　応

Windows® 2000 Professional SP4以上
Windows® XP Home Edition
Windows® XP Professional

COLOR

Panasonic Peripheral Products

はじめに

このたびは、日本語・英語活字カラー OCR ソフト「読取革命 Ver.11」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

「読取革命 Ver.11」は、活字書体で印刷された原稿を TWAIN デバイス (イメージスキャナー)、デジタルカメラ、カメラ付き携帯電話などから読み取り、編集可能な文字データに変換するソフトウェアです。

個人的または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する以外で、著作権の対象となっている著作物を読み取るには著作権者の承諾が必要となります。 このソフトウェアおよび本書は、本製品の使用許諾書のもとでのみ使用することができます。 このソフトウェアおよび本書を運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

・Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・Includes Microsoft Agent technology
・Powered by ABBYY FineReader. ABBYY® FineReader® OCR ©1993-2004 by ABBYY Software House. All rights reserved. ABBYY, FineReader are trademarks of ABBYY Software House.
・Pentium® は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
・QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
・その他、本書に記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

・本ソフトウェアを無断複製することを禁止します。
・本書の一部または全部を無断転載することを禁止します。
・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更する場合があります。

Copyright © 1995-2006 Panasonic Communications Co., Ltd. All Rights Reserved.
Copyright © 1995-2006 Panasonic Solution Technologies Co., Ltd. All Rights Reserved.

ソフトウェア使用許諾契約書

重要
本ソフトウェアのインストールおよびご使用の前に必ずお読みください。

本契約は、日本語・英語活字カラー OCR ソフト「 読取革命 Ver.11」（以下、本プログラムといいます）および本プログラムに関するマニュアル類などの著作物（以下、関連資料といい、これらを総称して本製品といいます）の使用許諾に関する契約であり、お客様は以下の内容をお読みいただき、同意されたうえで本製品をご使用ください。もし、お客様が本契約の内容に同意されない場合は、直ちにインストール作業および本製品の使用を中止し、購入先へご連絡ください。

第 1 条 (使用許諾)

1. お客様は、本製品を、日本国内でのみ使用することができます。
2. お客様は、本プログラムを 1 台のコンピューターにインストールして使用することができます。本プログラムをネットワークその他の方法により複数のコンピューターで使用する場合には、使用するコンピューターの台数に応じた本数をご購入いただかなければなりません。また、本プログラムを異なるコンピューター間で共有したり、同時に使用することはできません。

第 2 条 (使用の制限)

1. お客様は、前条に明記されている場合を除き、本製品の複製、変更を行うことはできません。
   また、お客様は、有償・無償を問わず、本製品を第三者に使用させる、もしくは譲渡することはできません。
2. お客様は、本プログラムの全部または一部について、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行うことはできません。

第 3 条 (著作権)

本製品の著作権は、弊社または弊社に使用許諾している者 (以下、許諾者といいます) が有し、日本国の著作権法および国際条約によって保護されています。お客様は、第 1 条に従い、本製品を使用する権利を取得することができますが、その著作権までがお客様に移転するものではありません。

第 4 条 (保証の範囲)

1. 本プログラムが関連資料に記載されたとおりに動作しない場合、本製品の購入を証するもの（またはその写し）をご呈示いただければ、お買い上げ後 90 日間に限り、無償で修理、交換いたします。ただし、不具合が修理または交換で解消できない場合は、本製品に対してお客様が支払い済みの代金をお返しすることで保証の代わりとします。なお、風水害、地震、火災、その他の災害、第三者による行為、事故、誤使用など、不具合の原因が弊社の責に帰さない理由に起因する場合については、当該保証の対象外とします。
2. お客様は、本プログラムの変更、改造を行わないでください。お客様の変更、改造により何らかの不具合が生じたとしても、弊社では一切保証いたしません。また、お客様の変更、改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社が責任を負うものではありません。
3. 弊社は、お客様に対し、本条第 1 項に記載された保証を除き、本製品の機能、性能、品質がお客様の特定の用途、利用目的に適合していることを含むいかなる明示もしくは黙示の保証も行いません。
4. 弊社は、ユーザー登録を行われたお客様に対して、バージョンアップなどに関する最新情報の提供サービスを実施いたします。お客様は本プログラムのインストール後に、別途弊社が定める方法によりユーザー登録を行ってください。なお、サービスの内容・提供時期・方法・条件などは、弊社独自の裁量に委ねられるものとします。

第 5 条 (問い合わせ回答)

1. 弊社は、お客様から問い合わせがあった本製品の使用上の質問について回答するものとします。ただし、お客様からの質問の受付とその回答は、関連資料記載の松下電器産業株式会社の P3 カスタマーサポートセンターが行うものとします。
2. 前項に基づく問い合わせ回答の実施期間は、お客様が本製品を購入された日から 1 年間とし、その実施時間は、P3 カスタマーサポートセンターの通常の営業時間内に限られるものとします。

第 6 条 (責任の制限)

1. 弊社および許諾者は、本製品の使用もしくは使用不能によりお客様に直接または間接的に生じるいかなる損害（通常損害、特別損害、結果的損害を問わない）についても、一切責任を負わないものとします。ここでいう損害は、事業利益の損失、業務の中断、情報の損失、金銭的な損失、あるいは第三者から請求を受けた損害などを含みますが、これらに限定されません。
2. いかなる場合でも、本契約に基づく弊社の責任は、本製品のご購入に際しお客様が実際に支払った金額を上限とします。
3. 前二項の定めにかかわらず､お客様が消費者契約法第 2 条第 1 項 (下記注釈参照) で定義される消費者にあたり、弊社に故意または重過失がある場合はこの限りでないものとします。

第 7 条 (輸出規制)

お客様は、米国および日本国の輸出関連法規のすべてを遵守するものとします。

第 8 条 (準拠法)

本契約の成立、効力、解釈および履行については、日本法を準拠法とします。

第 9 条 (契約の終了)

1. お客様は、いかなる場合でも本製品および本製品のすべての複製物を、お客様の責任と費用負担において破棄することにより、本契約を終了させることができます。
2. お客様が本契約の内容に違反した場合、弊社は本契約を解除し、本製品の使用を終了させることができます。その場合、お客様は、本製品および本製品のすべての複製物を、お客様の責任と費用負担において破棄しなければなりません。

※消費者契約法第 2 条第 1 項において、「消費者」とは、個人 (事業としてまたは事業のために契約の当事者となる場合におけるものを除く) をいう、と定義されています。

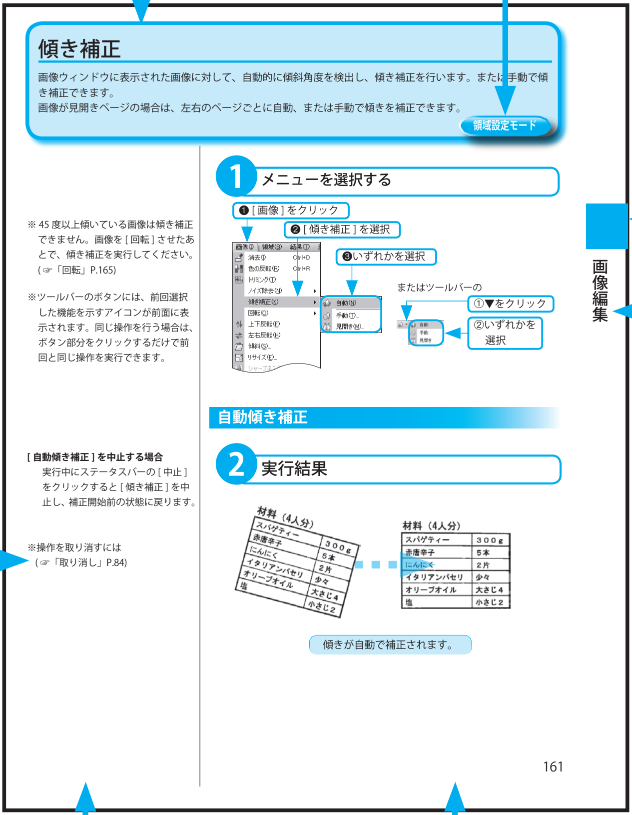
パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

このページは空白ページです。

本書の使い方

タイトルと内容
タイトルの下の欄には、この機能についての簡単な説明やどのような場面で使うと有効であるかを記載しています。

操作モード
「読取革命」には 5 つの操作モードがあり、常にいずれかの操作モードになっています。
本文中にモードが指定されている場合は、そのモード以外では、操作できません。



傾き補正

画像ウィンドウに表示された画像に対して、自動的に傾斜角度を検出し、傾き補正を行います。または手動で傾き補正できます。
画像が見開きページの場合は、左右のページごとに自動、または手動で傾きを補正できます。

領域設定モード

※ 45 度以上傾いている画像は傾き補正できません。画像を [回転] させたあとで、傾き補正を実行してください。(☞「回転」P.165)

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

[自動傾き補正] を中止する場合
実行中にステータスバーの [中止] をクリックすると [傾き補正] を中止し、補正開始前の状態に戻ります。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

1 メニューを選択する

❶ [画像] をクリック
❷ [傾き補正] を選択
❸いずれかを選択

またはツールバーの
①▼をクリック
②いずれかを選択

自動傾き補正

2 実行結果

傾きが自動で補正されます。

161

画像編集

章のタグ
タグの位置は章ごとに違います。

章のタイトル

参照先
関連する機能や、詳細な説明が記載されている項目を「☞」のあとに紹介します。

補足説明
補足説明や別の操作手順を記載しています。
また、本タイトルの操作に関連する応用機能などの説明も記載しています。

本文
タイトルの操作を行う基本的な手順を記載しています。

目 次

読取革命について 13

読取革命の概要 14

画面構成 14

基本操作の流れ 15

その他の主な機能紹介 17

クリップボード OCR 18

フォルダーウォッチャー 18

簡単！ PDF for Office 18

簡単！ PDF 変換 19

ウィンドウとバーの表示と変更 20

操作モード 23

セットアップ 25

インストール 26

アンインストール 29

自動アップデート 32

TWAIN デバイスの設定 35

メーカーダイアログを利用する場合 35

TWAIN 専用ダイアログを利用する場合 36

ScanSnap の設定 38

基本操作 39

操作手順 40

読取革命を起動する 41

かんたんナビで対話しながら処理を行う 42

入門ウィザードで自動認識処理を行う 45

画像を入力する 49

デジタルカメラ入力 49

TWAIN デバイス (スキャナー) 入力 51

画像ファイルを開く 52

クリップボード画像の入力 54

画面キャプチャー入力 55

画像を表示・選択する 56

クリックで直接選択する 56

前ページ・次ページで表示する 56

ページ呼出で表示する 57

すべてのページを選択する 58

ページを移動する 59

前へ・次へで移動する 59

ドラッグで移動する 60

画像の表示倍率を変更する 61

指定倍率に変更する 61

一定倍率で拡大・縮小する 61

認識結果と文字画像の連動 62

認識結果から文字画像を表示する 62

文字画像から認識結果を表示する 62

操作モードの切り替え 63
  ドラッグモード 63
  領域設定モード 64
  消しゴムモード 64
  作図モード 64
  表編集モード 64
画像の表示位置を変える 65
レイアウト認識を行う 66
  選択したページ 66
  現在のページ 67
  選択した領域 67
文字認識を行う 69
画像 / 認識結果ウィンドウを表示する 70
認識結果ウィンドウの表示を切り替える 72
  テキスト表示 72
  領域表示 73
  カラーリアル表示 73
  ハイパーチェッカー 73
切り取り・コピー・貼り付けをする 74
  画像の切り取り・コピー・貼り付け 74
  文字列の切り取り・コピー・貼り付け 75
削除する 76
  領域枠を削除する 76
  文字列を削除する 77
半角・全角を変換する 78
修正機能で認識結果を編集する 79
  一括修正で複数の文字を一度に修正する 79
  候補文字修正で 1 文字ずつ修正する 80
検索する 82
置換する 83
取り消し 84
保存する 85
  画像の保存 85
  認識結果の保存 86
転送する 87
印刷する 88
  画像の印刷 88
  認識結果の印刷 89
ページを閉じる 90
終了する 91
応用操作 93
領域枠の設定 94
  領域枠の作成 94
  領域枠の選択 95
  領域枠のサイズ変更 96
  領域枠の統合 97

領域枠の削除 97
領域枠の属性変更 98
認識モードを変更する 101
文字の結合をするには 102
文字の分離をするには 103
2 文字に分離する 103
3 文字に分離する 104
表を編集する 105
自動罫線追加 106
見出し認識 107
認識結果の読み上げ 108
認識結果の翻訳 109
作業ファイルを保存して作業を中断する 110
作業ファイルを開いて作業を再開する 111
テンプレートで同じ形式のページを認識する 112
テンプレートを保存する 112
テンプレートを開く 113
ページを分割する 114
ページを結合する 116
解像度の設定 119
フォントの設定 120
読取順序の変更 121
転送先アプリの設定 122
転送先アプリケーションの追加 122
転送先アプリケーションの変更 124
転送先アプリケーションの削除 125
画像・認識結果ウィンドウを上下に並べるには 126
ツールバーのカスタマイズ 127
ファイル管理革命へ送る 129
かんたん認識 131
かんたん認識で自動認識する 132
認識方法の追加 133
認識方法の複製 134
認識方法の変更 135
認識方法の削除 136
認識方法の整理 137
処理内容を設定する 140
[画像の入力] の設定 140
[画像編集] の設定 141
[レイアウト認識] の設定 142
レイアウトを編集する 144
[認識結果] の設定 152

画像編集....155
領域の範囲指定....156
消去する....157
消去 (領域の内側を消去)....157
トリミング (領域の外側を消去)....158
消しゴム....159
ノイズ除去....160
傾き補正....161
自動傾き補正....161
手動傾き補正....162
見開き補正....163
回転....165
上下反転....166
左右反転....167
傾斜....168
長方形化....169
リサイズ....170
色の反転....171
減色....172
カラーフィルター....173
シャープネス....174
エッジ強調....175
明るさ....176
コントラスト....177
ガンマ補正....178
カラードロップアウト....179
一括画像編集....182
作図....185
ユーザー辞書....189
パターン辞書....190
文字画像から登録....190
認識結果から登録....191
削除する....191
変更する....192
インポートする....193
単語辞書....194
登録する....194
削除する....195
変更する....196
インポートする....197
CSV 出力する....198
専門用語辞書を変更する....199

環境設定 201
環境設定 202
[一般] タブの設定 203
[表示] タブの設定 204
[自動画像補正] タブの設定 205
[認識] タブの設定 207
[認識結果・画像の保存] タブの設定 208
[入力] タブの設定 209
[出力] タブの設定 210
アドインの設定と解除 215
アドインの設定と解除の概要 216
「アドインの設定と解除」ダイアログボックスの詳細 216
基本操作の流れ 216
起動と終了 217
起動する 217
終了する 217
アドインの設定・アドインの解除 218
アドインの設定 218
アドインの解除 219
クリップボード OCR 221
クリップボード OCR の概要 222
「クリップボード OCR」ウィンドウ詳細 222
基本操作の流れ 222
起動と終了 223
起動する 223
終了する 223
文字認識する 224
画面キャプチャー認識 224
クリップボード画像認識 225
QR コードの認識 226
出力設定 227
フォルダーウォッチャー 229
フォルダーウォッチャーの概要 230
「フォルダーウォッチャー」ウィンドウ詳細 230
基本操作の流れ 230
起動と終了 231
起動する 231
終了する 231
監視する・監視しない 232
監視する 232
監視しない 232
環境設定 233
[監視設定] タブの設定 234
[ファイル名設定] タブの設定 235
[出力設定] タブの設定 235
[変換設定] タブの設定 236

ツールバー・ステータスバーの表示 / 非表示 237
ツールバーの表示 / 非表示 237
ステータスバーの表示 / 非表示 237
簡単！ PDF for Office 239
簡単！ PDF for Office の概要 240
「簡単！ PDF for Office」ウィンドウ詳細 240
基本操作の流れ 240
起動と終了 241
起動する 241
終了する 241
PDF ファイルを変換する 242
簡単！ PDF 変換 245
簡単！ PDF 変換の概要 246
基本操作の流れ 246
簡単！ PDF 変換の設定 247
簡単！ PDF 変換設定 ダイアログボックスの詳細 248
PDF ファイルに変換する 249
トラブルシューティング・FAQ 251
トラブルシューティング 252
インストール 252
起動・画像入力 252
アドインの設定と解除 252
画像 253
認識 253
認識結果編集 254
転送・終了 254
その他 255
FAQ 256
画像の入力 256
画像修正 256
表領域の編集 256
領域枠の設定 256
その他 256
付録 257
エラー・メッセージ 258
仕様 266
動作確認済み機器 268
動作環境 268
認識対象文字一覧 269
用語解説 271
アフターサービス 273
索引 275
製品について 277

読取革命について

読取革命の概要 14
画面構成 14
基本操作の流れ 15
その他の主な機能紹介 17
クリップボード OCR 18
フォルダーウォッチャー 18
簡単！ PDF for Office 18
簡単！ PDF 変換 19
ウィンドウとバーの表示と変更 20
操作モード 23

読取革命の概要

「読取革命 Ver.11」は、活字書体で印刷された原稿を TWAIN デバイス (イメージスキャナー)、デジタルカメラ、カメラ付き携帯電話などから読み取り、編集可能な文字データに変換するソフトウェアです。
ここでは画面構成・基本操作の流れ・主な機能・同梱アプリケーションについて紹介します。

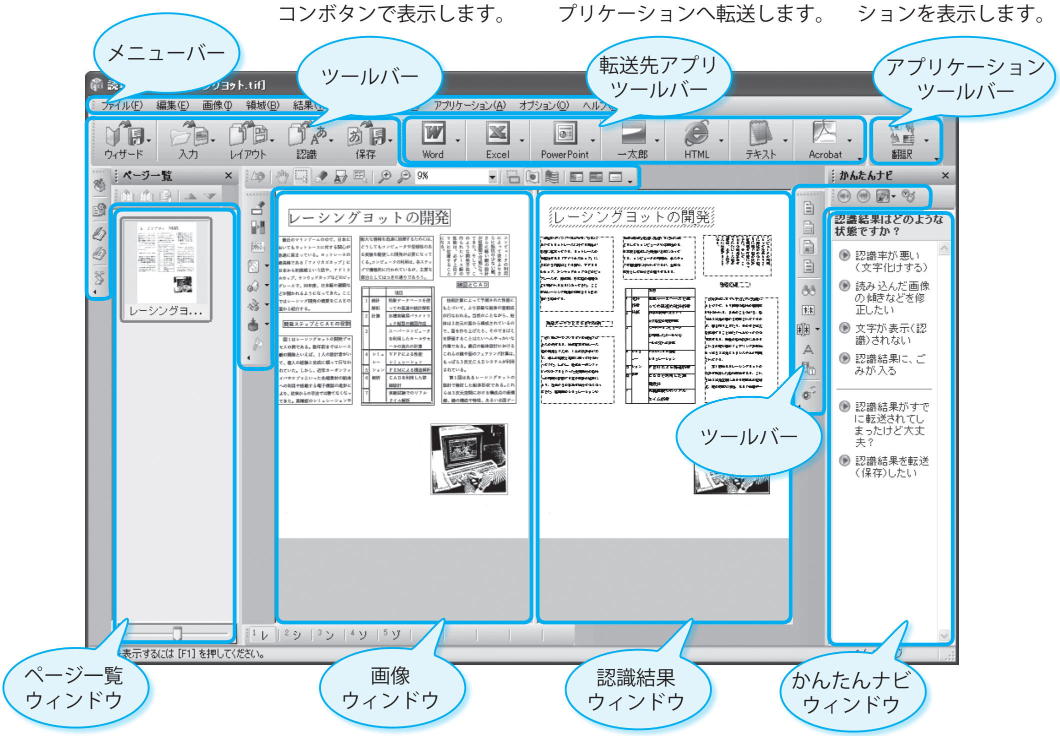
画面構成

■メニューを表示します。

■使用頻度の高い機能をアイコンボタンで表示します。

■認識結果を指定した形式でアプリケーションへ転送します。

■連携できるアプリケーションを表示します。



■読み込んだ画像を表示します。下部のスライダーを移動させると表示倍率が変更します。

■選択した文書の画像を 1 ページずつ表示します。

■認識結果が表示されます。認識された文字の修正作業を行います。

■対話形式で操作をご案内します。

※ツールバーの詳細については、「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

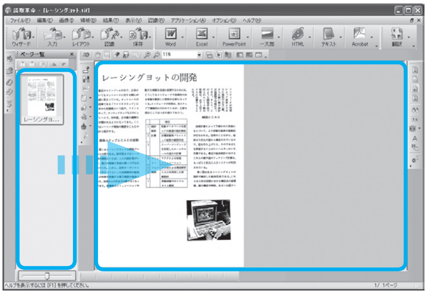
基本操作の流れ

「読取革命」を起動する

「読取革命」は、Windows の [スタート] ボタンから選択して起動できるほか、デスクトップ上のショートカットアイコンからも起動できます。
また、アドイン設定を行ったアプリケーションからも起動できます。

画像を読み込む

画像ファイル、TWAIN デバイス (スキャナー)、デジタルカメラ、クリップボードなどから画像を読み込みます。
(☞「画像を入力する」P.49)



特長

・自動画像補正を設定すると、文字認識に最適な画像へ自動変換して読み込みます。
※「自動画像補正」は [オプション]-[環境設定]-[自動画像補正] タブで変更できます。

・A3 版までのスキャナーに対応しています。

レイアウト認識をする

入力された画像を、文字 (日本語・英語)・表・画像・図形・手書きなどの属性に分類し、領域枠を設定します。領域枠の設定は、自動・手動いずれも可能です。
また、選択した領域をレイアウト認識すると、指定範囲内だけを認識できます。

特長

・レイアウト認識には、ページ (画像) 全体を認識する [選択したページ]/[現在のページ] のほかに、指定した領域内だけを認識する [選択した領域] があります。
・手動で領域枠を設定しても、「属性変更」ダイアログボックス内の [領域属性] が [自動判定] に設定されていれば、領域の属性を自動判定できます。
・[自動罫線追加] 機能で、色分けだけで構成された表も罫線として認識可能です。
・領域を設定すると、文字認識を行う順番が自動的に決められますが、任意に変更することもできます。(☞「読取順序の変更」P.121)
・一度設定した領域のサイズ変更・統合・削除・属性変更ができます。
(☞「領域枠の設定」P.94)
・領域設定をテンプレートとして保存し、他の同じレイアウトのページを認識するときに利用できます。
(☞「テンプレートで同じ形式のページを認識する」P.112)

● 認識させる範囲を、マウスのドラッグ操作で選択して領域に設定します。この操作で作成される枠を領域枠といいます。
● 属性の設定 →読み取る文書に合わせて、文字方向、文字種、表、手書き文字、および画像など、 領域ごとの設定を行います。この設定を属性といいます。それぞれの設定に合わせて領域枠の色を変更できます。
※この機能をレイアウト認識といいます。

文字認識をする

設定された領域枠の属性に合わせて文字認識を行います。レイアウト認識を行っていなくても、文字認識を実行すると、同時にレイアウト認識が実行されます。

特長

・文字認識には、ページ (画像) 全体を認識する [選択したページ]/[現在のページ] と、指定した領域内だけを文字認識する [選択した領域] があります。

・英文書を認識する場合、英語認識モードにすると高い認識率でスピーディーに認識できます。
(☞「認識モードを変更する」P.101)

・背景が網掛けされた見出しなどの文字も認識できます。
この機能を見出し認識といいます。
(☞「見出し認識」P.107)

・認識結果が未確定の文字は、テキスト表示では赤色、領域表示・カラーリアル表示・ハイパーチェッカーでは背景が灰色で表示されます。認識結果を印刷して未確定文字を確認すると、テキスト表示では下線付きで印字され、領域表示･カラーリアル表示では背景が灰色で印刷されます。また、ハイパーチェッカーでは印刷できませんので別の表示に変更してから印刷してください。
※未確定文字表示は解除することもできます。
(☞「[一般] タブの設定」P.203)

保存・転送・印刷する

特長

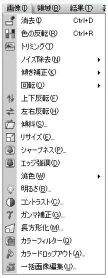
・認識結果を他のアプリケーションに転送できます。
(☞「転送する」P.87)
Microsoft Word・Microsoft Excel・Microsoft PowerPoint・一太郎・ブラウザー・Adobe Reader/Adobe Acrobat・メモ帳などのテキストエディター・クリップボードに転送できます。
編集可能なアプリケーションであれば、転送した認識結果を編集できます。

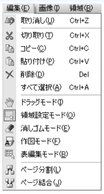
・原稿のレイアウト・表・罫線・地図や写真などの画像を、そのまま文書に活かすことができます。
原稿のレイアウトを再現させるには、Microsoft Word(doc/rtf)・一太郎 (jtd)・Microsoft Excel(xls)・Microsoft PowerPoint(ppt)・Adobe Reader/Adobe Acrobat(pdf)・ブラウザー (htm/xml) の形式で保存します。
※ TXT、CSV 形式で保存した場合はテキストだけが転送されます。

「読取革命」を終了する

その他の主な機能紹介

画像編集機能





「読取革命」では、入力した画像を文字認識に最適な画像に修正するためにさまざまな機能を用意しています。モードを変更することにより、[消しゴム] や [作図] 機能が利用できます。また、[画像] メニューからは、画像の状態に応じて下記の機能を選択できます。

- 消去
- 傾き補正
- 傾斜
- 減色
- 長方形化
- 作図
- 色の反転
- 回転
- リサイズ
- 明るさ
- カラーフィルター
- 消しゴム
- トリミング
- 上下反転
- シャープネス
- コントラスト
- カラードロップアウト
- ノイズ除去
- 左右反転
- エッジ強調
- ガンマ補正
- 一括画像編集

ユーザー辞書

頻繁に使用する単語や、誤認識しやすい文字画像を辞書に登録することにより、より高い認識結果を得ることができます。

特長

パターン辞書：

誤認識しやすい文字画像を登録します。

単語辞書：

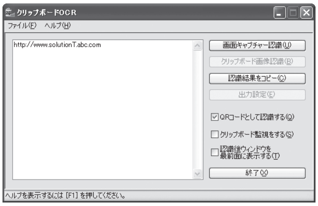
認識で頻繁に使用する単語を、辞書種別を指定して辞書ファイルに登録します。

その他の機能・特長

- 「かんたんナビ」は、対話形式で操作を行い、操作画面、操作案内や質問に対するヘルプが表示されます。期待した認識結果が得られず、操作にお困りの方々のお手伝いをします。
  (☞「かんたんナビで対話しながら処理を行う」P.42)
- 「入門ウィザード」は、初めてご利用いただく方でも基本操作の流れを簡単に学ぶことができます。
  (☞「入門ウィザードで自動認識処理を行う」P.45)
- 「かんたん認識」は、画像読み込みから保存・転送までを一度に設定し、自動的に処理できます。大量の原稿をスピィーディーに処理します。
  (☞「かんたん認識」P.131)
- 「認識結果の読み上げ」で、認識結果を音声出力します。
  (☞「認識結果の読み上げ」P.108)
- 「認識結果の翻訳」は、翻訳ソフトウェア「ATLAS」、「ATLAS 翻訳パーソナル」、「コリャ英和！一発翻訳」と連携し、認識結果を翻訳します。
  (☞「認識結果の翻訳」P.109)
- 作業状態を保存できます。保存を実行したときの状態を再現しますので、中断した作業の続きがすぐに再開できます。
  (☞「作業ファイルを保存して作業を中断する」P.110)
  (☞「作業ファイルを開いて作業を再開する」P.111)
- 自動アップデートは、「読取革命」の更新内容を自動的に検出し、常にプログラムを最新の状態に保ちます。
  ※「自動アップデート」は、インターネットに接続可能な環境に限りご利用いただけます。

クリップボード OCR

機能概要



「クリップボード OCR」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立した 1 つのアプリケーションです。
「読取革命」を起動することなく、指定した画像を文字認識し、編集可能な文字データに変換します。
テキスト抽出ができなくなった文書ファイルなどから文字を抽出する場合に便利です。
また、QR コードを読み取り、情報を取得できます。

画像入力は、以下の 2 とおりが用意されています。

画面キャプチャー入力：
　画面上の指定した範囲を文字認識します。

クリップボード画像：
　クリップボードに保存された画像を文字認識します。

フォルダーウォッチャー

機能概要

「フォルダーウォッチャー」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立した 1 つのアプリケーションです。
「読取革命」を起動することなく使用できます。「フォルダーウォッチャー」は、指定したフォルダーを常に監視し、そこに保存された画像ファイルを自動的に文字認識して、指定ファイル形式で出力先フォルダーに保存します。

簡単！ PDF for Office

機能概要

「簡単！ PDF for Office」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立した 1 つのアプリケーションです。
「簡単！ PDF for Office」のメイン画面へ PDF ファイルをドラッグ & ドロップして、Word・Excel・テキスト・JPEG・BMP 形式のファイルに変換します。
※作成ファイルから [読取革命] を選択した場合は、「読取革命」が起動し、ファイルが画像変換され「読取革命」に読み込まれます。

簡単！ PDF 変換

機能概要

「簡単！ PDF 変換」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立した 1 つのアプリケーションです。
画像ファイルを右クリックすると表示されるコンテキストメニューから「簡単！ PDF 変換」を選択して、ダイレクトに PDF ファイルに変換します。
複数の画像ファイルを一度に PDF ファイルに変換できるほか、作成する PDF ファイルの各種設定が行えます。

ウィンドウとバーの表示と変更

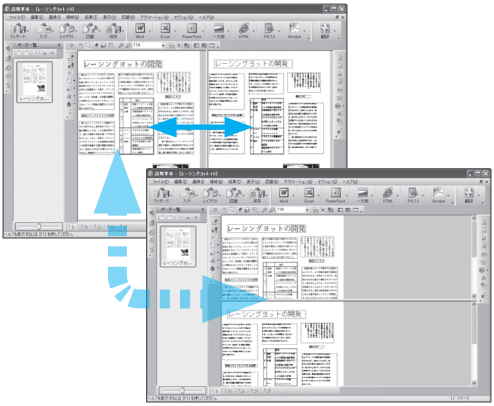
画像ウィンドウ・認識結果ウィンドウ・ページ一覧ウィンドウ・転送先アプリツールバー・ツールバーは、表示のオン / オフと形態の変更が行えます。
また、ステータスバーは、操作中に実行している処理の進行状況を表すプログレスバーを表示することがあります。

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウ

●形態の変更

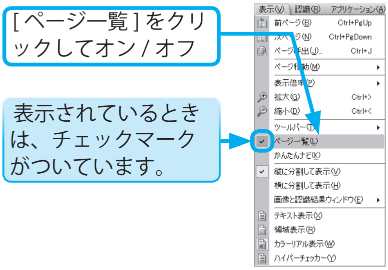
画像ウィンドウと認識結果ウィンドウの境目でマウスの左ボタンを押したまま動かすと、ウィンドウの割合を変更できます。
文字認識を実行する前は、認識結果ウィンドウは表示されず、このバーは右端に表示されています。
また、右図のようにウィンドウの並びを上下に変更することもできます。
(☞「画像・認識結果ウィンドウを上下に並べるには」P.126)

画像ウィンドウや認識結果ウィンドウだけを表示させることもできます。
(☞「画像 / 認識結果ウィンドウを表示する」P.70)



ページ一覧ウィンドウ

●表示のオン / オフ

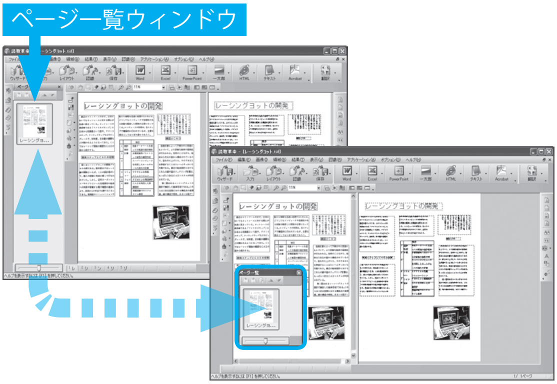


●表示サイズの変更

ページ一覧ウィンドウのスライダーを移動して、一覧の表示サイズを変更できます。

●形態の変更

ページ一覧ウィンドウのタイトルバーでマウスの左ボタンを押したまま動かすと、表示位置を自由に変更できます。
また、ページ一覧ウィンドウは、画面の上下部、左右端に固定できます。



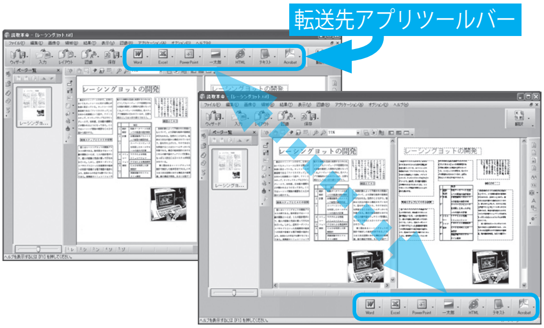
※ページ一覧ウィンドウを画面内に戻すには、ページ一覧ウィンドウのタイトルバーをダブルクリックします。

転送先アプリツールバー

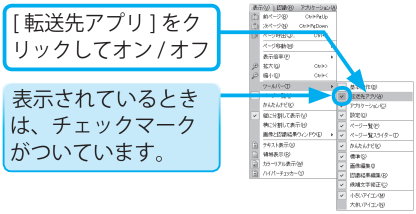
認識結果を他のアプリケーションへ転送するツールバーです。
(☞「転送する」P.87)
(☞「転送先アプリの設定」P.122)

●形態の変更

転送先アプリツールバーの上 (ボタン以外の場所) でマウスの左ボタンを押したまま動かすと、表示場所を自由に変更できます。また、画像ウィンドウ、認識結果ウィンドウ上下部、左右端に固定できます。



●表示のオン / オフ

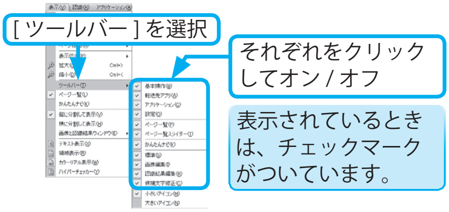


ツールバー

利用頻度の高い機能はあらかじめツールバーにボタンとして表示されています。なお、ツールバーは、表示 / 非表示を選択して切り替えることができます。

●種類

●表示のオン / オフ



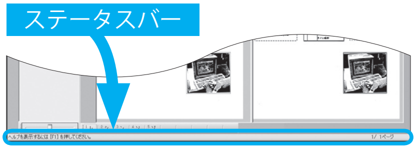
各ツールバーに表示されるボタンは表示 / 非表示を変更できます。
(☞「ツールバーのカスタマイズ」P.127)

※デフォルトでは表示されていないボタンがあります。
※▼があるボタンは、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。次回同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

ステータスバー

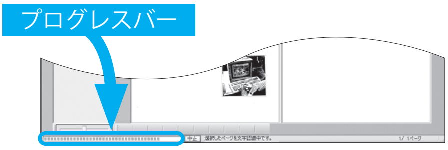
ステータスバー

カーソルがメニューやツールバーのボタン上にあるとき、メニューやボタンの説明、あるいは表示中のページ番号 / 総ページ数をステータスバーに表示します。



プログレスバー

処理の進行状況はプログレスバーで表示し、[中止] をクリックして中断できます。



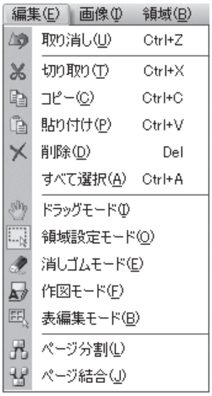
操作モード

「読取革命」には [ドラッグモード]・[領域設定モード]・[消しゴムモード]・[作図モード]・[表編集モード] の 5 つの操作モードがあり、常にいずれかの操作モードになっています。
操作説明内に例えば ドラッグモード という記述がある場合は、表記されているモードで操作を行ってください。

現在の操作モードは何？

次の方法で現在の操作モードを確認できます。

●メニューを表示させて確認

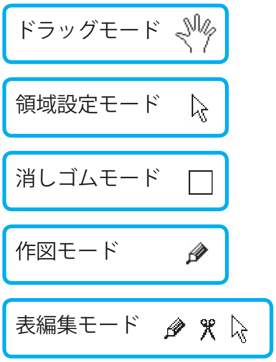


[編集] メニューを開くと現在の操作モードを確認できます。現在の操作モードは、アイコンの背景色で区別されます。

●ツールバーで確認

現在の操作モードは、アイコンの背景色で区別されます。

●画像ウィンドウ上のカーソルの状態で確認

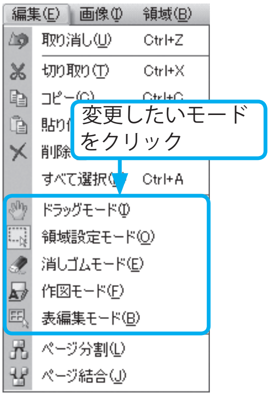


マウスカーソルの形状は、モードごとに変化します。

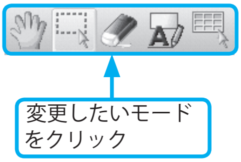
操作モードを変更するには？

目的の操作に合わせて、操作モードを変更できます。

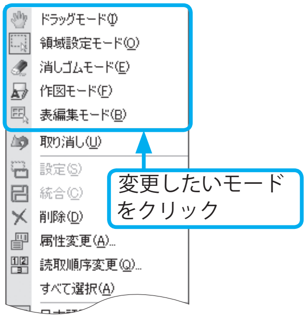
●メニューを表示させて変更



●ツールバーで変更



●右クリックで変更



このページは空白ページです。

セットアップ

インストール 26
アンインストール 29
自動アップデート 32
TWAIN デバイスの設定 35
　メーカーダイアログを利用する場合 35
　TWAIN 専用ダイアログを利用する場合 36
　ScanSnap の設定 38

インストール

「読取革命」をパソコンにインストールします。
※インストールは、「読取革命」をパソコンでご利用いただくために必要な作業です。

※「読取革命」をインストールする前に、必ずすべてのアプリケーションを終了してください。

※インストールは、Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザーで行ってください。

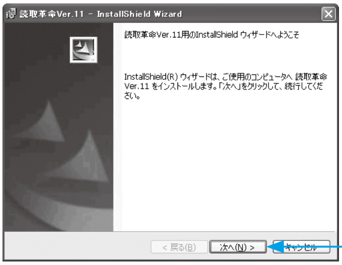
※インストールプログラムが開始されない場合は、「読取革命 Ver.11」-「セットアップ」フォルダーを開き、「setup.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

※ [ソフトウェア使用許諾契約書] は本書の P.3 ～ P.4 にも記載しています。

1 インストールプログラムを実行する

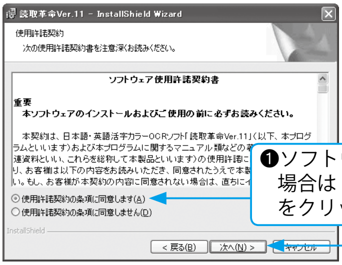
ダウンロードした「YomiV11.exe」は、自己解凍ファイルです。「YomiV11.exe」をダブルクリックして実行すると、指定した場所に「読取革命 Ver.11」フォルダーが解凍され、ファイルが展開します。展開が完了すると、インストールプログラムが自動的に開始されます。

2 インストールプログラムを開始する



[次へ] をクリック

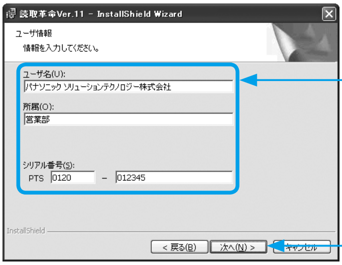
3 [ソフトウェア使用許諾契約書] を確認する



❶ソフトウェア使用許諾契約書に同意される場合は [使用許諾契約の条項に同意します] をクリック

❷ [次へ] をクリック

4 [ユーザ情報] を入力する



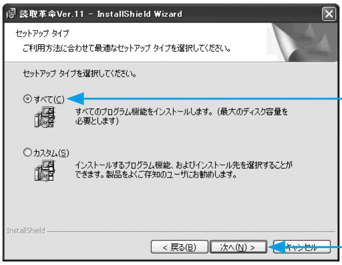
❶ユーザ名、所属、シリアル番号を入力してください

❷ [次へ] をクリック

※シリアル番号を誤って入力した場合は、警告メッセージが表示されます。確認のうえ、再度入力してください。

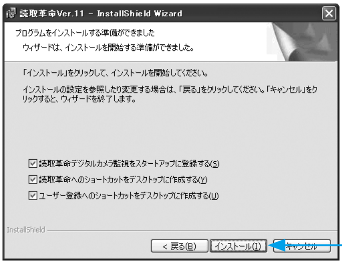
5 [セットアップタイプ] を選択する

※ [カスタム] を選択すると、インストール先フォルダーの変更や追加機能を指定できます。



❶ [すべて] をクリック

❷ [次へ] をクリック



❸ [インストール] をクリックするとインストールを開始します

- 読取革命デジタルカメラ監視をスタートアップに登録しない場合は、[読取革命デジタルカメラ監視をスタートアップに登録する] のチェックボックスをクリックしてオフにしてください。
- 「読取革命」へのショートカットをデスクトップに作成しない場合は、[読取革命へのショートカットをデスクトップに作成する] のチェックボックスをクリックしてオフにしてください。
- ユーザー登録へのショートカットをデスクトップに作成しない場合は、[ユーザー登録へのショートカットをデスクトップに作成する] のチェックボックスをクリックしてオフにしてください。

※インストールが完了すると、再起動を促すメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。その場合は、[はい] をクリックして、Windows の再起動を行ってください。

6 インストール完了

[完了] をクリック

アンインストール

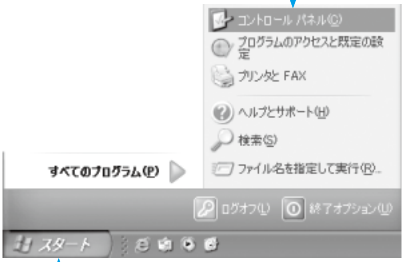
インストールされている「読取革命」をアンインストール (パソコンから削除) します。
再度インストールが必要な場合は、最初に「読取革命」をアンインストールしてください。
※アドインの設定を行っているアプリケーションがある場合は、アドインの解除後にアンインストールを行ってください。アドインの解除については、「アドインの設定と解除」P.215 を参照してください。

※アンインストールは、Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザーで行ってください。

※アンインストールを実行する前に、「読取革命」とすべてのアプリケーションを終了してください。

1 コントロールパネルを選択する

❷ [コントロールパネル] をクリック



❶ [スタート] をクリック

2 [プログラムの追加と削除] を開く

※お使いの OS によっては [アプリケーションの追加と削除] を開きます。

[プログラムの追加と削除] をダブルクリック

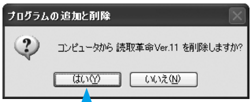
※「プログラムの追加と削除」画面の表示は、お使いの OS によって異なります。

3 「読取革命」を選択する

❶リストの中から「読取革命 Ver.11」をクリック

❷ [削除] をクリック

4 「読取革命」を削除する

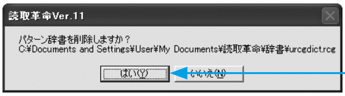


[はい] をクリック

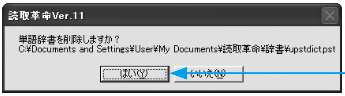
5 辞書の削除を確認する

前回使用したパターン辞書と単語辞書、および音声辞書の削除について、それぞれメッセージダイアログボックスが表示されます。

※再度インストールを行って、パターン辞書 / 単語辞書を再利用する場合は、[いいえ] を選択してください。

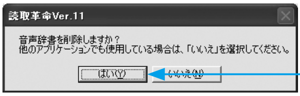


パターン辞書を削除する場合は、[はい] をクリック



単語辞書を削除する場合は、[はい] をクリック

※ほかのアプリケーションでも音声辞書を使用する場合は、[いいえ] を選択してください。



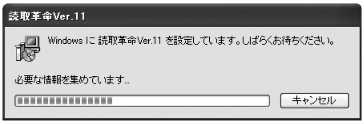
音声辞書を削除する場合は、[はい] をクリック

**インストール先のフォルダーが
削除されない場合**

インストール先のフォルダー内にお客様が作成されたファイルがある場合は、この操作ではフォルダーを削除できません。手動でフォルダーの削除を行ってください。

※デフォルトのインストール先フォルダーのパス
(C:¥Program Files¥Panasonic¥YomikakuV11)

6 アンインストール完了



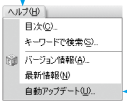
自動アップデート

「読取革命」のインターネット・サイトに接続し、自動でアップデートを行います。
自動アップデートは、「読取革命」の更新内容を自動的に検出し、常にプログラムを最新の状態に保ちます。
※ 自動アップデートを行うには、あらかじめインターネットをご利用いただける環境が必要となります。

1 自動アップデートを選択する

メニューから

❶ [ヘルプ] をクリック

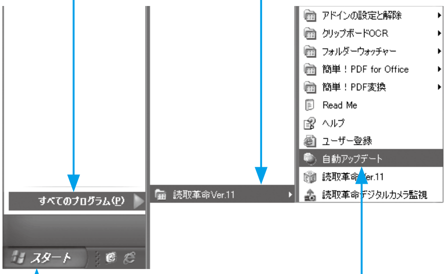


❷ [自動アップデート] をクリック

スタートメニューから

❷ [すべてのプログラム] を選択

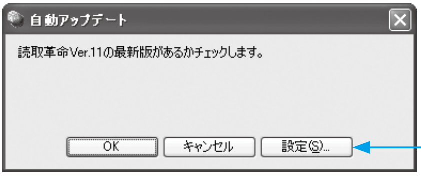
❸ [読取革命 Ver.11] を選択



❶ [スタート] をクリック

❹ [自動アップデート] をクリック

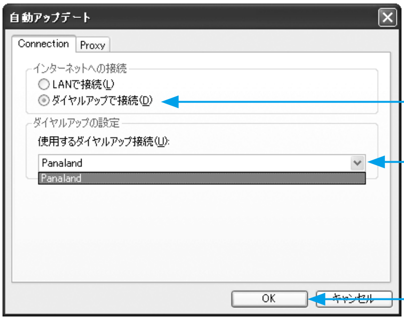
2 インターネット環境を設定する (初回のみ)



[設定] をクリック

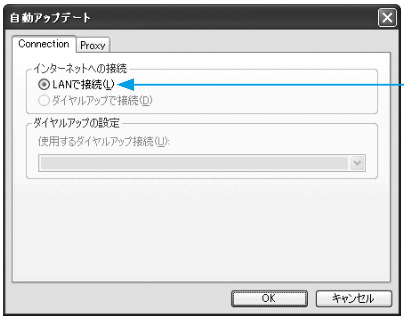
※インターネット接続形態がダイヤルアップ方式以外の場合、[LAN で接続]を選択してください。
（☞次項「LAN で接続の場合」）

ダイヤルアップ接続の場合



❶ [ダイヤルアップで接続]をクリック
❷▼をクリックして、使用するダイヤルアップ接続名を選択
❸ [OK] をクリック

LAN で接続の場合

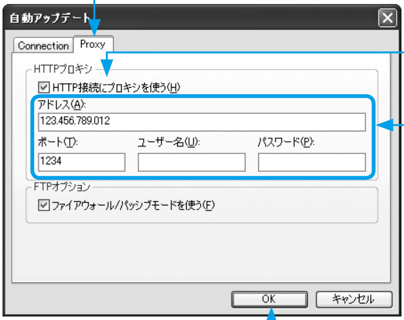


❶ [LAN で接続]をクリック

■ Proxy
「代理」の意。
企業などの LAN 環境からインターネットにアクセスする場合、直接アクセスせずに、代理としてインターネットの接続をプロキシサーバーが行う。

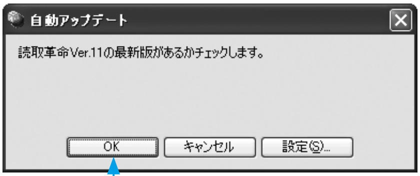
インターネット接続が Proxy サーバー経由でない場合、手順❺に進みます。
また、Proxy サーバー経由の場合は、続けて手順❷以降を行ってください。

❷ [Proxy] タブをクリック



❸ [HTTP 接続にプロキシを使う]をクリックしてオン
❹各設定が正しいことを確認
※各テキストボックス内には、通常のインターネット設定が自動で表示されます。変更が必要な場合はサーバーの管理者に問い合わせて[アドレス]を入力してください。
❺ [OK] をクリック

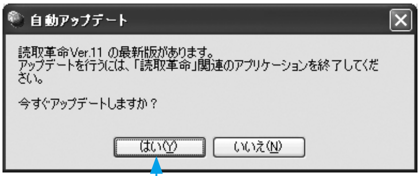
3 自動アップデートを開始する



[OK] をクリック

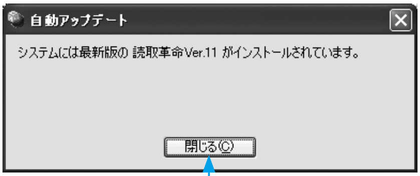
アップデート確認が開始されます。

アップデートが必要な場合



[はい] をクリック

アップデートが不要な場合



[閉じる] をクリック

エラーメッセージが表示され、
自動アップデートが行えない場合

インターネット接続の設定、または接続するサーバーに問題があると、自動アップデートが正常に行えない場合があります。
インターネットが正常に接続されていることを確認し、再度「自動アップデート」をお試しください。
また、正常にインターネット接続されているにもかかわらず、問題が解決されない場合は、サポートセンターまでご連絡ください。なお、お問い合わせの際は、表示されるエラーメッセージの番号を併せてお知らせください。
（☞「アフターサービス」P.273）

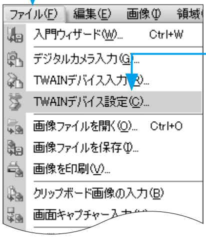
※お急ぎの場合は、「読取革命」のホームページから手動でアップデートを行ってください。
(http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/yomikaku/index.html)

TWAIN デバイスの設定

「読取革命」は、TWAIN 対応のスキャナーを使用して画像を読み込むことができます。
スキャナー付属の取扱説明書をご確認のうえ、ドライバーのインストールを行ってください。
ここでは、スキャナーのドライバーがインストールされた環境で、「読取革命」をご利用いただくための設定方法を説明します。

1 [TWAIN デバイス設定] を選択する

❶ [ファイル] をクリック



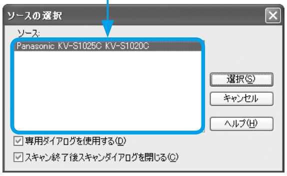
❷ [TWAIN デバイス設定] をクリック

またはツールバーの

ボタンをクリック

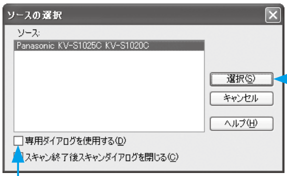
2 ドライバーを選択する

リストの中から、TWAIN デバイスのドライバー名をクリック



3 入力用ダイアログを選択する

メーカーダイアログを利用する場合



❷ [選択] をクリック

❶ [専用ダイアログを使用する] をクリックしてオフ

■ドライバー
パソコンの画面から TWAIN デバイスを動作させるためのソフトウェアです。
既に、TWAIN デバイスを使用されている場合は、「読取革命」用に改めてインストールする必要はありません。
また、一度ドライバーを設定すると、次回起動時からの設定は不要です。

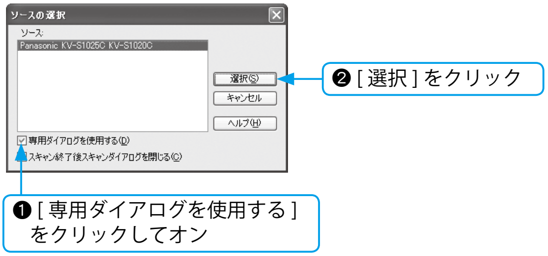
※ EPSON GT-F500/520/550/570 をご利用の場合メーカーダイアログからマルチフォトフィーダを利用しての連続読み込みは行えません。

■ [スキャン終了後スキャンダイアログを閉じる]
チェックボックスをオンにすると、読み込み終了後にスキャナー入力のダイアログボックスを閉じます。チェックボックスをオフにすると、スキャナー入力のダイアログボックスは閉じません。連続読み込みを行う場合などに便利です。
メーカーダイアログに同様の設定項目がある場合は、メーカーダイアログの設定に依存します。

※ WIA ドライバーを選択した場合は、[スキャン終了後スキャンダイアログを閉じる] は無効化され、使用できません。

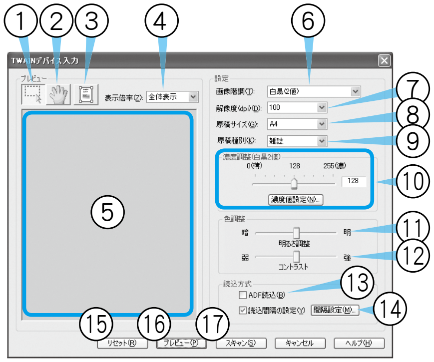
TWAIN 専用ダイアログを利用する場合

「読取革命」には、TWAIN デバイス専用ダイアログが用意されています。「読取革命」に登録されている TWAIN デバイスであれば、TWAIN 専用ダイアログを利用して、最適な濃度でのスキャンや設定した読み込み間隔での連続スキャンが可能です。



※選択したドライバー名によっては、チェックボックスが無効となる場合があります。

■ TWAIN 専用ダイアログの詳細



① [領域選択]
プレビュー画像を範囲選択し、読み込む領域を設定します。

② [スクロール]
マウスポインターで直接画像をつかみ、上下左右にスクロールします。

③ [全選択]
プレビュー画像を全選択します。

④ [表示倍率]
プレビュー画像の表示倍率を設定します。

⑤プレビュー ウィンドウ
設定した内容で読み込む原稿をプレビューします。

⑥ [画像階調]
画像の階調を設定します。設定できる画像階調は、[白黒 (2 値)]、[グレースケール 16 階調]、[グレースケール 256 階調]、[カラー 256 階調]、[フルカラー] です。
※ 接続されている TWAIN デバイスの種類によって表示される項目は異なります。(設定できる項目はすべて表示されない場合があります)

⑦ [解像度]
解像度を設定します。設定できる解像度は [100]、[200]、[300]、[400]、[600]dpi です。
※ 接続されている TWAIN デバイスの種類によって表示される項目は異なります。(設定できる項目はすべて表示されない場合があります)

⑧ [原稿サイズ]
原稿サイズを設定します。設定できる原稿サイズは [A3]、[A4]、[A5]、[A6]、[B4]、[B5]、[B6] のサイズです。
※ 接続されている TWAIN デバイスの種類によって表示される項目は異なります。(設定できる項目はすべて表示されない場合があります)

⑨ **[原稿種別]**

画像階調が白黒 (2 値) の場合に、原稿の種類に合わせて濃度を調整できます。原稿種別には、[雑誌]、[新聞]、[ワープロ原稿]、[論文]、[マニュアル]、[カタログ]、[その他] があります。各原稿の濃度値は濃度設定ダイアログボックス(濃度値設定ボタンで表示)で変更できます。

※ 接続されている TWAIN デバイスの種類によって濃度変更が有効でない場合があります。その場合は TWAIN デバイスで提供されているメーカーダイアログでの濃度値が優先されますので、濃度を調整する場合はメーカーダイアログをご使用ください。

⑩ **[濃度調整 (白黒 2 値)]/[濃度値設定]**

画像階調が白黒 (2 値) の場合に、濃度値を調整できます。スライダーを移動して、画像の濃度 [0(薄) ～ 255(濃)] を設定できます。

また、[濃度値設定] をクリックすると、「濃度設定」ダイアログボックスが表示され、各原稿種別に対する濃度値の調整が行えます。

※ 接続されている TWAIN デバイスの種類によって濃度変更が有効でない場合があります。その場合は TWAIN デバイスで提供されているメーカーダイアログでの濃度値が優先されますので、濃度を調整する場合はメーカーダイアログをご使用ください。

⑪ **[明るさ調整]**

画像階調が「白黒 (2 値)」以外の場合に、スライダーを移動して、画像の明るさを調整できます。

⑫ **[コントラスト]**

画像階調が「白黒 (2 値)」以外の場合に、スライダーを移動して、画像のコントラストを調整できます。

⑬ **[ADF 読込]**

ADF から原稿を読み込む場合に [ADF 読込] のチェックボックスをクリックしてオンにします。

※ 選択した機種によっては選択できない場合があります。

⑭ **[読込間隔の設定]/[間隔設定]**

チェックボックスをクリックしてオンにすると、[間隔設定] が有効になります。

[間隔設定] をクリックすると、「間隔設定」ダイアログボックスが表示され、読み込み間隔の詳細設定が行えます。ダイアログボックス内の数値は半角数値で入力してください。

⑮ **[リセット]**

設定を初期値に戻すことができます。

プレビュー画面に、A4 以外の原稿サイズが表示されている場合は、原稿サイズが変更されるので、プレビュー画像が消去されます。

⑯ **[プレビュー]**

TWAIN デバイスで読み込んだ画像をプレビュー表示します。

⑰ **[スキャン]**

設定した値で、画像を読み込みます。

ScanSnap の設定

カラーイメージスキャナー「ScanSnap」をご使用の場合は、[スキャン] を押すだけで「読取革命」に読み込むことができます。
連携を行うためには、次の設定が必要となります。

【設定を行う前に】

- ScanSnap の設定は、Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザーで行ってください。
- ScanSnap と連携するためには、ScanSnap Manager V3.1L10 以上が必要です。

■ ScanSnap Manager の設定（初回だけの設定です）

① ScanSnap のドライバーをインストールし、ScanSnap をコンピューターに接続します。
・操作の詳細については、ScanSnap のマニュアルを参照してください。
②「読取革命」を起動します。
③「ScanSnap Manager」が起動している場合は、停止させます。
・ 常駐アイコンを右クリックし、リストから [終了] を選択します。
④再度「ScanSnap Manager」を起動します。
1. Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] にマウスポインターを合わせます。
・セットアップされているアプリケーション一覧が表示されます。
2.「ScanSnap Manager」にマウスポインターを合わせます。
3.「ScanSnap Manager」をクリックします。
・タスクバーに「ScanSnap Manager」の常駐アイコンが表示されます。
⑤「ScanSnap Manager」の設定を行います。
・「ScanSnap Manager」の常駐アイコンを右クリックし、リストの中から [設定] を選択します。
・「ScanSnap Manager」ダイアログボックスが表示されます。
⑥ [アプリ選択] タブの [アプリケーションの選択] の▼をクリックし、リストの中から「読取革命 Ver.11」を選択します。
⑦ [OK] をクリックします。

■ ScanSnap からの読み込み

※ ScanSnap を使用する場合は、「読取革命」から操作してスキャナー入力することはできません。

ScanSnap の [スキャン] を押します。
・「読取革命」が自動的に起動し、読み込みが完了すると画像ウィンドウに表示されます。
・「読取革命」が既に起動している場合は、読み込んだ画像が末尾以降に追加されます。

基本操作

操作手順 40
読取革命を起動する 41
かんたんナビで対話しながら処理を行う 42
入門ウィザードで自動認識処理を行う 45
画像を入力する 49
　デジタルカメラ入力 49
　TWAIN デバイス (スキャナー) 入力 51
　画像ファイルを開く 52
　クリップボード画像の入力 54
　画面キャプチャー入力 55
画像を表示・選択する 56
　クリックで直接選択する 56
　前ページ・次ページで表示する 56
　ページ呼出で表示する 57
　すべてのページを選択する 58
ページを移動する 59
　前へ・次へで移動する 59
　ドラッグで移動する 60
画像の表示倍率を変更する 61
　指定倍率に変更する 61
　一定倍率で拡大・縮小する 61
認識結果と文字画像の連動 62
　認識結果から文字画像を表示する 62
　文字画像から認識結果を表示する 62
操作モードの切り替え 63
　ドラッグモード 63
　領域設定モード 64
　消しゴムモード 64
　作図モード 64
　表編集モード 64
画像の表示位置を変える 65
レイアウト認識を行う 66
　選択したページ 66
　現在のページ 67
　選択した領域 67
文字認識を行う 69
画像 / 認識結果ウィンドウを表示する 70
認識結果ウィンドウの表示を切り替える 72
　テキスト表示 72
　領域表示 73
　カラーリアル表示 73
　ハイパーチェッカー 73
切り取り・コピー・貼り付けをする 74
　画像の切り取り・コピー・貼り付け 74
　文字列の切り取り・コピー・貼り付け 75
削除する 76
　領域枠を削除する 76
　文字列を削除する 77
半角・全角を変換する 78
修正機能で認識結果を編集する 79
　一括修正で複数の文字を一度に修正する 79
　候補文字修正で 1 文字ずつ修正する 80
検索する 82
置換する 83
取り消し 84
保存する 85
　画像の保存 85
　認識結果の保存 86
転送する 87
印刷する 88
　画像の印刷 88
　認識結果の印刷 89
ページを閉じる 90
終了する 91

操作手順

（青枠）は、基本的な操作で、本章の次ページより説明を記載しています。
（白枠）は、必要に応じて行う応用的な操作です。

通常の手順

1 起動する
☞ P.41

2 画像を入力する
☞ P.49 ～ P.55

画像を編集する
☞ P.155

3 レイアウト認識する
☞ P.66 ～ P.68

領域枠の手動設定・変更
☞ P.94 ～ P.100

見出しを認識する
☞ P.107

4 文字認識する
☞ P.69

認識結果を編集する
☞ P.75 ～ P.84
☞ P.102 ～ P.104
☞ P.120 ～ P.121

5 保存・転送する
☞ P.85 ～ P.87

6 印刷する
☞ P.88 ～ P.89

7 終了する
☞ P.91

入門ウィザードの手順

☞ P.45

1 起動する
☞ P.41

2 入門ウィザードを選択する
☞ P.45

3 画像を入力する
├TWAIN デバイス ☞ P.46
├ファイル
└デジタルカメラ

4 画像の処理を行う
├画像の回転 ☞ P.47
├画像の傾き補正
└カラーフィルター

5 認識の種類を選択する
├日本語 ☞ P.47
└英語

6 認識結果の出力を選択する
├ウィンドウへ表示 ☞ P.48
└アプリケーションへ転送

■ [入門ウィザード]
入門ウィザードのステップに沿って設定をするだけで、画像の読み込みから認識結果の出力までを自動で行う機能です。
初めて「読取革命」を使用される方は、基本操作の流れを学ぶことができます。

かんたん認識の手順

☞ P.131

1 起動する
☞ P.41

2 かんたん認識を選択する
☞ P.132

3 画像を入力する
├TWAIN デバイス ☞ P.140
├ファイル
└デジタルカメラ

4 画像の編集を行う
├画像のノイズ除去 ☞ P.141
├画像の回転
└画像の傾き補正

5 レイアウトを指定する
├レイアウト認識 ☞ P.142
├レイアウト編集
└テンプレート使用

6 認識結果の出力を選択する
├ウィンドウへ表示 ☞ P.152 ～ P.153
├ファイルへ保存
└アプリケーションへ転送

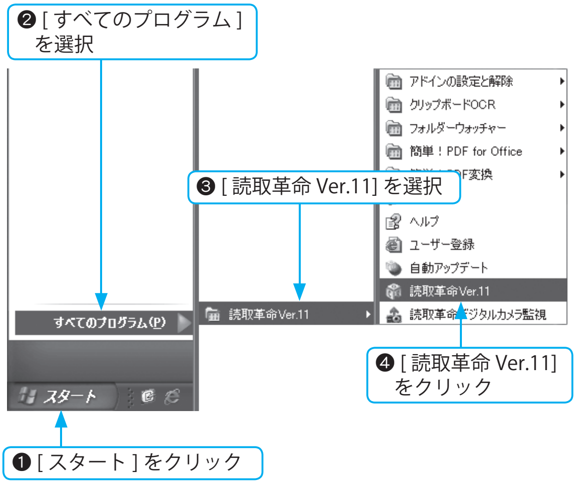
■ [かんたん認識]
簡単な設定をするだけで、画像の読み込み、画像編集、レイアウト認識、文字認識、保存 (転送) を自動で行う機能です。

読取革命を起動する

「読取革命」は、Windows の [スタート] ボタンから選択して起動できるほか、デスクトップ上のショートカットアイコンからも起動できます。
また、アドイン設定を行ったアプリケーションからも起動できます。

1 「読取革命」を起動する

スタートメニューから



※ [スタート]-[すべてのプログラム] の表示はお使いの OS によって異なります。

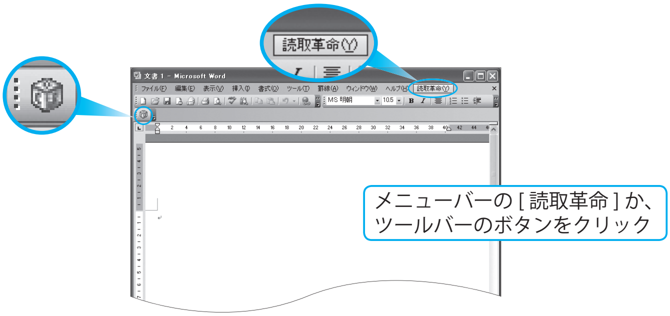
デスクトップ上のショートカットアイコンから

デスクトップ上の「読取革命 Ver.11」のショートカットアイコンをダブルクリック

※デスクトップ上のショートカットアイコンは、インストール時に、[読取革命へのショートカットをデスクトップに作成する] のチェックボックスをオンにした場合に表示されます。

アドイン設定ボタンから

「読取革命」では、アドインの設定と解除を行うことができます。
アドインの設定については、「アドインの設定と解除」P.215 を参照してください。



アドイン対象アプリケーション

- Microsoft Word 2000/2002/2003
- Microsoft Excel 2000 ※ /2002/2003
- Microsoft PowerPoint 2000/2002/2003
- Adobe Acrobat 6/7

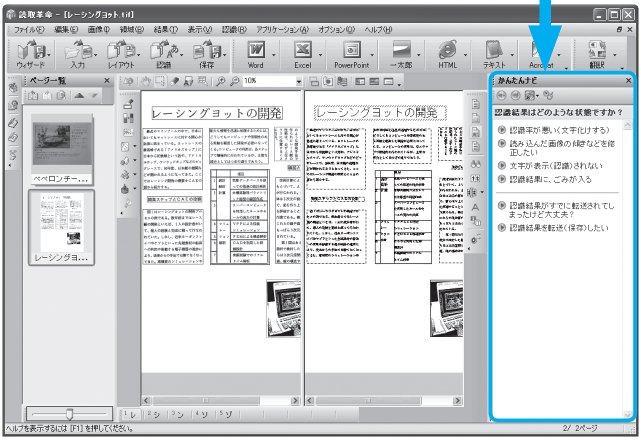
※ Microsoft Excel 2000 は、SR-1 以上に対応しています。

かんたんナビで対話しながら処理を行う

対話形式で操作を案内する「かんたんナビ」をご用意しています。
各質問に答えていけば、「かんたんナビ」が問題解決のための操作をすばやくご案内し、「かんたんナビ」ウィンドウ内から機能を直接実行することもできます。また、ウィンドウ内の関連ヘルプをクリックすると、知りたい項目の該当ヘルプが起動します。
期待した結果が得られず、お困りの際に是非お試しください。

かんたんナビを表示する

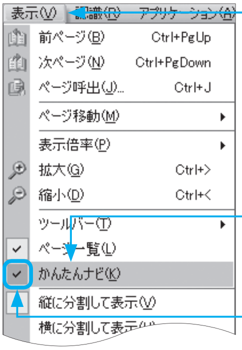
初回起動時は、かんたんナビウィンドウが画面右端に表示されています。



1 メニューを選択する

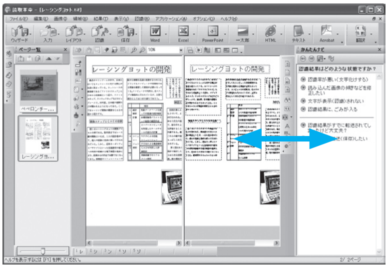
●表示のオン / オフ

かんたんナビは、メニューから表示 / 非表示を切り替えることができます。

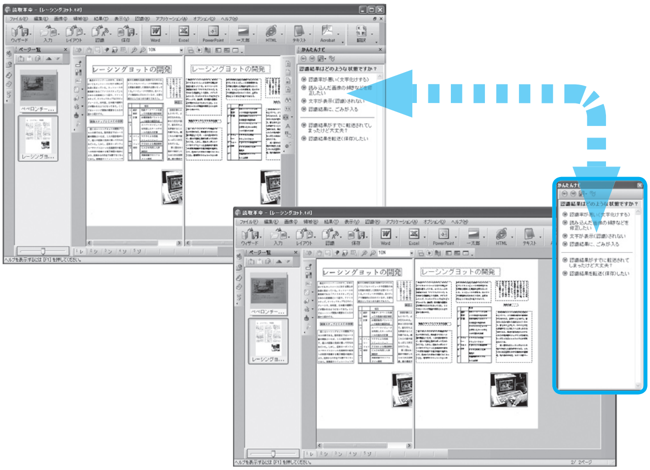


●形態の変更

かんたんナビウィンドウと認識結果ウィンドウの境目のバーの上でマウスの左ボタンを押したまま動かすと、ウィンドウの割合を変えることができます。

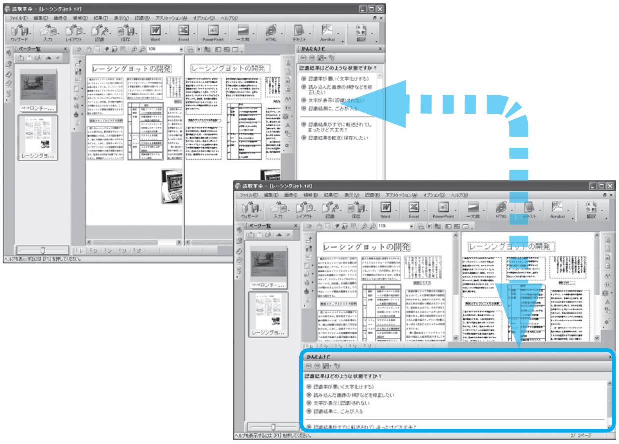


かんたんナビウィンドウのタイトルバーをマウスの左ボタンを押したまま動かすと、読取革命のメイン画面から切り離して移動させることができます。



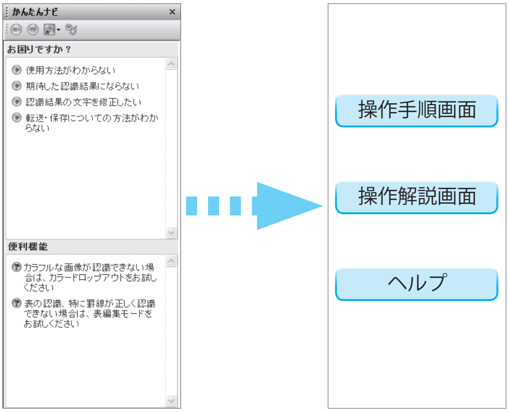
※かんたんナビウィンドウを画面内に戻すには、かんたんナビウィンドウのタイトルバーをダブルクリックします。

かんたんナビウィンドウの並びを上下左右に変更して固定することもできます。



2 項目を選択する

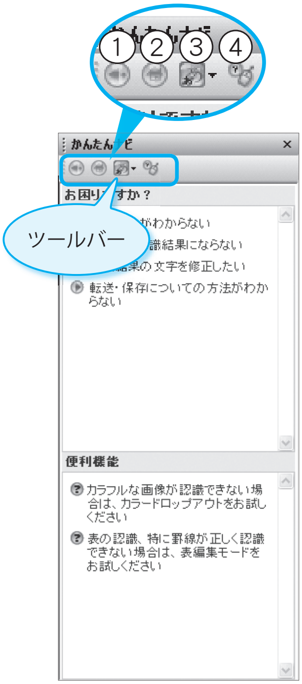
※「かんたんナビ」は、画像入力、レイアウト認識、文字認識後に操作にそった画面に自動的に切り替わります。(入門ウィザード、またはかんたん認識処理中は除く)



「かんたんナビ」ウィンドウに表示される項目をクリックしていくと、操作手順画面や操作解説画面、またはヘルプが起動して確認したい項目の内容を表示します。

■「かんたんナビ」ウィンドウの詳細

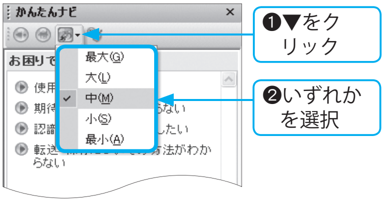
※ツールバーの表示/非表示については、「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。



① [戻る]
直前に表示したページに戻ります。

② [HOME]
先頭ページに戻ります。かんたんナビで迷った場合に、先頭ページからやりなおせます。

③ [文字サイズ]
表示される文字サイズを指定します。
デフォルトの文字サイズは、「中」です。



選択できる文字サイズ
- 最大
- 大
- 中
- 小
- 最小

④ [操作方法]
かんたんナビの操作方法を表示します。

入門ウィザードで自動認識処理を行う

初めて「読取革命」を使用される方は、「入門ウィザード」で基本操作の流れを学ぶことができます。
「入門ウィザード」を利用するには、メニューバーやツールバーから選択する以外に、「読取革命」起動時に表示される「読取革命へようこそ！」ダイアログボックスからも表示できます。

「読取革命へようこそ！」ダイアログボックスを起動しないようにするには

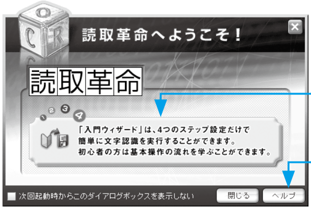
以下の 2 とおりの手順があります。

- [次回起動時からこのダイアログを表示しない] をクリックしてオンにする。
- [環境設定] の [一般] タブで [起動時に「読取革命へようこそ！」を表示する] のチェックボックスをオフにする。(☞「[一般] タブの設定」P.203)

※起動時に「読取革命へようこそ！」ダイアログボックスを表示しないよう設定した場合は、ツールバーおよびメニューバーから [入門ウィザード] を選択して表示してください。

1 入門ウィザードを表示する

「読取革命へようこそ！」ダイアログから表示する



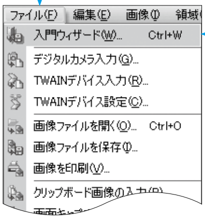
「読取革命」を起動すると「読取革命へようこそ！」ダイアログボックスが表示されます。

[入門ウィザード] をクリック

[ヘルプ] をクリックすると、「読取革命」の基本的な機能や操作手順がわかる「ヒント」が表示されます。

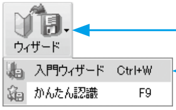
メニューやツールバーから表示する

❶ [ファイル] をクリック



❷ [入門ウィザード] をクリック

またはツールバーの

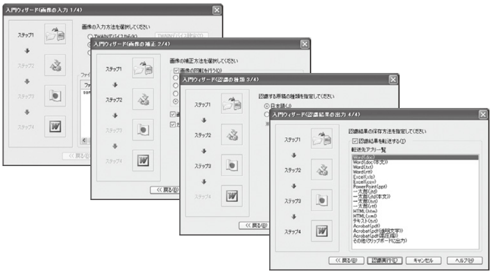


①▼をクリック

② [入門ウィザード] をクリック

2 文字認識の条件設定を行う

※ここでは、文字認識のための条件を [入門ウィザード] のステップに沿って設定していきます。



ステップ 1・・・画像の入力

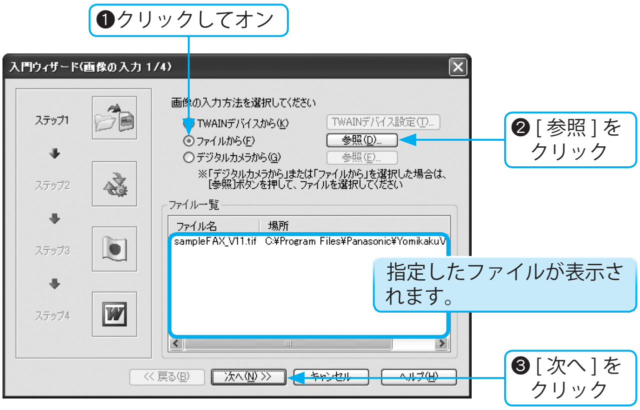
画像の読み込み方法を選択します。
次のいずれか 1 つのラジオボタンを選択してください。

■ TWAIN デバイスから読み込む

[TWAIN デバイスから] を選択すると、ステップ 4 で認識を実行したあとに「TWAIN デバイス入力」ダイアログボックスが表示されます。
(☞「TWAIN デバイス (スキャナー) 入力」P.51)
また、[TWAIN デバイス設定] をクリックすると、「ソースの選択」ダイアログボックスが表示され、TWAIN デバイスを選択できます。
(☞「TWAIN デバイスの設定」P.35)

■ファイルから読み込む

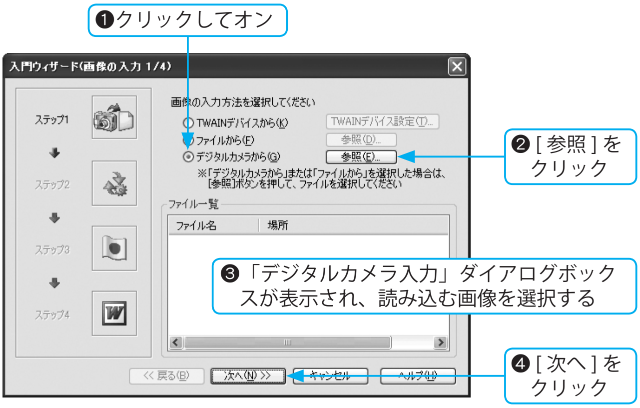
[ファイルから] を選択し、[参照] をクリックすると「画像ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。
(☞「画像ファイルを開く」P.52)



※ PDF ファイル、または *.xdw/*.xbd 形式のファイルを読み込む場合 (☞「画像ファイルを開く」P.52)

■デジタルカメラから読み込む

[デジタルカメラから] を選択し、[参照] をクリックすると、デジタルカメラ入力のダイアログボックスが表示されます。
(☞「デジタルカメラ入力」P.49)



複数ファイルを指定する場合

- **離れたファイルを指定する**
  [Ctrl] キーを押したまま、ファイルを 1 つずつクリックすると、任意のファイルが選択されます。
- **連続したファイルを指定する**
  選択したいファイルが連続して並んでいる場合、選択したい範囲の先頭のファイルをクリックし、[Shift] キーを押したまま、選択したい範囲の最後のファイルをクリックすると、間に挟まれたファイルがすべて選択できます。

※同じフォルダーの中でだけ複数のファイルを指定できます。

※各ファイルの合計 999 ページまで読み込むことができます。

ステップ 2・・・画像の修正

■画像の回転を行う

画像の回転を設定します。画像の回転を行う場合は、[画像の回転を行う] のチェックボックスをクリックしてオンにし、次のいずれか 1 つのラジオボタンを選択してください。

・左 90 度　・180 度　・右 90 度　・自動判定

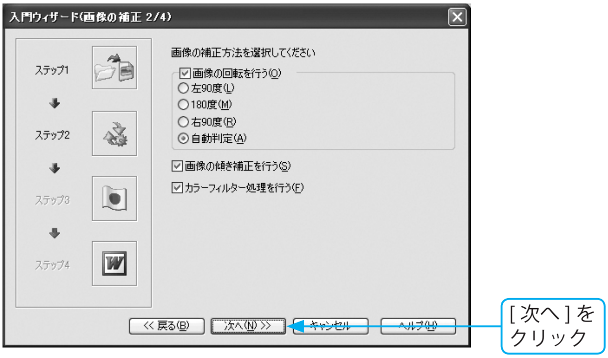
■画像の傾き補正を行う

[画像の傾き補正を行う] のチェックボックスをクリックしてオンにすると、自動で傾き補正が行われます。

■カラーフィルター処理を行う

[カラーフィルター処理を行う] のチェックボックスをクリックしてオンにすると、自動で文字認識に最適な画像処理が行われます。

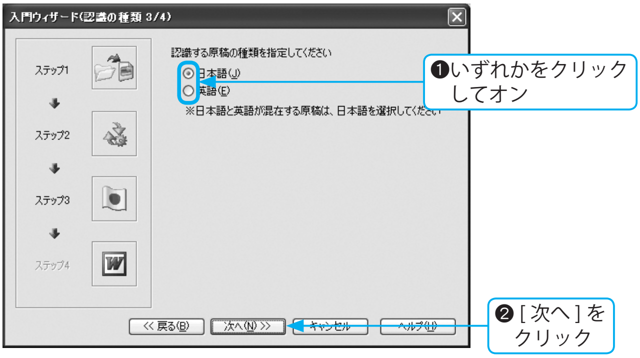
※画像ウィンドウに表示された画像が回転している場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように回転させてください。



ステップ 3・・・認識の種類

認識する原稿の種類を指定します。原稿の種類に合わせて、次のいずれか 1 つのラジオボタンを選択してください。

・日本語　・英語



選択できる転送ファイル形式の詳細

●レイアウト枠付き文書で出力する場合
- ・Microsoft Word 文書 (*.doc)
- ・Microsoft Excel 文書 (*.xls)
- ・Microsoft PowerPoint 文書 (*.ppt)
- ・書式付きファイル (*.rtf)
- ・一太郎ファイル (*.jtd)

●レイアウト枠なし文書で出力する場合
- ・Microsoft Word(本文) 文書 (*.doc)
- ・一太郎 (本文) ファイル (*.jtd)

※表・画像・図形は、レイアウト枠付きで出力されます。

● PDF ファイルに出力する場合
PDF ファイルの文字 (認識結果) は、テキストのコピーおよび検索が可能です。

・PDF ファイル (*.pdf)
元画像の上に文字認識で再現された文字色の認識結果を重ねて出力します。

・PDF(透明文字) ファイル (*.pdf)
元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。元画像がそのまま PDF ファイルに再現されます。

・PDF(高圧縮) ファイル (*.pdf)
カラー画像やグレースケール画像のファイルサイズを小さく抑えて出力します。文字画像と背景画像を分離し、それぞれ適した圧縮率でファイルが作成されるため、文字をはっきりと表示できます。文字画像と背景画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

●インターネットのホームページ文書に出力する場合
- ・HTML 文書 (*.htm)
- ・XML 文書 (*.xml)

■ページ区切り

・TXT/CSV の場合
ページの切れ目には改行が挿入されます。

・RTF の場合
ページの切れ目にはページ区切り記号が挿入されます。

※アプリケーションがインストールされていない場合、転送できません。

ステップ 4・・・認識結果の出力

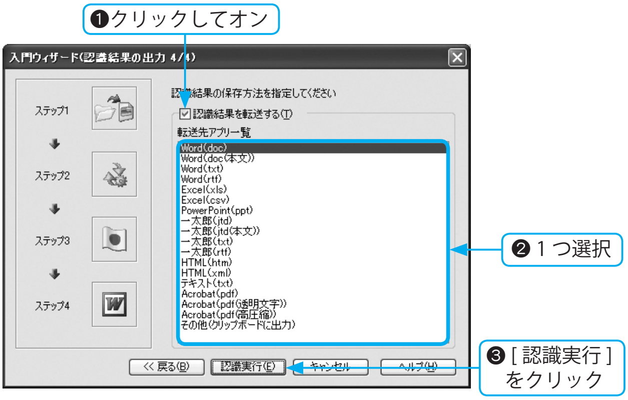
認識結果ウィンドウへ表示する、または他のアプリケーションへ転送します。

■認識結果を認識結果ウィンドウへ表示する場合

[認識結果を転送する] のチェックボックスはオフのまま [認識実行] をクリックします。

■認識結果を転送する場合

[認識結果を転送する] のチェックボックスをオンにして、[転送先アプリ一覧] から転送先を選択します。



画像を入力する

文字認識をする画像を「読取革命」に読み込みます。
画像の読み込みには、画像ファイル、TWAIN デバイス (スキャナー)、デジタルカメラ、クリップボード、画面キャプチャーを使用する方法があります。

デジタルカメラ撮影ポイント

- 内蔵ストロボはできるだけ発光せずに明るい場所で撮影しましょう。
- 三脚などを使用して手ぶれしないようにしましょう。
- 原稿が傾かないように原稿の真上から撮影しましょう。

デジタルカメラから直接入力するための条件

- デジタルカメラが DCF に準拠している。
- デジタルカメラ、またはメディアをパソコンに接続したとき、エクスプローラーでリムーバブルディスクと認識される。

デジタルカメラのメディアとは

- スマートメディア
- メモリースティック
- コンパクトフラッシュ
- SD カード
- マイクロドライブ
- xD-Picture Card など

※画像が暗かったり原稿に傾きがあると認識率が低下します。

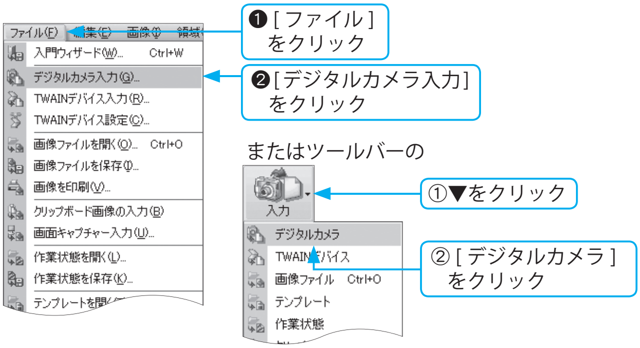
※お使いのデジタルカメラが DCF に準拠しているかはデジタルカメラの製造元に確認してください。また、準拠していない場合は、一旦ハードディスクに画像をコピーして、ファイルから入力してください。

※お使いのパソコンの OS がプリインストール版ではない場合、デジタルカメラとパソコンを USB 接続できないことがあります。

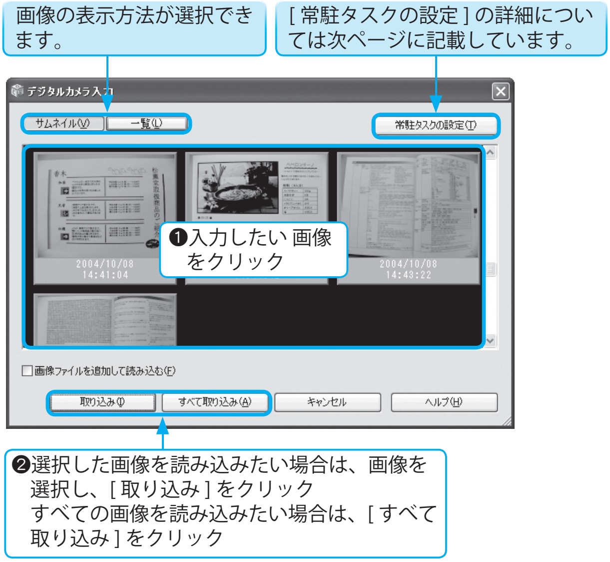
デジタルカメラ入力

1 [デジタルカメラ入力] を選択する

※デジタルカメラをパソコンに接続します。



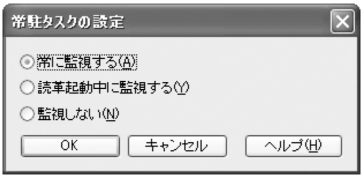
2 読み込む画像を指定する



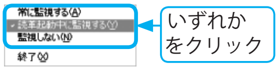
※ FD アダプターを使用して接続した場合など、エクスプローラーでリムーバブルメディアと認識されないものは、常駐タスクで監視できません。

■常駐タスクの設定

「読取革命」では、デジタルカメラのメディアが接続されたことを常駐タスクで監視できます。



またはタスクトレイの をクリック



[常に監視する]

「読取革命」が起動していない場合でも、デジタルカメラとパソコンを接続したときに「読取革命」が起動し、「デジタルカメラ入力」ダイアログボックスが表示され、画像入力を行うことができます。

[読革起動中に監視する]

「読取革命」が起動しているときにデジタルカメラとパソコンを接続した場合、「デジタルカメラ入力」ダイアログボックスが表示され、画像入力を行うことができます。

[監視しない]

常に監視しません。

[終了]

常駐タスクを終了します。

■スタートアップの [読取革命デジタルカメラの監視] を追加 / 削除する

Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザーで、以下の設定を行ってください。

[スタートアップに追加する]

(例：WindowsXP の場合)

① Windows の [スタート] ボタンをクリック

② [すべてのプログラム]-[読取革命 Ver.11]-[読取革命デジタルカメラ監視] をクリック

③ [読取革命デジタルカメラ監視] をクリック

④「スタートアップに登録しますか？」というダイアログボックスの [はい] をクリック

※名称はお使いの OS によって異なる場合があります。

[スタートアップから削除する]

①タスクトレイの [読取革命デジタルカメラ監視] アイコンをクリック

② [終了] をクリック

③「スタートアップの登録を解除しますか？」というダイアログボックスの [はい] をクリック

■ TWAIN
パソコン側からスキャナーなどを制御するための手段のうち、業界標準ともいえる仕様です。現在販売されているスキャナーの多くは TWAIN 仕様に準拠しています。

■ 解像度
画像のきめ細かさや情報量を表現する単位です。画像の情報量はピクセル (画像を構成する点の数) で表します。ドットの数が多いほど、きめ細かく美しい画像となり、ドットの密度を表現する単位として dpi が用いられます。

※原稿をセットするときは、原稿が傾かないように注意して TWAIN デバイスにセットしてください。原稿に傾きがあると認識率が低下します。

※既に「読取革命」に画像が読み込まれている場合、TWAIN デバイスから読み込んだ画像は末尾ページ以降に追加されます。

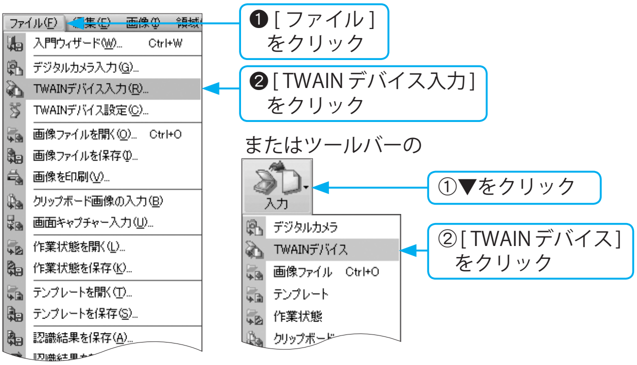
TWAIN デバイスが動作しない場合

ディスプレイに表示されるエラーメッセージをご確認ください。本書記載のエラー・メッセージを参照して該当する項目をご覧ください。

(☞「エラー・メッセージ」P.258)

TWAIN デバイス (スキャナー) 入力

1 [TWAIN デバイス入力] を選択する



2 読み込みの設定を行う

解像度は 400dpi に設定することをお勧めします。

表示されるダイアログボックスは TWAIN デバイスメーカーごとに異なります。操作についてはお手持ちの TWAIN デバイスの取扱説明書を参照してください。

「読取革命」独自の専用ダイアログボックスを表示させることもできます。
(☞「TWAIN 専用ダイアログを利用する場合」P.36)

3 読み込みを開始する

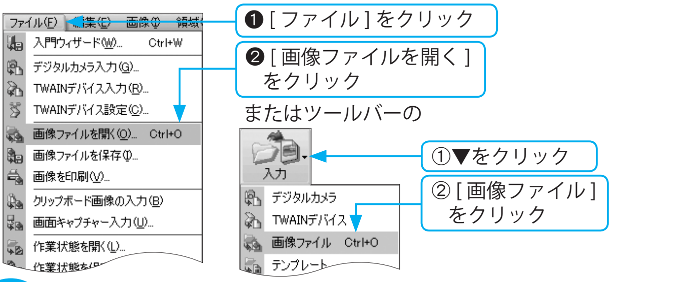
読み込みが完了すると、画像ウィンドウに表示されます。

※読み込みには、パソコンや TWAIN デバイス (スキャナー) の性能、または設定した解像度によって多少時間がかかる場合があります。

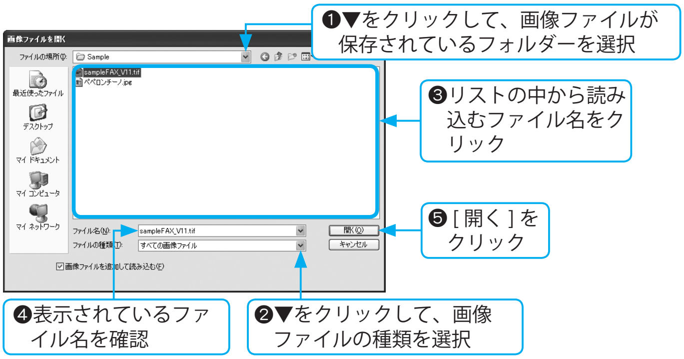
※スキャナー入力のダイアログボックスを閉じずに連続して読み込む場合は、「ソースの選択」ダイアログボックスで [スキャン終了後スキャンダイアログを閉じる] チェックボックスをオフにしてください。
(☞「TWAIN デバイスの設定」P.35)

画像ファイルを開く

1 [画像ファイルを開く] を選択する



2 読み込む画像ファイルを指定する



複数ファイルを指定する場合

・**離れたファイルを指定する**
[Ctrl] キーを押したまま、ファイルを 1 つずつクリックすると、任意のファイルが選択されます。

・**連続したファイルを指定する**
選択したいファイルが連続して並んでいる場合、選択したい範囲の先頭のファイルをクリックし、[Shift] キーを押したまま、選択したい範囲の最後のファイルをクリックすると、間に挟まれたファイルがすべて選択できます。

※既に読み込んでいる画像を残したまま次のページに画像を追加するには、[画像ファイルを追加して読み込む] のチェックボックスをクリックしてオンにします。

※ PDF ファイルは、400dpi で読み込まれます。ただし、最大原稿サイズを超えた場合は、認識可能な解像度に変更され、読み込まれます。

***.xdw/*.xbd ファイルを入力するには**

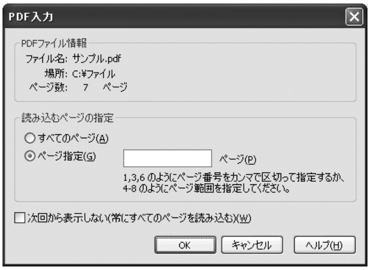
.xdw /. xbd 形式のファイルを入力画像として選択するには、お使いのパソコンに富士ゼロックス社 DocuWorks 6 が別途インストールされている必要があります。

PDF ファイルを入力するには

複数ページの PDF ファイルは、読み込むときに「PDF 入力」ダイアログボックスで読み込むページを指定できます。

「PDF 入力」ダイアログボックスを表示するには、「環境設定」ダイアログボックスの [入力] タブで [ファイルごとにページを選択するダイアログを表示する] チェックボックスをクリックしてオンにしてください。
(☞「[入力] タブの設定」P.209)

■ PDF 入力 ダイアログボックスの詳細



[PDF ファイル情報]：ファイル名、ファイルの保存場所、ファイルのページ数を表示します。

[読み込むページの指定]

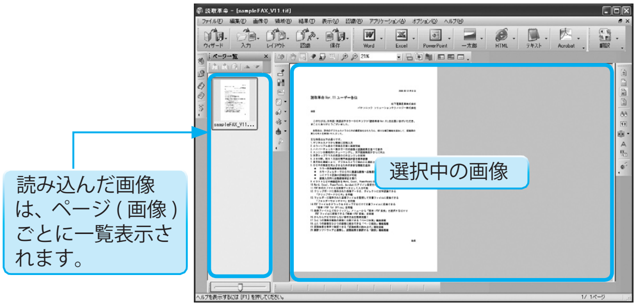
[すべてのページ]：すべてのページを読み込みます。

[ページ指定]：ページ番号をカンマで区切り、指定します。または読み込むページの範囲をハイフン (-) で指定します。

[次回から表示しない (常にすべてのページを読み込む)]：チェックボックスをクリックしてオンにすると、複数ページの PDF ファイルを読み込むときに「PDF 入力」ダイアログボックスは表示されません。この場合、すべてのページを読み込みます。

3 実行結果

※複数の画像ファイルを読み込んだ場合、画像ウィンドウには最後に読み込んだ画像が表示されます。
(☞「画像を表示・選択する」P.56)



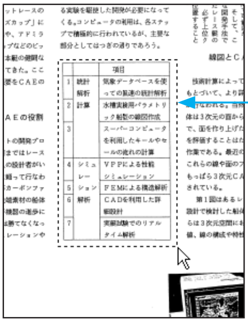
クリップボード画像の入力

「読取革命」の画像ウィンドウに表示された画像や、その他のアプリケーションで開いた画像上でコピーや切り取りした画像を取り込むことができます。

※画像の切り取り・コピーを行う場合

(☞「画像の切り取り・コピー・貼り付け」P.74)

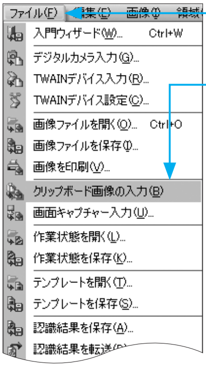
1 画像を切り取り (またはコピー) する



編集したい部分を [切り取り] または [コピー] する

※他のアプリケーションで開いている画像から切り取り・コピーした画像でもクリップボード入力が可能です。

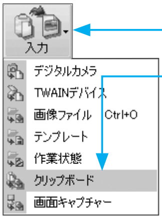
2 画像の入力を実行する



❶ [ファイル] をクリック

❷ [クリップボード画像の入力] をクリック

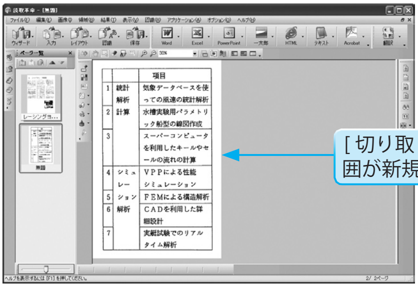
またはツールバーの



① ▼をクリック

② [クリップボード] をクリック

3 実行結果

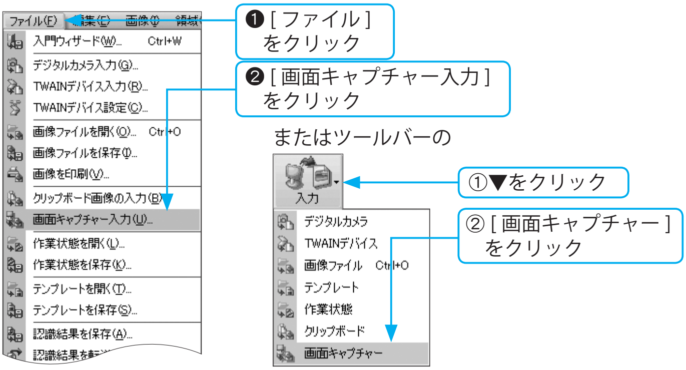


[切り取り] または [コピー] した範囲が新規画像として表示されます。

画面キャプチャー入力

ディスプレイに表示されている画像を、範囲指定して、「読取革命」に取り込むことができます。
Web ページの取り込みを行いたい場合などに便利です。

1 [画面キャプチャー入力] を選択する

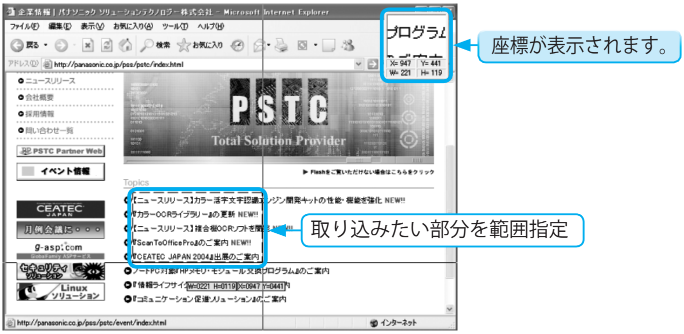


2 範囲指定する

※ [画面キャプチャー入力] が選択されると、「読取革命」のウィンドウは最小化されます。選択する前に不要なウィンドウはあらかじめ閉じておきましょう。

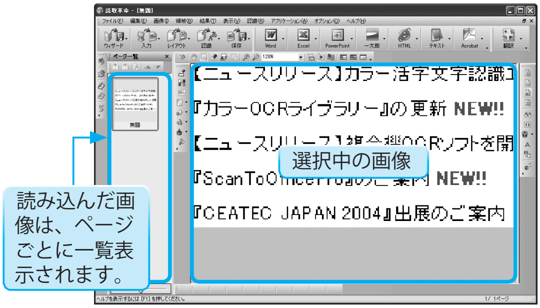
※ [画面キャプチャー入力] を中止するにはキーボードの [Esc] キーを押します。

※ Windows の [画面のプロパティ] の色数の設定によって、キャプチャーする画像のビット数が変わります。色数が 256 色に設定されている場合は 8 ビットへ、色数が 16 ビット、24 ビット、32 ビットに設定されている場合は 24 ビットの画像になります。



※ (☞「領域の範囲指定」P.156)

3 実行結果



画像を表示・選択する

「読取革命」に入力されているページ (画像) を選択して、編集作業を行うことができます。ページはクリック、またはメニューから選択できます。

クリックで直接選択する

ページ一覧ウィンドウに表示されたページ (画像) をクリックして直接選択します。

1 ページ一覧ウィンドウから選択する

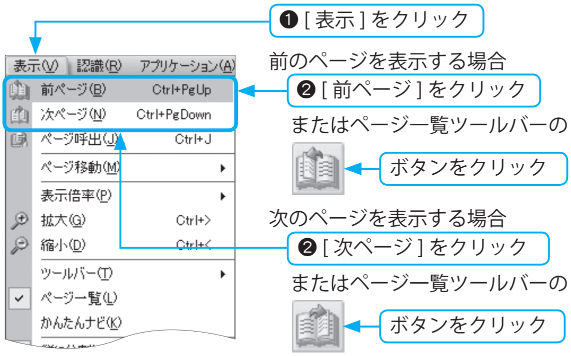
複数ページを指定する場合

- **離れたページを指定する**
  [Ctrl] キーを押したまま、ファイルを 1 つずつクリックすると、任意のファイルが選択されます。
- **連続したページを指定する**
  選択したいファイルが連続して並んでいる場合、選択したい範囲の先頭のページをクリックし、[Shift] キーを押したまま、選択したい範囲の最後のページをクリックすると、間に挟まれたページがすべて選択できます。

前ページ・次ページで表示する

現在のページの 1 つ前のページと、次のページを選択できます。

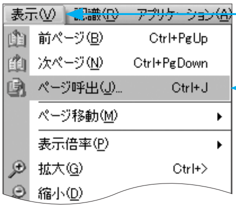
1 [前ページ] または [次ページ] を選択する



ページ呼出で表示する

ページ番号を指定してページ (画像) を選択します。

1 [ページ呼出] を選択する



❶ [表示] をクリック

❷ [ページ呼出] をクリック

またはページ一覧ツールバーの

ボタンをクリック

2 ページを指定する

❶いずれかをクリックしてオン

❷ [OK] をクリック

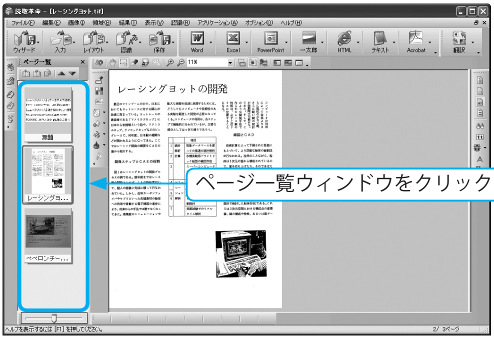
※ [指定ページ] を選択した場合は、表示するページ番号を半角数字で入力、または▲▼をクリックしてページ番号を変更してください。

※ [指定ページ] に末尾ページを超えた数字を入力すると末尾ページを表示します。

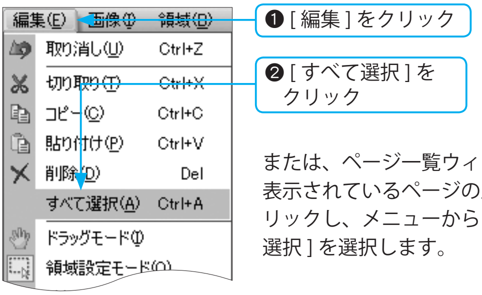
すべてのページを選択する

ページ一覧ウィンドウに表示されているすべてのページ (画像) を一度に選択します。

1 ページ一覧ウィンドウを選択する

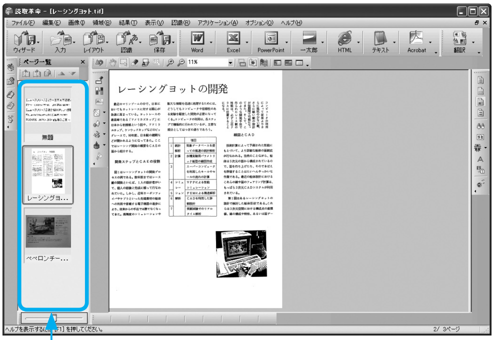


2 メニューを選択する



または、ページ一覧ウィンドウに表示されているページの上で右クリックし、メニューから [すべて選択] を選択します。

3 実行結果



選択されたページは背景色が変わります。

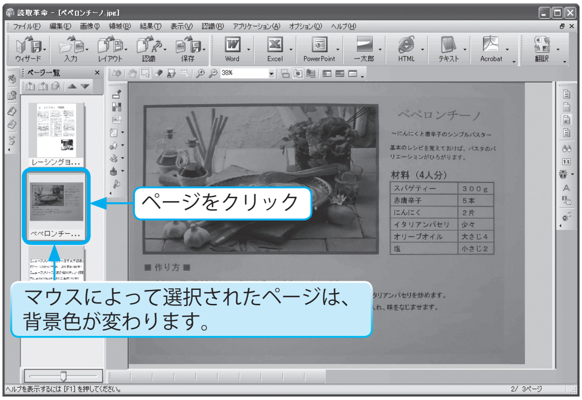
ページを移動する

ページ一覧ウィンドウに表示されたページ (画像) は、表示順序を入れ替えることができます。

複数ページを指定する場合

- **離れたページを指定する**
  [Ctrl] キーを押したまま、ページを1 つずつクリックすると、任意のページが選択されます。
- **連続したページを指定する**
  選択したいページが連続して並んでいる場合、選択したい範囲の先頭のページをクリックし、[Shift] キーを押したまま、選択したい範囲の最後のページをクリックすると、間に挟まれたページがすべて選択できます。

1 移動するページを選択する

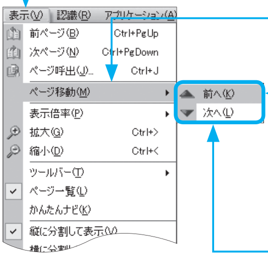


前へ・次へで移動する

選択したページの表示順序が 1 つずつ移動します。

2 [前へ] または [次へ] を選択する

❶ [表示] をクリック



❷ [ページ移動] を選択

前のページへ移動する場合

❸ [前へ] をクリック

またはページ一覧ツールバーの

ボタンをクリック

次のページへ移動する場合

❸ [次へ] をクリック

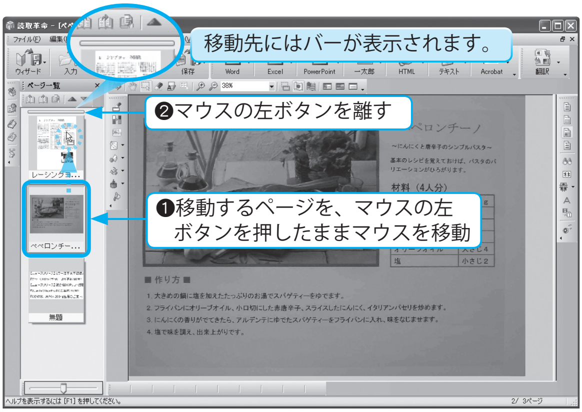
またはページ一覧ツールバーの

ボタンをクリック

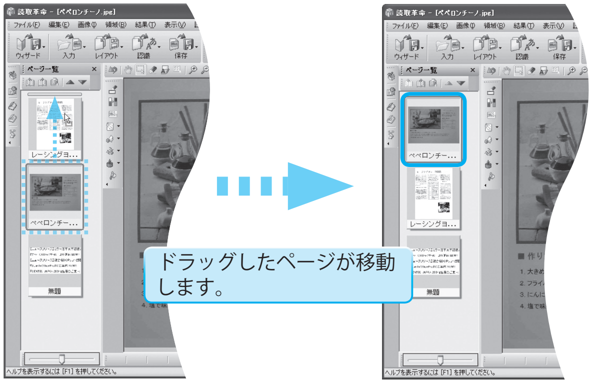
ドラッグで移動する

ドラッグでページを移動します。

2 ページを移動する



3 実行結果

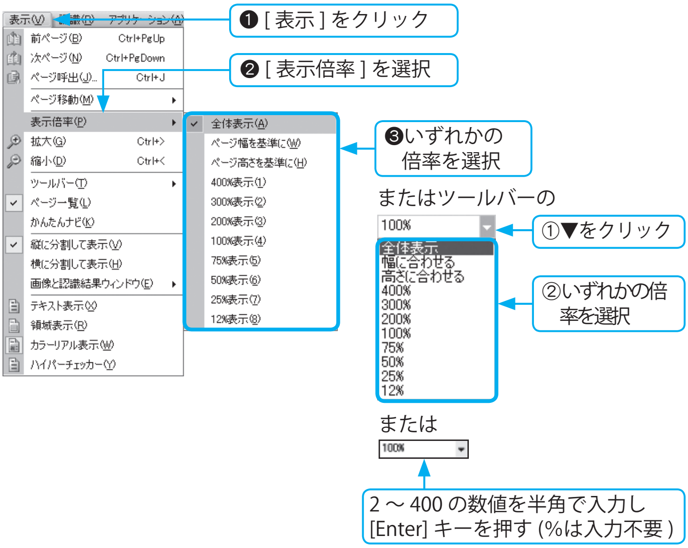


画像の表示倍率を変更する

画像ウィンドウに表示されている画像の表示倍率を変更します。
画像のかすれやつぶれの確認、微小な領域を手動で設定する場合などに便利です。
変更方法には、倍率を指定する方法と一定倍率で拡大・縮小する方法の 2 とおりがあります。
※表示倍率の変更は、画像データ全体に対して行われます。部分的な変更はできません。

指定倍率に変更する

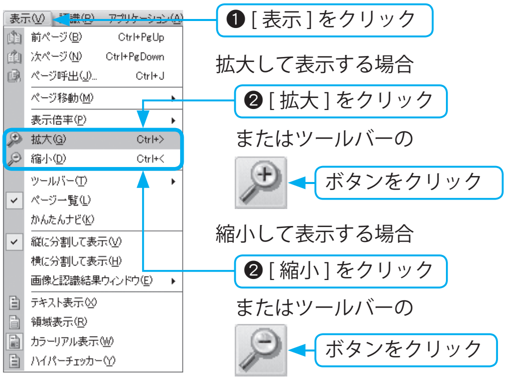
1 倍率を選択する



一定倍率で拡大・縮小する

※表示倍率に関する設定は [環境設定]-[表示] タブで行うことができます。
(☞「[表示] タブの設定」P.204)

1 拡大または縮小を選択する



認識結果と文字画像の連動

認識結果の文字を選択すると、それに対応する文字画像が反転して表示されます。また、文字画像を選択すると、それに対応する認識結果の文字が反転して表示されます。選択した箇所が互いに文字画像と認識結果のどの部分に該当するかを知るのに便利です。

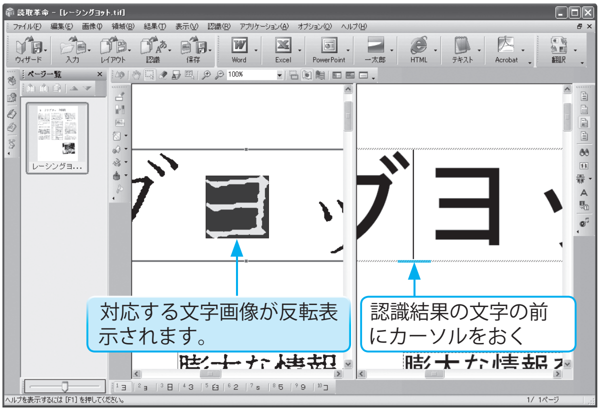
画像が見えにくい場合

画像ウィンドウの表示倍率を変更して見やすくできます。

(☞「画像の表示倍率を変更する」P.61)
(☞「[表示] タブの設定」P.204)

認識結果から文字画像を表示する

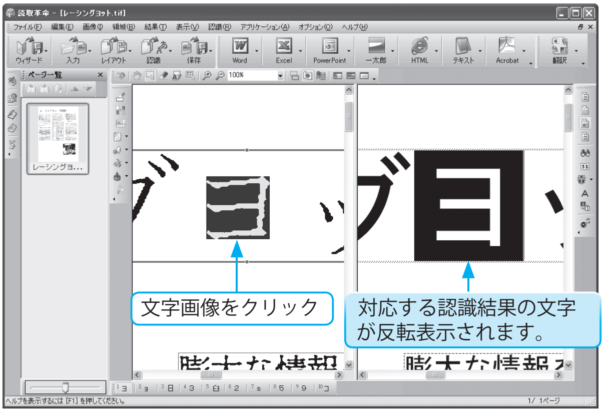
1 認識結果より文字を指定する



文字画像から認識結果を表示する

領域設定モード

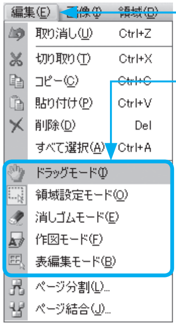
1 文字画像を指定する



操作モードの切り替え

「読取革命」の画像ウィンドウには 5 つの操作モードがあります。使用する機能に応じて操作モードの切り替え作業を行ってください。

1 操作モードを選択する



❶ [編集] をクリック

画像の表示位置を変更する場合

❷ [ドラッグモード] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

領域設定を行う場合

❷ [領域設定モード] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

消しゴムをかける場合

❷ [消しゴムモード] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

作図を行う場合

❷ [作図モード] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

表領域の編集を行う場合

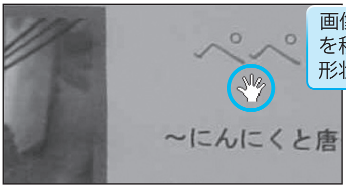
❷ [表編集モード] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

ドラッグモード

ドラッグモードでは、画像を上下左右にスクロールさせることができます。

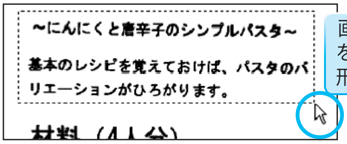


画像ウィンドウにマウスポインターを移動すると、マウスポインターの形状が " 手 " に変わります。

※ドラッグモードの詳細については「画像の表示位置を変える」P.65 を参照してください。

領域設定モード

画像の編集操作や、レイアウト枠を選択する場合は領域設定モードで行います。

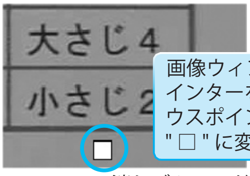


画像ウィンドウにマウスポインターを移動すると、マウスポインターの形状が " 矢印 " に変わります。

※領域設定モードの詳細については「領域枠の設定」P.94、「領域の範囲指定」P.156 を参照してください。

消しゴムモード

画像内の黒点や汚れを、実際に消しゴムを使うようにして消去できます。



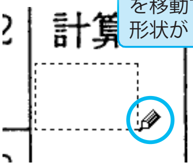
画像ウィンドウにマウスポインターを移動すると、マウスポインターの形状が " □ " に変わります。

消しゴムモードが選択されると、消しゴムの大きさを選択できるツールボックスが表示されます。

※消しゴムモードの詳細については「消しゴム」P.159 を参照してください。

作図モード

画像領域内に作図を行う場合に選択します。



画像ウィンドウにマウスポインターを移動すると、マウスポインターの形状が " 鉛筆 " に変わります。

作図モードが選択されると、描画の種類を選択するツールボックスが表示されます。

※作図モードの詳細については「作図」P.185 を参照してください。

表編集モード

表領域の詳細設定を行う場合に選択します。罫線の追加や消去、セルごとの属性変更が行えます。画像ウィンドウ内に表属性の領域枠がある場合に選択できます。

画像ウィンドウにマウスポインターを移動すると、マウスポインターの形状が " 鉛筆 " や " ハサミ " に変わります。

表編集モードが選択されると、罫線の追加や削除・属性変更が行えるツールボックスが表示されます。

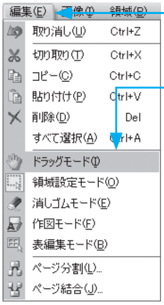
※表編集モードの詳細については「表を編集する」P.105 を参照してください。

画像の表示位置を変える

ドラッグモードを選択し、マウスポインターが手の形になっているとき、マウスの左ボタンを押したまま上下左右にスクロールすることで画像の移動が行えます。
※画像全体が表示されているときは、スクロールできません。

ドラッグモード

1 メニューを選択する



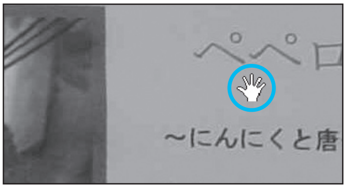
❶ [編集] をクリック

❷ [ドラッグモード] をクリック

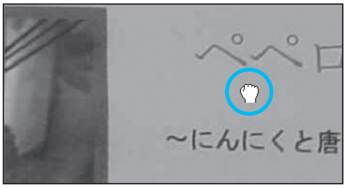
または標準ツールバーの

ボタンをクリック

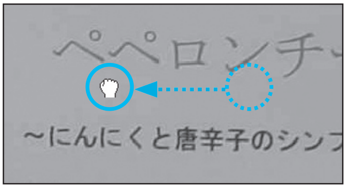
2 画像を動かす



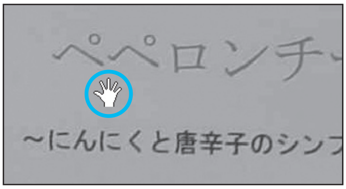
画像ウィンドウにマウスポインターを移動すると、マウスポインターの形状が“手”に変わります。



❶マウスの左ボタンを押す



❷左ボタンを押したまま (グーのまま) 画像を動かしたい方向へマウスを動かす



❸マウスの左ボタンを離す

レイアウト認識を行う

入力された画像に対して、文字 (日本語・英語)・画像・図形・表などの属性を分類し、領域枠の設定を行います。
領域枠は自動でも、手動でも設定できます。

選択したページ

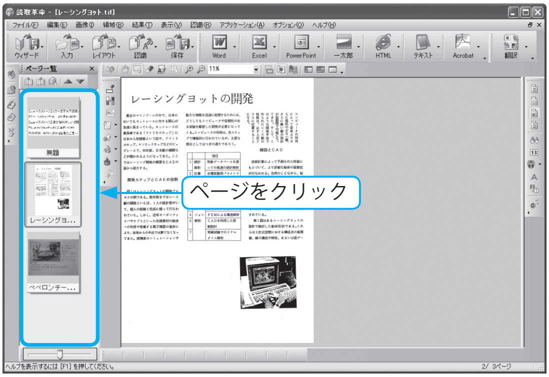
ページ一覧ウィンドウで選択されているページ (画像) に対して、レイアウト認識が実行されます。

複数ページを指定する場合

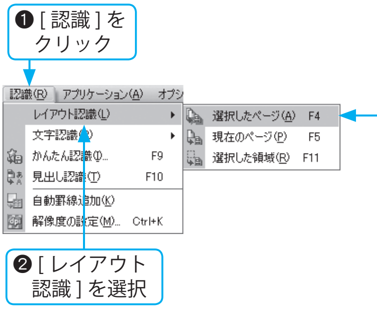
・**離れたページを指定する**
[Ctrl] キーを押したまま、ファイルを 1 つずつクリックすると、任意のファイルが選択されます。

・**連続したページを指定する**
選択したいファイルが連続して並んでいる場合、選択したい範囲の先頭のページをクリックし、[Shift] キーを押したまま、選択したい範囲の最後のページをクリックすると、間に挟まれたページがすべて選択できます。

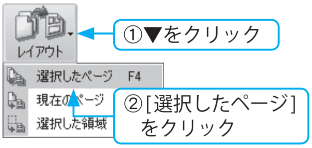
1 ページを選択する



2 [選択したページ] を選択する



またはツールバーの



※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

※文字領域と画像領域が重なっていると正しくレイアウト認識できません。画像領域と重なっている文字領域は、手動で領域を設定することで認識できます。

※領域の色と属性の対応は、「環境設定」ダイアログボックスで確認・変更できます。
(☞「[一般] タブの設定」P.203)

※読取順序は「環境設定」ダイアログボックスで表示・非表示を設定できます。
(☞「[一般] タブの設定」P.203)

3 実行結果

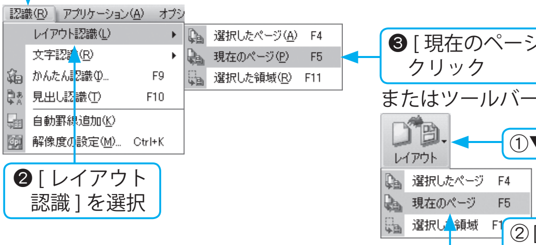
ページ一覧ウィンドウで選択されたページがレイアウト認識されます。
レイアウト認識後は領域枠が表示され、領域枠は文字や画像・図形・表などの属性ごとに色分けされ、それぞれに読取順序が設定されます。

※読取順序は [領域]-[読取順序変更] で変更できます。
(☞「読取順序の変更」P.121)

現在のページ

画像ウィンドウに表示されているページ (画像) に対して、レイアウト認識が実行されます。

1 [現在のページ] を選択する



2 実行結果

画像ウィンドウに表示されたページがレイアウト認識され、領域枠が表示されます。領域枠は文字や画像・図形・表などの属性ごとに色分けがなされ、それぞれに読取順序が設定されます。

※読取順序は [領域]-[読取順序変更] で変更できます。
(☞「読取順序の変更」P.121)

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

※文字領域と画像領域が重なっていると正しくレイアウト認識できません。
画像領域と重なっている文字領域は、手動で領域を設定することで認識できます。

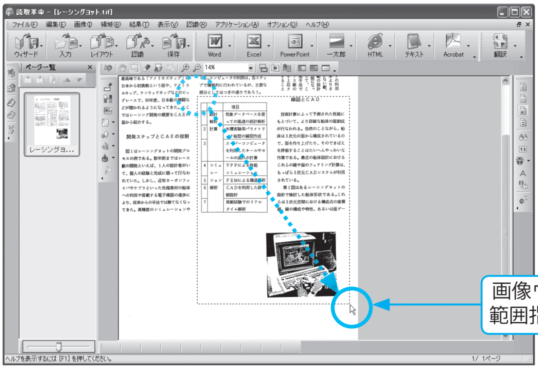
※領域の色と属性の対応は、「環境設定」ダイアログボックスで確認・変更できます。
(☞「[一般] タブの設定」P.203)

※読取順序は「環境設定」ダイアログボックスで表示・非表示を設定できます。
(☞「[一般] タブの設定」P.203)

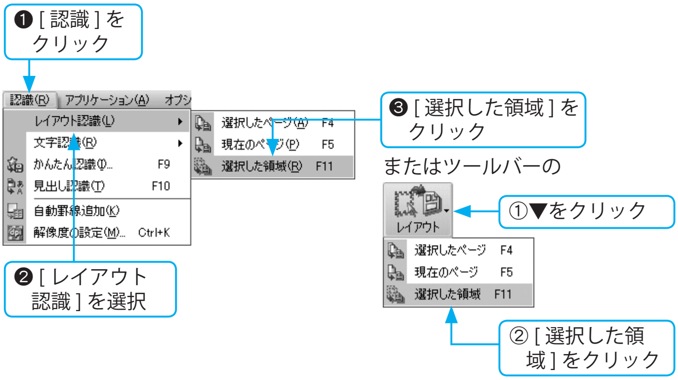
選択した領域

画像ウィンドウに表示されたページ内で、範囲指定した領域、または選択した 1 つの領域枠を対象としてレイアウト認識が実行されます。

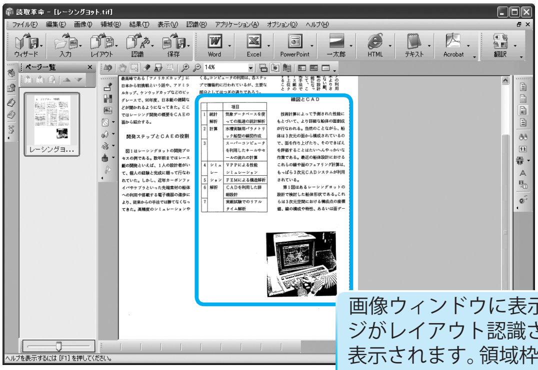
1 範囲指定する



2 [選択した領域] を選択する



3 実行結果



画像ウィンドウに表示されたページがレイアウト認識され、領域枠が表示されます。領域枠は文字や画像・図形・表などの属性ごとに色分けがなされ、それぞれに読取順序が設定されます。

読取順序

指定した範囲内に、既に領域枠が存在する状態で [選択した領域] を実行した場合、読取順序が変更される場合があります。
また、画像ウィンドウに、既に領域枠が存在し、領域枠を含まない範囲を指定した場合は、読取順序の最後に追加されます。

※読取順序は [領域]-[読取順序変更] で変更できます。
(☞「読取順序の変更」P.121)

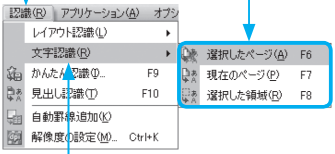
文字認識を行う

入力された画像に対して文字領域・表領域内の文字・図形領域を認識します。
ページ一覧ウィンドウで選択されたページ (画像) に対して実行されます。

1 文字認識を実行する

❶ [認識] をクリック

❷ [文字認識] を選択



❸いずれかを選択

選択したページ：
ページ一覧ウィンドウで選択されている画像を認識します。

現在のページ：
画像ウィンドウに表示されている画像を認識します。

選択した領域：
選択した領域だけを認識します。

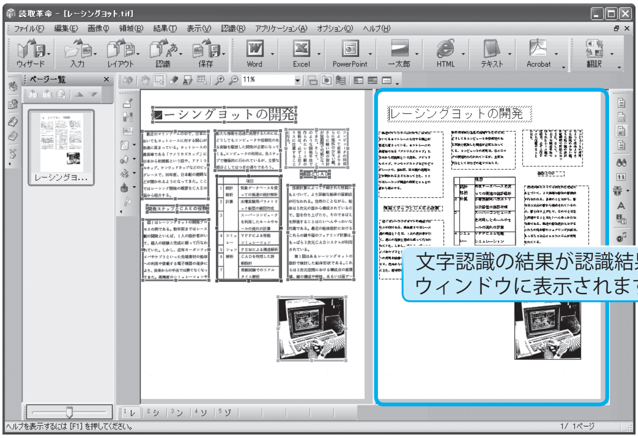
またはツールバーの

①▼をクリック

②いずれかを選択

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

2 実行結果



文字認識の結果が認識結果ウィンドウに表示されます。

■認識対象文字サイズ
認識の対象となる文字サイズは、6 ～ 60 ポイントです (400dpi の場合)。
文字サイズが認識対象外の場合、正しく認識されないことがあります。

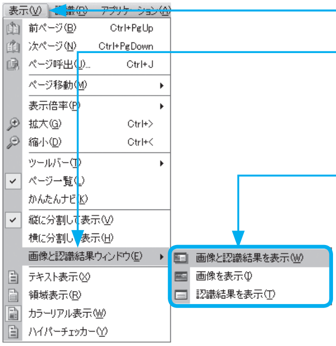
※レイアウト認識、または領域設定が行われていない場合は、自動的にレイアウト認識したあとに全領域が文字認識されます。

※認識結果の表示方法は 4 とおりあります。用途に合わせて表示を切り替え、効率よく操作を行ってください。
(☞「認識結果ウィンドウの表示を切り替える」P.72)

画像 / 認識結果ウィンドウを表示する

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウを任意に切り替えて画面に表示させることができます。
※ただし、認識結果がハイパーチェッカー表示の場合は、この機能は無効となります。

1 メニューを選択する



❶ [表示] をクリック

❷ [画像と認識結果ウィンドウ] を選択

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウを表示する場合

❸ [画像と認識結果を表示] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

画像ウィンドウを表示する場合

❸ [画像を表示] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

認識結果ウィンドウを表示する場合

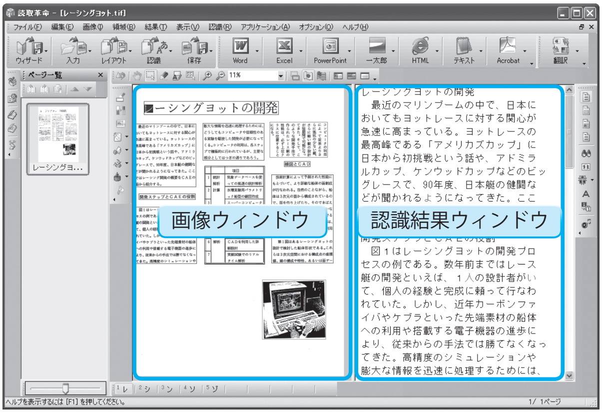
❸ [認識結果を表示] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

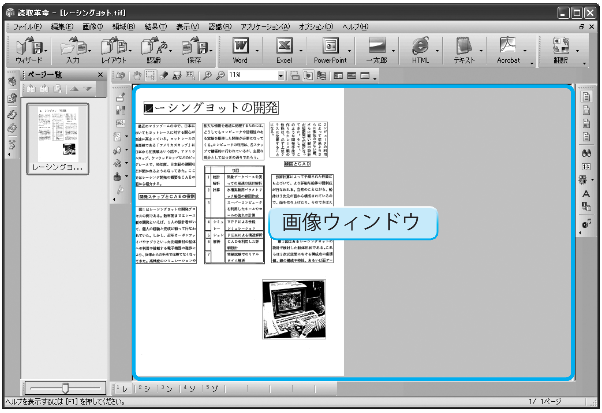
2 実行結果

■ [画像と認識結果を表示] を選択した場合
画像ウィンドウと認識結果ウィンドウを表示します。

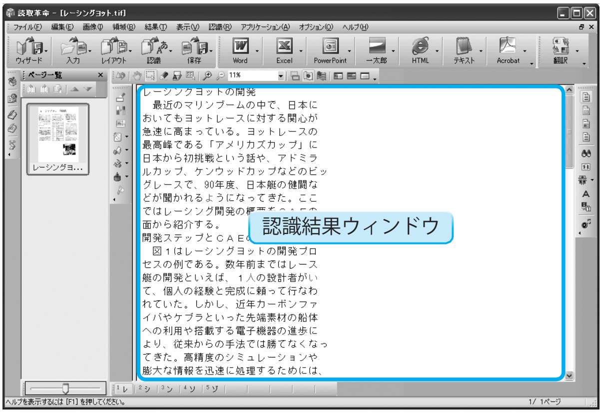


※認識結果の表示方法は、変更できます。
(☞「認識結果ウィンドウの表示を切り替える」P.72)

■ [画像を表示] を選択した場合
画像ウィンドウだけを表示します。



■ [認識結果を表示] を選択した場合
認識結果ウィンドウだけを表示します。



認識結果ウィンドウの表示を切り替える

「読取革命」では、認識結果ウィンドウでの表示を [テキスト表示]、[領域表示]、[カラーリアル表示]、[ハイパーチェッカー] から選択できます。

認識結果ウィンドウの表示
4 つの表示形式から選択できます。

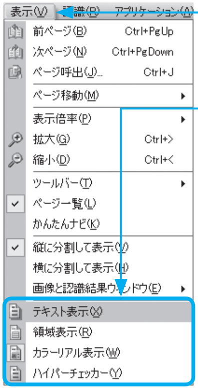
・[テキスト表示] 文字だけを表示

・[領域表示] レイアウトを表現

・[カラーリアル表示] 画像を忠実に表現

・[ハイパーチェッカー] 認識結果を画像のすぐ下に 1 行ずつ表示

1 メニューを選択する



❶ [表示] をクリック

テキストだけを表示する場合
❷ [テキスト表示] をクリック
または認識結果編集ツールバーの

ボタンをクリック

領域枠ごとに表示する場合
❷ [領域表示] をクリック
または認識結果編集ツールバーの

ボタンをクリック

領域枠の背面も含めてすべて表示する場合
❷ [カラーリアル表示] をクリック
または認識結果編集ツールバーの

ボタンをクリック

認識結果と画像を見比べたい場合
❷ [ハイパーチェッカー] をクリック
または認識結果編集ツールバーの

ボタンをクリック

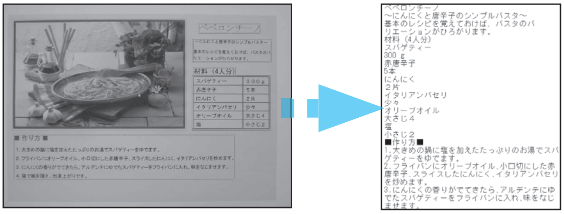
2 切り替え結果

テキスト表示

認識結果の文字だけを表示します。

※ [テキスト表示] の場合、認識結果ウィンドウの表示倍率は変更できません。
(☞「[表示] タブの設定」P.204)

※ [テキスト表示] の場合、認識結果文字列のフォント名・サイズ・文字色を変更できます。
(☞「フォントの設定」P.120)



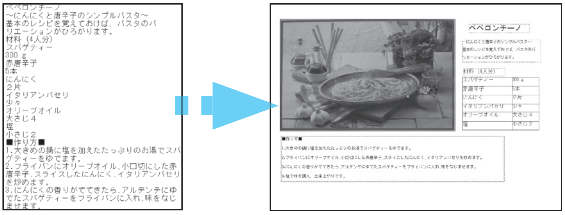
[カラーリアル表示] から [テキスト表示] に変更されます。

※ [領域表示] の場合、認識結果ウィンドウの表示倍率は、2 ～ 400％まで設定できます。(☞「[表示] タブの設定」P.204)

※ [領域表示] の場合、認識結果文字列のフォント名・サイズ・文字色・行間・文字間を変更できます。フォントを設定することで認識結果を読み込んだ画像により近付けることができます。
(☞「フォントの設定」P.120)

領域表示

縦書き・横書きなどのレイアウトが反映されます。
バックグラウンド (背景など) は表示されません。



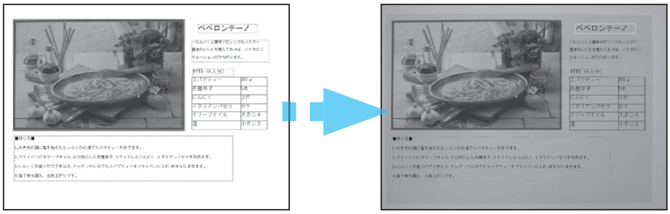
[テキスト表示] から [領域表示]
に変更されます。

※ [カラーリアル表示] の場合、認識結果ウィンドウの表示倍率は、2 ～ 400％まで設定できます。
(☞「[表示] タブの設定」P.204)

※ [カラーリアル表示] の場合、認識結果文字列のフォント名・サイズ・文字色・行間・文字間を変更できます。フォントを設定することで認識結果を読み込んだ画像により近付けることができます。
(☞「フォントの設定」P.120)

カラーリアル表示

縦書き・横書きなどのレイアウトが反映され、カラー画像などではバックグラウンド (背景など) が表示されます。
認識結果を読み込んだ画像に近い形で見ることができます。



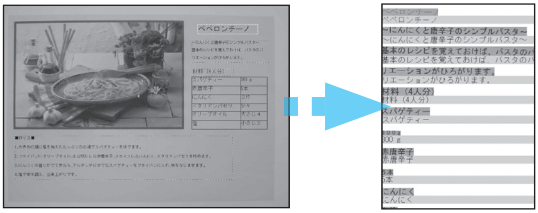
[領域表示] から [カラーリアル表示]
に変更されます。

※ [ハイパーチェッカー] の場合、認識結果ウィンドウの表示倍率は変更できませんが、文字サイズを変更することにより画面を見やすく調整できます。
(☞「フォントの設定」P.120)
(☞「[表示] タブの設定」P.204)

※ [ハイパーチェッカー] の場合、認識結果文字列のフォント名・サイズを変更できます。
(☞「フォントの設定」P.120)

ハイパーチェッカー

画像と認識結果が 1 行ずつ表示されます。画像と認識結果を比較しながら編集するときに便利です。この表示の場合、改行を入力できません。



[カラーリアル表示] から [ハイパーチェッカー]
に変更されます。

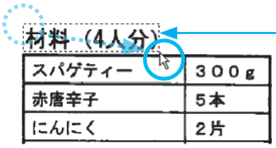
切り取り・コピー・貼り付けをする

画像ウィンドウや認識結果ウィンドウに表示された画像や文字列は、切り取り、コピー、貼り付けが行えます。

画像の切り取り・コピー・貼り付け

領域設定モード

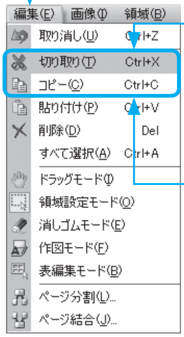
1 領域を設定する


材料（4人分）

スパゲティー	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片

画像ウィンドウ上でマウスの 左ボタンを押したまま、画像領域を指定する

2 メニューを選択する



❶ [編集] をクリック

切り取る場合

❷ [切り取り] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

コピーする場合

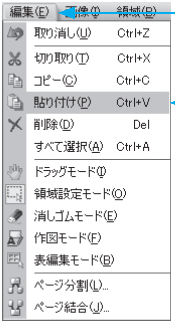
❷ [コピー] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

3 貼り付けを実行する



❶ [編集] をクリック

❷ [貼り付け] をクリック

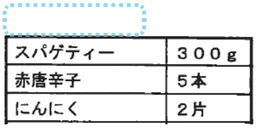
新規画像としてページ一覧ウィンドウに表示されます。

※「貼り付け」を行った場合、「解像度設定」ダイアログボックスが表示されます。(☞「解像度の設定」P.119)

切り取りとコピーの違い

■切り取りを選択した場合、指定した領域が切り取られ、クリップボードにコピーされます。

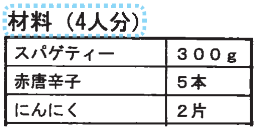
(切り取りの実行結果)



スパゲティー	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片

■コピーを選択した場合、指定した領域は切り取られず、クリップボードにコピーされます。

(コピーの実行結果)

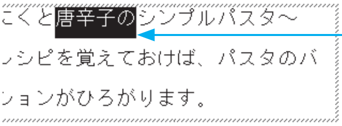

材料（4人分）

スパゲティー	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片

※「読取革命」以外の画像編集ソフトで切り取り、コピーされたクリップボード画像も「読取革命」で新規画像として入力できます。

文字列の切り取り・コピー・貼り付け

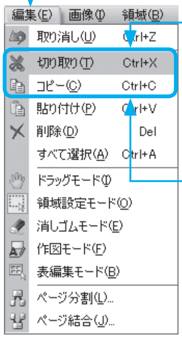
1 切り取る文字を指定する



認識結果ウィンドウで、コピー、または切り取りたい文字の前でマウスの 左ボタンをクリックしたままドラッグ

2 文字列を切り取る

❶ [編集] をクリック



切り取る場合

❷ [切り取り] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

コピーする場合

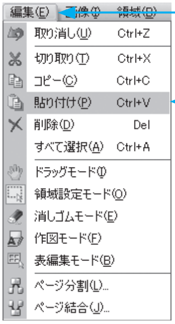
❷ [コピー] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

3 貼り付け先を選択し、実行する



❶ [編集] をクリック

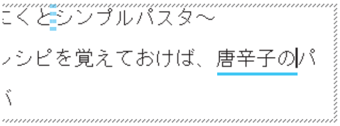
❷ [貼り付け] をクリック

コピーした場合は、指定した [唐辛子] という文字列はそのまま表示され、切り取りを行った場合は、[唐辛子] の文字列が切り取られます。

切り取りとコピーの違い

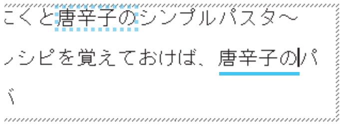
■切り取りを選択した場合、選択した文字列が切り取られ、クリップボードにコピーされます。

(切り取りの実行結果)



■コピーを選択した場合、選択した文字列は切り取られず、クリップボードにコピーされます。

(コピーの実行結果)



文字列をキー操作で編集するには

各項目に入力された文字列は、対象となる文字列を範囲選択して、以下の方法で編集できます。

【文字列の削除】

[Delete] キーまたは [BackSpace] キーを押す。

【文字列の切り取り】

[Ctrl]+[X] キーを押す。

【文字列のコピー】

[Ctrl]+[C] キーを押す。

【文字列の貼り付け】

[Ctrl]+[V] キーを押す。

削除する

画像ウィンドウに表示された領域枠や、認識結果ウィンドウの文字列を削除します。
※ページ一覧ウィンドウに表示されたページ (画像) を「読取革命」から削除するには「ページを閉じる」P.90 を参照してください。

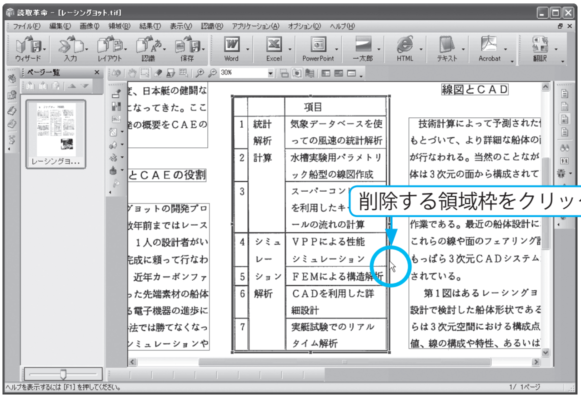
※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

※削除対象の領域枠に認識結果がある場合は確認のダイアログボックスが表示されます。

領域枠を削除する

領域設定モード

1 領域枠を選択する



2 [削除] を選択する

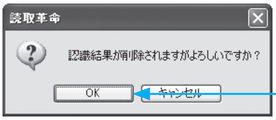
❶ [編集] をクリック

❷ [削除] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

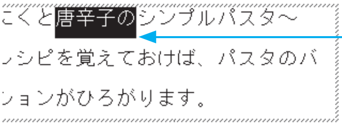
※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。



❸認識結果が不要な場合は [OK] をクリック

文字列を削除する

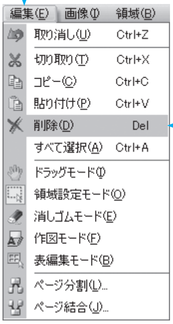
1 削除する文字を指定する



認識結果ウィンドウで、削除したい文字の前でマウスの左ボタンをクリックしたままドラッグする

2 [削除] を選択する

❶ [編集] をクリック



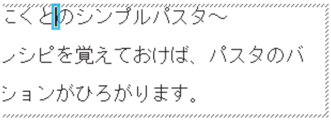
❷ [削除] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

3 実行結果



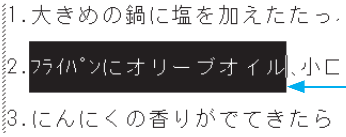
[唐辛子] の文字列が削除されます。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

半角・全角を変換する

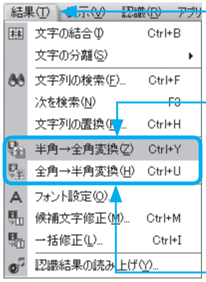
選択された文字列に対して、半角や全角文字に変換できます。変換対象となる文字列は、アルファベット・数字・記号 (一部)・カタカナとなります。

1 文字列を選択する



文字列を選択

2 メニューを選択する



❶ [結果] をクリック

半角から全角へ変換する場合

❷ [半角→全角変換] をクリック

または認識結果編集ツールバーの

ボタンをクリック

全角から半角へ変換する場合

❷ [全角→半角変換] をクリック

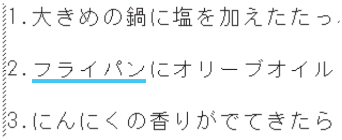
または認識結果編集ツールバーの

ボタンをクリック

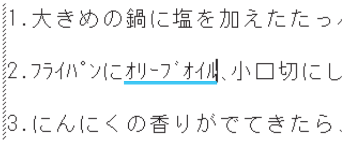
※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

3 実行結果

■半角→全角変換を実行した場合



■全角→半角変換を実行した場合



選択された文字列内の対象文字は、全角、または半角文字に変換されます。

修正機能で認識結果を編集する

「読取革命」には、認識結果の文字列に対して自動で文字を修正する「一括修正」や「候補文字修正」があります。

[一括修正] と [文字列の置換] の違い

■ [一括修正]

「読取革命」の認識結果を対象にして修正を行います。修正対象の文字画像と認識結果を確認しながら修正できます。固有名詞や旧字体など、認識結果からだけでは、正しいか正しくないか判断しにくい文字を含んでいる場合には [一括修正] で修正することをお勧めします。
既に一括修正で修正された文字や、キーボードから直接入力された文字は [一括修正] の対象になりません。[文字列の置換] を行ってください。

■ [文字列の置換]

認識結果ウィンドウに表示されている文字列を対象にして、置換を行います。

修正対象からはずすには

①修正したくない文字画像をクリック
→反転表示されます。

② [修正対象からはずす] をクリックまたは、①を行わずに修正したくない文字画像をダブルクリック。
→はずした文字画像はリストから削除されます。

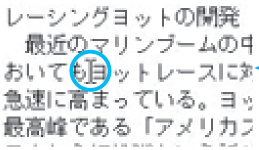
複数画像を選択する場合

- **離れた画像を指定する**
  [Ctrl] キーを押したまま画像を 1 つずつクリックすると任意の画像を複数選択されます。
- **連続した画像を指定する**
  初めの画像をクリックし、[Shift] キーを押したまま最後の画像をクリックすると、間に挟まれた画像がすべて選択できます。

一括修正で複数の文字を一度に修正する

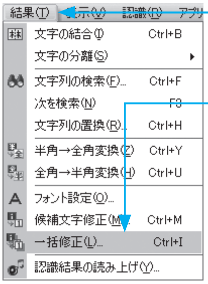
形状の似た文字を検索し、一括して修正する機能です。修正作業を効率的に行うことができます。
一括修正の対象は表示しているページだけです。

1 修正したい文字を指定する



認識結果ウィンドウで、修正したい文字の前に カーソルをおく

2 [一括修正] を選択する



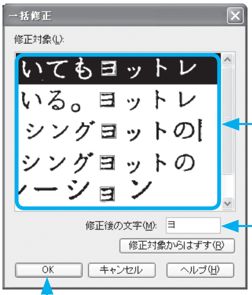
❶ [結果] をクリック

❷ [一括修正] をクリック

または認識結果編集ツールバーの

ボタンをクリック

3 一括修正を実行する



修正対象の文字画像が表示されます。
□で囲まれているのが修正対象文字です。

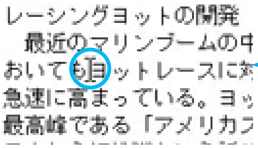
❶ [修正後の文字] に正しい文字を入力

❷ [OK] をクリック

候補文字修正で 1 文字ずつ修正する

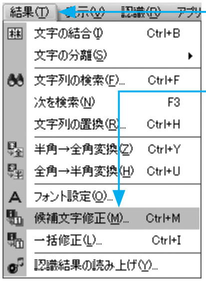
「読取革命」は、1 つの文字画像に対して複数の候補文字を選び出し、その中で最も近いと思われる文字を認識結果として表示します。認識結果が正しくないときは、候補文字の一覧を表示させ、その中から正しい文字を選択して修正できます。

1 修正したい文字を指定する



認識結果ウィンドウで、修正したい文字の前に カーソルをおく

2 [候補文字修正] を選択する



❶ [結果] をクリック

❷ [候補文字修正] をクリック

または、修正したい文字の左側にマウスカーソルを当て、ダブルクリック。

または認識結果編集ツールバーの

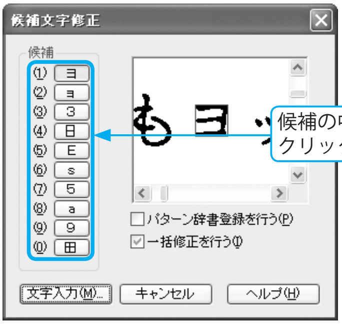
ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

※ [候補文字修正] 以外の場所をクリックすると、表示中の [候補文字修正] は閉じます。

※英語認識モードで認識すると候補文字は、表示されません。

3 正しい文字を設定する



候補の中から正しい文字をクリック

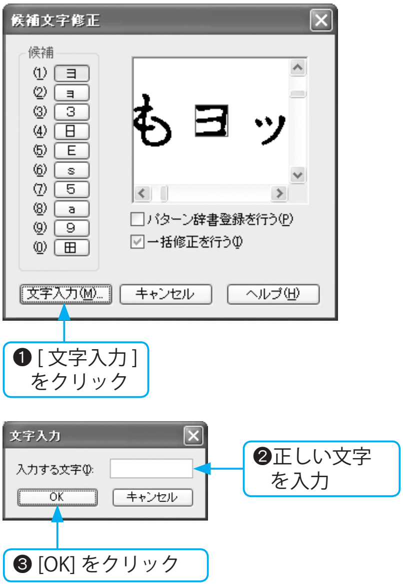
※候補文字の中に正しい文字がない場合は、次ページを参照してください。

■ [パターン辞書登録を行う]
チェックボックスをクリックしてオンにすると候補文字修正を行った文字画像と修正文字とを関連づけて、パターン辞書へ登録します。
(☞「パターン辞書」P.190)

■ [一括修正を行う]
チェックボックスをクリックしてオンにすると候補文字修正が行われる際に、「一括修正」ダイアログボックスが開き、修正対象の文字画像と似た複数の文字画像の認識結果も一度に修正できます。
(☞「一括修正で複数の文字を一度に修正する」P.79)

候補文字一覧に正しい文字がない場合

候補文字に正しい文字がない場合は、手動で文字を入力できます。



■ [文字入力]
[文字入力] で修正できるのは、1 回の操作で 1 文字だけです。修正したい文字が複数ある場合は、1 文字ずつ候補文字修正を行ってください。

ツールバーから候補文字を選択する場合

認識結果文字列を選択すると、「読取革命」ウィンドウ下に候補文字修正のツールバーが表示されます。

※ツールバーに候補文字が最大 10 文字まで表示されます。
正しい文字をクリックして、修正できます。

※候補文字のフォントサイズは、「環境設定」ダイアログボックスで変更できます。
(☞「[表示] タブ」P.204)

検索する

指定した文字列を認識結果の中から検索します。
事前に認識結果ウィンドウをクリックしておく必要があります。

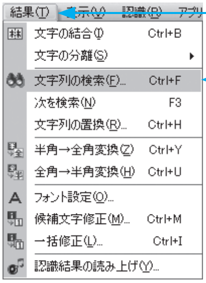
■ [単語単位で探す]
チェックボックスをクリックしてオンにすると、入力した文字列と完全に一致する単語だけを検索します。入力した文字列より長い単語は、一部が一致していても検索されません。
例 [該当] と入力した場合
→ [該当事項] は検索されません。

■ [大文字と小文字を区別する]
チェックボックスをクリックしてオンにすると、アルファベットやカタカナの大文字と小文字を区別した検索を行います。

※「検索」ダイアログボックスを開く前に認識結果ウィンドウ内で文字列を範囲指定しておけば、その文字列が [検索する文字列] に自動的に入力されます。

※「検索」ダイアログボックスを閉じたあとも、検索する文字列は記憶されています。[結果] メニューの [次を検索] をクリックするか、[F3] キーを押すと検索します。

1 [文字列の検索] を選択する



❶ [結果] をクリック

❷ [文字列の検索] をクリック

または認識結果編集ツールバーの

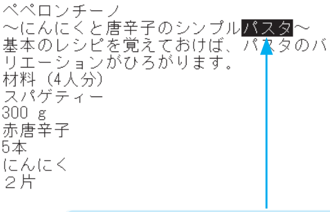
ボタンをクリック

2 検索の設定をし、実行する

❷ [次を検索] をクリック

❶検索する文字列を入力

3 実行結果



検索された文字列が反転表示されます。
[次を検索] をクリックすると、別の場所にある文字列を検索して反転表示します。

置換する

指定した文字列を別の文字列に置き換えます。
事前に認識結果ウィンドウをクリックしておく必要があります。

[文字列の置換] と [一括修正] の違い

- [文字列の置換]

  認識結果ウィンドウに表示されている文字列を対象にして、置換を行います。

- [一括修正]

  「読取革命」の認識結果を対象にして修正を行います。修正対象の文字画像と認識結果を確認しながら修正できます。固有名詞や旧字体など、認識結果からだけでは、正しいか正しくないか判断しにくい文字を含んでいる場合には [一括修正] で修正することをお勧めします。
  既に一括修正で修正された文字や、キーボードから直接入力された文字は [一括修正] の対象になりません。[文字列の置換] を行ってください。

■ [単語単位で探す]
前ページを参照してください。

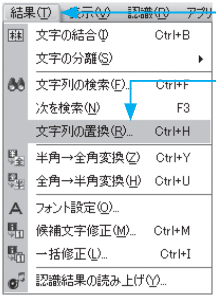
■ [大文字と小文字を区別する]
前ページを参照してください。

検索する文字列を確認してから置換する場合

① [次を検索] をクリック

② 反転表示されている文字列を置換する場合は [置換して次に] をクリック。置換しないで次の置換対象文字列を見る場合は [次を検索] をクリック。

1 [文字列の置換] を開く



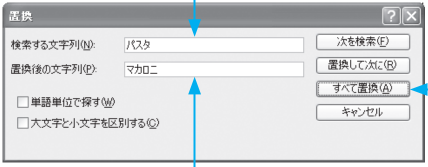
❶ [結果] をクリック

❷ [文字列の置換] をクリック

2 置換の設定をし、実行する

❶検索する文字列を入力

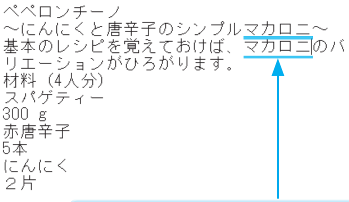
または、[置換] を開く前に文字列を範囲指定しておけば、その文字列が [検索する文字列] に自動的に入力されます。



❸ [すべて置換] をクリック

❷置換後の文字列を入力

3 実行結果

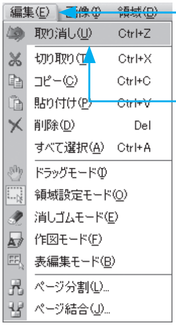

ペペロンチーノ
〜にんにくと唐辛子のシンプルマカロニ〜
基本のレシピを覚えておけば、マカロニのバ
リエーションがひろがります。
材料（4人分）
スパゲティー
300 g
赤唐辛子
5本
にんにく
２片

対象となった文字列がすべて置換されます。

取り消し

直前に行った領域枠の編集・属性変更・表編集・読取順序の変更・画像編集などの操作を取り消して、操作を 1 つ前の状態に戻します。
※「取り消し」は、一部の機能にだけ有効です。

1 操作を取り消す



❶ [編集] をクリック

❷ [取り消し] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

※ 2 つ以上前の状態に戻すことはできません。
「取り消し」は直前に行った編集操作に対してだけ有効です。

保存する

「読取革命」に入力した画像は画像ファイルに、また認識結果は対応するアプリケーション形式のファイルに保存できます。認識結果は単ページだけでなく、複数ページの認識結果も 1 つのファイルへ保存できます。
用途に応じてレイアウトの再現が可能な形式や、テキストだけを保存する形式を選択してください。
保存できるファイル形式の説明は「用語解説」P.271 に記載しています。

選択できる保存ファイル形式

- TIFF ファイル (*.tif,*.tiff)(注)
- TIFF[非圧縮] ファイル (*.tif,*.tiff)
- BMP ファイル (*.bmp)
- DCX ファイル (*.dcx)
- PCX ファイル (*.pcx)
- JPEG ファイル (*.jpg,*jpeg)

ファイル形式についての説明は、「用語解説」P.271 に記載しています。

(注) カラー画像の場合は、TIFF[JPEG 圧縮] で保存されます。白黒画像 (2 値画像) の場合は、TIFF[G4 圧縮] で保存されます。

異なる形式のファイルから入力した複数ページの画像を 1 つのファイルに保存する場合

TIFF または DCX 形式で保存してください。

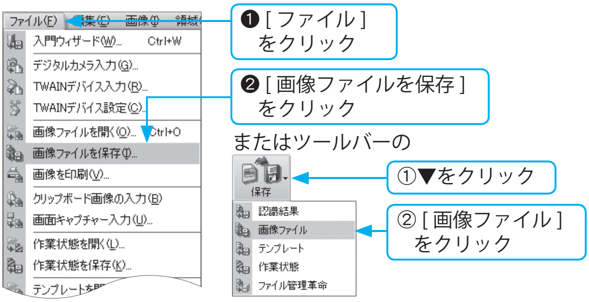
現在表示されているページの画像だけを保存する場合

BMP/PCX/JPEG 形式で保存します。この形式で複数ページの保存はできません。複数ページ保存の場合は、ページごとにファイルを作って保存してください。

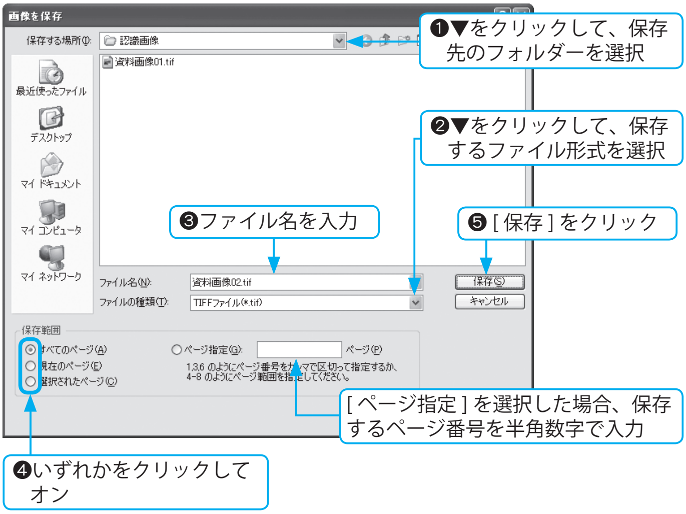
※保存先フォルダーに、同名・同形式のファイルが存在する場合は、上書き確認のダイアログボックスが表示されます。

画像の保存

1 メニューを選択する



2 画像ファイルを保存する



■保存範囲

[すべてのページ]：ページ一覧ウィンドウに表示されたすべての画像
[現在のページ]：画像ウィンドウに表示された画像
[選択されたページ]：ページ一覧ウィンドウで選択されたページの画像
[ページ指定]：指定されたページに該当する画像

選択できる保存ファイル形式の詳細

●レイアウト枠付き文書で出力する場合
・Microsoft Word 文書 (*.doc)
・Microsoft Excel 文書 (*.xls)
・Microsoft PowerPoint 文書 (*.ppt)
・書式付きファイル (*.rtf)
・一太郎ファイル (*.jtd)

●レイアウト枠なし文書で出力する場合
・Microsoft Word(本文) 文書 (*.doc)
・一太郎 (本文) ファイル (*.jtd)
※表・画像・図形は、レイアウト枠付きで出力されます。

● PDF ファイルに出力する場合
PDF ファイルの文字 (認識結果) は、テキストのコピーおよび検索が可能です。

・PDF ファイル (*.pdf)
元画像の上に文字認識で再現された文字色の認識結果を重ねて出力します。

・PDF(透明文字) ファイル (*.pdf)
元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。元画像がそのままPDF ファイルに再現されます。

・PDF(高圧縮) ファイル (*.pdf)
カラー画像やグレースケール画像のファイルサイズを小さく抑えて出力します。文字画像と背景画像を分離し、それぞれ適した圧縮率でファイルが作成されるため、文字をはっきりと表示できます。文字画像と背景画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

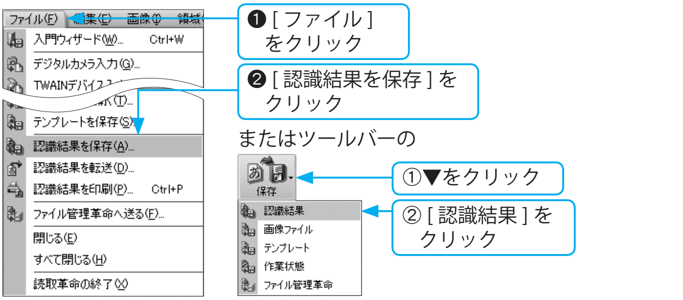
●インターネットのホームページ文書に出力する場合
・HTML 文書 (*.htm)
・XML 文書 (*.xml)

■ページ区切り
・TXT/CSV の場合
ページの切れ目には改行が挿入されます。
・RTF の場合
ページの切れ目にはページ区切り記号が挿入されます。

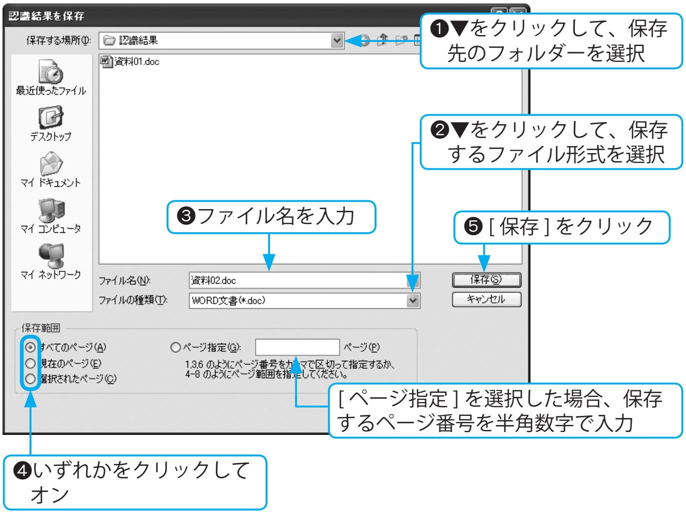
※保存先フォルダーに、同名・同形式のファイルが存在する場合は、上書き確認のダイアログボックスが表示されます。

認識結果の保存

1 メニューを選択する



2 保存する



■保存範囲
[すべてのページ]：文字認識を行ったすべてのページの認識結果
[現在のページ]：認識結果ウィンドウに表示された認識結果
[選択されたページ]：ページ一覧ウィンドウで選択されたページの認識結果
[ページ指定]：指定されたページに該当する認識結果

転送する

認識結果を他のアプリケーションに転送します。
転送が完了すると、転送先のアプリケーションが自動で起動し、認識結果のファイルを開きます。
Word 形式、Excel 形式、PowerPoint 形式、RTF 形式、一太郎形式、PDF 形式、HTML 形式、XML 形式で転送すると、画像領域や元のレイアウトを再現できます。
※アプリケーションがインストールされていない場合、転送できません。

選択できる転送ファイル形式の詳細

●レイアウト枠付き文書で出力する場合
- Microsoft Word 文書 (*.doc)
- Microsoft Excel 文書 (*.xls)
- Microsoft PowerPoint 文書 (*.ppt)
- 書式付きファイル (*.rtf)
- 一太郎ファイル (*.jtd)

●レイアウト枠なし文書で出力する場合
- Microsoft Word(本文) 文書 (*.doc)
- 一太郎 (本文) ファイル (*.jtd)

※表・画像・図形は、レイアウト枠付きで出力されます。

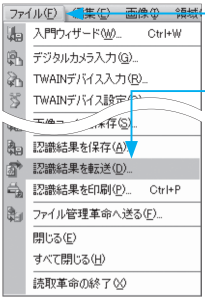
● PDF ファイルに出力する場合
PDF ファイルの文字 (認識結果) は、テキストのコピーおよび検索が可能です。

- PDF ファイル (*.pdf)
  元画像の上に文字認識で再現された文字色の認識結果を重ねて出力します。
- PDF(透明文字) ファイル (*.pdf)
  元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。元画像がそのまま PDF ファイルに再現されます。
- PDF(高圧縮) ファイル (*.pdf)
  カラー画像やグレースケール画像のファイルサイズを小さく抑えて出力します。文字画像と背景画像を分離し、それぞれ適した圧縮率でファイルが作成されるため、文字をはっきりと表示できます。文字画像と背景画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

●インターネットのホームページ文書に出力する場合
- HTML 文書 (*.htm)
- XML 文書 (*.xml)

■ページ区切り
- TXT/CSV の場合
  ページの切れ目には改行が挿入されます。
- RTF の場合
  ページの切れ目にはページ区切り記号が挿入されます。

1 メニューを選択する



❶ [ファイル] をクリック
❷ [認識結果を転送] をクリック

または、転送先アプリツールバーに表示されているアプリケーションのボタンをクリックすると、レイアウト認識・文字認識・転送までを自動で行います。
既に認識が行われている場合は、転送だけを行います。

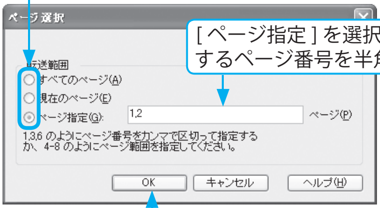
2 転送先アプリケーションを選択する

❶転送先アプリケーション名をクリック

❷ [OK] をクリック

3 転送するページを選択する

❶いずれかをクリックしてオン



[ページ指定] を選択した場合、転送するページ番号を半角数字で入力

❷ [OK] をクリック

印刷する

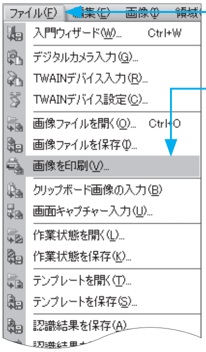
入力した画像や、認識結果は印刷できます。
認識結果の印刷は認識結果ウィンドウに表示されている内容と同じものが印刷されます。

※表示モードがハイパーチェッカーの場合は印刷できません。ほかの表示モードに切り替えてから印刷を行ってください。

画像の印刷

ページ一覧ウィンドウに表示されている画像を印刷します。

1 メニューを選択する



❶ [ファイル] をクリック

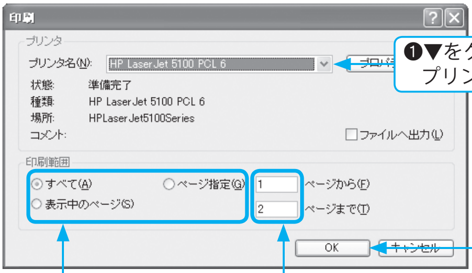
❷ [画像を印刷] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

2 印刷の設定をする



❶▼をクリックし、使用するプリンタ名を選択

❷いずれかをクリックしてオン

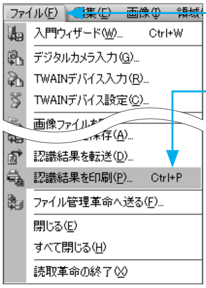
[ページ指定] を選択した場合、印刷するページ番号を半角数字で入力

❸ [OK] をクリック

認識結果の印刷

認識結果の印刷は認識結果ウィンドウで表示されている表示と同じように印刷されます。(☞「認識結果ウィンドウの表示を切り替える」P.72)

1 メニューを選択する



❶ [ファイル] をクリック

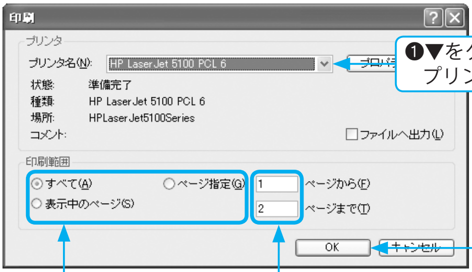
❷ [認識結果を印刷] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

2 印刷の設定をする



❶▼をクリックし、使用するプリンタ名を選択

❷いずれかをクリックしてオン

[ページ指定] を選択した場合、印刷するページ番号を半角数字で入力

❸ [OK] をクリック

未確定文字がある場合

テキスト表示は未確定文字に下線が付いて印刷され、領域表示・カラーリアル表示の場合は、未確定文字の背景が灰色で印刷されます。
(☞「[一般] タブの設定」P.203)

※表示モードがハイパーチェッカーの場合は印刷できません。ほかの表示モードに切り替えてから印刷を行ってください。

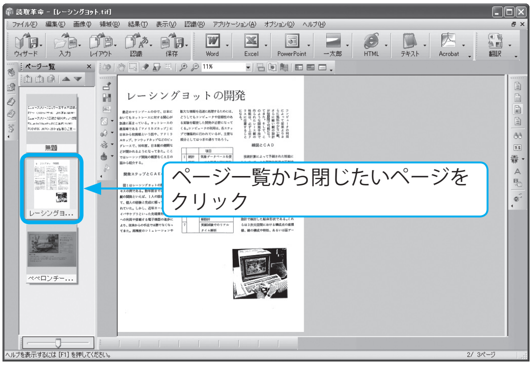
ページを閉じる

任意のページを「読取革命」から閉じます。
ファイルに保存されていれば、[画像ファイルを開く] を実行することで再び読み込むことができます。
スキャナーやデジタルカメラから直接読み込んだ画像や保存していない修正部分・認識結果は削除されますので、必要があればファイルに保存するか他のアプリケーションへ転送しておいてください。

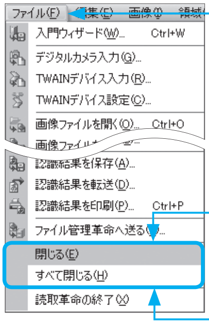
同じファイルから複数読み込んでいる場合

ファイル名は同じですが、「読取革命」上では、別ページ扱いとなりますので、ページ表示で選択しているものだけを閉じます。

1 ページを指定する



2 [閉じる] または [すべて閉じる] を選択する



❶ [ファイル] をクリック

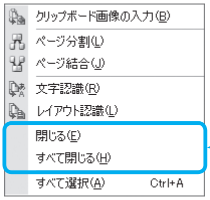
選択したページだけを閉じる場合

❷ [閉じる] をクリック

すべてのページを閉じる場合

❷ [すべて閉じる] をクリック

またはページ一覧ウィンドウの任意のページ上でマウスの右ボタンをクリック



いずれかを選択

終了する

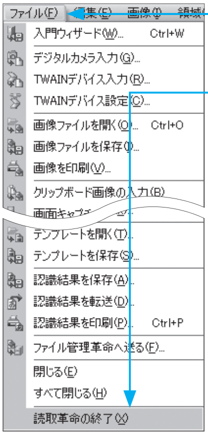
「読取革命」を終了します。

保存確認ダイアログボックスの表示

・[環境設定] で表示のオン / オフを設定できます。(☞「[認識結果・画像の保存] タブの設定」P.208)

・文字認識を行っていない場合は、「認識結果を保存しますか ?」というメッセージダイアログボックスは表示されません。

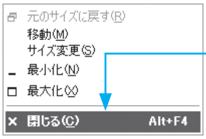
1 メニューを選択する



❶ [ファイル] をクリック

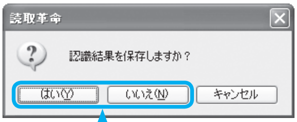
❷ [読取革命の終了] をクリック

またはウィンドウのコントロールメニューの



[閉じる] をクリック

2 画像・認識結果の保存を確認する



保存する場合は [はい] をクリック
保存しない場合は [いいえ] をクリック

このページは空白ページです。

応用操作

領域枠の設定 94
　領域枠の作成 94
　領域枠の選択 95
　領域枠のサイズ変更 96
　領域枠の統合 97
　領域枠の削除 97
　領域枠の属性変更 98
認識モードを変更する 101
文字の結合をするには 102
文字の分離をするには 103
　2 文字に分離する 103
　3 文字に分離する 104
表を編集する 105
自動罫線追加 106
見出し認識 107
認識結果の読み上げ 108
認識結果の翻訳 109
作業ファイルを保存して作業を中断する 110
作業ファイルを開いて作業を再開する 111
テンプレートで同じ形式のページを認識する 112
　テンプレートを保存する 112
　テンプレートを開く 113
ページを分割する 114
ページを結合する 116
解像度の設定 119
フォントの設定 120
読取順序の変更 121
転送先アプリの設定 122
　転送先アプリケーションの追加 122
　転送先アプリケーションの変更 124
　転送先アプリケーションの削除 125
画像・認識結果ウィンドウを上下に並べるには 126
ツールバーのカスタマイズ 127
ファイル管理革命へ送る 129

領域枠の設定

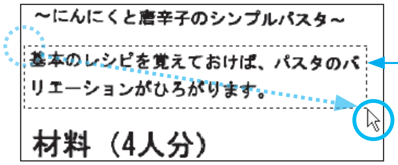
複雑なレイアウトの原稿は、手動で領域設定を行うことができます。また、誤った認識をした領域枠の属性を変更して、認識実行前に正しい属性に手動で設定します。
※領域枠とは、認識させる範囲を指定するものです。

領域設定モード

領域枠の作成

認識させる範囲を、範囲指定する要領で作成します。

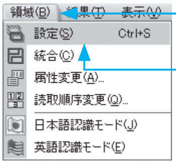
1 範囲指定する



領域枠を範囲指定する

※ (☞「領域の範囲指定」P.156)

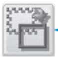
2 領域として確定する



❶ [領域] をクリック

❷ [設定] をクリック

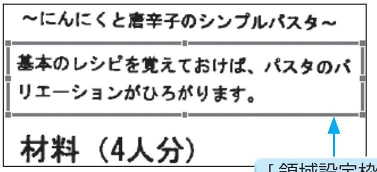
または標準ツールバーの



ボタンをクリック

または、範囲指定をして、画像ウィンドウ上の領域外をクリックします。

3 実行結果



[領域設定枠] が表示されます。領域枠が太くなり、枠上に■が表示されます。

※ここで設定した領域の属性は「属性変更」ダイアログボックスで設定された規定値 (領域設定や領域統合を行ったときに用いられる属性) が反映されます。
[領域属性] で [自動判定] が選択されている場合は、属性は自動で判定されます。

※領域の属性を変更する
(☞「領域枠の属性変更」P.98)

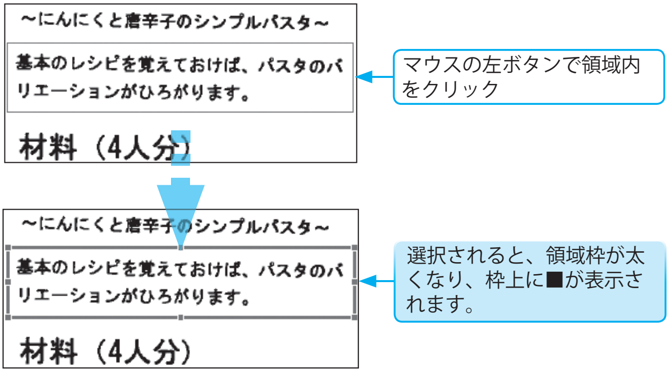
※領域を削除する
(☞「領域枠の削除」P.97)

領域枠の選択

領域を確定したあとの領域の属性・サイズ変更や、領域を限定した文字認識をさせるには領域を選択しておく必要があります。選択方法には、クリックによる選択と範囲指定による選択の 2 とおりがあります。

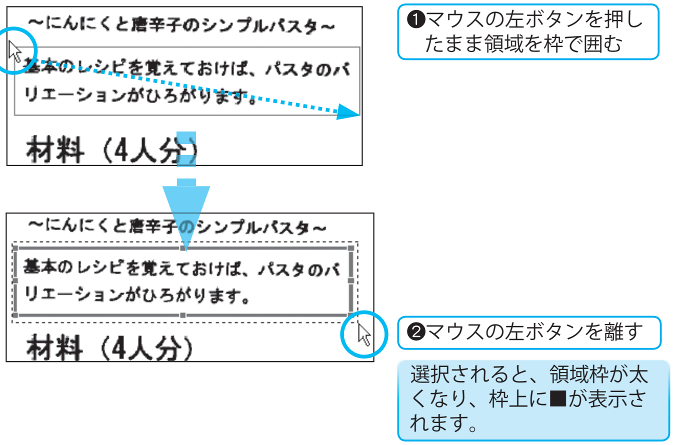
クリックによる選択

1 クリックで選択する



範囲指定による選択

1 範囲指定で選択する



複数の領域を選択する場合

2 つ目以降の領域を選択するには [Shift] キーを押したまま別の領域枠をクリックします。

または、1 つのときと同様に、選択したい複数の領域を 1 つの枠で囲んでください。

すべての領域を一度に選択する場合

画像ウィンドウをクリックして、[編集] メニューの [すべて選択] を実行します。

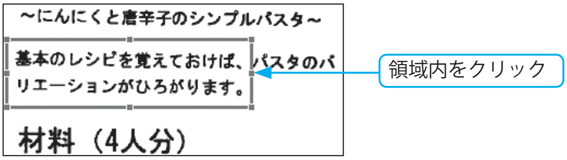
選択を解除する場合

画像ウィンドウ上の領域外をクリックします。複数の領域を選択していて、1 つだけ解除したい場合は、[Shift] キーを押したまま、解除したい領域の内側をクリックします。

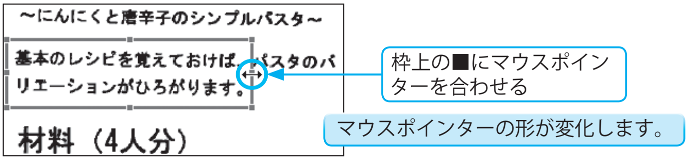
領域枠のサイズ変更

指定した領域枠のサイズを変更します。

1 領域を選択する

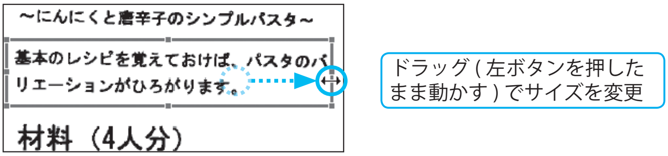


2 サイズ変更の方向を決める



※縦のサイズを変える場合は「上」または「下」の■に
横のサイズを変える場合は「左」または「右」の■に
縦横を同時に変える場合は四隅のいずれかの■に合わせてください。

3 サイズを変える



※領域サイズの変更は、1 領域ごとに行ってください。複数領域を選択しても、同時に変更は行えません。

※サイズ変更した領域の認識結果は削除されます。再度、文字認識を実行してください。

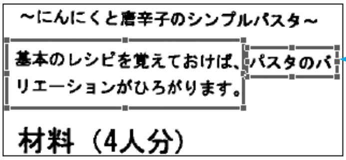
※領域枠を移動させるには、領域枠の■以外の場所にマウスポインターを合わせ、ドラッグします。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

領域枠の統合

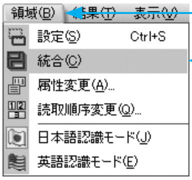
複数の領域枠を 1 つにまとめます。

1 2 つ以上の領域を選択する



[Shift] キーを押したまま各領域をクリック
または、領域枠を範囲選択し複数選択

2 統合する



❶ [領域] をクリック

❷ [統合] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

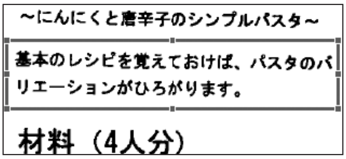
※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

※統合された領域の属性は、選択した領域の中でもっとも読取順序が早い値の領域属性を継承します。統合後の属性は変更できます。
(☞「領域枠の属性変更」P.98)

※統合された領域の認識結果は削除されます。
再度、文字認識を実行してください。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

3 実行結果

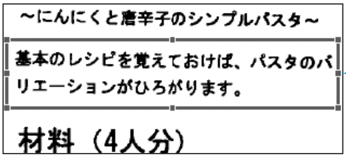


領域 1 と領域 2 が 1 つの領域に統合されます。

領域枠の削除

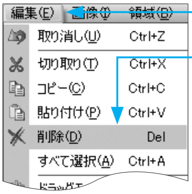
指定した領域枠を削除します。

1 領域を選択する



マウスで領域内をクリック

2 削除する



❶ [編集] をクリック

❷ [削除] をクリック

または、[Delete] キーを押します。

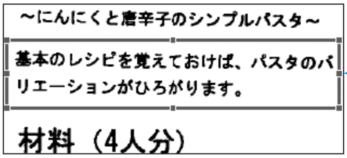
※削除された領域の認識結果は、削除されます。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

領域枠の属性変更

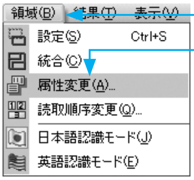
指定した領域枠の属性を変更します。

1 領域を選択する



領域内をクリック

2 [属性変更] を選択する



❶ [領域] をクリック

❷ [属性変更] を
クリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

※領域の属性を変更せずに、規定値だけを変更したい場合、領域の外側をダブルクリックして「属性変更」ダイアログボックスを開き、設定を行ってください。

3 設定を変更する

❶各グループの項目について
いずれか 1 つのラジオ
ボタンをクリック

❷ [OK] をクリック

※ [領域属性]-[自動判定] を選択すると、範囲指定した領域の属性が自動判定されます。

■ [規定値として設定]
チェックボックスをクリックし、オンにして設定を終了すると、新しい設定を規定値として登録します。

■ [単語辞書と照合する]
チェックボックスをクリックしてオンにすると、単語辞書を参照しながら文字認識が行われます。頻繁に出てくる単語を単語辞書に登録しておくと認識率が向上します。

■ [変換] タブ
認識結果のスタイル (改行・空白・全角 / 半角など) の設定を行うことができます。
(☞「[変換] タブの詳細」P.100)

■ [認識] タブの詳細

領域属性

領域枠内に何が書かれているのかを限定します。

[自動判定]：[レイアウト認識] で自動判定された領域属性を適用して文字認識を行います。規定値は [自動判定] になっています。既存の領域の属性は、[自動判定] に変更できません。

[文字]：文字領域として、文字認識を行います。

[表]：表領域として、文字認識を行います。

[画像]：画像領域になります。文字認識の対象とはなりません。

[図形]：直線や点、円などで構成されている領域として、認識を行います。

[手書き]：1 行の手書き文字範囲を選択して、文字認識を行います。読み込んだ画像に手書き文字が含まれている場合に使用できます。

※ただし、認識可能な文字種は、アルファベット・数字・記号となります。

※文字認識の対象は [文字]、[表]、[手書き] 領域です。

※ [自動判定] では、手書き文字を [手書き] の属性として認識できません。

認識モード

認識する言語を限定します。

[日本語]：日本語領域として、文字認識を行います。

[英語]：英語領域として、文字認識を行います。

英文書の場合

認識モードを [英語] にしてください。[英語] を選択すると、英文書専用の文字認識が行われるため、[日本語] の場合よりも認識率が向上します。認識モードを [英語] にした場合、文字種、文字方向は指定できません。

日英混合文書の場合

認識モードを [日本語] にしてください。

文字種

認識する文字の種類を限定します。

[ひらがな]：ひらがなの領域として、文字認識を行います。

[カタカナ]：カタカナの領域として、文字認識を行います。

[漢字]：漢字の領域として、文字認識を行います。

[アルファベット]：アルファベットの領域として、文字認識を行います。

[数字]：数字の領域として、文字認識を行います。

[記号]：記号の領域として、文字認識を行います。

[ユーザー定義]：任意の全角文字を定義して、文字認識を行います。

文字方向

認識する文字方向 (横書き / 縦書き) を指定できます。

[自動判定]：[レイアウト認識] で自動判定された文字の方向を適用して、文字認識を行います。

[横書き]：横書きの文書として、文字認識を行います。

[縦書き]：縦書きの文書として、文字認識を行います。

読取順序

選択した領域の文字認識する順序を変更します。

▲▼をクリックして変更するか、数字を入力して読取順序を変更します。

※全領域の読取順序を変更するには
(☞「読取順序の変更」P.121)

改行の例

原文

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[行毎]

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[なし]

今日は良い天気だ。散歩にでも行こう。

[自動判定]

今日は良い天気だ。
散歩にでも行こう。

※認識結果ウィンドウの幅が狭いと、見かけ上、設定とは異なるところで次の行へ送られることがあります。幅の調整をしてください。

空白 (先頭) の例

原文　__今日は良い天気だ。

[あり]__今日は良い天気だ。

[なし] 今日は良い天気だ。

空白 (文字間) の例

原文　A__B__C

[あり]A__B__C

[なし]ABC

原稿どおりにしたい場合の設定例

[改行] →行毎

[空白 (先頭・文字間)] →なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→自動判定

文書サイズを小さくしたい場合の設定例

[改行] →なし

[空白 (先頭・文字間)] →なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→半角

英文書の設定例

[改行] →自動判定

[空白 (先頭・文字間)] →なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→自動判定

■ [変換] タブの詳細

改行

改行の設定を行います。

[行毎]：行ごとに改行します。
[なし]：改行しません。
[自動判定]：行ごとに改行の必要性を自動判定します。

空白 (先頭)

行頭に空白を挿入する設定を行います。

[あり]：行頭に空白を挿入します。
[なし]：行頭に空白を挿入しません。

空白 (文字間)

文字間に空白を挿入する設定を行います。

[あり]：文字間に空白を挿入します。
[なし]：文字間に空白を挿入しません。

アルファベット

アルファベットの表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：アルファベットをすべて全角にします。
[半角]：アルファベットをすべて半角にします。
[自動判定]:画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

数字

数字の表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：数字をすべて全角にします。
[半角]：数字をすべて半角にします。
[自動判定]:画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

記号

記号の表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：記号をすべて全角にします。
[半角]：記号をすべて半角にします。
[自動判定]:画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

カタカナ

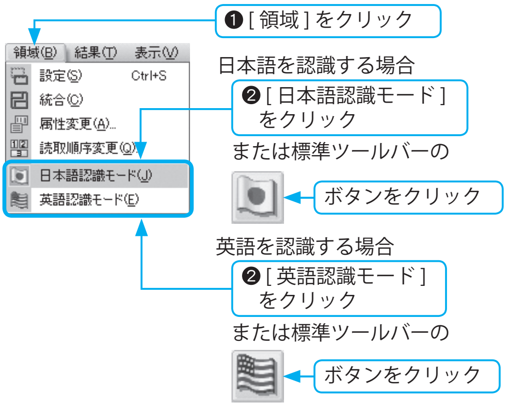
カタカナの表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：カタカナをすべて全角にします。
[半角]：カタカナをすべて半角にします。
[自動判定]:画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

認識モードを変更する

認識モードには、日本語と英語の 2 種類があります。文字領域のレイアウト属性は、レイアウト認識前に設定されている認識モードによって決まります。原稿内に日本語が多い場合は、[日本語認識モード] で、また、英語だけの原稿は [英語認識モード] で認識を実行されることをお勧めします。

1 認識モードを選択する

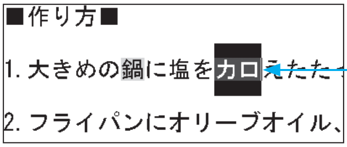


※レイアウト認識後、領域枠を選択すると個別に認識モードの変更が行えます。(☞「領域枠の属性変更」P.98)

文字の結合をするには

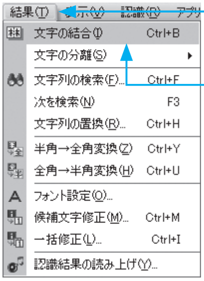
複数の文字列として認識された文字を、1 つの文字として再認識させることができます。

1 文字列を指定する



認識結果ウィンドウで、結合したい文字の前でマウスの 左ボタンをクリックしたままドラッグ

2 文字の結合を実行する



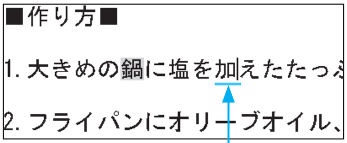
❶ [結果] をクリック

❷ [文字の結合] をクリック

または認識結果編集ツールバーの

ボタンをクリック

3 実行結果



再認識が実行され、認識結果の文字が入れ替わります。

※範囲指定した文字列の中に、改行・空白・入力文字が含まれる場合は [文字の結合] は実行されません。

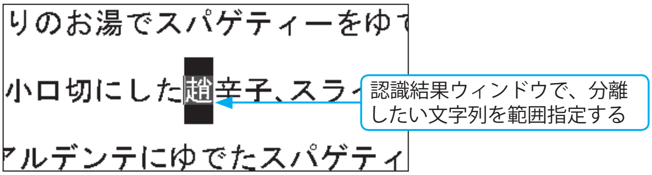
※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

文字の分離をするには

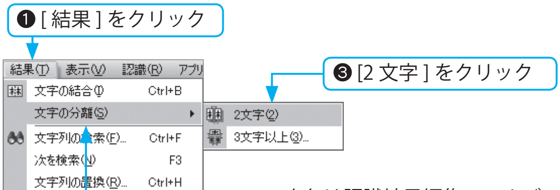
1 文字として認識された文字を、複数の文字に分離して再認識させます。

2 文字に分離する

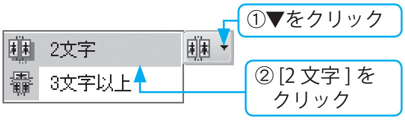
1 文字を指定する



2 文字の分離を実行する

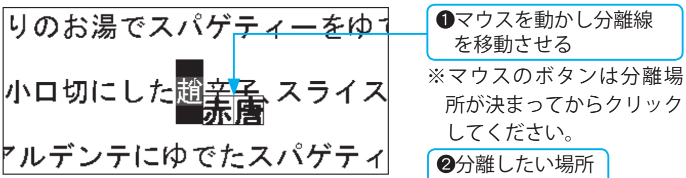


または認識結果編集ツールバーの



※範囲指定した文字列の中に、改行・空白・入力文字が含まれる場合は [文字の分離] は実行されません。

3 分離する場所を指定する



※マウスのボタンは分離場所が決まってからクリックしてください。

❷分離したい場所でクリック

分離線の縦 / 横を切り替える場合

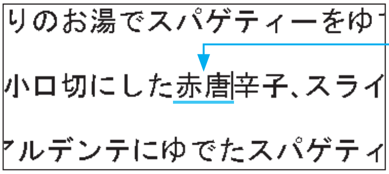
[Ctrl] キーを押すごとに縦 / 横を切り替えます。

分離する場所を指定する場合

① [矢印] キーを押す。

②分離したい場所で [Enter] キーを押す。

4 実行結果

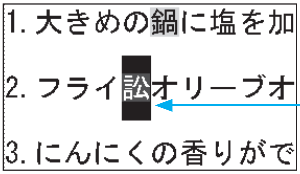


再認識が実行され、認識結果の文字が入れ替わります。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

3 文字に分離する

1 文字を指定する



認識結果ウィンドウで、分離したい文字列を範囲指定する

2 文字の分離を実行する

❶ [結果] をクリック

❷ [文字の分離] を選択

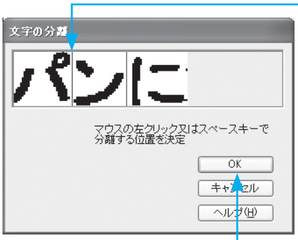
❸ [3 文字以上] をクリック

または認識結果編集ツールバーの

①▼をクリック

② [3 文字以上] をクリック

3 分離する場所を指定する



❶マウスを動かし分離線を移動させる

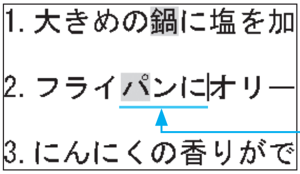
※マウスのボタンは分離場所が決まってからクリックしてください。

❷分離したい場所でクリック

❸分離線が確定し、次の分離線が表示されます
必要な数だけ分離線を確定してください

❹ [OK] をクリック

4 実行結果



再認識が実行され、認識結果の文字が入れ替わります。

分離線の縦 / 横を切り替える場合

[Ctrl] キーを押すごとに縦 / 横を切り替えます。

キー操作で分離する場所を指定する場合

① [矢印] キーを押す。

②分離したい場所で [スペース] キーを押す。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

表を編集する

ここでは、認識した表の罫線の追加や削除、セルごとの属性変更ができます。
画像に表のレイアウト枠がない場合、表編集モードは選択できません。

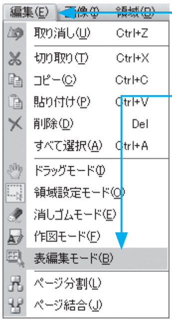
1 表をレイアウト認識する

表をレイアウト認識するには、次の方法があります。

- 表を含んだ画像全体を、自動的にレイアウト認識する。
- 表領域を手動で設定して、属性変更で表に変更する。
- 指定した領域に対して [罫線の自動挿入] を実行する。
  (☞「自動罫線追加」P.106)

※表を含んだ画像全体をレイアウト認識させるには
(☞「レイアウト認識を行う」P.66)

2 表編集モードにする



❶ [編集] をクリック

❷ [表編集モード] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

3 表を編集する

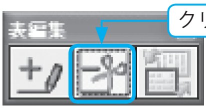
表編集モード

■ 罫線を追加する場合

クリック

マウスポインターの形状が鉛筆に変わります。罫線を追加したい場所に、鉛筆で線を描くように罫線を追加できます。

■ 罫線を削除する場合



クリック

マウスポインターの形状がハサミに変わります。削除したい罫線の上をハサミでなぞるようにして罫線の削除ができます。表罫線を削除して複数のセルを 1 つに結合します。

■ セルの属性を変更する場合

クリック

セルごとに属性の変更ができます。変更したいセルをクリックし、属性変更を行ってください。(クリックするとセル背景が水色に変わります)

※ [表編集モード] を終了する場合は、ほかのモードを選択してください。
(☞「操作モードの切り替え」P.63)

セルの属性変更を行う場合

表編集モードの [セルの属性変更] では、[OK][キャンセル] の 2 つのボタンと [規定値として設定] チェックボックスは使用できません。その他の「属性変更」の方法は「領域枠の属性変更」P.98 を参照してください。

自動罫線追加

指定した範囲内を、強制的に表領域としてレイアウト認識し、領域内に罫線を自動挿入します。
通常のレイアウト認識で表領域が誤った属性で認識されてしまう場合に利用すると便利です。
※範囲内に既に領域枠が存在する場合は、表領域として再認識されます。

領域設定モード

読取順序について

領域枠が何もない領域を範囲指定して実行した場合、読取順序は最後に追加されます。

※既に表領域として認識されている領域枠だけを選択して実行した場合、認識結果は削除されます。

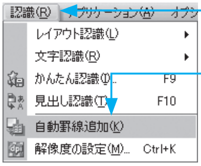
1 領域を指定する

品番	銘柄	ﾀｰｹﾞｯﾄ層	円/100g	前年比%
TM-1	安曇山麓乳酸菌飲料Keffa	20代以上のOL	51	154.6
TM-2	富山のヨーグルトおなかすこやか	無設定	28	85.1
TM 3	ヨーグルトソースブルーベリー味	30代以上の主婦	105	124.9
TM 4	農村ヨーグルト	無設定	105	101.7
TM-5	元気印チーズキャンディー	園児・児童などの14歳以下の子供	24	112.4

表認識する範囲をドラッグで範囲指定するか、領域枠を選択する

※領域枠をクリックで選択する場合は、1つの領域枠しか選択できません。

2 [自動罫線追加] を実行する



❶ [認識] をクリック

❷ [自動罫線追加] をクリック

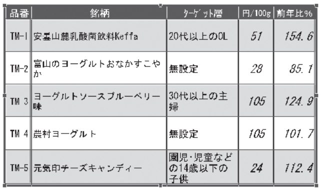
または標準ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

3 実行結果

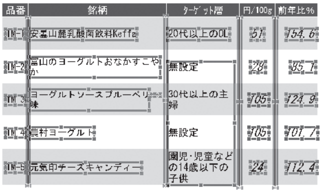
■ [自動罫線追加] を行った場合



品番	銘柄	ﾀｰｹﾞｯﾄ層	円/100g	前年比%
TM-1	安曇山麓乳酸菌飲料Keffa	20代以上のOL	51	154.6
TM-2	富山のヨーグルトおなかすこやか	無設定	28	85.1
TM 3	ヨーグルトソースブルーベリー味	30代以上の主婦	105	124.9
TM 4	農村ヨーグルト	無設定	105	101.7
TM-5	元気印チーズキャンディー	園児・児童などの14歳以下の子供	24	112.4

指定した範囲が1つの表領域としてレイアウト認識されます。

■参考：通常のレイアウト認識を行った場合



品番	銘柄	ﾀｰｹﾞｯﾄ層	円/100g	前年比%
TM-1	安曇山麓乳酸菌飲料Keffa	20代以上のOL	51	154.6
TM-2	富山のヨーグルトおなかすこやか	無設定	28	85.1
TM 3	ヨーグルトソースブルーベリー味	30代以上の主婦	105	124.9
TM 4	農村ヨーグルト	無設定	105	101.7
TM-5	元気印チーズキャンディー	園児・児童などの14歳以下の子供	24	112.4

誤った領域枠が設定されます。

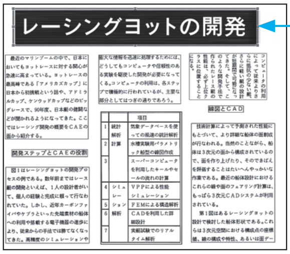
見出し認識

文字の背景が網掛けされた見出しなどを文字認識します。
見出しに背景や網掛けなどの模様が入っている場合、そのままでは正しく文字認識されません。「見出し認識」を使うと、背景や模様部分を除去して文字認識が行えます。(背景の種類によっては、文字認識できない場合があります)

領域設定モード

応用操作

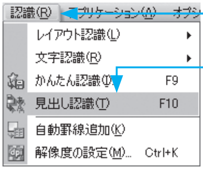
1 認識したい見出しを選択する



領域内をクリック

※ (☞「領域枠の選択」P.95)

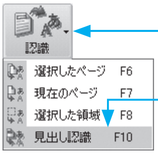
2 [見出し認識] を実行する



❶ [認識] をクリック

❷ [見出し認識] をクリック

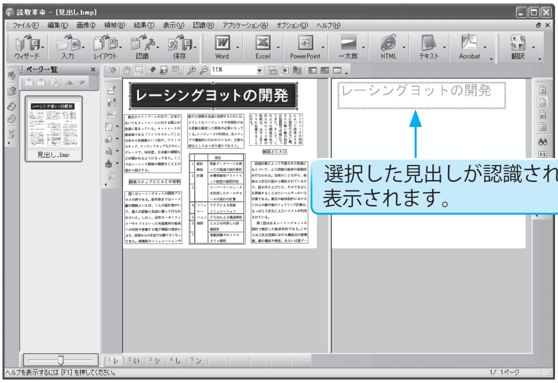
またはツールバーの



①▼をクリック

② [見出し認識] をクリック

3 実行結果



選択した見出しが認識され、表示されます。

※文字のサイズが大きい場合や、文字の背景の模様によっては認識されない場合があります。

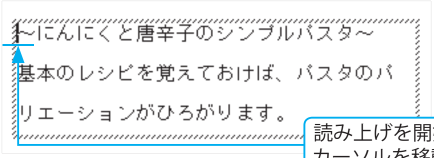
認識結果の読み上げ

認識結果ウィンドウの認識結果を音声出力する機能です。
例えば数字の 0(ゼロ) と英語の O(オー) など一見区別がつきにくい文字も、スムーズに確認できます。

※認識結果の読み上げを使用するには、Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザーでログインする必要があります。

※読み上げる言語の音声は、認識モードの設定により識別します。
・日本語認識モード：日本語で読み上げます。
・英語認識モード：英語で読み上げます。

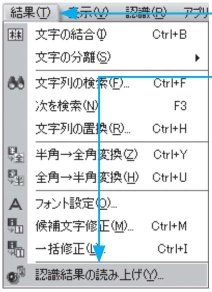
1 読み上げる文字を指定する



読み上げを開始したい場所にカーソルを移動

※部分的に読み上げたい場合は、読み上げたい文字を選択します。

2 メニューを選択する



❶ [結果] をクリック

❷ [認識結果の読み上げ] をクリック

または認識結果編集ツールバーの

ボタンをクリック

3 実行結果

キャラクターが表示され、認識結果の読み上げを開始します。読み上げ中の文字は、吹きだしに表示されます。

※読み上げを中止する場合は、キャラクターをクリックします。
※読み上げ中にキャラクターを移動すると、吹きだしが非表示になります。

※認識結果を読み上げる範囲は、認識結果の表示状態で変わります。
・ テキスト / ハイパーチェッカー表示：カーソルの位置から認識結果の最後まで読み上げます。
・ 領域 / カラーリアル表示：カーソルの位置からカーソルがある領域の最後まで読み上げます。

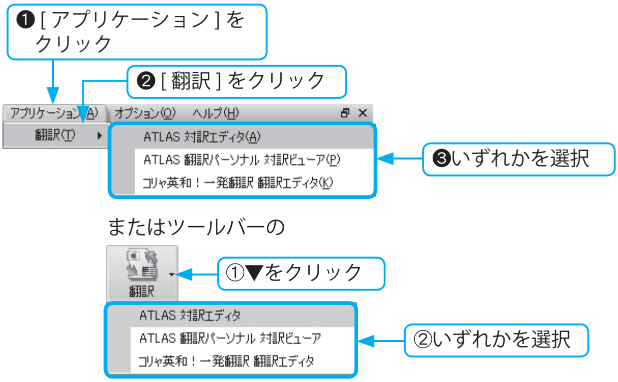
※吹きだしに表示される文字はスクロールできないため、読み上げる文字数によってはすべて表示できない場合があります。

認識結果の翻訳

翻訳ソフトウェア「ATLAS」、「ATLAS 翻訳パーソナル」、「コリャ英和！一発翻訳」と連携し、認識結果を翻訳します。

※「ATLAS 対訳エディタ」/「ATLAS 翻訳パーソナル 対訳ビューア」/「コリャ英和！一発翻訳 翻訳エディタ」で認識結果を翻訳する場合は、各ソフトウェアのインストールが必要です。

1 メニューを選択する



2 実行結果

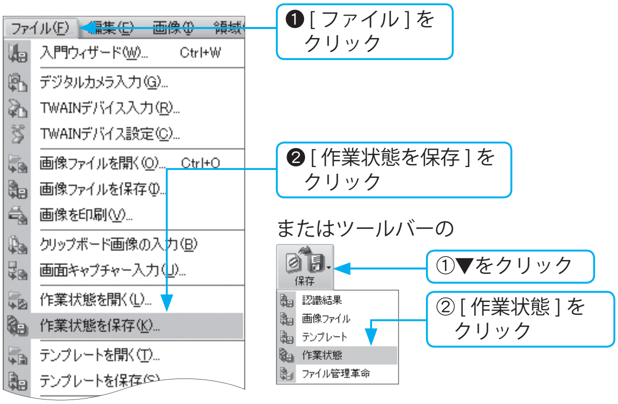
翻訳ソフトウェアが起動し、翻訳の結果が表示されます。

作業ファイルを保存して作業を中断する

作業の途中でほかの画像ファイルの作業を行う、もしくは「読取革命」を終了し、そのあと、再び作業の続きを行いたい場合には、作業状態をファイルに保存しておきます。[作業状態を開く] を実行すると、画像と認識結果が保存しておいた状態で表示され、再び作業の続きを行うことができます。

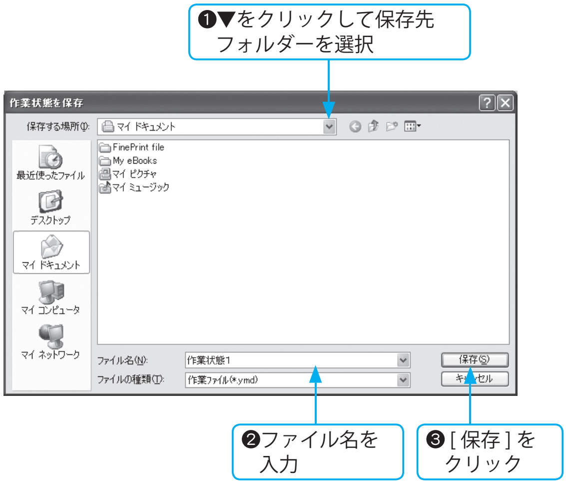
(☞「作業ファイルを開いて作業を再開する」P.111)

1 [作業状態を保存] を選択する



2 保存先ファイルを指定する

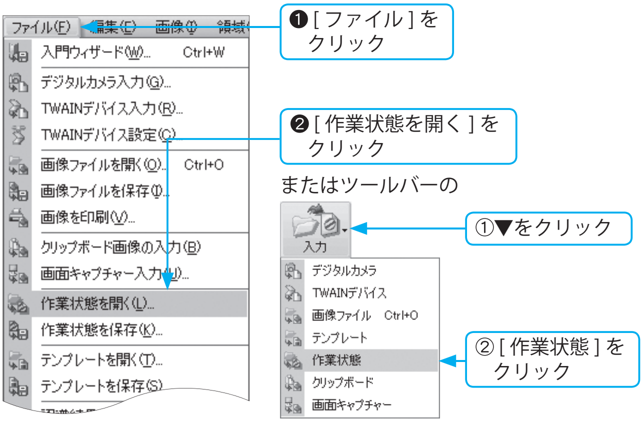
※既に同名のファイルが存在する場合は、上書き確認のダイアログボックスが表示されます。



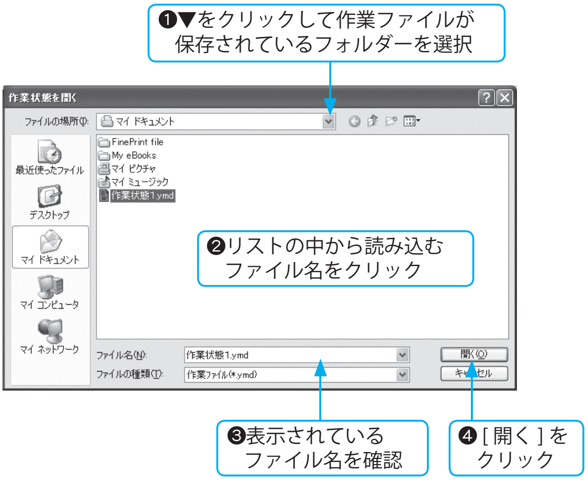
作業ファイルを開いて作業を再開する

作業の途中で保存されたファイルを開くと、画像と認識結果が保存しておいた状態で表示され、再び作業の続きを行うことができます。(☞「作業ファイルを保存して作業を中断する」P.110)

1 [作業状態を開く] を選択する



2 作業ファイルを指定する

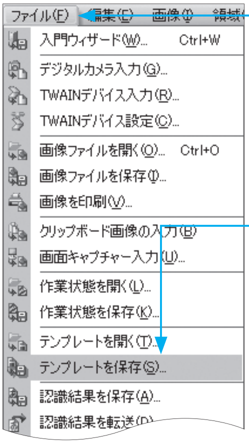


テンプレートで同じ形式のページを認識する

同じレイアウトの原稿を認識する場合には、レイアウト情報 (領域の位置・サイズ・属性) をテンプレートとして保存し、繰り返し利用できます。テンプレートを利用すれば、ページごとのレイアウト認識、または領域設定を行う操作を省略できます。
※テンプレートは同じ解像度で入力した画像に対して有効となります。

テンプレートを保存する

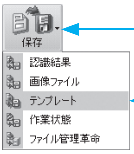
1 [テンプレートを保存] を選択する



❶ [ファイル] をクリック

❷ [テンプレートを保存] をクリック

またはツールバーの

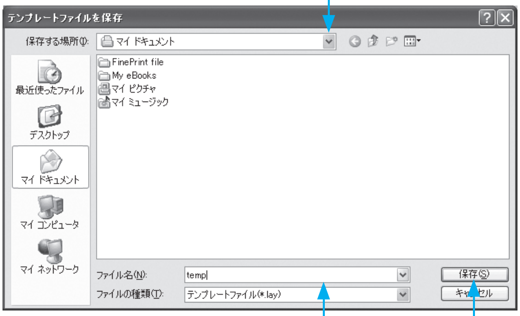


① ▼をクリック

② [テンプレート] をクリック

2 保存先ファイルを指定する

❶ ▼をクリックして保存先フォルダーを選択



❷ ファイル名を入力

❸ [保存] をクリック

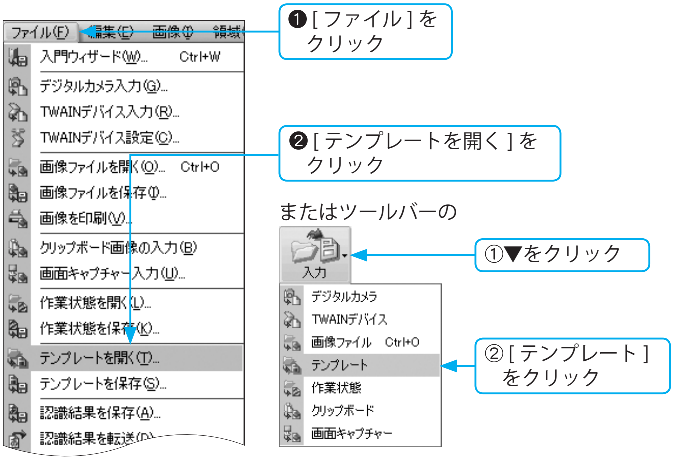
テンプレートを作るには

1 ページだけレイアウト認識するか、手動で領域設定を行います。
(☞「レイアウト認識を行う」P.66)
(☞「領域枠の設定」P.94)

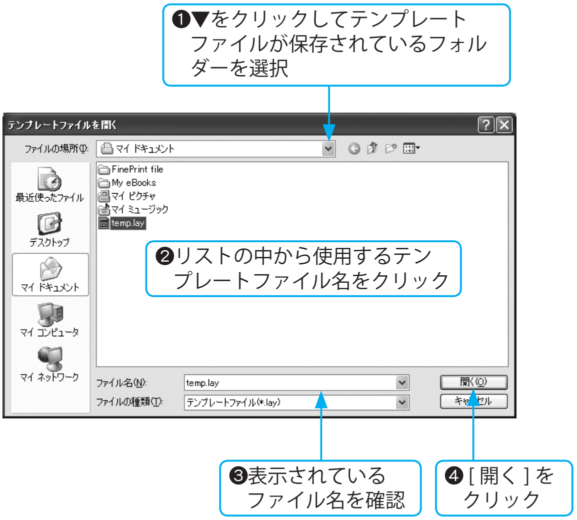
※既に同名のファイルが存在する場合は、上書き確認のダイアログボックスが表示されます。

テンプレートを開く

1 [テンプレートを開く] を選択する



2 開くテンプレートファイルを指定する



※テンプレートから読み込んだ領域が、画像に対してずれている場合は、手動で修正してください。
(☞「領域枠の設定」P.94)

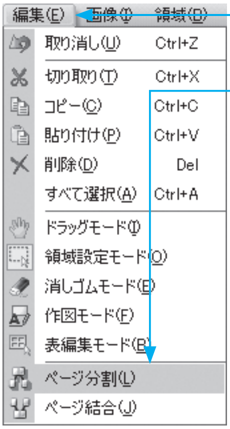
文字認識を実行する前に

[環境設定] の [認識] タブの設定で、[領域設定済みのページをレイアウト認識する] をオフにしておいてください。オンになっている状態で文字認識を実行すると、自動で領域が再設定され (テンプレートとは関係のない自動判定によるもの)、文字認識が行われます。
(☞「[認識] タブの設定」P.207)

ページを分割する

読み込んだ画像を複数ページに分割します。
見開きページの画像を二分割してそれぞれ別ページに分けたいときなどに便利です。

1 メニューを選択する



❶ [編集] を クリック

❷ [ページ分割] を クリック

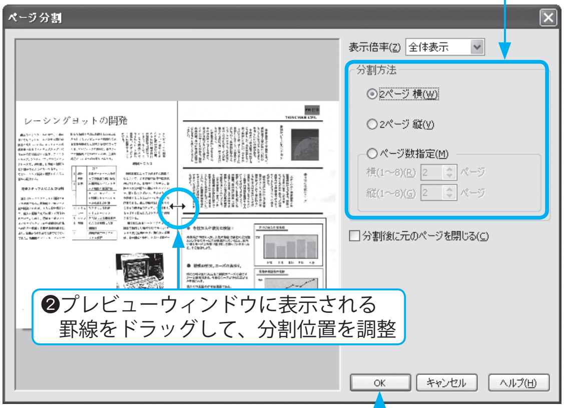
または標準ツールバーの

[ページ分割] を クリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

2 分割するページを指定する

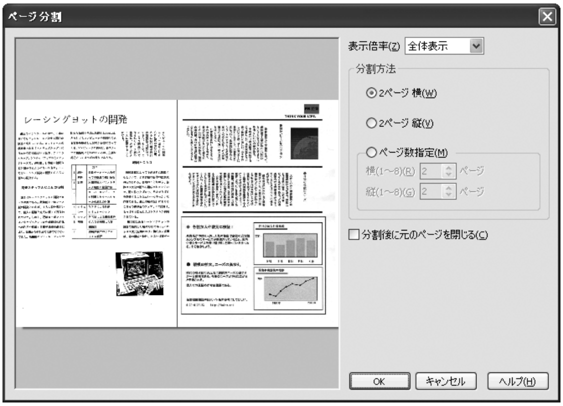
❶分割方法を設定



❷プレビューウィンドウに表示される罫線をドラッグして、分割位置を調整

❸ [OK] を クリック

■ページ分割 ダイアログボックスの詳細



[表示倍率]：画像の拡大表示、または縮小表示ができます。

分割方法

[2 ページ横]：画像を横に 2 分割にします。

[2 ページ縦]：画像を縦に 2 分割にします。

[ページ数指定]：任意のページ数を指定できます。

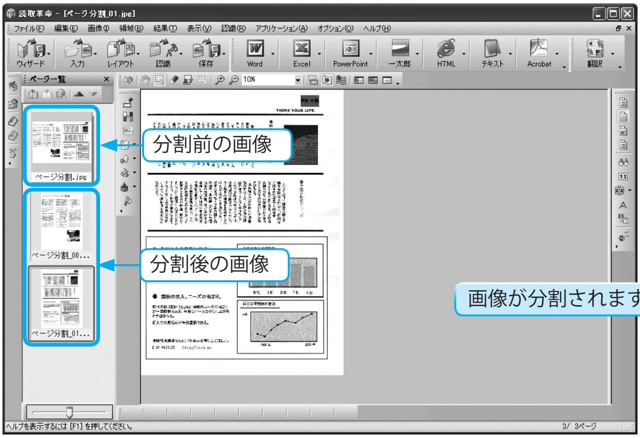
[横]：横に分割するページ数を指定します。▲▼をクリックするか、またはテキストボックスに数値を入力します。1 ～ 8 までの値が入力できます。

[縦]：縦に分割するページ数を指定します。▲▼をクリックするか、またはテキストボックスに数値を入力します。1 ～ 8 までの値が入力できます。

[分割後に対象のページを閉じる]：分割後に分割元のページを閉じる場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

3 実行結果

※分割後の画像ファイル名は、末尾に数値番号を連番で付加し、別名となります。

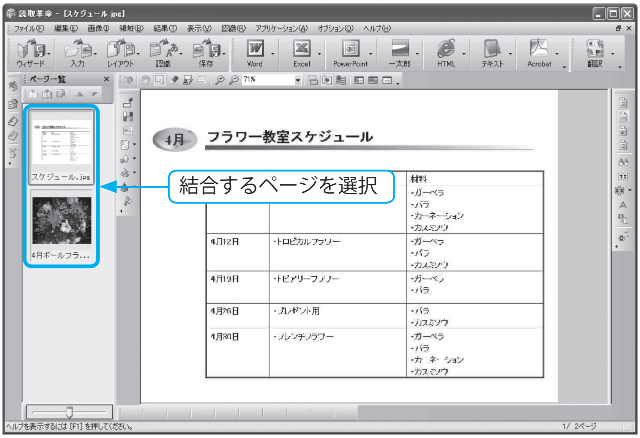


※「分割後に対象のページを閉じる」のチェックボックスがオフの場合は、分割前の画像と分割後の画像が表示されます。

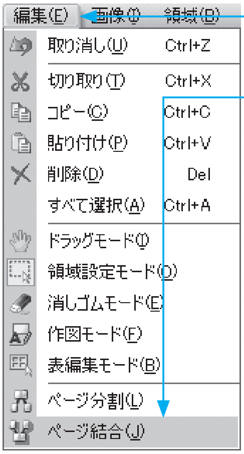
ページを結合する

2 つのページ画像を結合して、新しいページ画像を作成できます。
ページの結合は、同じ解像度の画像を使って行います。

1 結合するページを選択する



2 メニューを選択する



❶ [編集] をクリック

❷ [ページ結合] をクリック

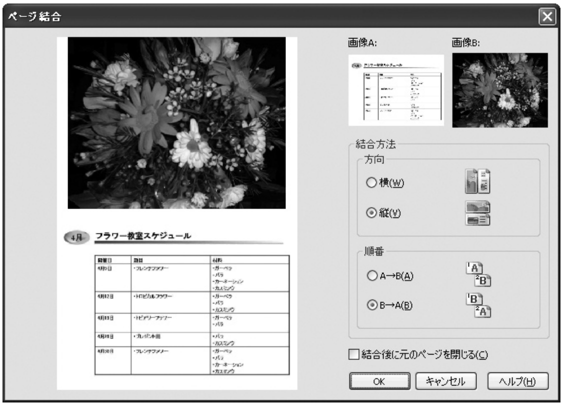
または標準ツールバーの

[ページ結合] をクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

3 結合方法を指定する

■ページ結合 ダイアログボックスの詳細



結合方法
　方向
　[横]：画像を横方向に結合します。
　[縦]：画像を縦方向に結合します。
　順番
　[A → B]：横方向に結合する場合
　　　　左側：画像 A　　右側：画像 B
　　　縦方向に結合する場合
　　　　上側：画像 A　　下側：画像 B
　[B → A]：横方向に結合する場合
　　　　左側：画像 B　　右側：画像 A
　　　縦方向に結合する場合
　　　　上側：画像 B　　下側：画像 A

[結合後に元のページを閉じる]：結合後に結合元のページを閉じる場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

※結合後の画像ファイル名は、「無題」で表示されます。

※結合後の画像は、元画像の色数にかかわらず、24bit カラーになります。

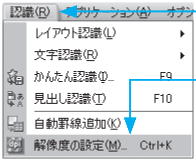
4 実行結果

※「結合後に元のページを閉じる」のチェックボックスがオフの場合は、結合前の画像と結合後の画像が表示されます。

解像度の設定

解像度情報が設定されていない画像ファイルを読み込む場合、画像解像度の設定を行います。
Word 形式 (*.doc)、Excel 形式 (*.xls)、PowerPoint 形式 (*.ppt)、RTF 形式、一太郎形式 (*.jtd)、HTML 形式 (*.htm)、XML 形式 (*.xml) などで出力する場合は、解像度を基準にして文字サイズを決定したり、レイアウトの再現を行います。

1 [解像度の設定] を選択する



❶ [認識] をクリック

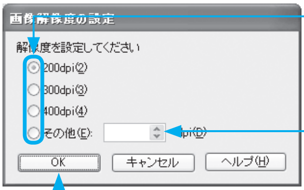
❷ [解像度の設定] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

2 解像度を設定する



❶いずれかをクリックしてオン

[その他] を選択した場合、解像度を半角数字で入力または、▲▼をクリックして解像度を変更

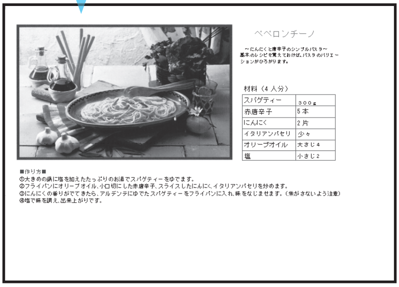
※解像度有効範囲は 50～2400dpi です。

❷ [OK] をクリック

■解像度設定の例：A4 サイズ /400dpi の画像の解像度を変更する

(原稿 A4 サイズ /400dpi)

● 600dpi に設定した場合
A5 に近い用紙サイズで出力されます。



● 300dpi に設定した場合
A3 に近い用紙サイズで出力されます。

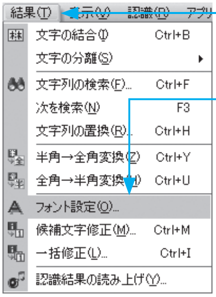
※解像度の数値と認識後の保存・転送結果の用紙サイズは反比例します。

※解像度が設定されていない画像ファイルをかんたん認識で読み込んだ場合は、400dpi とみなして処理されます。

フォントの設定

認識結果ウィンドウで表示する文字のフォント名やサイズ、文字間、行間、文字色の変更ができます。
カラーリアル表示や領域表示にしたときに、より見やすく設定できます。
※認識結果の表示方法により指定可能なオプションが異なります。また変更された設定は転送するファイル形式により無効となる場合があります。

1 [フォント設定] を選択する



❶ [結果] をクリック

❷ [フォント設定] をクリック

または認識結果編集ツールバーの

ボタンをクリック

2 フォントを設定する

❶各項目を必要に応じて設定

❷ [OK] をクリック

※ [フォント名] や [サイズ] の一覧はお使いのパソコン環境によって異なります。

[フォント名]
　フォントを選択・表示します。

[サイズ]
　文字サイズを選択・表示します。
　希望のサイズがリストにない場合は、テキストボックスに直接入力することで設定できます。

[色]
　認識結果ウィンドウで選択された文字列の色を選択・表示します。

[行間]
　認識結果ウィンドウで選択された文字列の行間を選択・表示します。

[文字間]
　認識結果ウィンドウで選択された文字列の文字間を選択・表示します。

領域表示・カラーリアル表示で設定した場合

- フォント名は全領域に、その他の設定は選択された領域に反映されます。
- 以下のファイル形式に保存・転送した場合、フォント名以外の設定が反映されます。Word(*.doc)、Excel(*.xls)、PowerPoint(*.ppt)、書式付きファイル (*.rtf)、一太郎 (*.jtd)、一太郎 (本文)、HTML(*.htm)、XML(*.xml)

各表示方法でのフォント設定について

フォント設定は、各表示方法によって指定可能なオプションが異なります。

■テキスト表示
フォント名・文字サイズ・文字色を変更して表示できます。保存・転送した場合は、設定はすべて無効となります。

■領域表示
フォント名・文字サイズ・文字色・行間・文字間を変更できます。

■カラーリアル表示
フォント名・文字サイズ・文字色・行間・文字間を変更できます。

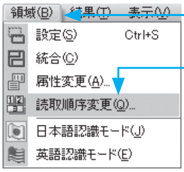
■ハイパーチェッカー
フォント名・文字サイズを変更して表示できます。保存・転送した場合は、設定はすべて無効となります。

読取順序の変更

各領域には、文字認識をする順番を決める読取順序番号が付けられています。
読取順序番号はこの操作により変更できます。

※「属性変更」ダイアログボックスからも選択した領域の読取順序変更ができます。
(☞「領域枠の属性変更」P.98)

1 [読取順序変更] を選択する



❶ [領域] をクリック

❷ [読取順序変更] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

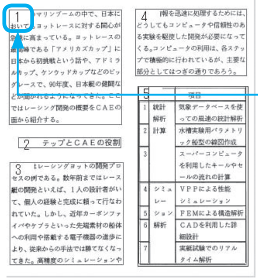
※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

[読取順序変更] を中止する場合

2 とおりの手順があります。

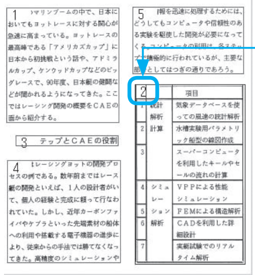
- 変更作業中に [キャンセル] をクリック。
- [終了] をクリックしたあと、[取り消し] の操作を行う。(☞「取り消し」P.84)

2 順序変更を行う



❶読取順序を 1 番にしたい領域の内側をクリック

選択された状態となり、読取順序が "1" と表示されます。



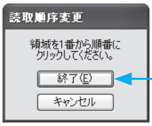
❷読取順序を 2 番にしたい領域の内側をクリック

選択された状態となり、 読取順序が "2" と表示されます。

❸以降、同様の操作で読取順序を変更する

3 終了する

※読取順序変更操作を終了すると、読取番号表示が消え、画面は最初の状態に戻ります。常に読取番号を表示したい場合は [環境設定] で設定を行います。
(☞「[一般] タブの設定」P.203)



[終了] をクリック

転送先アプリの設定

「読取革命」上には、認識結果を他のアプリケーションに転送する転送先アプリツールバーが表示されています。転送先アプリツールバーに表示されていないアプリケーションを追加できます。
また、対応するアプリケーションのインストールを行うと、次回の「読取革命」起動時に自動的に登録され、転送先アプリツールバーに表示します。
対応アプリケーションをアンインストールした場合は、転送先アプリツールバーから自動的に削除されます。

転送先アプリツールバーに自動表示されるアプリケーション

「読取革命」起動時に下記のアプリケーションがインストールされていると自動的に転送先アプリツールバーに登録されます。
また、下記のアプリケーションがアンインストールされた場合も自動的に転送先アプリツールバーから削除されます。

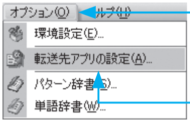
- Microsoft Word (2000/2002/2003)
- Microsoft Excel (2000/2002/2003)
- Microsoft PowerPoint (2000/2002/2003)
- 一太郎 (2004/2005/2006)
- Adobe Reader(6/7)/Adobe Acrobat (6/7)
- Internet Explorer5.0 以上、または Netscape Navigator 7.0 以上 (※ XML は非対応)

※自動で登録された転送先アプリケーションは削除できません。

※上記以外のアプリケーションでも、ファイルを読み込むことができるアプリケーションであれば、設定を行って追加できます。

※転送先アプリツールバーに設定できるアプリケーションは、20 個までです。

1 [転送先アプリの設定] を選択する



❶ [オプション] をクリック

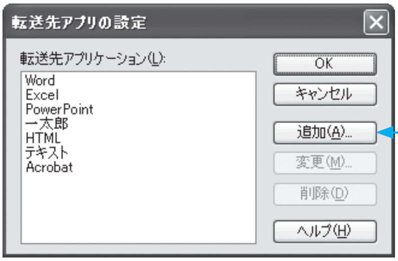
❷ [転送先アプリの設定] をクリック

または設定ツールバーの

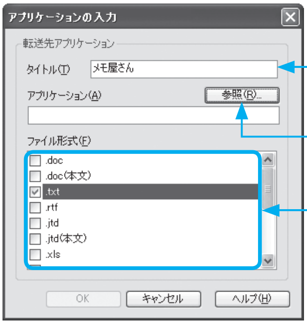
ボタンをクリック

2 各設定をする

転送先アプリケーションの追加



❶ [追加] をクリック

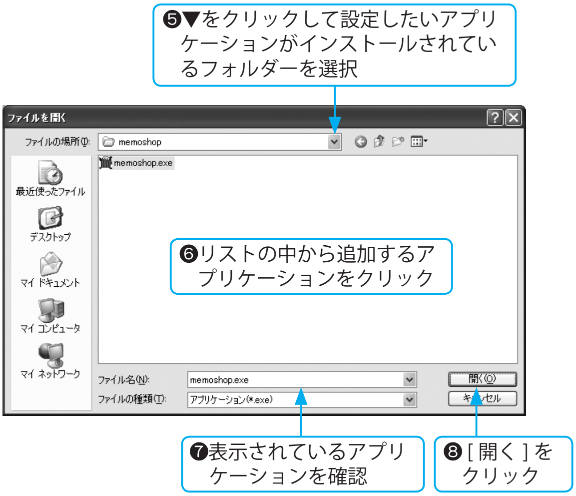


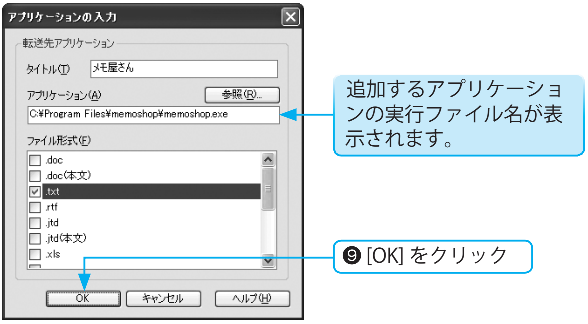
❷タイトルを入力 (入力したタイトルがアプリバーに表示されます)

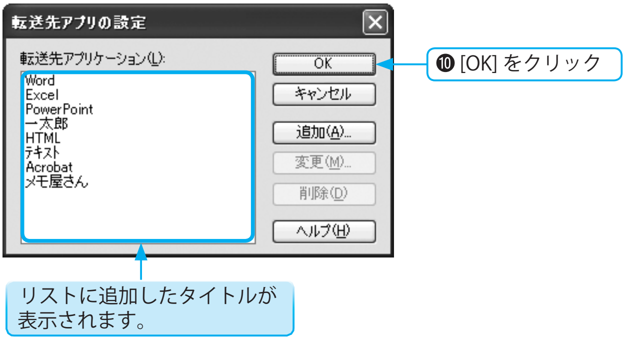
❹ [参照] をクリック

❸リストの中から関連するファイルの形式を拡張子ごとにクリックしてオン

※続けて複数のアプリケーションを追加する場合は、手順❾のあとに、[追加] をクリックし、手順 2 以下を繰り返します。

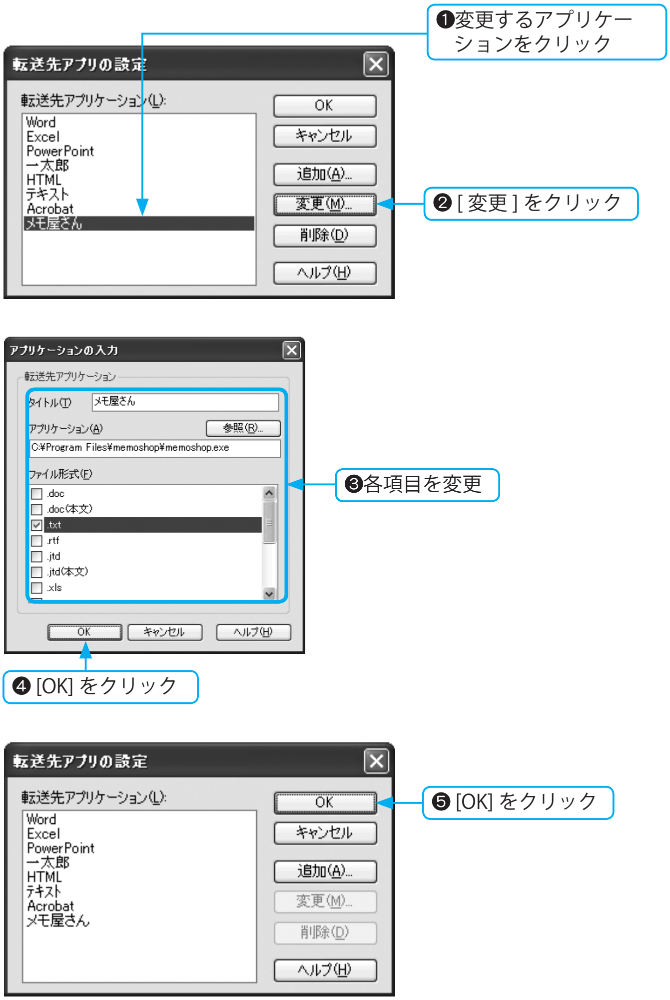






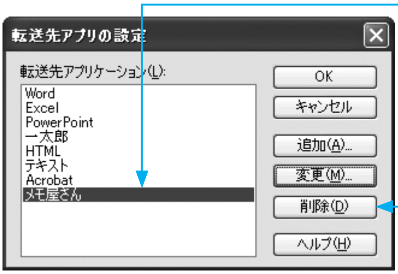
転送先アプリケーションの変更

※自動登録されるアプリケーションを選択した場合は、[参照] が無効となります。



※自動登録されるアプリケーションは、削除できません。

転送先アプリケーションの削除



❶削除するアプリケーションをクリック

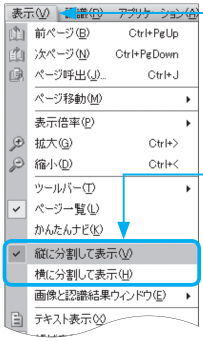
❷ [削除] をクリック

❸ [OK] をクリック

画像・認識結果ウィンドウを上下に並べるには

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウを左右に並べるか、上下に並べるかを選択できます。
作業しやすい形態を選択してください。
※ハイパーチェッカー表示では選択できません。

1 表示形態を選択する

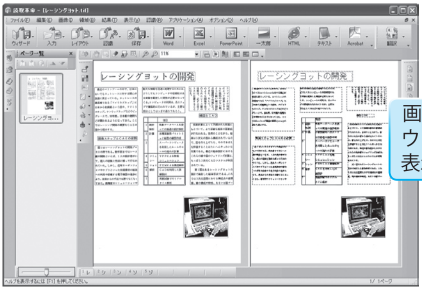


❶[表示] を
クリック

❷いずれかを選択

2 実行結果

■ [縦に分割して表示] を選択した場合



画像ウィンドウと認識結果
ウィンドウを左右に並べて
表示します。

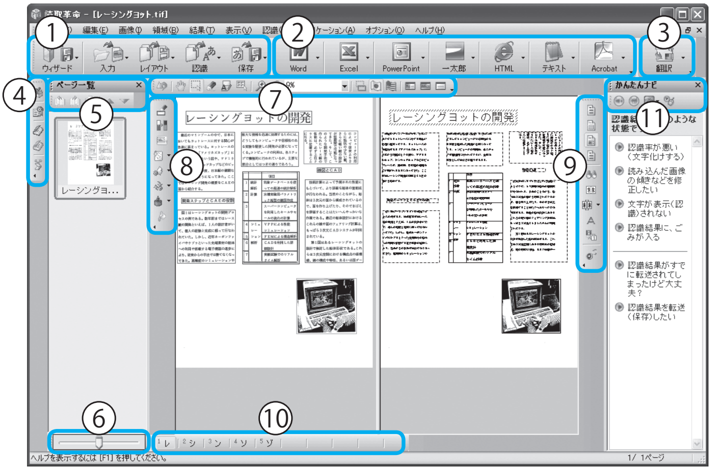
■ [横に分割して表示] を選択した場合

画像ウィンドウと認識結果
ウィンドウを上下に並べて
表示します。

ツールバーのカスタマイズ

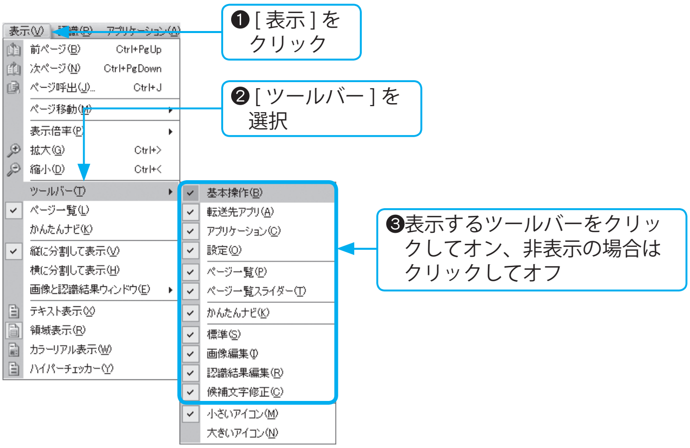
「読取革命」では、ツールバーをお好みでカスタマイズできます。
表示するツールバーや、各ツールバーに表示されるボタンの表示 / 非表示、アイコンの大きさを選択できます。

各ツールバーの名称



①基本操作
②転送先アプリ
③アプリケーション
④設定
⑤ページ一覧
⑥ページ一覧スライダー
⑦標準
⑧画像編集
⑨認識結果編集
⑩候補文字修正
⑪かんたんナビ

ツールバーの表示 / 非表示



ボタンの表示 / 非表示

1 ツールバーを選択する

▼をクリック

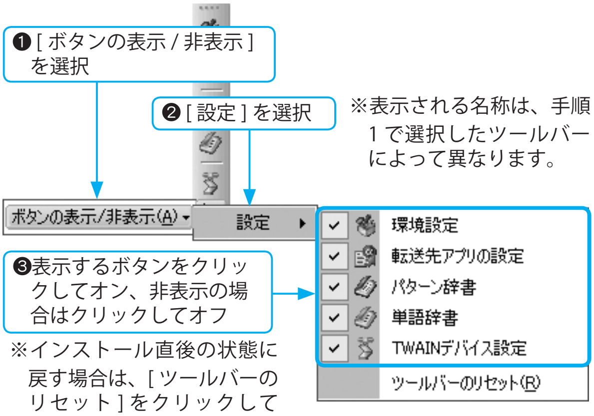
ツールバーの右端、または下部に▼が表示されている場合は表示するボタンの設定を変更できます。

2 各種設定をする

❶ [ボタンの表示 / 非表示] を選択

❷ [設定] を選択

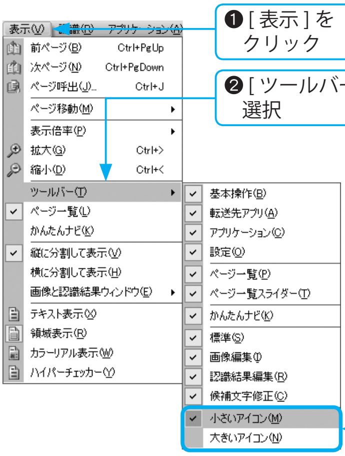
※表示される名称は、手順 1 で選択したツールバーによって異なります。



❸表示するボタンをクリックしてオン、非表示の場合はクリックしてオフ

※インストール直後の状態に戻す場合は、[ツールバーのリセット] をクリックしてください。

アイコンの大きさを変更する



❶ [表示] をクリック

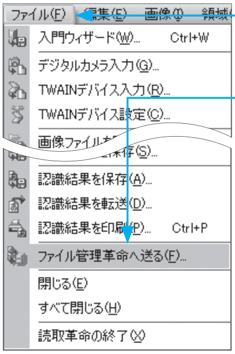
❷ [ツールバー] を選択

❸いずれかを選択

ファイル管理革命へ送る

「読取革命」に読み込んだ画像を「ファイル管理革命」で管理しているフォルダーに簡単に送ることができます。
[ファイル管理革命へ送る] を使用するには、「ファイル管理革命」がインストールされている必要があります。

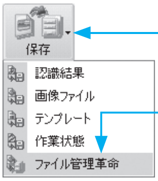
1 メニューを選択する



❶ [ファイル] をクリック

❷ [ファイル管理革命へ送る] をクリック

またはツールバーの

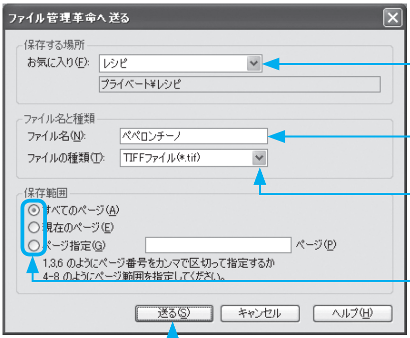


①▼をクリック

② [ファイル管理革命] をクリック

2 送り先を指定する

送ったファイルは、ファイル管理革命で管理しているフォルダーに保存されます。



❶送り先を選択

❷ファイル名を入力

❸▼をクリックして、画像ファイルの種類を選択

❹いずれかをクリックしてオン

❺ [送る] をクリック

※ファイルの送り先は、「ファイル管理革命」でお気に入りに追加されたフォルダーになります。

送り先に保存できるファイル形式

・TIFF ファイル (*.tif)(注)
・TIFF[非圧縮] ファイル (*.tif)
・BMP ファイル (*.bmp)
・JPEG ファイル (*.jpg,*.jpeg)

ファイル形式についての説明は、「用語解説」P.271 に記載しています。

(注) カラー画像の場合は、TIFF[JPEG 圧縮] で保存されます。白黒画像 (2 値画像) の場合は、TIFF[G4 圧縮] で保存されます。

異なる形式のファイルから入力した複数ページの画像を 1 つのファイルで送り先に保存する場合

TIFF を選択してください。

現在表示されているページの画像だけを送り先に保存する場合

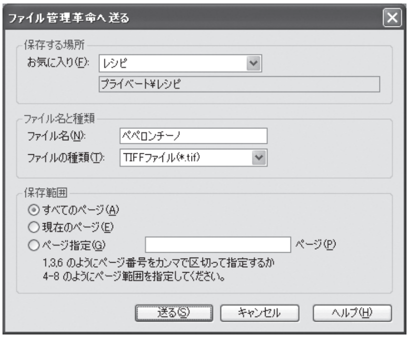
BMP/JPEG 形式で保存します。この形式で複数ページの保存はできません。

3 実行結果

※認識結果がない画像のテキスト抽出は、行われません。

設定したファイル形式で画像が保存され、自動的に「ファイル管理革命」が起動し、画像が読み込まれます。
読み込まれた画像は、サムネイル表示され、認識結果がテキスト表示エリアに表示されます。

■ファイル管理革命へ送る ダイアログボックスの詳細



保存する場所

「ファイル管理革命」でお気に入りに登録されているフォルダーを保存場所として指定します。

[お気に入り]：お気に入りの一覧を表示します。

ファイル名と種類

[ファイル名]：ファイル名を入力します。
[ファイルの種類]：保存するファイル形式を選択します。

保存範囲

[すべてのページ]：
ページ一覧ウィンドウに表示されたすべての画像を送り先に保存します。
[現在のページ]：
画像ウィンドウに表示された画像を送り先に保存します。
[ページ指定]：
指定されたページに該当する画像を送り先に保存します。

かんたん認識

かんたん認識で自動認識する 132
認識方法の追加 133
認識方法の複製 134
認識方法の変更 135
認識方法の削除 136
認識方法の整理 137
処理内容を設定する 140
[画像の入力] の設定 140
[画像編集] の設定 141
[レイアウト認識] の設定 142
レイアウトを編集する 144
[認識結果] の設定 152

かんたん認識で自動認識する

原稿のタイプを選択するだけで最適な設定で認識を行い、縦書き・横書きテキスト、画像、図、表などが混在した原稿もレイアウトをそのままに再現できます。
簡単な設定をするだけで、お好みに合わせた認識方法が作成でき、画像の読み込みから画像修正・認識・保存・転送までを自動で行えます。

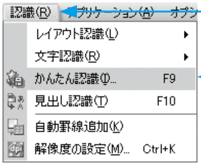
認識方法一覧

選択できる認識方法の一覧です。

- 一般文書
- 新聞を読み込みます
- 縦書きの雑誌を読み込みます
- 横書きの雑誌を読み込みます
- 小説を読み込みます
- 歌詞カードを読み込みます
- 論文をを読み込みます
- 伝票を読み込みます

同じ形式の画像を大量に処理する場合、認識方法を登録しておくと便利です。

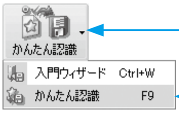
1 メニューを選択する



❶ [認識] をクリック

❷ [かんたん認識] をクリック

またはツールバーの

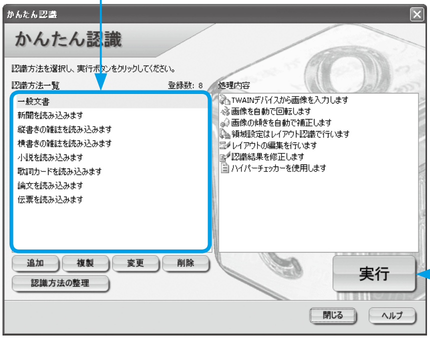


①▼をクリック

② [かんたん認識] をクリック

2 かんたん認識を実行

❶認識方法を選択



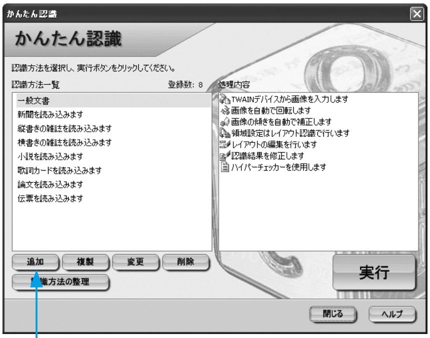
❷ [実行] をクリック

※認識方法の編集については次ページ以降に記載しています。

認識方法の追加

新規に認識方法を登録します。

1 追加を選択する

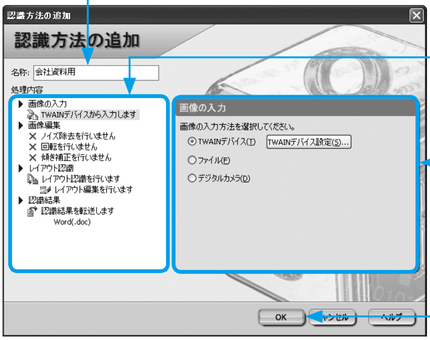


[追加] をクリック

2 処理内容を設定する

※処理内容の設定方法については、次の項目を参照してください。
(☞「[画像の入力] の設定」P.140)
(☞「[画像編集] の設定」P.141)
(☞「[レイアウト認識] の設定」P.142)
(☞「[認識結果] の設定」P.152)

❶認識方法の名称を入力



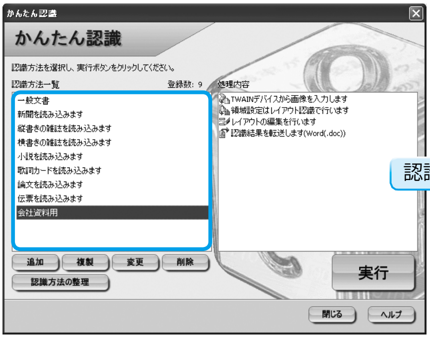
❷設定したい処理内容を選択

❸処理内容を選択

❹ [OK] をクリック

3 実行結果

※[認識方法一覧]に登録できる認識方法は、100 件までです。

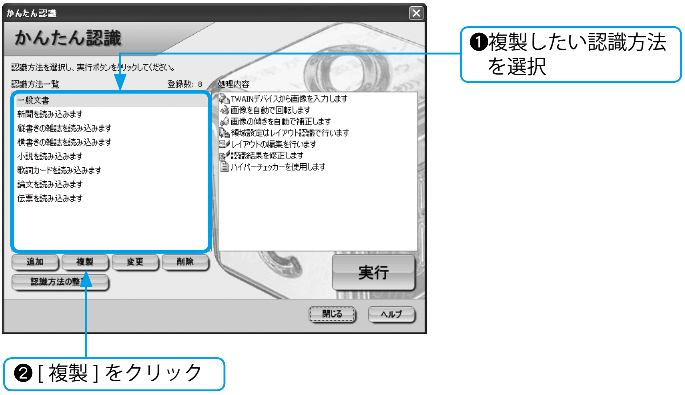


認識方法が追加されます。

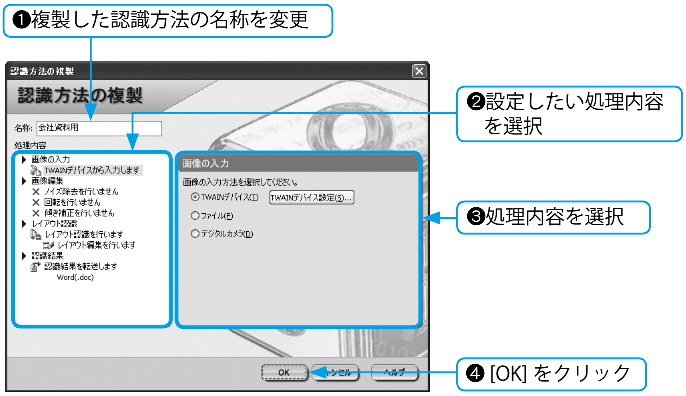
認識方法の複製

登録されている認識方法を複製し、新規の認識方法として登録します。

1 複製を選択する



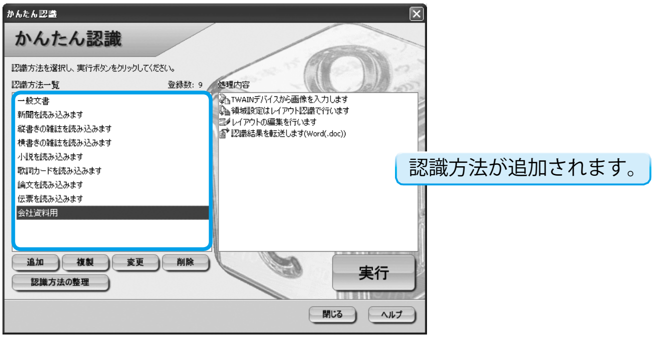
2 処理内容を設定する



※処理内容の設定方法については、次の項目を参照してください。

(☞「[画像の入力] の設定」P.140)
(☞「[画像編集] の設定」P.141)
(☞「[レイアウト認識] の設定」P.142)
(☞「[認識結果] の設定」P.152)

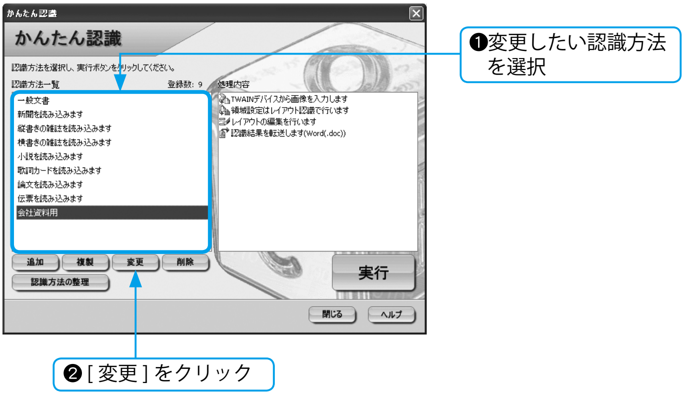
3 実行結果



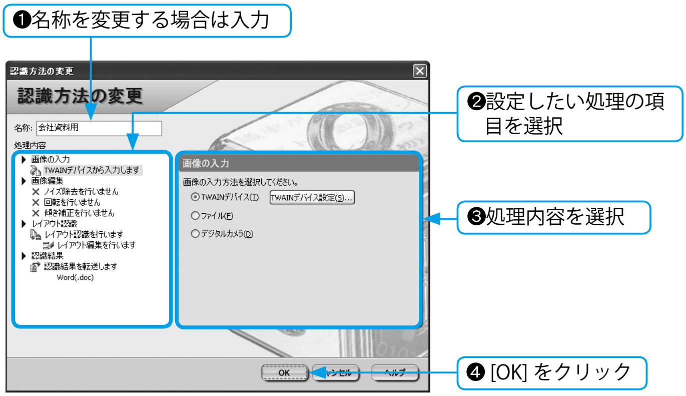
認識方法の変更

登録されている認識方法の処理内容を変更します。

1 変更を選択する



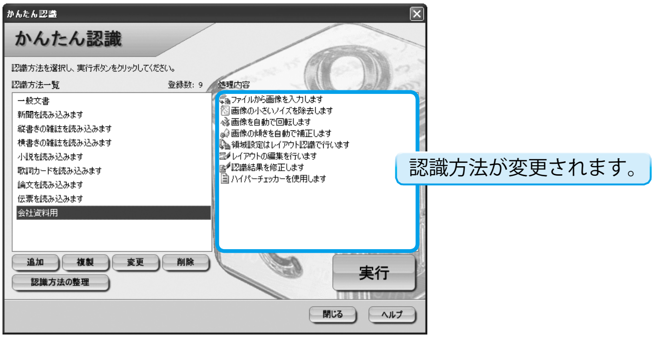
2 処理内容を変更する



※処理内容の設定方法については、次の項目を参照してください。

(☞「[画像の入力] の設定」P.140)
(☞「[画像編集] の設定」P.141)
(☞「[レイアウト認識] の設定」P.142)
(☞「[認識結果] の設定」P.152)

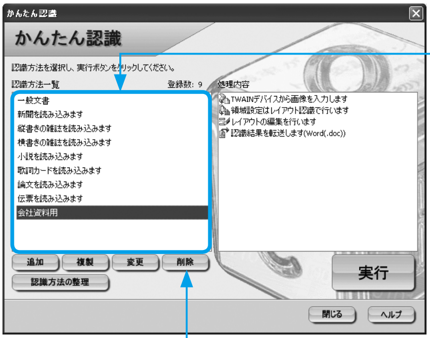
3 実行結果



認識方法の削除

登録されている認識方法を削除します。

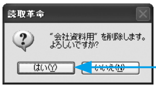
1 削除を選択する



❶削除したい認識方法を選択

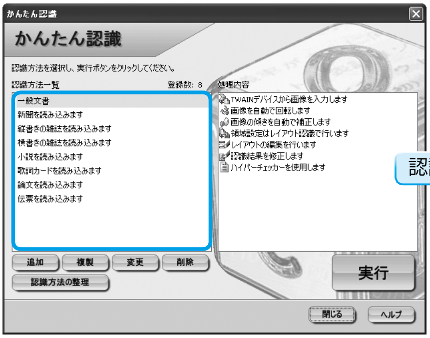
❷ [削除] をクリック

2 削除の確認



[はい] をクリック

3 実行結果

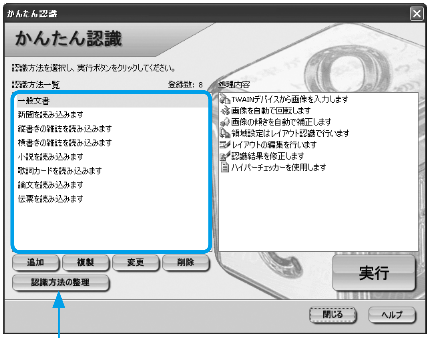


認識方法が削除されます。

認識方法の整理

認識方法を並び替えます。また、認識方法の設定は、インポート / エクスポートできます。

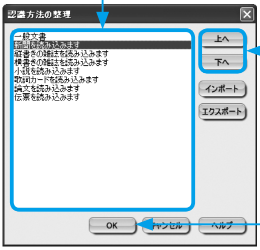
1 認識方法の整理を選択する



[認識方法の整理] をクリック

認識方法の並び替え

❶移動したい認識方法を選択



❷ [上へ]、または [下へ] をクリック

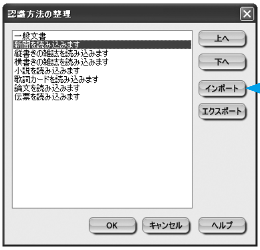
または、移動先にドラッグ＆ドロップ

選択した認識方法が移動します。

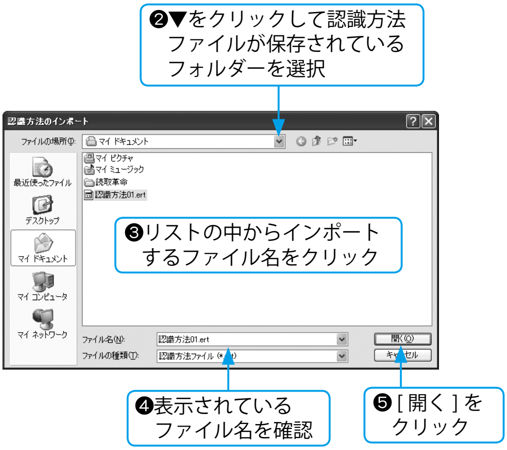
❸ [OK] をクリック

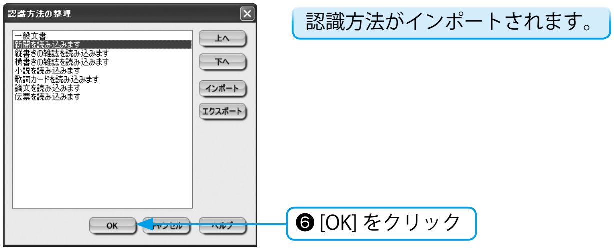
認識方法のインポート

認識方法のインポートを行います。
以前使用していた認識方法をエクスポートしている場合、インポートして再利用できます。



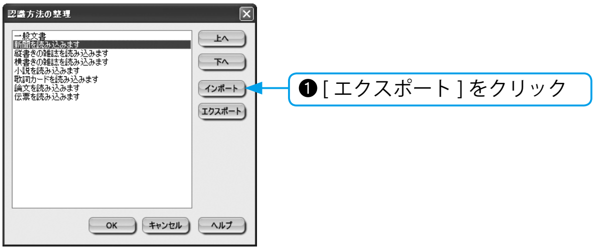
❶ [インポート] をクリック

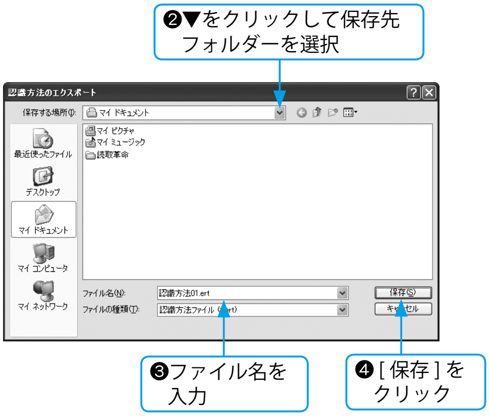


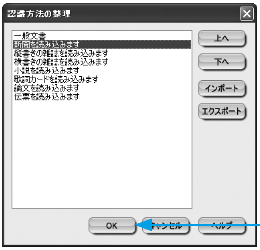


認識方法のエクスポート

認識方法のエクスポートを行います。
「読取革命」の再インストールが必要となった場合、既存の認識方法をエクスポートしてパソコンに保存できます。







認識方法がエクスポートされ、認識方法ファイル (*.ert) が保存されます。

❺ [OK] をクリック

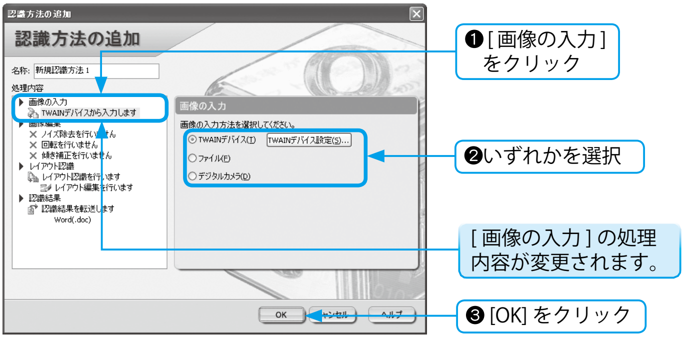
かんたん認識

処理内容を設定する

認識方法に設定できる処理内容は、[画像の入力]、[画像編集]、[レイアウト認識]、[認識結果] です。
「認識方法の追加」、「認識方法の複製」、「認識方法の変更」画面から行えます。

[画像の入力] の設定

画像の入力方法を設定します。



[TWAIN デバイス]

TWAIN デバイスから画像を読み込みます。
[TWAIN デバイス設定] をクリックすると、「ソースの選択」ダイアログボックスが表示され、TWAIN デバイスを選択できます。
(☞「 TWAIN デバイスの設定」P.35)
「かんたん認識」画面の [実行] をクリックすると スキャナーからの読み込みが開始されます。

[ファイル]

ファイルから画像を読み込みます。「かんたん認識」画面の [実行] をクリックすると 「画像ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。(☞「画像ファイルを開く」P.52)

[デジタルカメラ]

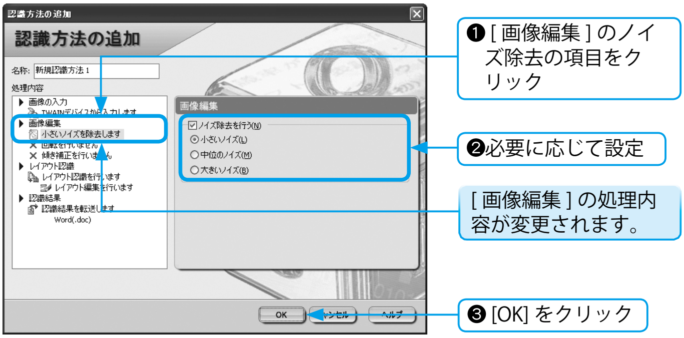
デジタルカメラから画像を読み込みます。「かんたん認識」画面の [実行] をクリックすると 「デジタルカメラ入力」ダイアログボックスが表示されます。(☞「デジタルカメラ入力」P.49)

[画像編集] の設定

ノイズ除去、回転、傾き補正を設定します。

■ノイズ除去

ノイズ除去を設定します。

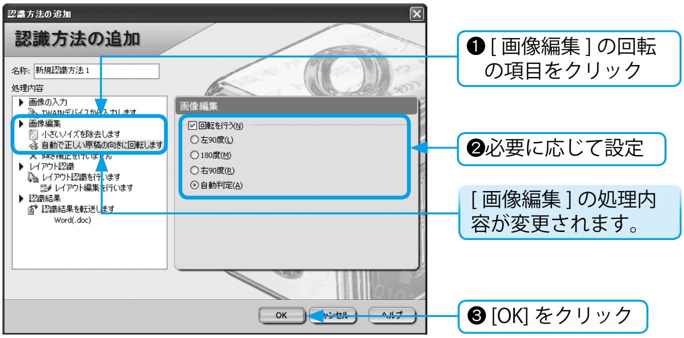


[ノイズ除去を行う]

チェックボックスをクリックしてオンにし、除去したいノイズの大きさを選択します。

■回転

回転を設定します。

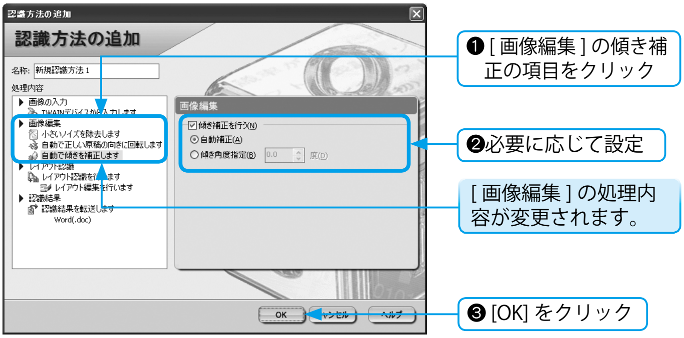


[回転を行う]

チェックボックスをクリックしてオンにし、画像の回転角度を選択します。

■傾き補正

傾き補正を設定します。

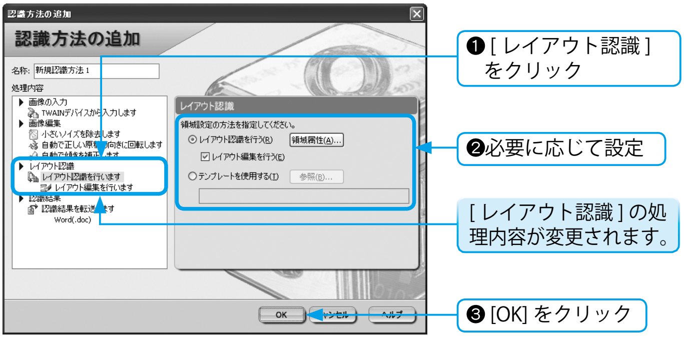


[傾き補正を行う]

チェックボックスをクリックしてオンにし、傾き補正方法を設定します。[傾き角度指定] を選択した場合は、傾き角度を設定します。▲▼をクリックするか、またはテキストボックスに数値を入力します。傾き角度指定の有効角度は、-45.0 ～ +45.0 度で、0.1 度刻みで設定できます。

[レイアウト認識] の設定

領域設定の方法を設定します。



[レイアウト認識を行う]

レイアウト認識により領域を自動抽出します。領域属性をあらかじめ設定したい場合は、[領域属性] をクリックし、設定の変更を行います。
(☞「領域枠の属性変更」P.98)

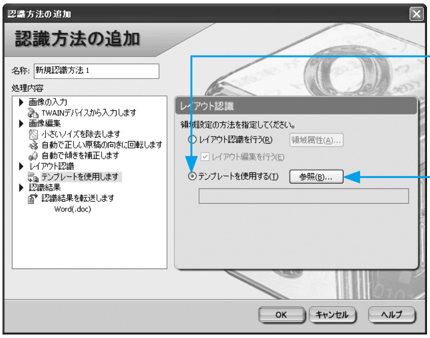
[レイアウト編集を行う] チェックボックスをクリックしてオンにすると、画像ファイルの読み込み後、「レイアウト編集」が起動します。文字認識を行う前にレイアウトの編集や読取順序の変更が行えます。
(☞「レイアウトを編集する」P.144)

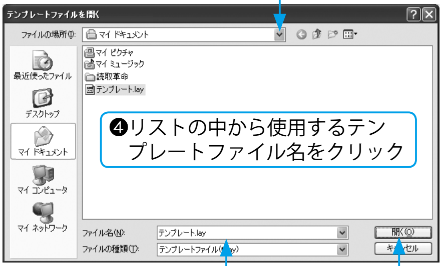
[テンプレートを使用する]

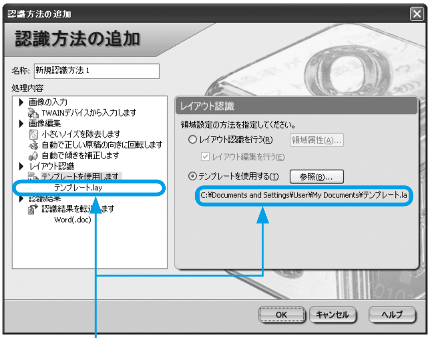
テンプレートを使用して文字認識を行います。使用するテンプレートを選択します。

※テンプレート
（☞「テンプレートで同じ形式のページを認識する」P.112）

テンプレートを使用する







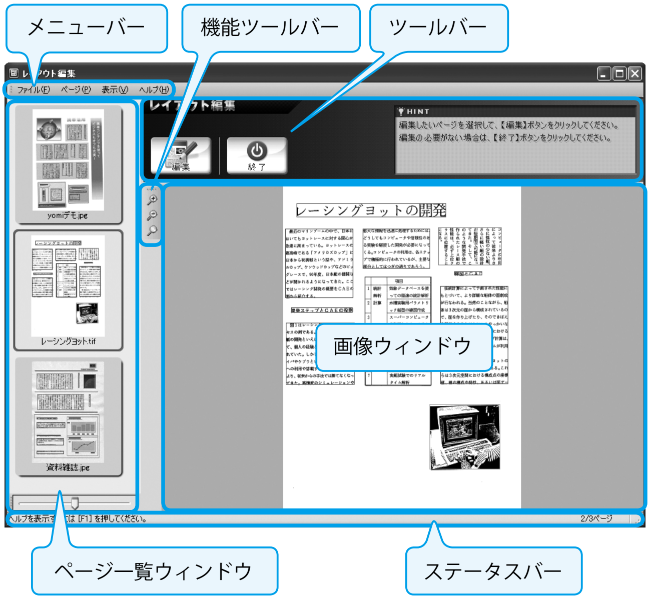
レイアウトを編集する

「レイアウト編集」は、かんたん認識から起動する「読取革命」に組み込まれたソフトウェアです。
かんたん認識から送られてくる画像ファイルを読み込み、レイアウトを編集します。「読取革命」で文字認識を行う前にあらかじめレイアウトを編集したい場合などに便利です。

画面構成

■メイン画面の構成

「メイン画面」では、レイアウト編集が行えるページをページ一覧ウィンドウに表示させ、レイアウト編集するページを選択できます。



■メニューバー
メニューを表示します。

■ツールバー
レイアウト編集画面に切り替える [編集] や、変換して終了する [終了] を表示します。また、操作方法を案内する「HINT」を表示します。

■機能ツールバー
使用頻度の高い機能をアイコンボタンで表示します。

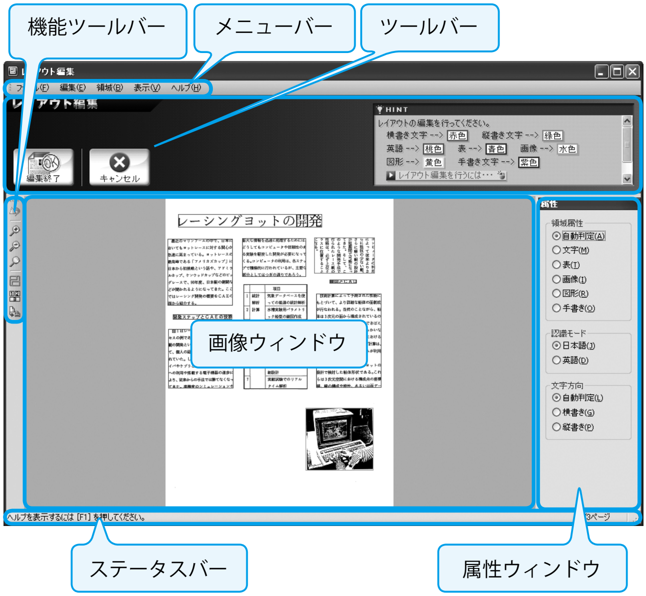
■ページ一覧ウィンドウ
読み込まれた画像を一覧表示します。ウィンドウ下部のページ一覧スライダーを動かすと、表示倍率が変更できます。

■画像ウィンドウ
ページ一覧ウィンドウで選択している画像を表示します。

■ステータスバー
カーソルがメニューやツールバーのボタン上にあるとき、メニューやツールバーのボタンの意味、あるいは表示中のページ番号 / 総ページ数をステータスバーに表示します。

■レイアウト編集画面の構成

「レイアウト編集画面」では、レイアウトの修正を行います。「レイアウト編集画面」は、「メイン画面」から表示できます。



■メニューバー
メニューを表示します。

■ツールバー
編集の終了時に編集内容を反映してメイン画面に切り替える [編集終了] や、編集内容を取り消してメイン画面に切り替える [キャンセル] を表示します。また、操作方法を案内する「HINT」を表示します。

■機能ツールバー
使用頻度の高い機能をアイコンボタンで表示します。

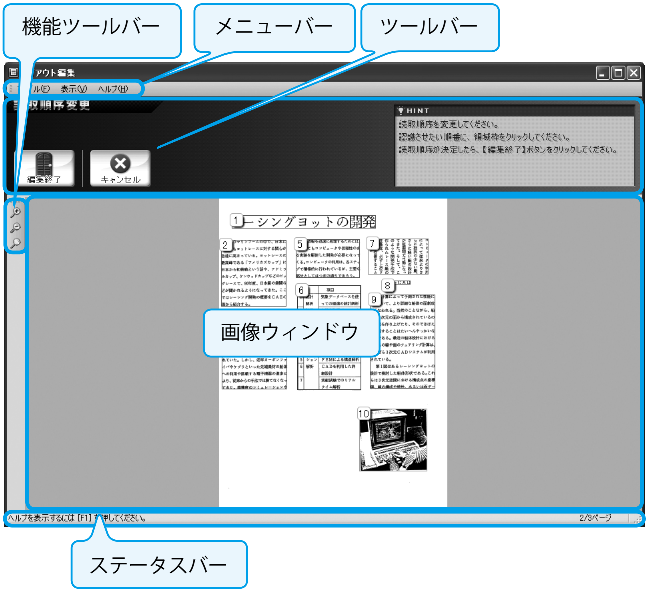
■属性ウィンドウ
選択している領域枠の領域属性を表示します。選択された領域枠がない場合は、規定値を表示します。

■画像ウィンドウ
画像を表示します。

■ステータスバー
カーソルがメニューやツールバーのボタン上にあるとき、メニューやツールバーのボタンの意味をステータスバーに表示します。

■読取順序変更画面の構成

「読取順序変更画面」では、各領域の読取順序番号を変更します。「読取順序変更画面」は、「レイアウト編集画面」から表示できます。



■メニューバー
　メニューを表示します。

■ツールバー
　編集の終了時に編集内容を反映してレイアウト編集画面に切り替える [編集終了] や、編集内容を取り消してレイアウト編集画面に切り替える [キャンセル] を表示します。また、操作方法を案内する「HINT」を表示します。

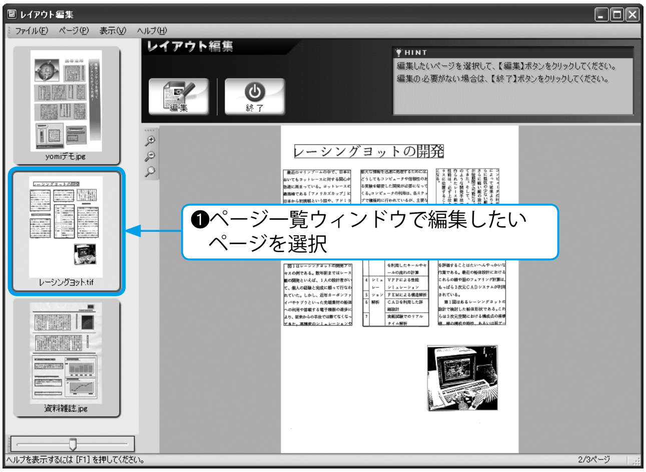
■機能ツールバー
　使用頻度の高い機能をアイコンボタンで表示します。

■画像ウィンドウ
　画像を表示します。

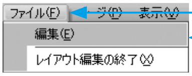
■ステータスバー
　カーソルがメニューやツールバーのボタン上にあるとき、メニューやツールバーのボタンの意味をステータスバーに表示します。

レイアウト編集画面を表示する

レイアウト編集画面を表示します。レイアウト編集画面では、レイアウト認識された領域枠を手動で調整したり、領域枠の属性を正しい属性に再設定できます。また、レイアウト編集画面から「読取順序変更画面」を表示させることができます。



❶ページ一覧ウィンドウで編集したいページを選択



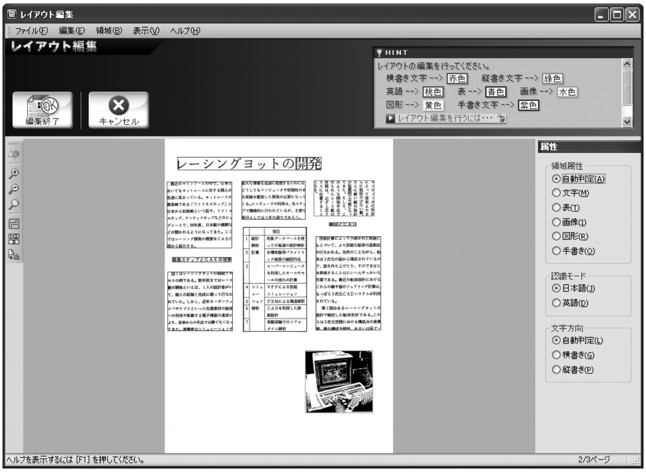
❷[ファイル]をクリック

❸[編集]をクリック

またはツールバーの

[編集]をクリック

またはページ一覧ウィンドウのページをダブルクリック



レイアウト編集画面が表示されます。

かんたん認識

レイアウトを編集する

手動で領域枠の設定ができます。また自動レイアウト認識ができます。
各域枠の読取順序が変更できます。

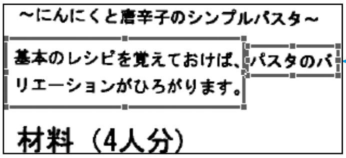
■領域枠の設定

手動で領域枠の設定ができます。また、領域枠の属性を変更して、正しい属性に手動で設定します。

- 領域枠の作成は、「領域枠の作成」P.94 を参照してください。
- 領域枠の選択は、「領域枠の選択」P.95 を参照してください。
- 領域枠のサイズ変更は、「領域枠のサイズ変更」P.96 を参照してください。

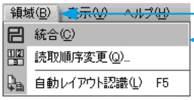
・領域枠の統合

複数の領域枠を 1 つにまとめます。



❶ [Shift] キーを押したまま各領域をクリック、または領域枠を範囲選択し複数選択

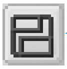
(☞「領域枠の選択」P.95)



❷ [領域] をクリック

❸ [統合] をクリック

または機能ツールバーの



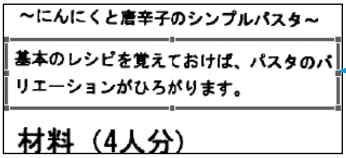
[統合] をクリック

領域 1 と領域 2 が 1 つの領域に統合されます。

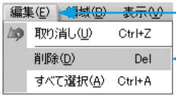
※統合された領域の属性は、選択した領域の中でもっとも読取順序が早い値の領域属性を継承します。統合後の属性は変更できます。
(☞「領域枠の属性変更」P.149)

・領域枠の削除

指定した領域枠を削除します。



❶領域内をクリック



❷ [編集] をクリック

❸ [削除] をクリック

または、[Delete] キーを押す

領域枠が削除されます。

※文字認識の対象は[文字]、[表]、[手書き]領域です。

英文書の場合

認識モードを[英語]にしてください。[英語]を選択すると、英文書専用の文字認識が行われるため、[日本語]の場合よりも認識率が向上します。認識モードを[英語]にした場合、文字方向は指定できません。

日英混合文書の場合

認識モードを[日本語]にしてください。

※[自動判定]では、手書き文字を[手書き]の属性として認識できません。

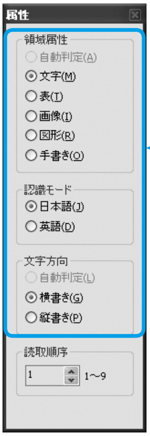
※領域属性の規定値の設定は、「レイアウト編集」の起動ごとにリセットされ、[自動判定]となります。

※図形領域を画像領域として認識できます。「環境設定」ダイアログボックスで設定できます。
(☞「[認識]タブの設定」P.207)

※領域枠がない場合、確認メッセージダイアログボックスは表示されません。

・領域枠の属性変更

領域枠の属性を変更し、正しい属性に手動で設定できます。



属性ウィンドウの各項目について、いずれか1つのラジオボタンをクリック

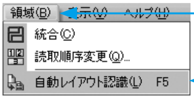
※属性の詳細については、「[認識]タブの詳細」P.99を参照してください。

読取順序

選択した領域の文字認識する順序を表示します。▲▼をクリックして読取順序を確認できます。
読取順序を変更するには、「読取順序を変更する」P.150を参照してください。

■自動レイアウト認識

設定済みの領域枠を削除して、自動で領域属性(文字・表・画像・図形)を分類し、領域枠の再設定を行います。自動レイアウト認識は、領域属性の規定値に設定した内容でレイアウト認識を行います。規定値を設定するには、領域枠外をクリックし、領域属性の設定を行います。
(☞「領域枠の属性変更」P.149)

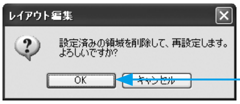


❶[領域]をクリック

❷[自動レイアウト認識]をクリック

または機能ツールバーの

[自動レイアウト認識]をクリック



❸[OK]をクリック

画像ウィンドウに領域枠が表示されます。
領域枠は属性ごとに色分けされて表示されます。

※編集作業中にツールバーの [キャンセル] をクリックすると、編集前の状態に戻ります。

※ 2 つ以上前の状態に戻すことはできません。「取り消し」は、直前に行った編集操作に対してだけ有効です。

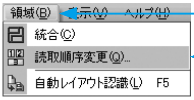
※ 領域枠がない場合は、「領域が設定されていないため、このページは全体を画像領域として設定されます。編集を終了してもよろしいですか？」というメッセージダイアログボックスが表示されますので、[OK] をクリックし、メイン画面に戻ります。

※ メニューバーの [ファイル]-[キャンセル]、またはツールバーの [キャンセル] をクリックすると、編集内容を反映せずにレイアウト編集を終了し、メイン画面に戻ります。

■読取順序を変更する

各領域には、文字認識をする順番を決める読取順序番号が付けられています。読取順序番号はこの操作により変更できます。

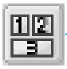
・読取順序変更画面を表示する



❶ [領域] をクリック

❷ [読取順序変更] をクリック

または機能ツールバーの

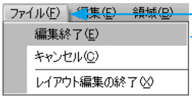


[読取順序変更] をクリック

読取順序変更画面が表示されます。

※読取順序の変更方法については、「読取順序の変更」P.121 を参照してください。

・読取順序変更画面を終了する



❶ [ファイル] をクリック

❷ [編集終了] をクリック

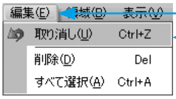
またはツールバーの

[編集終了] をクリック

読取順序変更画面が終了し、レイアウト編集画面が表示されます。

■取り消し

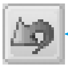
直前に行った領域枠の編集・属性変更などの操作を取り消して、操作を 1 つ前の状態に戻します。



❶ [編集] をクリック

❷ [取り消し] をクリック

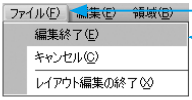
または機能ツールバーの



[取り消し] をクリック

■レイアウト編集を終了する

編集を終了し、編集した内容をメイン画面に反映します。



❶ [ファイル] をクリック

❷ [編集終了] をクリック

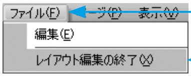
または機能ツールバーの

[編集終了] をクリック

レイアウト編集画面が終了し、メイン画面が表示されます。編集内容がメイン画面に反映されます。

「レイアウト編集」を終了する

ページ一覧ウィンドウに表示されているすべてのページ(画像)、およびレイアウト情報を「読取革命」に送り、「レイアウト編集」が終了します。

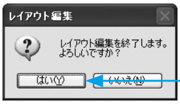


❶ [ファイル] をクリック

❷ [レイアウト編集の終了] をクリック

またはツールバーの

[終了] をクリック

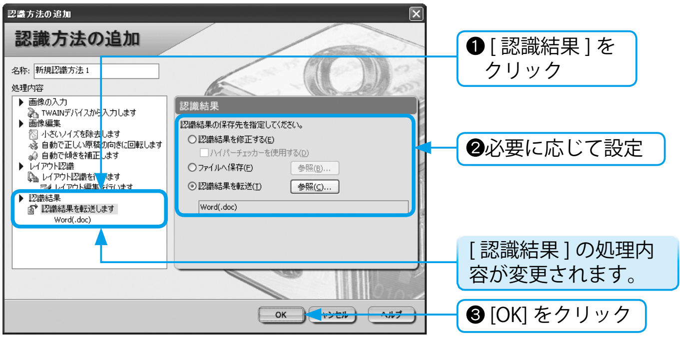


❸ [はい] をクリック

「レイアウト編集」が終了し、ページ一覧ウィンドウのすべてのページおよびレイアウト情報を「読取革命」に送ります。「読取革命」が起動し、かんたん認識で設定した処理が実行されます。

[認識結果] の設定

[認識結果] の設定方法は、「認識方法の追加」、「認識方法の複製」、「認識方法の変更」画面の共通の操作となります。
認識結果の保存先を設定します。



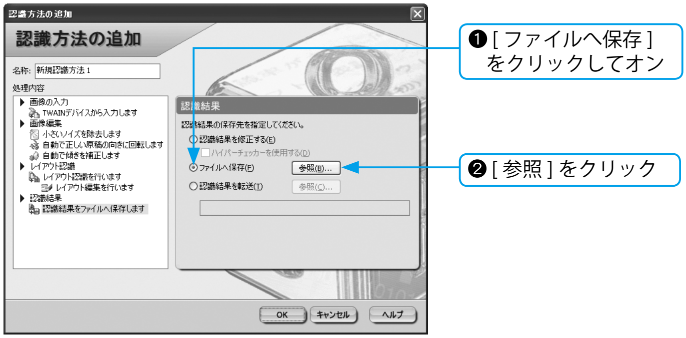
[認識結果を修正する]

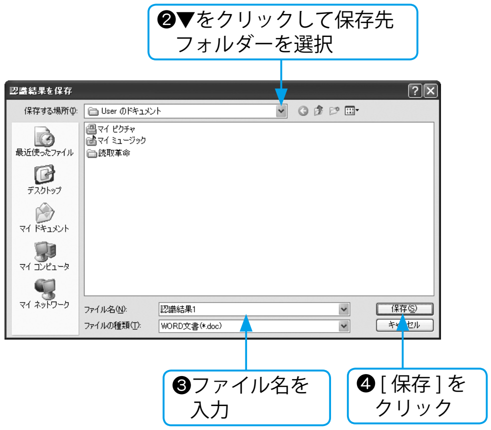
認識結果を認識結果ウィンドウへ表示します。かんたん認識終了後に、手動で保存や認識結果の編集が可能です。

[ハイパーチェッカーを使用する] チェックボックスをクリックしてオンにすると、かんたん認識終了後にハイパーチェッカー表示で認識結果が表示されます。

[ファイルへ保存]

認識結果をファイルへ保存します。





選択できる転送ファイル形式の詳細

●レイアウト枠付き文書で出力する場合
- Microsoft Word 文書 (*.doc)
- Microsoft Excel 文書 (*.xls)
- Microsoft PowerPoint 文書 (*.ppt)
- 書式付きファイル (*.rtf)
- 一太郎ファイル (*.jtd)

●レイアウト枠なし文書で出力する場合
- Microsoft Word(本文) 文書 (*.doc)
- 一太郎 (本文) ファイル (*.jtd)

※表・画像・図形は、レイアウト枠付きで出力されます。

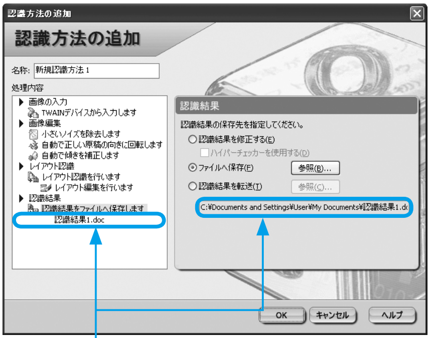
● PDF ファイルに出力する場合

PDF ファイルの文字 (認識結果) は、テキストのコピーおよび検索が可能です。

- PDF ファイル (*.pdf)
  元画像の上に文字認識で再現された文字色の認識結果を重ねて出力します。
- PDF(透明文字) ファイル (*.pdf)
  元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。元画像がそのまま PDF ファイルに再現されます。
- PDF(高圧縮) ファイル (*.pdf)
  カラー画像やグレースケール画像のファイルサイズを小さく抑えて出力します。文字画像と背景画像を分離し、それぞれ適した圧縮率でファイルが作成されるため、文字をはっきりと表示できます。文字画像と背景画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

●インターネットのホームページ文書に出力する場合
- HTML 文書 (*.htm)
- XML 文書 (*.xml)

※認識結果の転送は、パソコンにインストールされているアプリケーションに限り有効です。



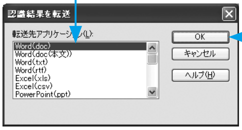
指定したファイルが表示されます。

[認識結果を転送]

認識結果を転送します。

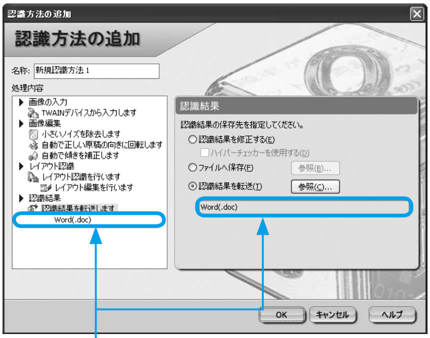
❶ [ファイルへ保存] をクリックしてオン

❷ [参照] をクリック



❸転送先のアプリケーション名をクリック

❹ [OK] をクリック



指定したファイル形式が表示されます。

このページは空白ページです。

画像編集

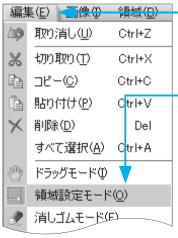
領域の範囲指定 156
消去する 157
　消去 (領域の内側を消去) 157
　トリミング (領域の外側を消去) 158
　消しゴム 159
ノイズ除去 160
傾き補正 161
　自動傾き補正 161
　手動傾き補正 162
　見開き補正 163
回転 165
上下反転 166
左右反転 167
傾斜 168
長方形化 169
リサイズ 170
色の反転 171
減色 172
カラーフィルター 173
シャープネス 174
エッジ強調 175
明るさ 176
コントラスト 177
ガンマ補正 178
カラードロップアウト 179
一括画像編集 182
作図 185

領域の範囲指定

範囲指定をして、画像の部分的な修正 (消去・色の反転・トリミング・ノイズ除去・長方形化・カラードロップアウト) を行うことができます。なお、回転・傾き補正・上下反転・左右反転・傾斜・リサイズ・シャープネス・エッジ強調・減色・明るさ・コントラスト・ガンマ補正・カラーフィルターは、画像全体に対して実行されますので、範囲指定は必要ありません。

領域設定モード

1 領域設定モードにする



❶ [編集] をクリック

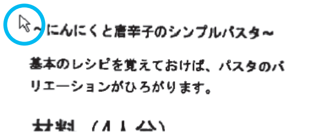
❷ [領域設定モード] をクリック

または標準ツールバーの

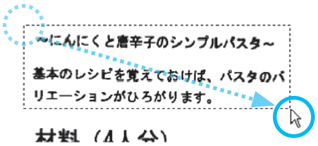
ボタンをクリック

2 範囲指定する

※画像全体を選択したい場合は、画像ウィンドウをクリックして、[編集] メニューの [すべて選択] を実行してください。



❶画像ウィンドウで、範囲指定したい部分の角にマウスポインターを合わせ、マウスの左ボタンを押す



❷左ボタンを押したままマウスを移動させ、範囲指定したい部分を枠で囲む

❸マウスの左ボタンを離す

消去する

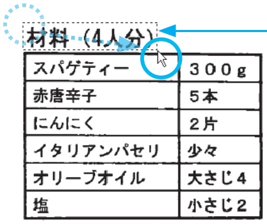
不要な画像を消去しておくことにより、文字認識の精度が向上します。
画像の消去には、範囲指定した領域の内側を消去する「消去」と、指定範囲の外側を消去する「トリミング」、また、ドラッグされた部分を消去する「消しゴム」が用意されています。

消去 (領域の内側を消去)

領域設定モード

範囲指定した領域の内側を消去します。

1 消去する部分を範囲指定する


材料（4人分）

スパゲティー	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片
イタリアンパセリ	少々
オリーブオイル	大さじ4
塩	小さじ2

領域を範囲指定する

※ (☞「領域の範囲指定」P.156)

2 メニューを選択する

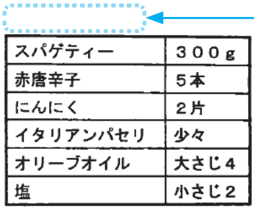
❶ [画像] をクリック

❷ [消去] をクリック

または画像編集ツールバーの

ボタンをクリック

3 実行結果



スパゲティー	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片
イタリアンパセリ	少々
オリーブオイル	大さじ4
塩	小さじ2

範囲指定した画像が消去されます。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

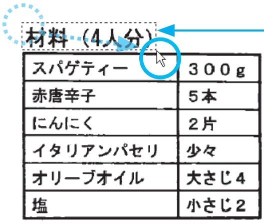
※範囲指定を行わずに消去を行った場合は、画像全体が消去されます。

トリミング (領域の外側を消去)

領域設定モード

範囲指定した領域だけを残して、それ以外を消去します。ある一部分だけが必要で、ほかをすべて消去したい場合に便利です。

1 残す部分を範囲指定する



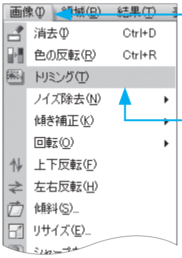
材料（4人分）

スパゲティー	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片
イタリアンパセリ	少々
オリーブオイル	大さじ4
塩	小さじ2

必要な領域を範囲指定する

※ (☞「領域の範囲指定」P.156)

2 メニューを選択する



❶ [画像] をクリック

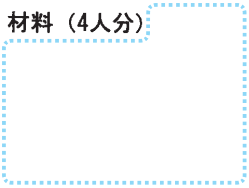
❷ [トリミング] をクリック

または画像編集ツールバーの

ボタンをクリック

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

3 実行結果



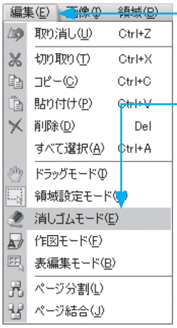
範囲指定した部分以外の画像が消去されます。

消しゴム

消しゴムモード

消しゴムで文字を消すように、ドラッグした箇所の画像を消すことができます。消しゴムの大きさには、大・中・小があります。黒点や汚れなど画像の細かい修正に便利です。

1 メニューを選択する



❶ [編集] をクリック

❷ [消しゴムモード] をクリック

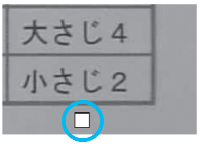
または標準ツールバーの

ボタンをクリック

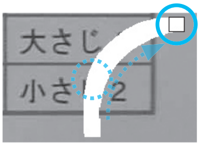
2 消しゴムの大きさを選択する

消したい部分の大きさに合わせていずれかをクリック

3 消しゴムで消す



❶マウスの左ボタンを押す



❷左ボタンを押したまま実際に消しゴムを使うときのように動かして消す

※ [消しゴムモード] での作業終了後も [消しゴムモード] のままにしておくと、必要な画像の一部まで誤って消してしまうおそれがあります。作業が終わったら、その都度他のモードに変更することをお勧めします。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

■取り消し

直前に行った操作にだけ有効です。マウスボタンを一度離して、再びボタンを押すと、別の操作が行われたとみなされます。

例：[消しゴム] で画像☆を消し、左ボタンを一度離してから [消しゴム] で画像★を消して、[取り消し] を実行した場合

画像☆→元の画像には戻りません。

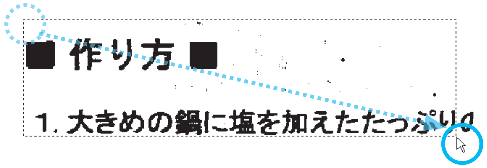
画像★→ [取り消し] で元の画像に戻ります。

ノイズ除去

白黒画像 (2 値画像) の範囲指定した部分の画像からノイズ (黒点状の汚れ) を除去します。ノイズは、認識率を低下させる大きな原因の 1 つです。ノイズ除去を行ってから文字認識を実行されることをお勧めします。

1 ノイズ除去する部分を範囲指定する

領域設定モード



ノイズ除去を行う部分を範囲指定

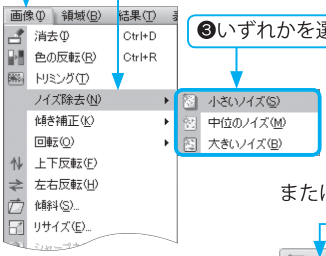
※ (☞「領域の範囲指定」P.156)

2 除去するノイズの大きさを選択する

❶ [画像] をクリック

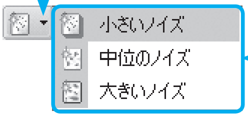
❷ [ノイズ除去] を選択

❸いずれかを選択



または画像編集ツールバーの

①▼をクリック



②いずれかを選択

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

※文字や表の一部まで除去されてしまった場合は、すぐに [取り消し] を実行し、選択するノイズの大きさを小さくしてください。

3 実行結果

範囲指定した領域内のノイズが除去されます。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

※範囲指定を行わずに実行した場合は、画像全体に対して実行されます。

傾き補正

画像ウィンドウに表示された画像に対して、自動的に傾斜角度を検出し傾き補正を行います。また、傾き補正は手動でも行えます。
画像が見開きページの場合は、左右のページごとに自動・手動で傾きを補正できます。

※ 45 度以上傾いている画像は傾き補正できません。画像を [回転] させたあとで、傾き補正を実行してください。
(☞「回転」P.165)

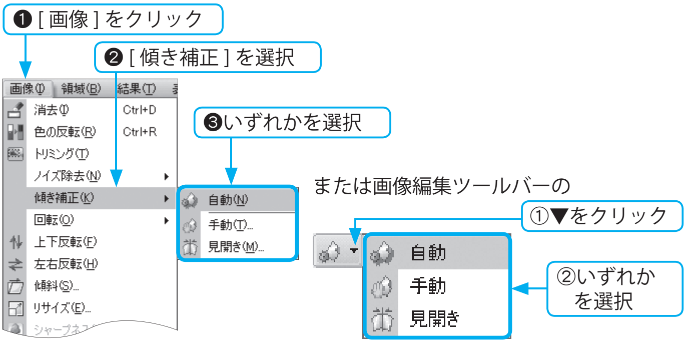
※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

[自動] 傾き補正を中止する場合

実行中にステータスバーの [中止] をクリックすると [傾き補正] を中止し、補正開始前の状態に戻ります。

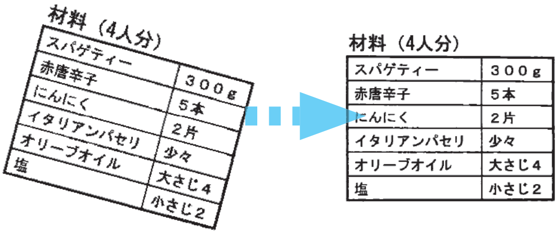
※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

1 メニューを選択する



自動傾き補正

2 実行結果



傾きが自動で補正されます。

手動傾き補正

傾き角度調整スライダーを操作して、画像の傾きを補正します。

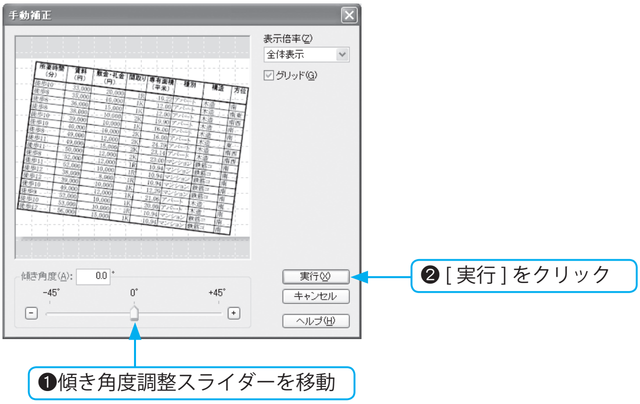
■ [表示倍率]
画像の拡大表示、または縮小表示ができます。

■ [グリッド]
[グリッド] のチェックボックスをクリックしてオンにすると、グリッド線に画像を合わせて水平な位置を確認できます。

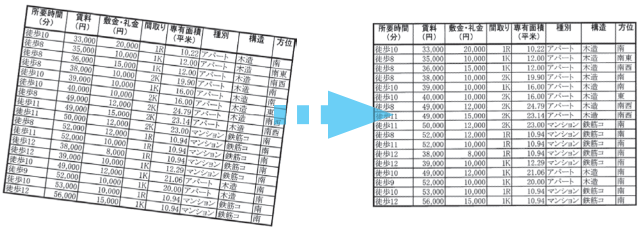
■ [傾き角度]
[傾き角度] のスライダーを左右に動かし、傾きを補正できます。
または、[-]/[+] をクリック、[傾き角度] のテキストボックスに直接入力できます。
(-45.0 ～ +45.0 度までの数値)

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

2 傾き角度を調整する



3 実行結果



所要時間（分）	賃料（円）	敷金・礼金（円）	間取り	専有面積（平米）	種別	構造	方位
徒歩10	33,000	20,000	1R	10.22	アパート	木造	南
徒歩8	35,000	10,000	1K	12.00	アパート	木造	南東
徒歩8	36,000	15,000	1K	12.00	アパート	木造	南西
徒歩8	38,000	10,000	2K	19.90	アパート	木造	南
徒歩10	39,000	10,000	1K	16.00	アパート	木造	南
徒歩10	40,000	10,000	2K	16.00	アパート	木造	東
徒歩8	49,000	12,000	2K	24.79	アパート	木造	南西
徒歩11	49,000	15,000	2K	23.14	アパート	木造	南西
徒歩11	50,000	12,000	2K	23.00	マンション	鉄筋コ	南
徒歩8	52,000	12,000	1R	10.94	マンション	鉄筋コ	南
徒歩11	52,000	10,000	1R	10.94	マンション	鉄筋コ	南
徒歩12	38,000	8,000	1R	10.94	マンション	鉄筋コ	南
徒歩12	39,000	10,000	1K	12.29	マンション	鉄筋コ	南
徒歩10	49,000	12,000	1K	21.06	アパート	木造	南
徒歩9	52,000	10,000	1K	20.00	アパート	木造	南
徒歩10	53,000	10,000	1R	10.94	マンション	鉄筋コ	南
徒歩12	56,000	15,000	1K	10.94	マンション	鉄筋コ	南

設定した角度に補正されます。

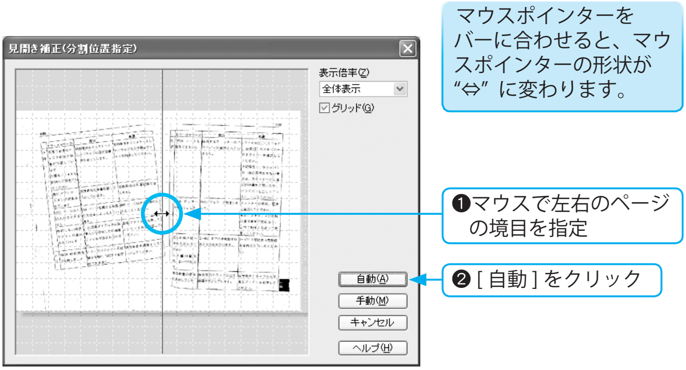
見開き補正

ページの境目を指定し、画像を見開きの形で傾き補正します。[自動] と [手動] の 2 とおりが用意されています。

自動補正

ページの境目を指定し、[自動] をクリックすると、左右ページの傾き補正が同時に行われます。

2 [自動] を選択する

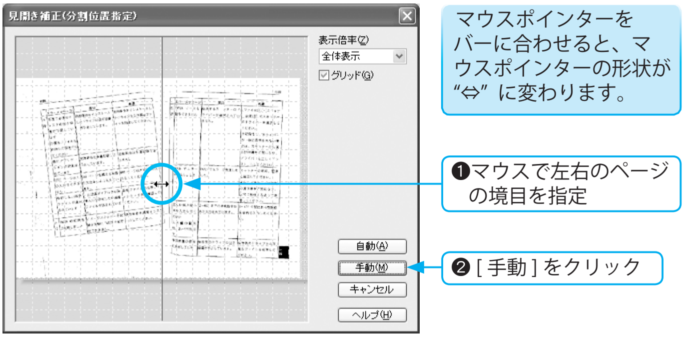


※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

手動補正

ページの境目を指定し、[手動] をクリックすると、左ページから順に傾き角度を調整できます。

2 [手動] を選択する



3 傾き角度を調整する

■ [表示倍率]
画像の拡大表示、または縮小表示ができます。

■ [グリッド]
[グリッド] のチェックボックスをクリックしてオンにすると、グリッド線に画像を合わせて水平な位置を確認できます。

■ [傾き角度]
[傾き角度] のスライダーを左右に動かし、傾きを補正できます。
または、[-]/[+] をクリック、[傾き角度] のテキストボックスに直接入力できます。
(-45.0 ～ +45.0 度までの数値)

❷ [実行] をクリック

❶傾き角度調整スライダーを移動

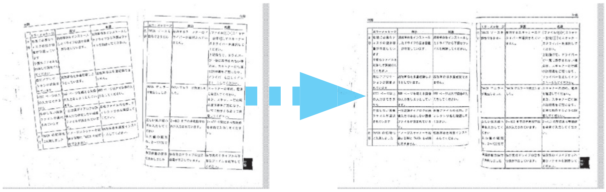
4 実行結果

傾き補正機能だけでは正確な方向に修正できない場合

①横書き文書を縦方向に読み込んだ場合

②縦書き文書を横方向に読み込んだ場合

上記の条件の画像の場合は、補正実行後、[回転] を行ってください。
(☞「回転」P.165)



左右のページがそれぞれ補正されます。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

回転

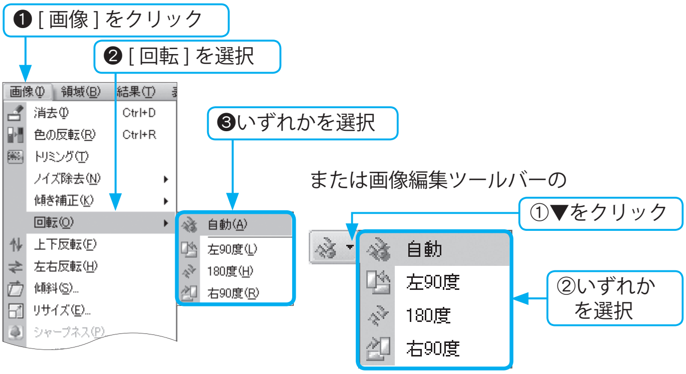
画像ウィンドウに表示された画像の向きを変更します。
認識は画面に表示されている文字方向に対して行いますので、画像ウィンドウに表示された画像が回転している場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように回転させてください。

※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。

※画像の回転は、画像全体に対して行われます。部分的な回転はできません。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

1 回転角度を選択する



画像編集

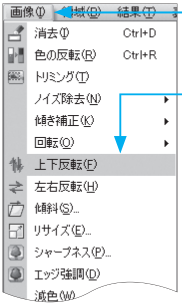
上下反転

画像ウィンドウに表示された画像の向きを上下反転します。
認識は画面に表示されている文字方向に対して行いますので、画像ウィンドウに表示された画像が反転している場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように反転させてください。反転には「上下反転」と、「左右反転」の 2 とおりが用意されています。

※画像の上下反転は、画像全体に対して行われます。部分的な反転はできません。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

1 [上下反転] を選択する



❶ [画像] をクリック

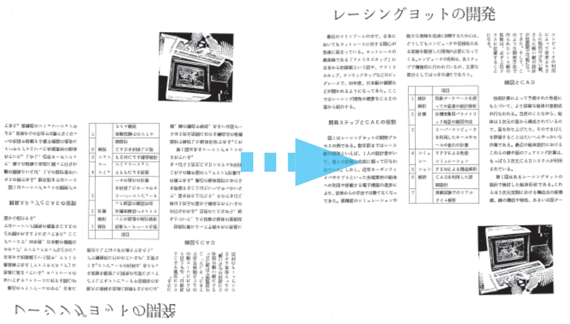
❷ [上下反転] をクリック

または画像編集ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

2 実行結果

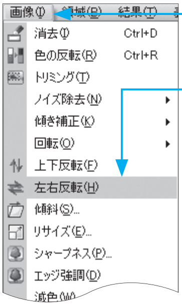


画像が上下反転します。

左右反転

画像ウィンドウに表示された画像の向きを左右反転します。
認識は画面に表示されている文字方向に対して行いますので、画像ウィンドウに表示された画像が反転している場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように反転させてください。反転には「上下反転」と、「左右反転」の 2 とおりが用意されています。

1 [左右反転] を選択する



❶ [画像] をクリック

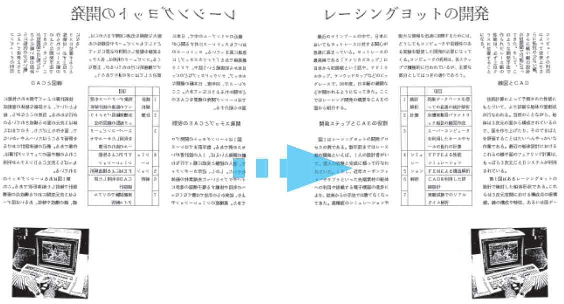
❷ [左右反転] をクリック

または画像編集ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

2 実行結果



画像が左右反転します。

※画像の左右反転は、画像全体に対して行われます。部分的な反転はできません。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

画像編集

傾斜

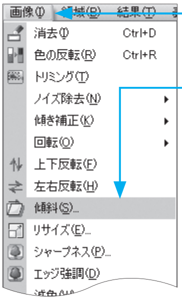
デジタルカメラなどで撮影された傾斜した画像を修正できます。

※画像の傾斜は、画像全体に対して行われます。部分的な傾斜はできません。

■ [水平方向の傾斜]
チェックボックスをクリックして、オンにすると、水平方向に傾斜します。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

1 [傾斜] を選択する



❶ [画像] をクリック

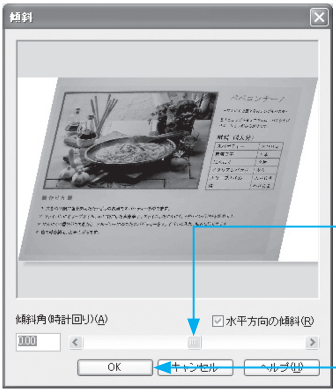
❷ [傾斜] をクリック

または画像編集ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

2 傾斜角を指定する



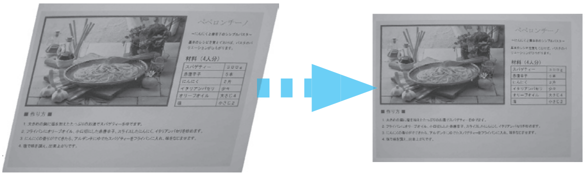
❶スライダーを移動

または、傾斜角のテキストボックスに直接入力できます。
(-45.0 ～ 45.0 度までの数値)

❷ [OK] をクリック

3 実行結果

■水平方向に傾斜した場合

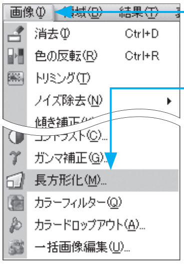


傾斜した画像が補正されます。

長方形化

画像のひずみを補正できます。
デジタルカメラで斜めから撮影した画像のひずみを補正するのに便利です。

1 [長方形化] を選択する

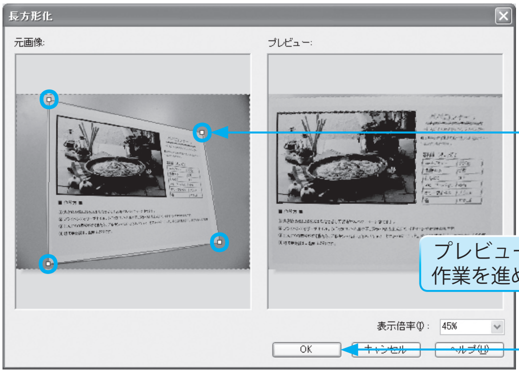


または画像編集ツールバーの

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

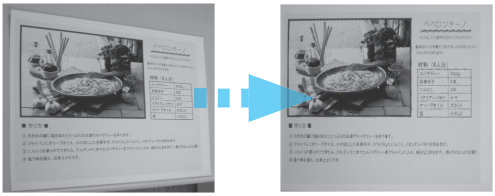
※ 1 の手順の前に範囲指定して矩形を設定することもできます。

2 矩形を設定する



■ [表示倍率]
表示倍率を変更して、画像を拡大・縮小できます。

3 実行結果



頂点を移動させることにより元画像のひずみが補正されます。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

リサイズ

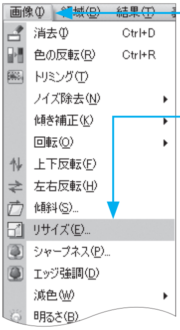
画像のサイズを変更できます。
認識結果の保存・転送を行う場合、用紙サイズを任意の大きさにしたい場合に便利です。

■ [縦横比を固定]
チェックボックスをクリックして、オンにすると、縦横比を変えずにリサイズできます。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

※実行結果を確認するには、表示倍率を指定してリサイズを行ってください。

1 [リサイズ] を選択する



❶ [画像] をクリック

❷ [リサイズ] をクリック

または画像編集ツールバーの

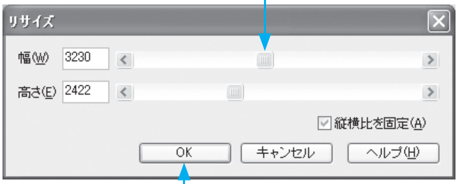
ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

2 高さと幅を指定する

❶スライダーを移動

または、幅 / 高さのテキストボックスに直接入力できます。
(1 ～ 7136 までの数値)



❷ [OK] をクリック

色の反転

画像全体、または、範囲指定された部分の画像の色を反転させます。

領域設定モード

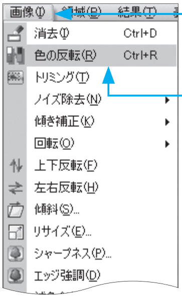
1 色の反転をする部分を範囲指定する

反転させる部分を範囲指定する

※範囲指定を行わずに実行した場合は、画像全体に対して実行されます。

※ (☞「領域の範囲指定」P.156)

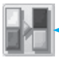
2 メニューを選択する



❶ [画像] をクリック

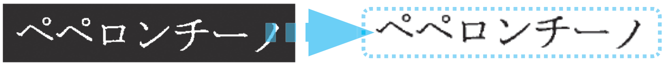
❷ [色の反転] をクリック

または画像編集ツールバーの



ボタンをクリック

3 実行結果



範囲指定した部分が反転表示されます。

■見出しを反転する場合
白黒反転している黒の部分がかすれていたり、細かい線のようになっている場合は、色の反転を実行しても、正しく文字認識できないことがあります。色の反転を実行せずに [見出し認識] を行ってみてください。(☞「見出し認識」P.107)

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

減色

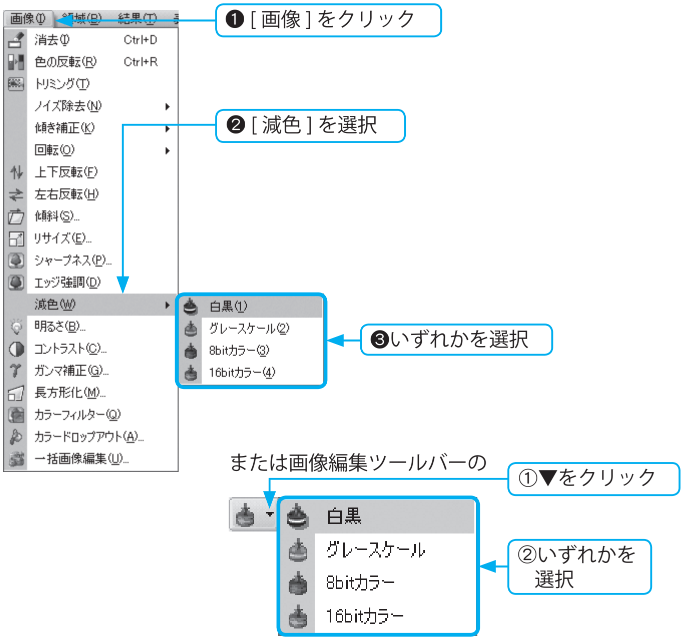
カラー画像やグレースケール画像の色数を減らします。
画像ファイルサイズを小さくするのに便利です。

1 減色したい色数を選択する

※表示されている画像のカラー数以上の色数は、指定できません。

※画像の減色は、画像全体に対して行われます。部分的な減色はできません。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)



カラーフィルター

カラー画像やグレースケール画像に対して、文字認識に最適な画像修正を「読取革命」が自動的に判断します。
フィルターは以下の 5 種類から選択されます。

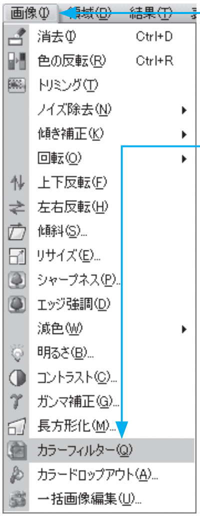
・シャープネス　・エッジ強調　・明るさ　・コントラスト　・ガンマ補正

※カラーフィルターは、画像全体に対して行われます。部分的なカラーフィルターはできません。

※画像によっては元画像が最適と判断され、画像修正が行われない場合があります。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

1 [カラーフィルター] を選択する



❶ [画像] をクリック

❷ [カラーフィルター] をクリック

または画像編集ツールバーの

ボタンをクリック

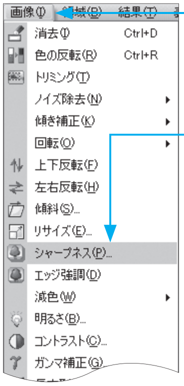
※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

画像編集

シャープネス

カラー画像やグレースケール画像に対して輪郭補正を行います。
シャープさに欠けた画像の輪郭を補正し、コントラストを上げることで、くっきりさせることができます。

1 [シャープネス] を選択する



❶ [画像] を
クリック

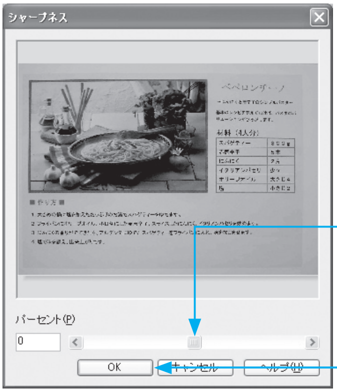
❷ [シャープネス] を
クリック

または画像編集ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

2 パーセントを指定する



❶スライダーを移動
または、パーセントのテキストボックスに直接入力できます。
(-100 ～ 100 までの数値)

❷ [OK] をクリック

プレビュー画面の表示について

実際の画像を縮小して表示しているため、画像イメージと実行結果が多少異なる場合があります。

※画像のシャープネスは、画像全体に対して行われます。部分的なシャープネスはできません。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

エッジ強調

カラー画像やグレースケール画像のエッジを強調させます。
文字データの輪郭をはっきりさせ、認識精度を向上させることができます。

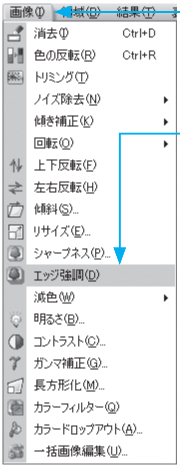
■ [エッジ強調]
あらかじめ用意されたフィルターをかけることにより、エッジや線要素などを抽出します。

※画像のエッジ強調は、画像全体に対して行われます。部分的なエッジ強調はできません。

※認識結果はエッジ強調を行うと削除されます。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

1 [エッジ強調] を選択する



❶ [画像] をクリック

❷ [エッジ強調] をクリック

または画像編集ツールバーの

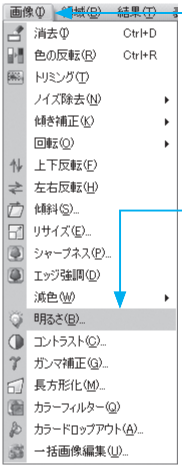
ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

明るさ

カラー画像やグレースケール画像の明るさを変更します。

1 [明るさ] を選択する



❶ [画像] をクリック

❷ [明るさ] をクリック

または画像編集ツールバーの

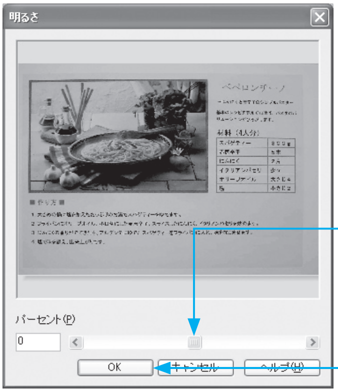
ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

2 パーセントを指定する

※画像の明るさは、画像全体に対して行われます。部分的な明るさ調整はできません。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)



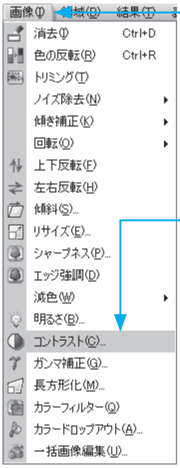
❶スライダーを移動
または、パーセントのテキストボックスに直接入力できます。
(-100 ～ 100 までの数値)

❷ [OK] をクリック

コントラスト

カラー画像やグレースケール画像のコントラストを変更します。
背景と文字のコントラストを強調したいときに便利です。

1 [コントラスト] を選択する



❶ [画像] をクリック

❷ [コントラスト] をクリック

または画像編集ツールバーの

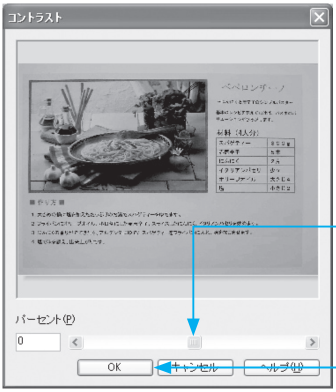
ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

2 パーセントを指定する

※画像のコントラストは、画像全体に対して行われます。部分的なコントラスト変更はできません。

※操作を取り消すには
（☞「取り消し」P.84)



❶スライダーを移動

または、パーセントのテキストボックスに直接入力できます。
(-100 ～ 100 までの数値)

❷ [OK] をクリック

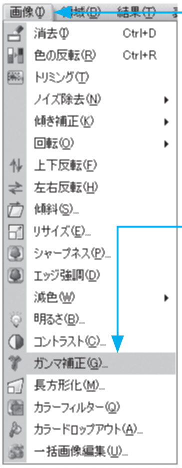
画像編集

ガンマ補正

カラー画像やグレースケール画像のガンマ値を補正すると、縞模様のノイズを除去できます。

■ [ガンマ補正]
輝度値を描画するときに使用するガンマ定数を変更して、ビットマップ内の色の明度を調整します。

1 [ガンマ補正] を選択する



❶ [画像] をクリック

❷ [ガンマ補正] をクリック

または画像編集ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

2 ガンマ値を指定する

❶スライダーを移動

または、ガンマのテキストボックスに直接入力できます。
(0.01 ～ 4.99 までの数値)

❷ [OK] をクリック

※画像のガンマ補正は、画像全体に対して行われます。部分的なガンマ補正はできません。

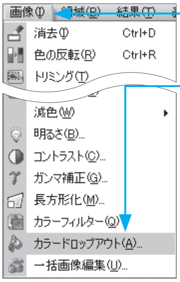
※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

カラードロップアウト

読み込んだ画像がカラーやグレースケールの場合、画像に使用されている色を別の色に置き換えることができます。
適用範囲は、画像全体または範囲指定した領域です。

※指定した範囲内を対象として [カラードロップアウト] を行う場合は、メニューを選択する前に範囲指定を行います。

1 [カラードロップアウト] を選択する



❶ [画像] をクリック

❷ [カラードロップアウト] をクリック

または画像編集ツールバーの

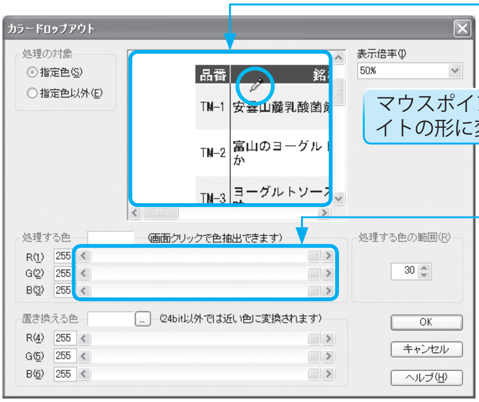
ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

2 処理する色を指定する

処理する色の指定には、2 とおりの方法があります。

画像内で処理する色の部分をクリック



マウスポインターがスポイトの形に変化します。

スライダーを移動

または、ダイアログボックス左側のテキストボックスに直接数値を入力し、RGB 値を指定できます。
0 ～ 255 までの値を入力してください。

R: 赤色を編集します
G: 緑色を編集します
B: 青色を編集します

■ RGB
光の 3 原色をコンピューターで表現する表記法の 1 つ。
R(赤)、G(緑)、B(青) の組み合わせですべての色が表現できる。

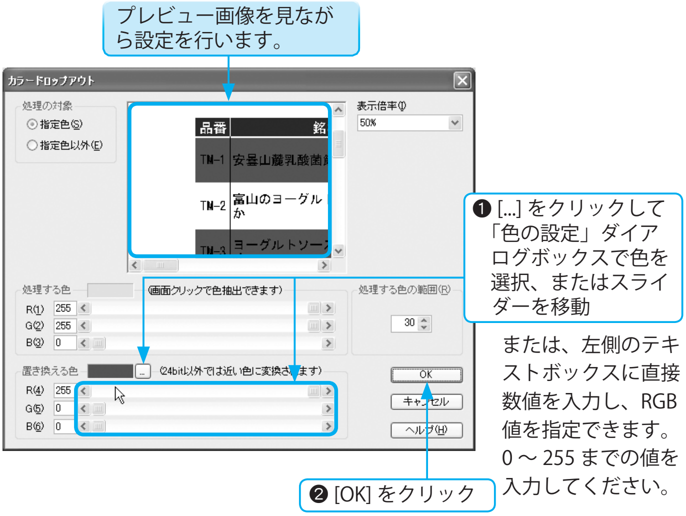
※グレースケール画像の場合、各 RGB 値はすべて同じ値になります。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

※ TWAIN デバイス (スキャナー) やデジタルカメラなどから取り込まれた画像は、色ムラが発生する場合があります。また、画像の保存ファイル形式によっても色ムラが発生します。肉眼では同色に見えても微妙に色が異なってしまうと、設定した色が反映されない場合があります。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

3 置き換える色を指定して実行する



※必要に応じて、その他の設定も行います。(☞次項目)

■カラードロップアウト ダイアログボックスの詳細

処理の対象

[指定色]：オンの場合、指定された処理する色を対象に置き換えを行います。

[指定色以外]：オンの場合、指定された処理する色以外を対象に置き換えを行います。

プレビュー：対象となる画像領域を表示します。

処理する色

指定色：現在指定されている処理する色を表示します。

[R]：赤色の割合を設定します。スライダーを移動するか、または左側テキストボックスに数値を入力します。0 ～ 255 までの値が入力できます。

[G]：緑色の割合を設定します。スライダーを移動するか、または左側テキストボックスに数値を入力します。0 ～ 255 までの値が入力できます。

[B]：青色の割合を設定します。スライダーを移動するか、または左側テキストボックスに数値を入力します。0 ～ 255 までの値が入力できます。

置き換える色

対象となる画像が 16bit/8bit の場合、設定した色に近い色で置き換える場合があります。

指定色：現在指定されている置き換える色を表示します。

[...]：「色の設定」ダイアログボックスが表示されます。選択した色は、指定色に表示されます。
グレースケール画像の場合は、選択できません。

[R]：赤色の割合を設定します。スライダーを移動するか、または左側テキストボックスに数値を入力します。0 ～ 255 までの値が入力できます。

[G]：緑色の割合を設定します。スライダーを移動するか、または左側テキストボックスに数値を入力します。0 ～ 255 までの値が入力できます。

[B]：青色の割合を設定します。スライダーを移動するか、または左側テキストボックスに数値を入力します。0 ～ 255 までの値が入力できます。

[表示倍率]：プレビュー画像の表示倍率を変更します。

[処理する色の範囲]：置き換えられる色の範囲を設定します。

一括画像編集

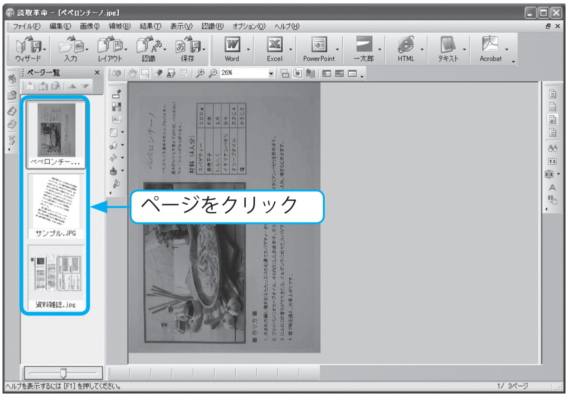
ページ一覧ウィンドウに表示されているすべてのページ、または選択したページの画像を一括で自動回転、自動傾き補正できます。複数ページを一度に編集したい場合に便利です。

複数ページを指定する場合

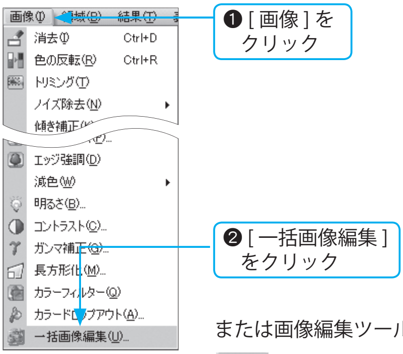
- **離れたページを指定する**
  [Ctrl] キーを押したまま、ファイルを1つずつクリックすると、任意のファイルが選択されます。
- **連続したページを指定する**
  選択したいファイルが連続して並んでいる場合、選択したい範囲の先頭のページをクリックし、[Shift] キーを押したまま、選択したい範囲の最後のページをクリックすると、間に挟まれたページがすべて選択できます。

1 ページを選択する

一括画像編集を行うページを選択します。すべてのページを選択する場合は、ページ一覧ウィンドウ内で、いずれかの画像をクリックします。



2 メニューを選択する



または画像編集ツールバーの

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」P.127 を参照してください。

※選択したファイルがない場合は、すべてのページに一括画像編集が行われます。

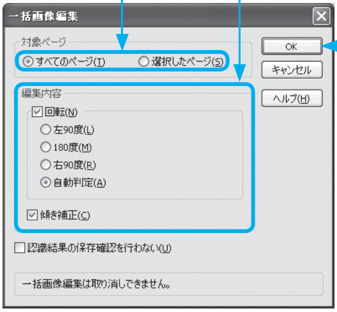
※一括画像編集後の取り消しはできません。

3 編集内容を設定する

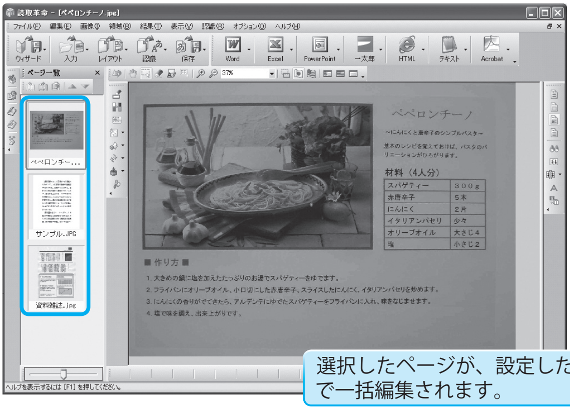
❶いずれかをクリック

❷編集内容を設定

❸ [OK] をクリック

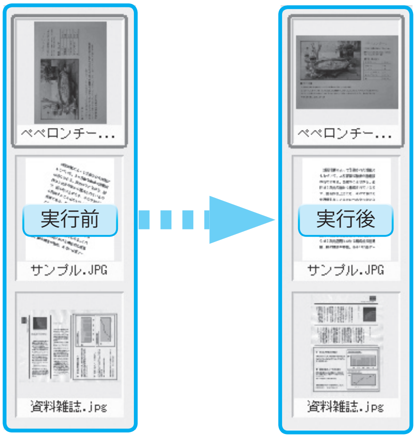


4 実行結果

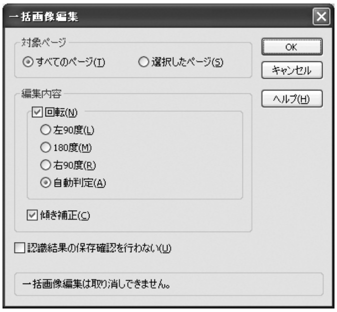


選択したページが、設定した内容で一括編集されます。

回転の自動判定と傾き補正のチェックボックスをオンにして実行した場合



■一括画像編集 ダイアログボックスの詳細



対象ページ

[すべてのページ]：ページ一覧ウィンドウに表示されているすべての画像を編集します。

[選択したページ]：ページ一覧ウィンドウで選択した画像を編集します。

編集内容

[回転]：回転を行う場合は、チェックボックスをクリックしてオンにし、以下の項目を選択します。
- ・左 90 度
- ・180 度
- ・右 90 度
- ・自動判定

[傾き補正]：自動傾き補正を行う場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

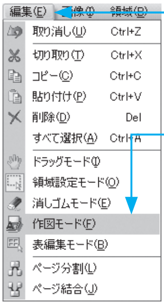
[認識結果の保存確認を行わない]：認識結果の保存確認ダイアログボックスを表示しない場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

作図

「読取革命」に読み込まれた画像は、直線・長方形・文字の描画を行うことができます。
かすれた罫線の修正や、罫線のない表領域に罫線を追加する場合に便利です。
※色の設定は表示されている画像の色数によって反映される色が異なります。

作図モード

1 [作図モード] を選択する



❶ [編集] をクリック

❷ [作図モード] をクリック

または標準ツールバーの

ボタンをクリック

※ [作図モード] を終了する場合は、他のモードを選択してください。
(☞「操作モードの切り替え」P.63)

2 描画種別と詳細を設定する

直線を描画する場合

❶クリック

❷▼をクリックし、線の太さを選択

❸クリックして「色の選択」ダイアログボックスを表示させ、線の色を選択

※画像の表示倍率が小さいと、正しく描画されていても線が表示されなかったり、破線で表示される場合があります。
表示倍率を変更すると、正しく表示できます。

※色の設定は表示されている画像の色数によって反映される色が異なります。

長方形を描画する場合

❶クリック

❷▼をクリックし、線の太さを選択

❸クリックして「色の選択」ダイアログボックスを表示させ、線の色を選択

❹塗り潰しの有無を選択

❺ [有] を選択した場合、[...] をクリックして塗り潰しの色を設定

文字描画を行う場合の画像表示倍率

文字描画を行う場合、画像ウィンドウの表示倍率は 100% で操作を行ってください。
文字描画は表示倍率が 100% の画像に対して指定した文字サイズで文字描画を行います。
画像ウィンドウの表示倍率が 100% でない状態で文字描画を行うと、入力した文字配置と、実際に描画した文字の位置や大きさがずれる場合があります。

文字を描画する場合

❶クリック

❷フォント設定を変更する場合クリック

「フォント設定」ダイアログボックスが表示されます。

■フォント設定 ダイアログボックスの詳細

❶各項目を必要に応じて設定

❷ [OK] をクリック

※ [フォント名] や [サイズ] の一覧はお使いのパソコン環境によって異なります。

[フォント名]

フォントを選択・表示します。

[サイズ]

文字サイズを選択・表示します。
希望のサイズがリストにない場合は、テキストボックスに直接入力して設定できます。

[色]

文字列の色を選択・表示します。色の設定は表示されている画像の色数によって反映される色が異なります。

[行間]

設定できません。

[文字間]

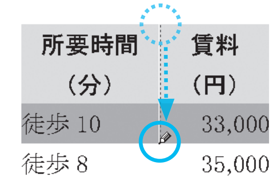
設定できません。

3 描画する

各描画の詳細設定を行ったあと、画像ウィンドウ内で描画を行います。対象となる画像が 24bit 以外の場合、設定した色に近い色に変換されます。

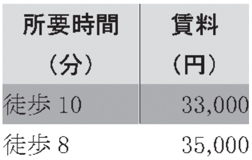
※垂直や水平な直線を描く場合は、[Shift] キーを押したまま手順 3 の操作を行ってください。

直線を描画する場合



❶マウスの左ボタンを押す

❷マウスの左ボタンを押したまま動かし、線の終点でボタンを離す

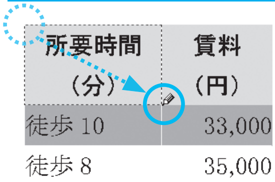


直線が描画されます。

※ [Shift] キーを押したまま画像ウィンドウでドラッグすると垂直、水平線が描画できます。

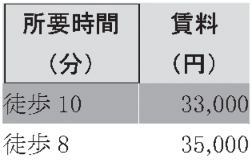
※画像の表示倍率が小さいと、正しく描画されていても線が表示されなかったり、破線で表示される場合があります。
表示倍率を変更すると、正しく表示できます。

長方形を描画する場合



❶マウスの左ボタンを押す

❷マウスの左ボタンを押したまま動かし、任意の箇所でボタンを離す

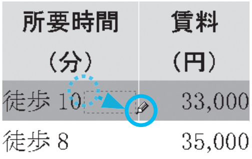


長方形が描画されます。

※塗り潰しの色を設定した場合、長方形内は指定した色で塗り潰されます。

※操作を取り消すには
(☞「取り消し」P.84)

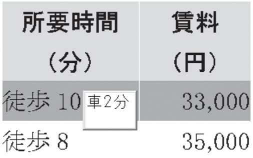
文字を描画する場合



❶マウスの左ボタンを押す

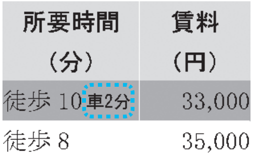
❷マウスの左ボタンを押したまま動かし、任意の箇所でボタンを離す

※表示された文字描画領域を取り消す場合は、キーボードの [Esc] キーを押します。



文字入力の領域が表示されます。

❸文字列を入力



❹文字描画領域以外の部分をクリックして文字描画を確定させる

文字描画領域のリサイズ

領域枠の線上にマウスポインターを移動させ、マウスポインターが左右矢印の形に変形した状態でドラッグすると、文字描画の領域枠を拡大できます。
※❷の手順で設定した領域枠のサイズよりも小さくできません。

文字描画を行う場合の画像表示倍率

文字描画を行う場合、画像ウィンドウの表示倍率は 100% で操作を行ってください。
文字描画は表示倍率が 100% の画像に対して指定した文字サイズで文字描画を行います。
画像ウィンドウの表示倍率が 100% でない状態で文字描画を行うと、入力した文字配置と、実際に描画した文字の位置や大きさがずれる場合があります。

このページは空白ページです。

ユーザー辞書

パターン辞書 190
文字画像から登録 190
認識結果から登録 191
削除する 191
変更する 192
インポートする 193
単語辞書 194
登録する 194
削除する 195
変更する 196
インポートする 197
CSV 出力する 198
専門用語辞書を変更する 199

パターン辞書

パターン辞書は、文字画像と対応文字を関連づける辞書です。登録は、文字画像から登録する方法と認識結果から登録する方法があります。パターン辞書は、ファイル名を変えて複数登録・追加できます。
画像文書の書体に応じたパターン辞書を用いることにより認識率を向上させることができます。

※ 1 つのパターン辞書ファイルに登録できるのはパターン 10,000 語までです。

登録しても正しく認識できない文字

(例)

・類似した文字　　0(ゼロ) と O(オー)

・大きさが異なる文字　　ア　と　ァ

学習効果の現れにくい文字

句読点などの小さく単純な文字は、画像の劣化やノイズの影響を受けやすいので、 登録した画像と他の同じ文字の画像とでは、見た目が異なる場合があります。そのため、既に登録済みであっても、別の文字として認識することがあります。

※パターン辞書は、英語認識モード・手書き領域の認識には使用されません。

リストの表示順序を変更するには

次のいずれか 1 つのラジオボタンを選択します。

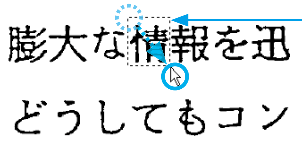
[登録順]　：登録した順番で表示

[コード順]：登録した文字コード数値の順番で表示

文字画像から登録

1 登録したい文字画像を範囲指定する

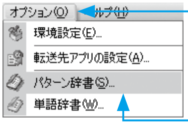
領域設定モード



登録したい文字を範囲指定する

※ (☞「領域の範囲指定」P.156)

2 [パターン辞書] を選択する



❶ [オプション] をクリック

❷ [パターン辞書] をクリック

または設定ツールバーの

ボタンをクリック

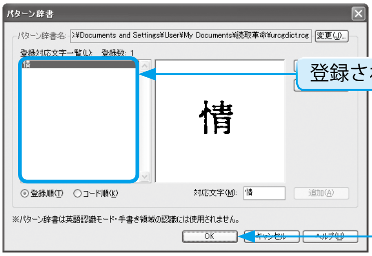
3 登録する

❶文字画像に対応する文字を [対応文字] に入力

※ [対応文字] に入力できる文字数は、1 文字です。

❷ [追加] をクリック

4 終了する

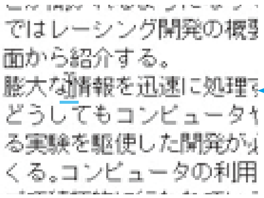


登録された文字が表示されます。

[OK] をクリック

認識結果から登録

1 文字を指定する

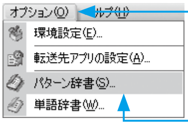


❶認識結果ウィンドウで、登録したい文字の前に カーソルをおく

❷前ページの [文字画像から登録] の手順 2 ～ 4 を行う

削除する

1 [パターン辞書] を選択する



❶ [オプション] をクリック

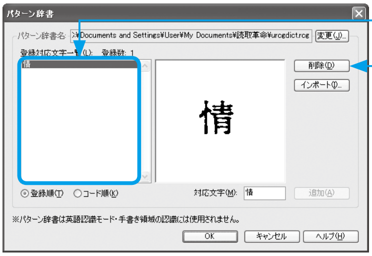
❷ [パターン辞書] をクリック

またはツールバーの

ボタンをクリック

2 削除する

※続けて削除を行う場合、[OK] をクリックする前に、手順 2 を繰り返します。



❶リストの中から削除したい文字をクリック

❷ [削除] をクリック

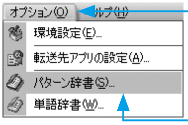
3 終了する

削除されます。

[OK] をクリック

変更する

1 [パターン辞書] を選択する



❶ [オプション] をクリック

❷ [パターン辞書] をクリック

または設定ツールバーの

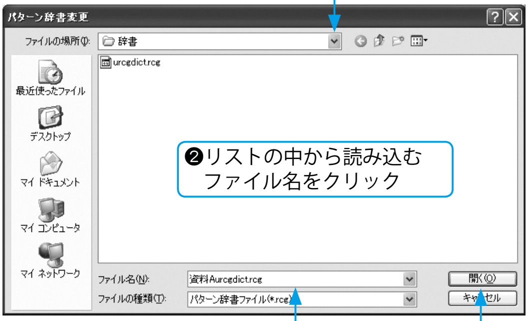
ボタンをクリック

2 パターン辞書を変更する

[変更] をクリック

3 辞書ファイルを指定する

❶▼をクリックしてパターン辞書ファイルが保存されているフォルダーを選択



❷リストの中から読み込むファイル名をクリック

❸表示されているファイル名を確認

❹ [開く] をクリック

※パターン辞書ファイルを新規に作成したい場合は、[ファイル名] に新たなファイル名を入力して保存します。

パターン辞書ファイルの保存場所

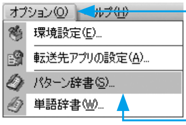
「マイ ドキュメント」の ¥ 読取革命 ¥ 辞書 ¥urcgdict.rcg" に保存されます。

※旧バージョンで使用していたパターン辞書ファイルは、インストール時に上記の場所にコピーされます。

インポートする

現在使用しているパターン辞書に別のパターン辞書をインポートします。

1 [パターン辞書] を選択する



❶ [オプション] をクリック

❷ [パターン辞書] をクリック

または設定ツールバーの

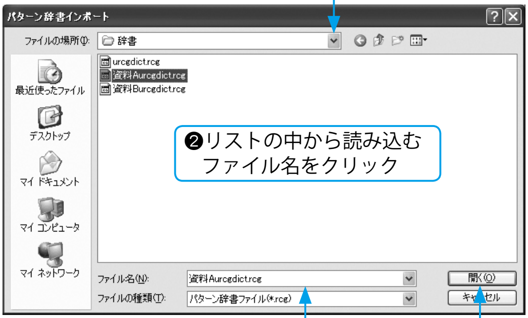
ボタンをクリック

2 パターン辞書をインポートする

[インポート] をクリック

3 辞書ファイルを指定する

❶▼をクリックしてパターン辞書ファイルが保存されているフォルダーを選択



❷リストの中から読み込むファイル名をクリック

❸表示されているファイル名を確認

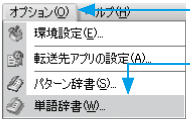
❹ [開く] をクリック

単語辞書

「読取革命」の文字認識は、1つの文字画像に対して複数の候補文字を返し、その中から日本語の語句として正しいと思われる文字を選び出しています。単語辞書はファイルを替えて複数登録できます。画像文書の内容に応じた単語辞書を用いることで認識率を向上させることができます。

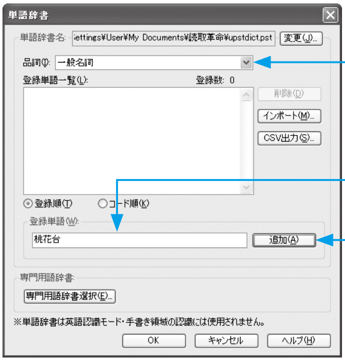
登録する

1 [単語辞書] を選択する



または設定ツールバーの

2 登録する



※単語は現在使用中の単語辞書ファイルに追加されます。

※既に登録されている単語は追加登録されません。

※登録の際、半角文字で入力しても全角文字に変換して登録されます。

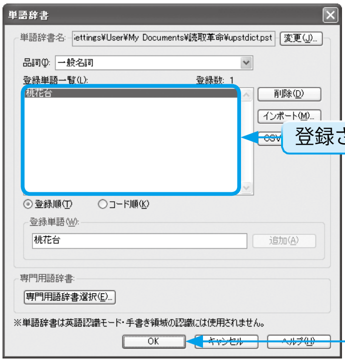
※空白文字は登録されません。

※1つの単語辞書ファイルに登録できる単語数は10,000語までです。

※登録できる単語の長さは20文字までです。

※単語辞書は、英語認識モード・手書き領域の認識には使用されません。

3 終了する



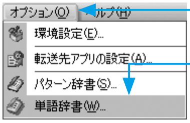
リストの表示順序を変更するには

次のいずれか1つのラジオボタンを選択します。

[登録順]　：登録した順番で表示
[コード順]：登録した文字コード数値の順番で表示

削除する

1 [単語辞書] を選択する



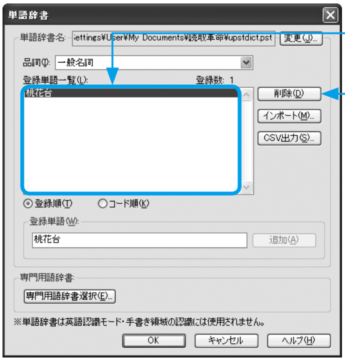
❶ [オプション] をクリック

❷ [単語辞書] をクリック

または設定ツールバーの

ボタンをクリック

2 削除する

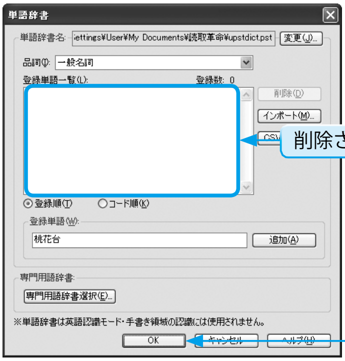


❶リストの中から削除したい単語をクリック

❷ [削除] をクリック

※続けて削除を行う場合、[終了] をクリックする前に、手順 2 を繰り返します。

3 終了する

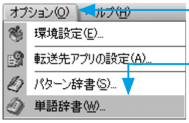


削除されます。

[OK] をクリック

変更する

1 [単語辞書] を選択する



❶ [オプション] をクリック

❷ [単語辞書] をクリック

または設定ツールバーの

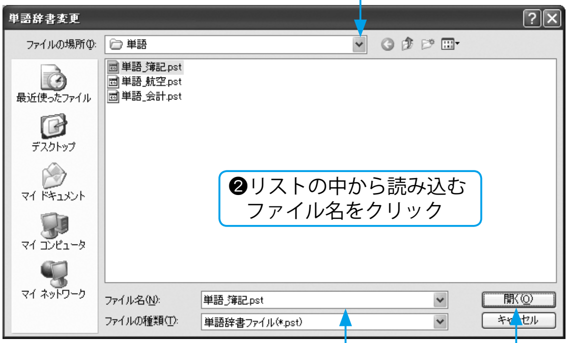
ボタンをクリック

2 単語辞書を変更する

[変更] をクリック

3 辞書ファイルを指定する

❶▼をクリックして単語辞書ファイルが保存されているフォルダーを選択



❷リストの中から読み込むファイル名をクリック

❸表示されているファイル名を確認

❹ [開く] をクリック

※単語辞書ファイルを新規に作成したい場合は、[ファイル名] に新たなファイル名を入力して保存します。

単語辞書ファイルの保存場所

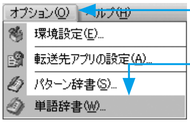
「マイ ドキュメント」の ¥ 読取革命 ¥ 辞書 ¥upstdict.pst" に保存されます。

※旧バージョンで使用していた単語辞書ファイルは、インストール時に上記の場所にコピーされます。

インポートする

現在使用している単語辞書に別の単語辞書や CSV 出力したファイルをインポート (追加) します。

1 [単語辞書] を選択する



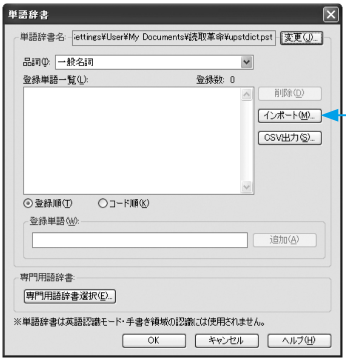
❶ [オプション] をクリック

❷ [単語辞書] をクリック

または設定ツールバーの

ボタンをクリック

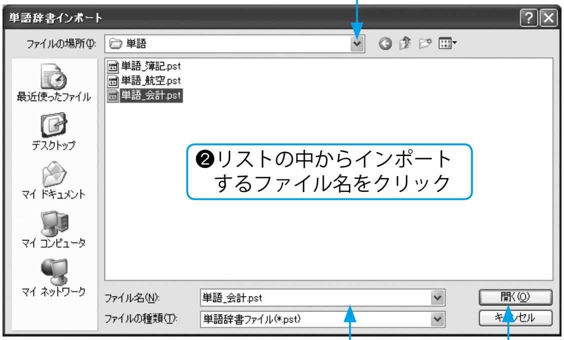
2 単語辞書をインポートする



[インポート] をクリック

3 辞書ファイルを指定する

❶▼をクリックして単語辞書ファイルが保存されているフォルダーを選択



❷リストの中からインポートするファイル名をクリック

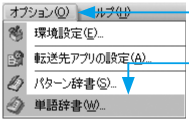
❸表示されているファイル名を確認

❹ [開く] をクリック

CSV 出力する

現在使用している単語辞書を CSV 出力します。

1 [単語辞書] を選択する



❶ [オプション] をクリック

❷ [単語辞書] をクリック

または設定ツールバーの

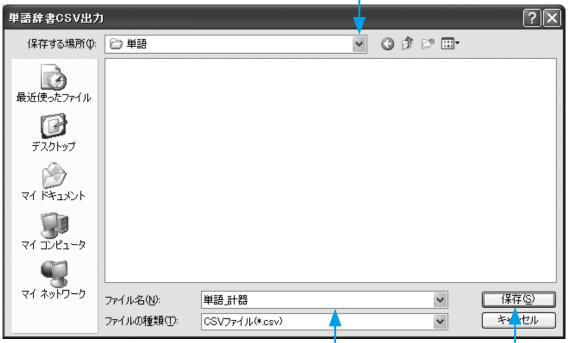
ボタンをクリック

2 単語辞書を CSV 出力する

[CSV 出力] をクリック

3 保存する

❶▼をクリックして保存先フォルダーを選択



❷出力するファイル名を入力

❸ [保存] をクリック

※単語辞書は日本語認識モードの場合に限り使用できます。デフォルトではすべてのジャンルはオフになっています。

辞書の内容

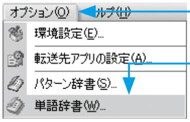
専門用語辞書のジャンルは下記のとおりです。

CAD
LAN
インターネット
エネルギー
ガス・ガス設備全般
テレコミュニケーション
パソコン・パソコンソフト
ビジネス
プラント
マッキントッシュ
レーダー
医学・薬学
化学・有機
科学・一般自然科学
環境・エコロジー
機械・メカトロ
気象
金属・鉱物
金融
軍事
計測・精密機械
建築
原子力
光学・カメラ・レンズ
航空工学・エアロスペース
情報工学・一般情報処理
生物化学バイオ関連
繊維・衣服
船舶
鉄道
電気・電子
半導体
飛行機・ヘリ
物理
物流 (ロジスティック)
米軍軍事規格
法律
輸入車マニュアル

専門用語辞書を変更する

専門用語を追加することにより、使用状況に合わせて後処理の効果を向上させ、文字認識率を向上させます。専門用語辞書は 38 ジャンル、約 61 万語です。

1 [単語辞書] を選択する



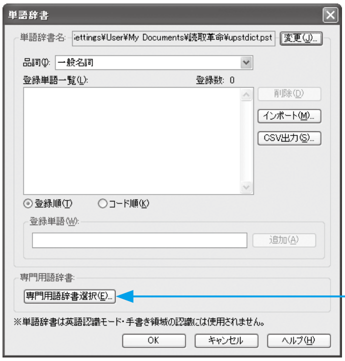
❶ [オプション] をクリック

❷ [単語辞書] をクリック

または設定ツールバーの

ボタンをクリック

2 [専門用語辞書選択] を開く



[専門用語辞書選択] をクリック

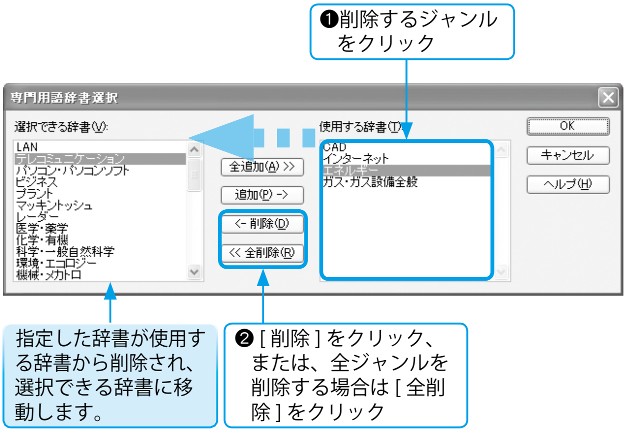
専門用語辞書を追加する

❶追加するジャンルをクリック

❷ [追加] をクリック、または、全ジャンルを追加する場合は [全追加] をクリック

指定した辞書が追加表示されます。

専門用語辞書を削除する



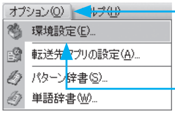
環境設定

環境設定 202
[一般] タブの設定 203
[表示] タブの設定 204
[自動画像補正] タブの設定 205
[認識] タブの設定 207
[認識結果・画像の保存] タブの設定 208
[入力] タブの設定 209
[出力] タブの設定 210

環境設定

環境設定では、[一般]、[表示]、[自動画像補正]、[認識]、[認識結果・画像の保存]、[入力]、[出力] についてのユーザー定義を設定できます。
「読取革命」の操作環境をカスタマイズしてご利用いただけます。

1 [環境設定] を選択する



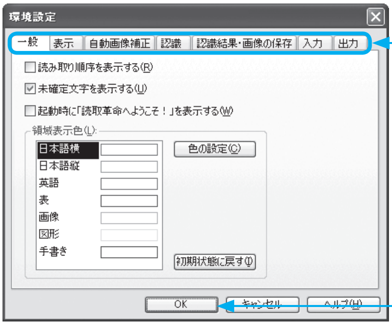
❶ [オプション] をクリック

❷ [環境設定] をクリック

または設定ツールバーの

ボタンをクリック

2 設定を変更する



❶設定を変更するタブをクリック

❷設定完了後 [OK] をクリック

※各タブの詳細については次ページ以降に記載しています。

[一般] タブの設定

[読み取り順序を表示する]

このチェックボックスをクリックしてオンにすると、各領域の左上に読取順序番号が、常に表示されます。

[未確定文字を表示する]

このチェックボックスをクリックしてオンにすると、テキスト表示では未確定文字が赤色で表示されます。領域表示・カラーリアル表示・ハイパーチェッカーでは未確定文字の背景が灰色で表示されます。誤認識文字を確認するのに便利な機能です。また、印刷すると、テキスト表示では未確定文字に下線が付いて印刷され、領域表示・カラーリアル表示では未確定文字の背景が灰色で印刷されます。(ハイパーチェッカーでは印刷はできません。他の表示に変更してから印刷を行ってください)

[起動時に「読取革命へようこそ！」を表示する]

このチェックボックスをクリックしてオンにすると、「読取革命」起動時に「読取革命へようこそ！」ダイアログボックスから「入門ウィザード」を起動します。

領域表示色

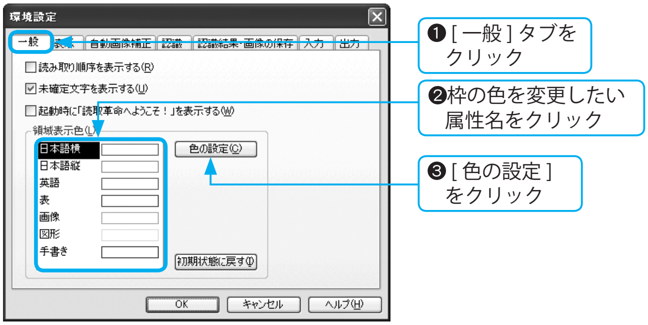
領域枠の色を属性別に変更できます。

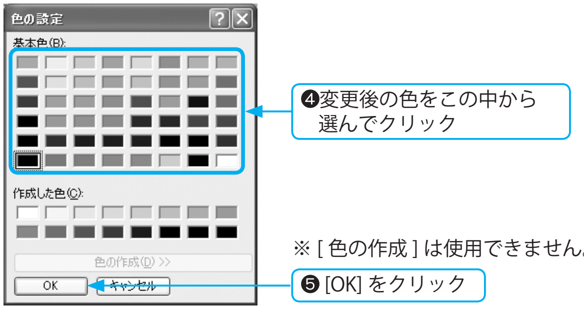
以下の手順で設定します。

領域属性：色を変更したい領域属性をクリックで選択します。

[色の設定]：「色の設定」ダイアログボックスが表示され、変更後の色を選択します。

[初期状態に戻す]：クリックすると、すべての属性の領域枠の色が標準設定に戻ります。





※ [色の作成] は使用できません。

表示倍率増減幅の具体例

現在の表示倍率が 100%で増減幅の設定が 10%である場合

[拡大] を 1 回→ 110%

[拡大] を 2 回→ 120%

[縮小] を 1 回→ 90%

[縮小] を 2 回→ 80%

任意の倍率に設定したい場合

テキストボックスに半角で整数を入力します。

(有効範囲)

[表示倍率増減幅] → 1 〜 100

[初期表示] → 2 〜 400

[認識後の表示倍率] → 2 〜 400

※画像を拡大 / 縮小するには
(☞「画像の表示倍率を変更する」P.61)

■ [初期表示]
オフのとき→前回画像を開いたときの倍率で表示

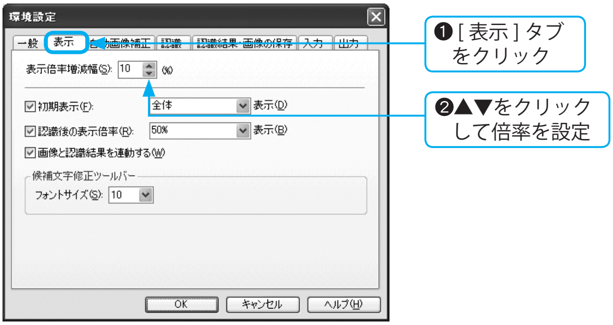
■ [認識後の表示倍率]
オフのとき→認識前の倍率のままで表示

※認識結果ウィンドウの表示倍率
テキスト表示 / ハイパーチェッカーの場合、認識結果ウィンドウの表示倍率は変更できません。

[表示] タブの設定

[表示倍率増減幅]

[表示] メニューの [拡大]/[縮小] をクリックした際の表示倍率の増減幅を設定します。



[初期表示]

画像を入力した際の表示倍率を設定します。

[認識後の表示倍率]

文字認識およびかんたん認識を実行したあとの画像の表示倍率の設定です。前項の [初期表示] と同様の手順で設定してください。

[画像と認識結果を連動する]

このチェックボックスをクリックしてオンにすると、画像と認識結果の表示倍率が連動します。(認識結果ウィンドウが領域表示またはカラーリアル表示である場合に限ります)

候補文字修正ツールバー

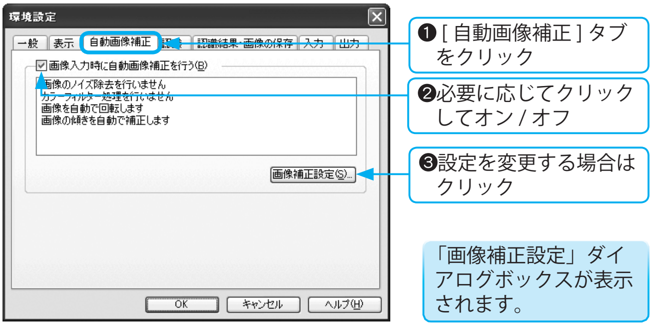
[フォントサイズ] :

候補文字修正ツールバーの文字サイズを変更します。

[自動画像補正] タブの設定

[画像入力時に自動画像補正を行う]

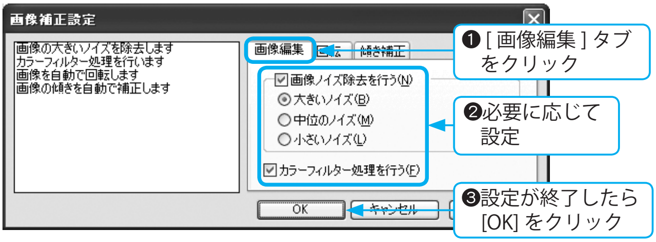
画像入力の際の画像補正（画像編集・回転・傾き補正）を設定します。このチェックボックスをクリックしてオンにすると、画像入力後、自動で画像補正が行われます。



■画像補正設定 ダイアログボックスの詳細

[画像編集] タブの設定

ノイズ除去やカラーフィルターの設定を行います。



[画像ノイズ除去を行う]

ノイズ除去を行う場合は、チェックボックスをクリックしてオンにし、以下の項目を選択してください。

- 大きいノイズ
- 中位のノイズ
- 小さいノイズ

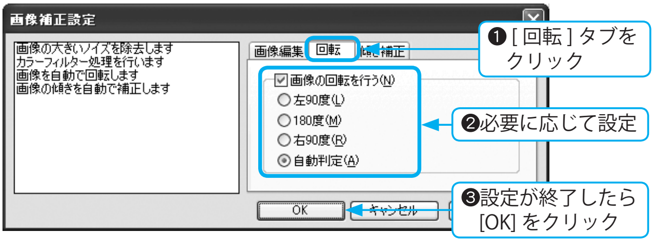
句読点や文字の一部を消さないように、除去するノイズの大きさを選択してください。ノイズの除去により認識率が低下した場合は、選択するノイズの大きさを小さくしてください。

[カラーフィルター処理を行う]

カラーフィルター処理を行う場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

[回転] タブの設定

画像を回転させる設定を行います。



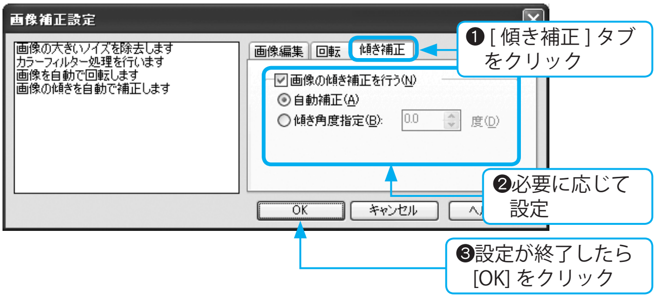
回転を行う場合は、チェックボックスをクリックして以下の項目を選択してください。

- 左 90 度
- 180 度
- 右 90 度
- 自動判定

※画像ウィンドウに表示された画像が回転している場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように回転させてください。

[傾き補正] タブの設定

傾きの補正の設定を行う場合は、チェックボックスをクリックして以下の項目を選択してください。

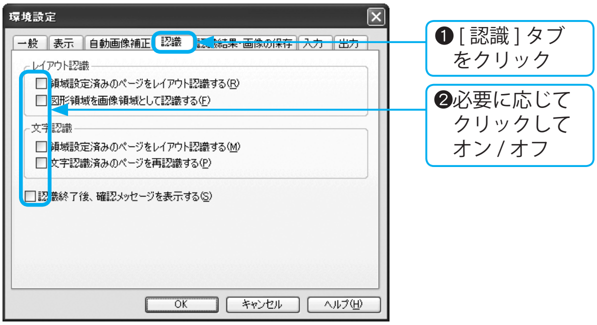


[画像の傾き補正を行う]

画像の傾き補正を行う場合は、チェックボックスをクリックして以下の項目を選択してください。

- 自動補正
  自動で傾き角度を検出して補正します。
- 傾き角度指定
  指定した傾き角度で補正を行います。
  有効角度は -45.0 ～ +45.0 度で、0.1 度刻みで設定できます。

[認識] タブの設定



レイアウト認識

[領域設定済みのページをレイアウト認識する] :

レイアウト認識を実行する際に、領域設定済みのページに対してどのように処理するかを設定します。

・チェックあり：領域設定済みのページも含めて、すべてのページをレイアウト認識しなおします。

・チェックなし：領域設定を 1 箇所でも行ったページ
→レイアウト認識しません。
領域設定をまったく行っていないページ
→レイアウト認識します。

[図形領域を画像領域として認識する] :

領域属性が自動判定に設定されている場合に、図形領域を画像領域としてレイアウト認識するかしないかを設定します。「入門ウィザード」、「かんたん認識」のレイアウト認識時にも設定内容が反映されます。

・チェックあり：図形領域を画像領域としてレイアウト認識します。

・チェックなし：図形領域は、図形領域としてレイアウト認識します。

文字認識

[領域設定済みのページをレイアウト認識する] :

文字認識を実行する際に、領域設定済みのページに対してどのように処理するかを設定します。

・チェックあり：領域設定済みのページも含めて、すべてのページをレイアウト認識・文字認識しなおします。

・チェックなし：領域設定を 1 箇所でも行ったページ
→領域設定を行った箇所だけを文字認識します。
レイアウト認識しません。
領域設定をまったく行っていないページ
→レイアウト認識・文字認識をします。

[文字認識済みのページを再認識する] :

文字認識を実行する際に、文字認識済みのページに対してどのように処理するかを設定します。

・チェックあり：全領域を再度文字認識します。

・チェックなし：文字認識していない領域だけを文字認識します。

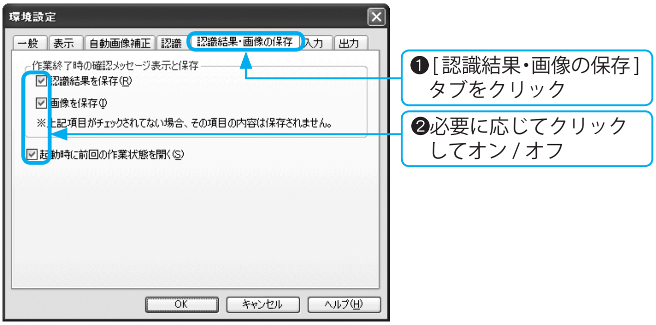
[認識終了後、確認メッセージを表示する] :

認識処理が完了したあとの確認ダイアログボックスの表示 / 非表示を設定します。

・チェックあり：認識終了後、「文字認識が終了しました。」というメッセージダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックしてメッセージダイアログボックスを閉じます。

・チェックなし：メッセージダイアログボックスは表示されません。

[認識結果・画像の保存] タブの設定



作業終了時の確認ダイアログボックス表示と保存

[認識結果を保存]：

「読取革命」終了時に、認識結果保存の確認メッセージダイアログボックスの表示 / 非表示を設定します。

- チェックあり：作業を終了して画像を閉じるとき、または他の画像を開くときに「認識結果を保存しますか？」というメッセージダイアログボックスを表示します。
- チェックなし：保存せずに終了します。

[画像を保存]：

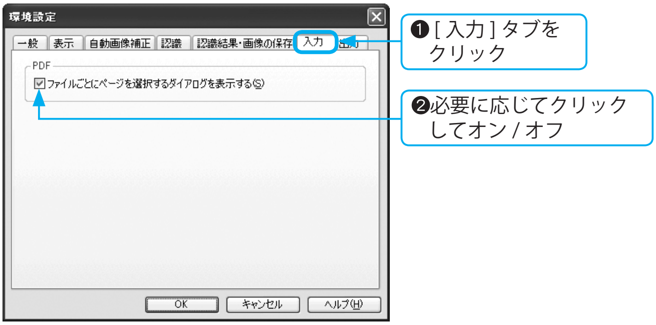
「読取革命」終了時に、画像保存の確認メッセージダイアログボックスの表示 / 非表示を設定します。

- チェックあり：作業を終了して画像を閉じるとき、または他の画像を開くときに「画像を保存しますか？」というメッセージダイアログボックスを表示します。
- チェックなし：保存せずに終了します。

[起動時に前回の作業状態を開く]：

- チェックあり：起動時に前回作業を終了したときの状態の画像・認識結果を表示するので、作業の続きを行うことができます。
- チェックなし：起動時、ウィンドウには何も表示されません。

[入力] タブの設定

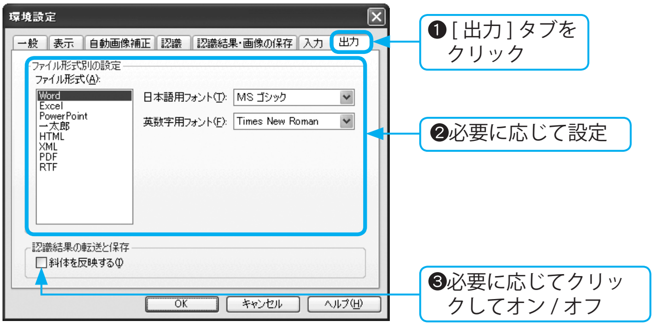


[ファイルごとにページを選択するダイアログを表示する]：

複数ページの PDF ファイルを読み込む場合に、「PDF 入力」ダイアログボックスを表示するかしないかを設定します。

- チェックあり：複数ページ構成の PDF ファイルを読み込むときに、「PDF 入力」ダイアログボックスが表示され、読み込むページの指定が行えます。
(☞「PDF 入力ダイアログボックスの詳細」P.53)
- チェックなし：複数ページ構成の PDF ファイルを読み込むときに、「PDF 入力」ダイアログボックスは表示されません。この場合、すべてのページを読み込みます。

[出力] タブの設定



選択できるフォント名

[日本語用フォント]

- MS ゴシック
- MS 明朝
- MS P ゴシック
- MS P 明朝

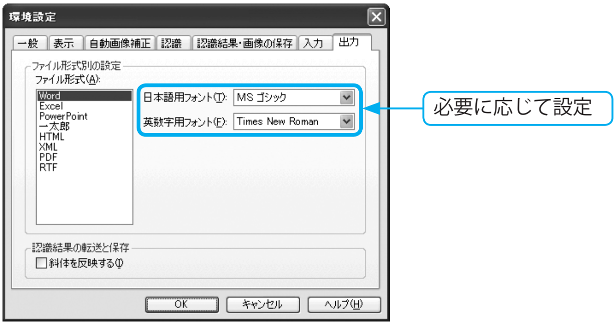
[英数字用フォント]

- MS ゴシック
- MS 明朝
- MS P ゴシック
- MS P 明朝
- Times New Roman
- Arial
- Century

ファイル形式別の設定

ファイル形式を選択して設定を行います。

Word/ 一太郎を選択した場合



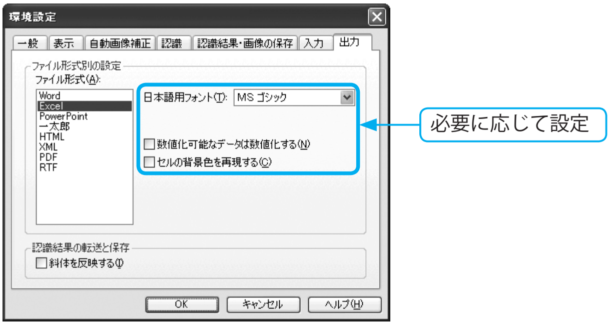
[日本語用フォント]：

日本語用のフォントを選択します。

[英数字用フォント]：

英数字用のフォントを選択します。

Excel を選択した場合



[日本語用フォント]：

日本語用のフォントを選択します。

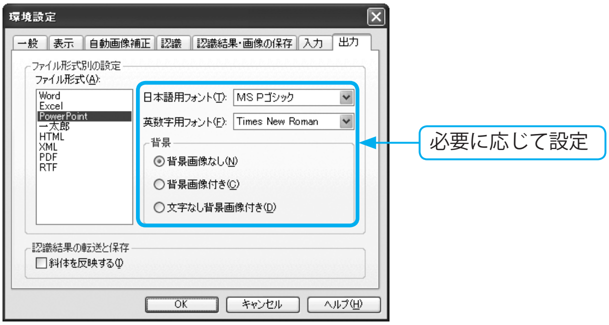
[数値化可能なデータは数値化する]：

Excel 形式に保存・転送したときに、数値としてデータを処理したい場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

[セルの背景色を再現する]：

Excel 形式に保存・転送したときに、セルの背景色を再現したい場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

PowerPoint を選択した場合



[日本語用フォント]：

日本語用のフォントを選択します。

[英数字用フォント]：

英数字用のフォントを選択します。

背景

[背景画像なし]：

文字・表・図形・画像の領域がレイアウト枠内に保存されます。元画像は、背景に保存されません。

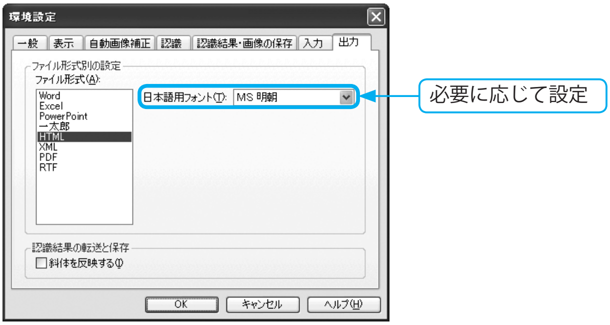
[背景画像付き]：

文字・表・図形・画像の領域がレイアウト枠内に保存されます。元画像は、背景に保存されます。元画像と文字を比較しながら修正するときに便利です。文字の修正後、背景に保存されている元画像を削除できます。

[文字なし背景画像付き]：

文字・表・図形・画像の領域がレイアウト枠内に保存されます。文字・表の領域がない元画像は、背景に表示され、その上にレイアウト枠を重ねて出力します。元画像に近い形で出力できます。

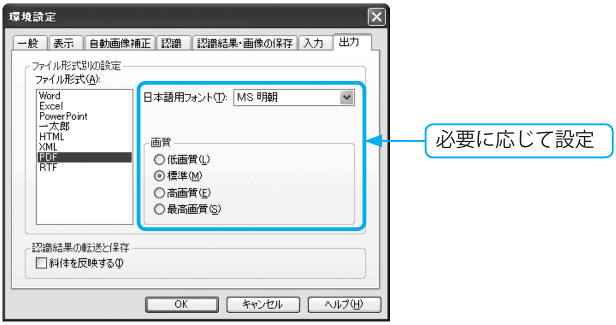
HTML/XML/RTF を選択した場合



[日本語用フォント]：

日本語用のフォントを選択します。

PDF を選択した場合



[日本語用フォント]：

日本語用のフォントを選択します。

画質

[低画質]：

PDF ファイルを低画質で保存・転送します。
ファイルサイズを小さくしたい場合にお勧めします。

[標準]：

PDF ファイルを標準画質で保存・転送します。

[高画質]：

PDF ファイルを高画質で保存・転送します。

[最高画質]：

PDF ファイルを最高画質で保存・転送します。
繊細な色調をもつ画像の場合にお勧めします。
ファイルサイズは 4 つの中でもっとも大きくなります。

認識結果の転送と保存

[斜体を反映する]：

斜体文字をファイルに反映して認識結果を転送・保存するかを設定します。

・チェックあり：認識結果を転送、または保存する場合に、斜体文字がファイルに反映されます。
・チェックなし：斜体文字での転送・保存は行いません。

このページは空白ページです。

アドインの設定と解除

アドインの設定と解除の概要 216
「アドインの設定と解除」ダイアログボックスの詳細 216
基本操作の流れ 216
起動と終了 217
起動する 217
終了する 217
アドインの設定・アドインの解除 218
アドインの設定 218
アドインの解除 219

アドインの設定と解除の概要

「アドインの設定と解除」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立した 1 つのアプリケーションです。
アドイン設定が可能なアプリケーションのメニューやツールバーに、「読取革命」を起動するボタンを追加、または設定したボタンを解除できます。

「アドインの設定と解除」ダイアログボックスの詳細

① **Microsoft Word：**Word へのアドインを設定します。
② **Microsoft Excel：**Excel へのアドインを設定します。
③ **Microsoft PowerPoint：**PowerPoint へのアドインを設定します。
④ **Adobe Acrobat：**Acrobat へのアドインを設定します。

※アドイン対象アプリケーションがインストールされていない場合は、
チェックボックスが無効化されます。

基本操作の流れ

「アドインの設定を解除」を起動する

↓

アドインを設定する

対象アプリケーションにアドイン設定を行います。

↓

アドインを解除する

対象アプリケーションのアドインを解除します。

起動と終了

「アドインの設定と解除」の起動と終了方法について説明します。

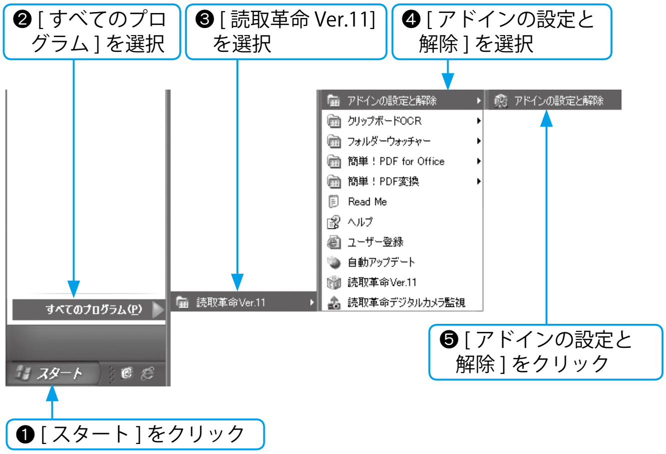
※ Adobe Acrobat のアドインの設定と解除は、Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザーで行ってください。

※アドインの設定を実行する前に、設定を行いたいアプリケーションを終了してください。

※「読取革命」のアドイン設定は、現在ログオンしているユーザーのアプリケーションだけに設定されます。

起動する

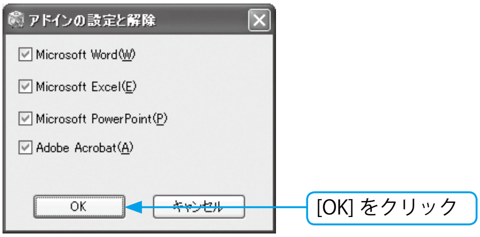
1 メニューを選択する



終了する

1 終了する

[アドインの設定と解除] ダイアログボックスの [OK] をクリックして終了します。



アドインの設定・アドインの解除

アドインの設定とアドインの解除方法について説明します。

アドイン対象アプリケーション

- Microsoft Word 2000/2002/2003
- Microsoft Excel 2000 ※ /2002/2003
- Microsoft PowerPoint 2000/2002/2003
- Adobe Acrobat 6/7

※ Microsoft Excel 2000 は、SR-1 以上に対応しています。

※ Microsoft Word/Excel/PowerPoint は、最新のバージョンにアドイン設定されます。Adobe Acrobat は、最後にインストールしたアプリケーションにアドイン設定されます。アドイン設定するバージョンは、任意に選択できません。

アドインの設定

1 アドイン設定を行う

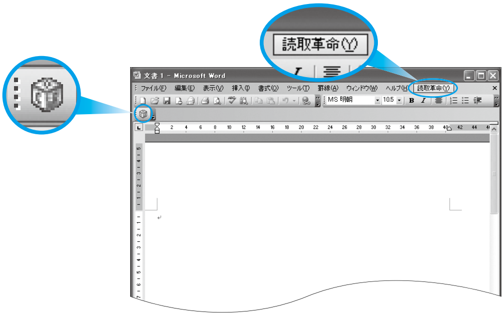
❶アドインの設定を行いたいアプリケーションのチェックボックスをクリックしてオン

❷ [OK] をクリック

指定したアプリケーションにアドイン設定されます。

2 実行結果

Microsoft Word にアドイン設定した場合



メニューバーの [読取革命] か、ツールバーのボタンをクリックして「読取革命」を起動できます。

アドインの解除

1 アドインを解除する

❶アドインを解除したいアプリケーションのチェックボックスをクリックしてオフ

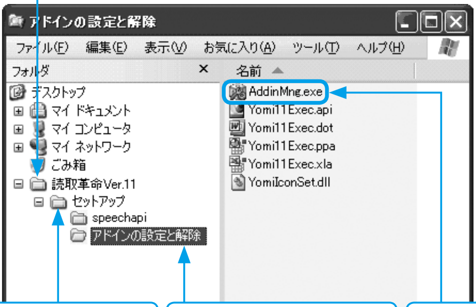
❷ [OK] をクリック

指定したアプリケーションのアドインが解除されます。

アンインストール後にアドインの設定を解除する場合

アドイン設定の解除を行わずに「読取革命」をアンインストールすると、アドイン設定したアプリケーションに「読取革命」のツールバーが残ります。この場合、以下の手順で「読取革命」のツールバーを解除してください。

❶ダウンロード時に保存された「読取革命 Ver.11」フォルダーをクリック



❷「セットアップ」フォルダーをクリック

❸「アドインの設定と解除」フォルダーをクリック

❹「AddinMng.exe」ファイルをダブルクリック

❺アドインを解除したいアプリケーションのチェックボックスをクリックしてオフ

❻ [OK] をクリック

指定したアプリケーションのアドインが解除されます

このページは空白ページです。

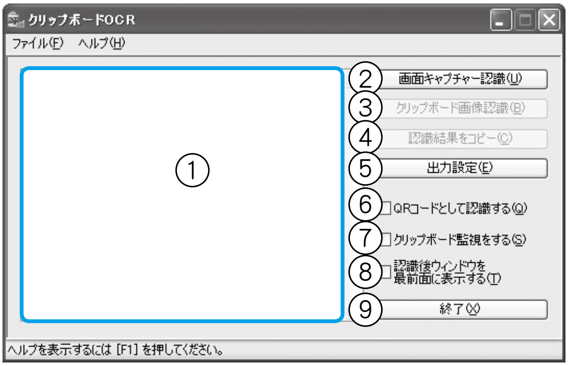
クリップボード OCR

クリップボード OCR の概要 222
「クリップボード OCR」ウィンドウ詳細 222
基本操作の流れ 222
起動と終了 223
起動する 223
終了する 223
文字認識する 224
画面キャプチャー認識 224
クリップボード画像認識 225
QR コードの認識 226
出力設定 227

クリップボード OCR の概要

「クリップボード OCR」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立した 1 つのアプリケーションです。「読取革命」を起動することなく、指定した画像を文字認識し、編集可能な文字データに変換します。
※「クリップボード OCR」は日本語・英語文字認識対応です。罫線や図形は認識できません。

「クリップボード OCR」ウィンドウ詳細



①認識結果ウィンドウ
　入力された画像の認識結果を表示・編集します。

② [画面キャプチャー認識]
　画面キャプチャーで取り込んだ画像を文字認識します。

③ [クリップボード画像認識]
　クリップボードに保存された画像を文字認識します。クリップボードに画像が保存されていない状態では選択できません。

④ [認識結果をコピー]
　認識結果に表示された文字列をクリップボードに保存します。

⑤ [出力設定]
　「出力設定」ダイアログボックスを表示して、認識結果を出力する際の詳細を設定します。

⑥ [QR コードとして認識する]
　オンの場合、QR コードを読み取り、情報を取得できます。

⑦ [クリップボード監視をする]
　オンの場合、「クリップボード OCR」起動中に、クリップボードに画像が保存されると、自動的に文字認識処理を行います。

⑧ [認識後ウィンドウを最前面に表示する]
　オンの場合、文字認識が終了すると「クリップボード OCR」を最前面に表示します。
　※ウィンドウが最小化されている場合は無効です。

⑨ [終了]
　「クリップボード OCR」を終了します。

基本操作の流れ

「クリップボード OCR」を起動する

↓

ディスプレイ上の画像を取り込む

画面キャプチャーで範囲指定した領域、またはクリップボードに保存された画像が対象となります。

↓

文字認識する

「画面キャプチャー認識」や「クリップボード画像認識」で文字認識処理を行います。
※オプションを設定することによって、さらに効率良く文字認識処理を行うことができます。

起動と終了

「クリップボード OCR」の起動と終了方法について説明します。

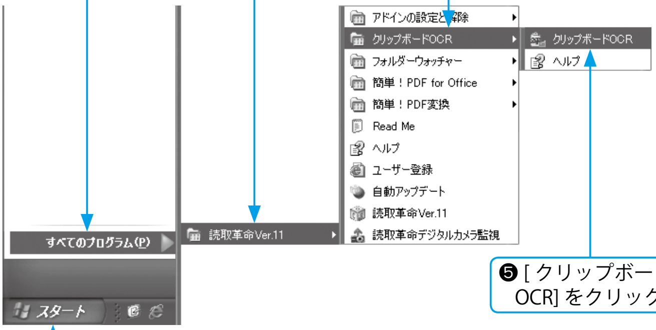
起動する

1 メニューを選択する

❷ [すべてのプログラム] を選択

❸ [読取革命 Ver.11] を選択

❹ [クリップボード OCR] を選択



❺ [クリップボード OCR] をクリック

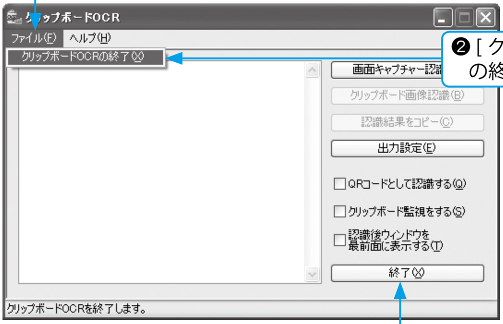
❶ [スタート] をクリック

「クリップボード OCR」が起動します。

終了する

1 メニューを選択する

❶ [ファイル] をクリック



❷ [クリップボード OCR の終了] をクリック

または、[終了] をクリック

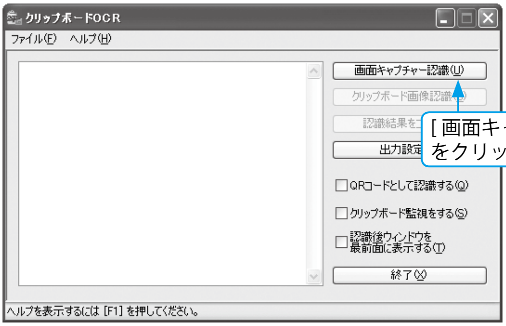
クリップボードOCR

文字認識する

ディスプレイ上に表示された画像を文字認識します。画像の取り込みは、画面キャプチャーで範囲指定された領域と、クリップボードに保存された画像を対象とする 2 とおりが用意されています。
QR コードを読み取り、情報を取得できます。
※既に認識結果が表示されている状態で文字認識を行うと、前回の認識結果は削除されます。

画面キャプチャー認識

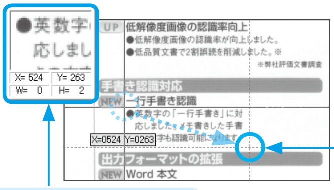
1 [画面キャプチャー認識] を選択する



※ [画面キャプチャー認識] が選択されると、「クリップボード OCR」のウィンドウは最小化されます。選択する前に不要なウィンドウはあらかじめ閉じておきましょう。

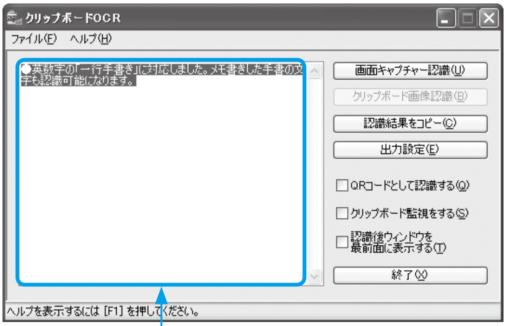
※ [画面キャプチャー認識] を中止するには、キーボードの [Esc] キーを押します。

2 範囲指定する



※ (☞「領域の範囲指定」P.156)

3 実行結果



※認識結果ウィンドウでは文字列の編集を行うことができます。

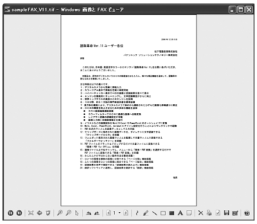
■認識結果をコピー
認識結果ウィンドウで文字列を選択して [認識結果をコピー] をクリックすると、選択した文字列がクリップボードに保存されます。
また、文字列を選択していない場合は、認識結果ウィンドウに表示されたすべての文字列がクリップボードに保存されます。

※文字認識後、認識結果文字列は自動的にクリップボードに保存されます。

1 クリップボードに画像を保存する

[PrintScreen] キーがない場合

パソコンの機種によっては、[PrtSc] と表記されている場合があります。
また、[Fn] キーとの組み合わせで [PrtSc] キーが有効になる場合があります。パソコンの取扱説明書をご確認のうえ、操作を行ってください。



❶認識対象となるウィンドウを最前面に表示

❷キーボードの [Alt] + [PrintScreen] を押す

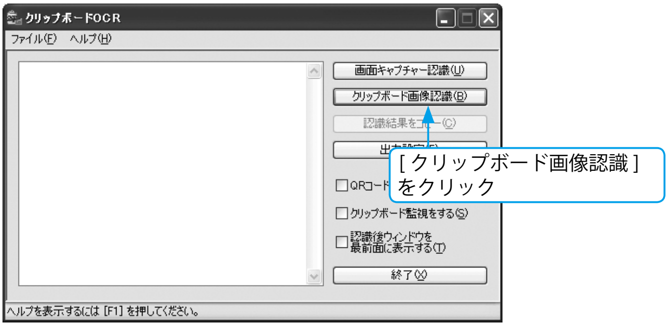
ディスプレイ全面をクリップボードに保存する場合は、[PrintScreen] キーを押します。

または「読取革命」や「読取革命」以外の画像編集ソフトで切り取り、コピー

2 [クリップボード画像認識] を選択する

■クリップボード監視をする

チェックボックスをオンにすると、「クリップボード OCR」起動中、クリップボードに画像が保存された場合、自動的に文字認識処理を実行します。

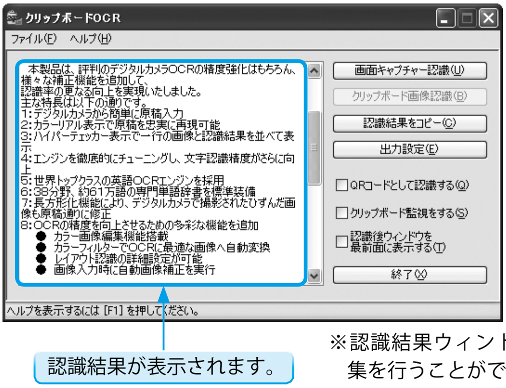


3 実行結果

■認識結果をコピー

認識結果ウィンドウで文字列を選択して [認識結果をコピー] をクリックすると、選択した文字列がクリップボードに保存されます。
また、文字列を選択していない場合は、認識結果ウィンドウに表示されたすべての文字列がクリップボードに保存されます。

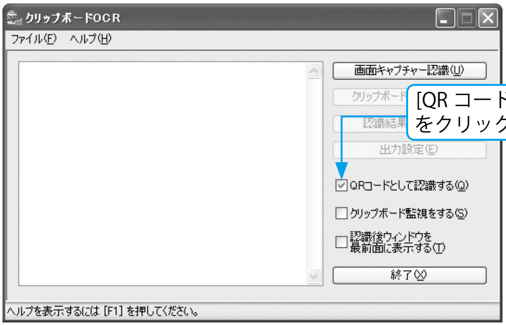
※文字認識後、認識結果文字列は自動的にクリップボードに保存されます。



※認識結果ウィンドウでは文字列の編集を行うことができます。

QR コードの認識

1 [QR コードとして認識する] を選択する

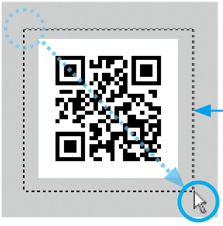


2 QR コードを範囲指定する

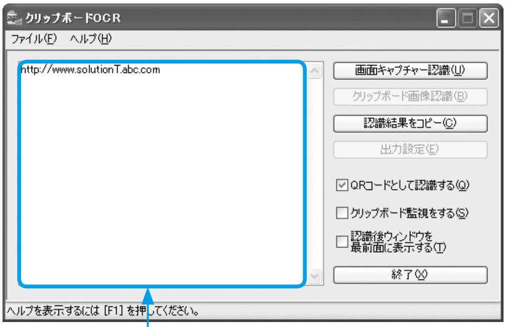
[画面キャプチャー認識] で範囲指定した領域、または [クリップボード画像認識] でクリップボードに保存された QR コードの画像が対象となります。いずれかの方法で読み込みを行います。

※ QR コードの境界線付近で範囲指定を行うと、QR コードの読み取りに失敗する場合があります。

※読み取り可能な QR コードの条件は、仕様の「QR コード」P.267 を参照してください。



3 実行結果



※認識結果ウィンドウでは文字列の編集を行うことができます。

出力設定

「クリップボード OCR」では「読取革命」同様に、文字認識を行う際に、事前に出力内容を設定できます。

■出力設定 ダイアログボックスの詳細

改行

改行の設定を行います。

[行毎]：行ごとに改行します。

[なし]：改行しません。

[自動判定]：行ごとに改行の必要性を自動判定します。

空白 (先頭)

行頭に空白を挿入する設定を行います。

[あり]：行頭に空白を挿入します。

[なし]：行頭に空白を挿入しません。

空白 (文字間)

文字間に空白を挿入する設定を行います。

[あり]：文字間に空白を挿入します。

[なし]：文字間に空白を挿入しません。

アルファベット

アルファベットの表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：アルファベットをすべて全角にします。

[半角]：アルファベットをすべて半角にします。

[自動判定]:画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

数字

数字の表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：数字をすべて全角にします。

[半角]：数字をすべて半角にします。

[自動判定]:画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

記号

記号の表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：記号をすべて全角にします。

[半角]：記号をすべて半角にします。

[自動判定]:画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

改行の例

原文

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[行毎]

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[なし]

今日は良い天気だ。散歩にでも行こう。

[自動判定]

今日は良い天気だ。
散歩にでも行こう。

※認識結果ウィンドウの幅が狭いと、見かけ上、設定とは異なるところで次の行へ送られることがあります。幅の調整をしてください。

空白 (先頭) の例

原文 __今日は良い天気だ。

[あり]__今日は良い天気だ。

[なし] 今日は良い天気だ。

空白 (文字間) の例

原文 A__B__C

[あり]A__B__C

[なし]ABC

原稿どおりにしたい場合の設定例

[**改行**] →行毎

[**空白 (先頭・文字間)**] →なし

[**アルフャベット・数字・記号・カタカナ**]
→自動判定

文書サイズを小さくしたい場合の設定例

[**改行**] →なし

[**空白 (先頭・文字間)**] →なし

[**アルファベット・数字・記号・カタカナ**]
→半角

英文書の設定例

[**改行**] →自動判定

[**空白 (先頭・文字間)**] →なし

[**アルファベット・数字・記号・カタカナ**]
→自動判定

カタカナ

カタカナの表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：カタカナをすべて全角にします。

[半角]：カタカナをすべて半角にします。

[自動判定]：画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

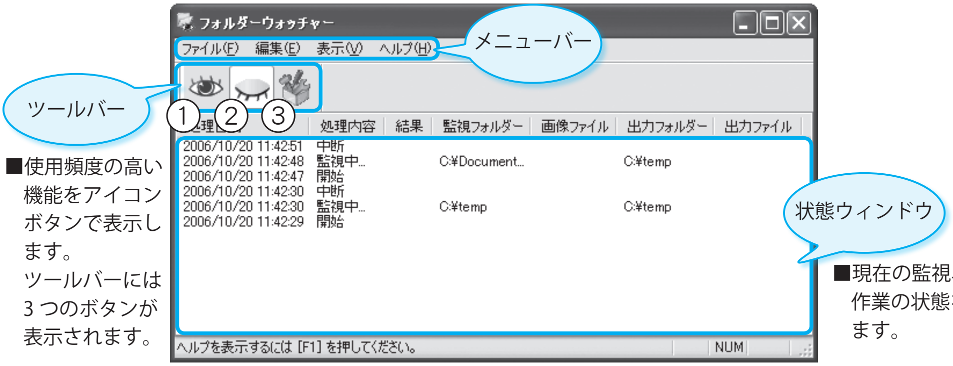
フォルダーウォッチャー

フォルダーウォッチャーの概要 230
「フォルダーウォッチャー」ウィンドウ詳細 230
基本操作の流れ 230
起動と終了 231
起動する 231
終了する 231
監視する・監視しない 232
監視する 232
監視しない 232
環境設定 233
[監視設定] タブの設定 234
[ファイル名設定] タブの設定 235
[出力設定] タブの設定 235
[変換設定] タブの設定 236
ツールバー・ステータスバーの表示 / 非表示 237
ツールバーの表示 / 非表示 237
ステータスバーの表示 / 非表示 237

フォルダーウォッチャーの概要

「フォルダーウォッチャー」は､「読取革命」インストール時にインストールされる独立した1つのアプリケーションです。「読取革命」を起動することなく使用できます。
「フォルダーウォッチャー」は、指定したフォルダーを常に監視し、そこに保存された画像ファイルを自動的に文字認識して、指定ファイル形式で出力先フォルダーに保存します。

「フォルダーウォッチャー」ウィンドウ詳細



■使用頻度の高い機能をアイコンボタンで表示します。
ツールバーには3つのボタンが表示されます。

■現在の監視、または作業の状態を表示します。

① **[監視する]**
　指定したフォルダーの監視を行います。

② **[監視しない]**
　指定したフォルダーの監視を中止します。

③ **[環境設定]**
　「環境設定」ダイアログボックスを表示します。
　フォルダーの監視中は選択できません。

基本操作の流れ

「フォルダーウォッチャー」を起動する

↓

監視・出力フォルダーを設定する

監視フォルダー・出力フォルダーの設定を行うと、指定したフォルダーの監視を開始します。設定変更の場合や、初回起動時は「環境設定」ダイアログボックスで変更します。

↓

監視フォルダーに画像ファイルを保存する

監視中に、監視フォルダーへ対応する画像ファイルが保存されると、文字認識を自動で行います。
監視を開始すると、作業状態は状態ウィンドウに表示されます。

↓

出力フォルダーに指定ファイル形式で保存される

文字認識結果が、指定ファイル形式で出力フォルダーに保存されます。

起動と終了

「フォルダーウォッチャー」の起動と終了方法について説明します。

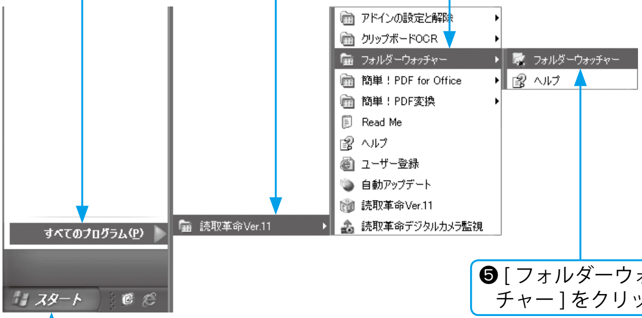
起動する

1 メニューを選択する

❷ [すべてのプログラム] を選択

❸ [読取革命 Ver.11] を選択

❹ [フォルダーウォッチャー] を選択



❺ [フォルダーウォッチャー] をクリック

❶ [スタート] をクリック

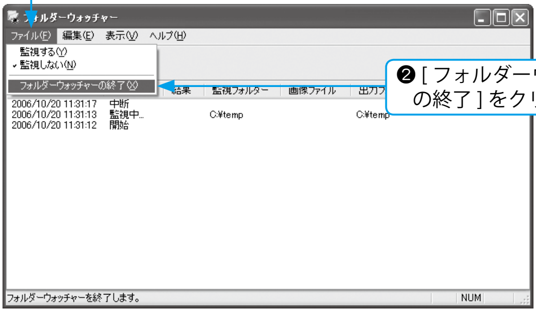
「フォルダーウォッチャー」が起動します。

※初回起動時や、監視フォルダーが設定されていない場合は、起動時に「環境設定」ダイアログボックスが表示されます。

終了する

1 メニューを選択する

❶ [ファイル] をクリック



❷ [フォルダーウォッチャーの終了] をクリック

監視する・監視しない

画像ファイルの入力状況を監視、または中止します。
監視フォルダーとして指定されたフォルダーに新しく画像ファイルが保存された場合、文字認識を開始します。
また、監視は任意に中止できます。

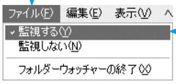
監視対象画像ファイル形式

- TIFF ファイル (*.tif,*.tiff)
  ※非圧縮 /G3/G4/JPEG/Exif/PackBits に対応
- BMP ファイル (*.bmp)
- ペイントブラシファイル (*.dcx,*.pcx)
- JPEG ファイル (*.jpg,*.jpeg)
- Kodak 形式ファイル (*.fpx,*.pcd)
- FAX 形式ファイル (*.fxs,*.ica)
- Icon および Cursor ファイル (*.ico,*.cur,*.ani)
- Macintosh Pict ファイル (*.pct)
- Windows メタファイル (*.wmf,*.emf)
- Windows クリップボード (*.clp)
- Windows AVI ファイル (*.avi)
- XpicMap ファイル (*.xpm)
- Interchange File Format ファイル (*.iff)
- Portable Bitmap Utilities ファイル (*.pbm)
- Dr. Halo ファイル (*.cut)
- Photoshop 3.0 ファイル (*.psd)
- Portable Network Graphics ファイル (*.png)
- Truevision TARGA ファイル (*.tga)
- Encapsulated PostScript ファイル (*.eps)
- Sun Raster(*.ras)
- WordPerfect(*.wpg)
- X window Dump(*.xwd)
- XBit Map(*.xbm)
- Flic Animation(*.flc)
- Silicon Graphics Image(*.sgi)
- IntergraphRLE(*.itg)

監視する

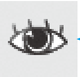
1 [監視する] を選択する

❶ [ファイル] をクリック



❷ [監視する] をクリック

またはツールバーの

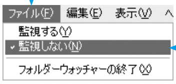


ボタンをクリック

監視しない

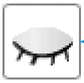
1 [監視しない] を選択する

❶ [ファイル] をクリック



❷ [監視しない] をクリック

またはツールバーの



ボタンをクリック

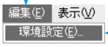
環境設定

環境設定では用途に応じて「フォルダーウォッチャー」の環境を変更できます。
「フォルダーウォッチャー」の初回起動時は、「環境設定」ダイアログボックスが自動的に表示されます。

※フォルダー監視中に「環境設定」は、変更できません。フォルダー監視を中止して各項目を変更してください。

1 [環境設定] を選択する

❶ [編集] をクリック

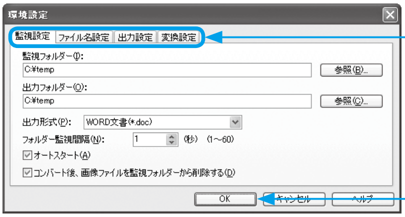


❷ [環境設定] をクリック

またはツールバーの

ボタンをクリック

2 設定を変更する



❶設定を変更するタブをクリック

❷設定完了後 [OK] をクリック

※各タブの詳細については次ページ以降に記載しています。

選択できる出力形式の詳細

●レイアウト枠付き文書で出力する場合
- Microsoft Word 文書 (*.doc)
- Microsoft Excel 文書 (*.xls)
- Microsoft PowerPoint 文書 (*.ppt)
- 書式付きファイル (*.rtf)
- 一太郎ファイル (*.jtd)

●レイアウト枠なし文書で出力する場合
- 一太郎 (本文) ファイル (*.jtd)

※表・画像・図形は、レイアウト枠付きで出力されます。

● PDF ファイルに出力する場合

PDF ファイルの文字 (認識結果) は、テキストのコピーおよび検索が可能です。

- PDF ファイル (*.pdf)
  元画像の上に文字認識で再現された文字色の認識結果を重ねて出力します。
- PDF(透明文字) ファイル (*.pdf)
  元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。元画像がそのまま PDF ファイルに再現されます。
- PDF(高圧縮) ファイル (*.pdf)
  カラー画像やグレースケール画像のファイルサイズを小さく抑えて出力します。文字画像と背景画像を分離し、それぞれ適した圧縮率でファイルが作成されるため、文字をはっきりと表示できます。文字画像と背景画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

●インターネットのホームページ文書に出力する場合
- HTML 文書 (*.htm)
- XML 文書 (*.xml)

[監視設定] タブの設定

[監視フォルダー]

監視するフォルダーを、[参照] をクリックして設定します。
[出力フォルダー] が未入力の場合、[監視フォルダー] で設定したフォルダーのパスが自動的に [出力フォルダー] に入力されます。

[出力フォルダー]

変換したファイルを出力するフォルダーを、[参照] をクリックして設定します。

[出力形式]

変換したファイルを出力するファイル形式を指定します。
出力可能なファイル形式
- Microsoft Word 文書 (*.doc)
- Microsoft Excel 文書 (*.xls)
- Microsoft PowerPoint 文書 (*.ppt)
- 一太郎ファイル (*.jtd)
- 一太郎 (本文) ファイル (*.jtd)
- 書式付ファイル (*.rtf)
- HTML 文書 (*.htm)
- テキストファイル (*.txt)
- CSV ファイル (*.csv)
- PDF ファイル (*.pdf)
- PDF(透明文字) ファイル (*.pdf)
- PDF(高圧縮) ファイル (*.pdf)
- XML 文書 (*.xml)

[フォルダー監視間隔]

フォルダー監視を行う間隔を秒単位で指定します。(1 ～ 60 までの半角数値)

[オートスタート]

フォルダーウォッチャー起動時にフォルダー監視を開始するか指定します。起動時から監視を行う場合は、チェックボックスをクリックして、オンにします。

[コンバート後、画像ファイルを監視フォルダーから削除する]

出力先フォルダーに指定ファイル形式で出力したあとに監視フォルダーから変換元の画像ファイルを削除します。元の画像ファイルを残す場合は、チェックボックスをクリックして、オフにしてください。

[ファイル名設定] タブの設定

ファイル名の指定

[元ファイル名を使用]：

指定したファイル形式に変換して保存する場合、認識対象となる画像ファイルと同じファイル名で、出力フォルダーに保存されます。

[OCR の一行目をファイル名として使用]：

指定したファイル形式に変換して保存する場合、認識結果の一行目文字列をファイル名とし、出力フォルダーに保存されます。

ファイルの重複

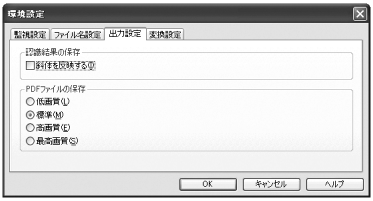
[上書きする]：

出力フォルダーに重複したファイルが存在する場合、上書き保存します。

[ファイル名に数値をつけて別名にする]：

出力フォルダーに重複したファイルが存在する場合、末尾に数値番号を追加し、新規ファイルとして保存します。

[出力設定] タブの設定



認識結果の保存

[斜体を反映する]：

斜体文字を認識した場合、斜体文字を保存するファイルに反映させます。

PDF ファイルの保存

[低画質]：

PDF ファイルを低画質で保存します。
ファイルサイズを小さくしたい場合にお勧めします。

[標準]：

PDF ファイルを標準画質で保存します。

[高画質]：

PDF ファイルを高画質で保存します。

[最高画質]：

PDF ファイルを最高画質で保存します。
繊細な色調をもつ画像の場合にお勧めします。
ファイルサイズは 4 つの中でもっとも大きくなります。

斜体文字が反映されるファイル形式

- RTF 形式
- DOC 形式 (Word)
- XLS 形式 (Excel)
- PPT 形式 (PowerPoint)
- JTD 形式 (一太郎)
- HTML 形式
- XML 形式
- PDF 形式

改行の例

原文

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[行毎]

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[なし]

今日は良い天気だ。散歩にでも行こう。

[自動判定]

今日は良い天気だ。
散歩にでも行こう。

※認識結果ウィンドウの幅が狭いと、見かけ上、設定とは異なるところで次の行へ送られることがあります。幅の調整をしてください。

空白 (先頭) の例

原文 __今日は良い天気だ。

[あり]__今日は良い天気だ。

[なし] 今日は良い天気だ。

空白 (文字間) の例

原文 A__B__C

[あり]A__B__C

[なし]ABC

原稿どおりにしたい場合の設定例

[改行] →行毎

[空白 (先頭・文字間)] →なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ] →自動判定

文書サイズを小さくしたい場合の設定例

[改行] →なし

[空白 (先頭・文字間)] →なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ] →半角

英文書の設定例

[改行] →自動判定

[空白 (先頭・文字間)] →なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ] →自動判定

[変換設定] タブの設定

改行

改行の設定を行います。

[行毎]：行ごとに改行します。
[なし]：改行しません。
[自動判定]：行ごとに改行の必要性を自動判定します。

空白 (先頭)

行頭に空白を挿入する設定を行います。

[あり]：行頭に空白を挿入します。
[なし]：行頭に空白を挿入しません。

空白 (文字間)

文字間に空白を挿入する設定を行います。

[あり]：文字間に空白を挿入します。
[なし]：文字間に空白を挿入しません。

アルファベット

アルファベットの表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：アルファベットをすべて全角にします。
[半角]：アルファベットをすべて半角にします。
[自動判定]：画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

数字

数字の表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：数字をすべて全角にします。
[半角]：数字をすべて半角にします。
[自動判定]：画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

記号

記号の表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：記号をすべて全角にします。
[半角]：記号をすべて半角にします。
[自動判定]：画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

カタカナ

カタカナの表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：カタカナをすべて全角にします。
[半角]：カタカナをすべて半角にします。
[自動判定]：画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

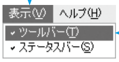
ツールバー・ステータスバーの表示 / 非表示

ツールバーやステータスバーの表示 / 非表示を選択できます。

ツールバーの表示 / 非表示

1 表示または非表示にする

❶ [表示] をクリック

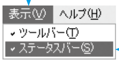


❷表示する場合は[ツールバー]のチェックをクリックしてオン、非表示にする場合はクリックしてオフ

ステータスバーの表示 / 非表示

1 表示または非表示にする

❶ [表示] をクリック



❷表示する場合は [ステータスバー] のチェックをクリックしてオン、非表示にする場合はクリックしてオフ

このページは空白ページです。

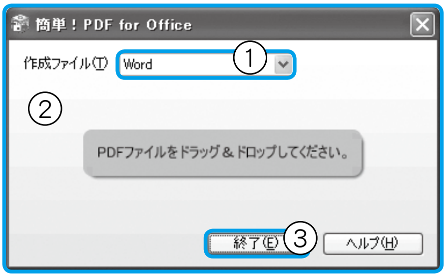
簡単！ PDF for Office

簡単！ PDF for Office の概要......240
「簡単！ PDF for Office」ウィンドウ詳細......240
基本操作の流れ......240
起動と終了......241
起動する......241
終了する......241
PDF ファイルを変換する......242

簡単！ PDF for Office の概要

「簡単！ PDF for Office」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立した 1 つのアプリケーションです。
「簡単！ PDF for Office」は、メイン画面へ PDF ファイルをドラッグ & ドロップして、Word・Excel・テキスト・JPEG・BMP 形式のファイルに変換、および「読取革命」に読み込みます。

「簡単！ PDF for Office」ウィンドウ詳細



① [作成ファイル]
　変換するファイル形式を選択します。
　選択できるファイル形式：Word/Excel/ テキスト /JPEG/BMP/ 読取革命
② [ドラッグ & ドロップ領域]
　この領域に PDF ファイルをドラッグ & ドロップします。
③ [終了]
　「簡単！ PDF for Office」を終了します。

基本操作の流れ

「簡単！ PDF for Office」を起動する

↓

ファイル形式を選択する

[作成ファイル] のリストから変換したいファイル形式を選択します。

↓

PDF ファイルをドラッグ & ドロップする

ファイル変換処理を行います。

↓

指定したファイル形式で作成・保存される

変換前のファイルが置かれているフォルダー内に変換前のファイルと同名のフォルダーが自動的に作成され、そのフォルダー内に変換処理後のファイルが作成されます。

起動と終了

「簡単！ PDF for Office」の起動と終了方法について説明します。

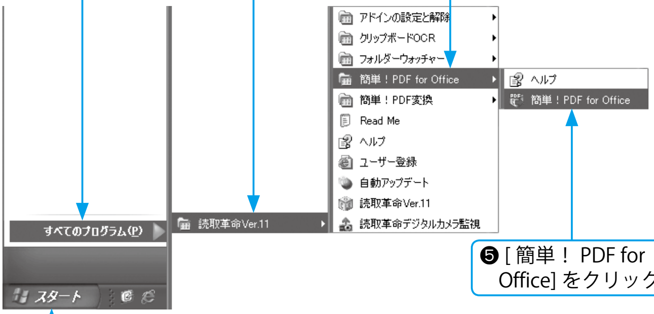
起動する

1 メニューを選択する

❷ [すべてのプログラム] を選択

❸ [読取革命 Ver.11] を選択

❹ [簡単！ PDF for Office] を選択



❺ [簡単！ PDF for Office] をクリック

❶ [スタート] をクリック

「簡単！ PDF for Office」が起動します。

終了する

1 [終了] を選択する

[終了] をクリック

PDF ファイルを変換する

PDF ファイルをドラッグ＆ドロップして、指定したファイル形式に変換します。
また、TIFF ファイルに変換し、「読取革命」に表示します。

変換できるファイル形式

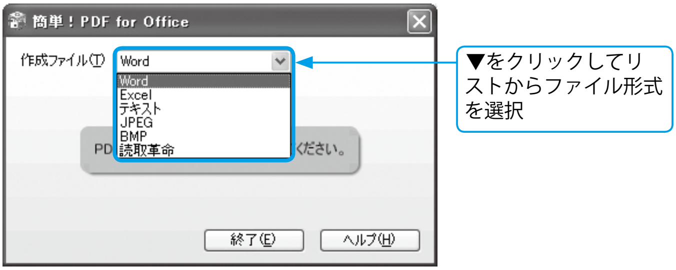
- Microsoft Word(*.doc)
- Microsoft Excel(*.xls)
- テキスト (*.txt)
- JPEG(*.jpg)
- BMP(*.bmp)
- 読取革命

[作成ファイル] リストから「 読取革命 」を選択した場合の PDF ファイルは、TIFF ファイルへ変換され、「読取革命」に読み込まれます。

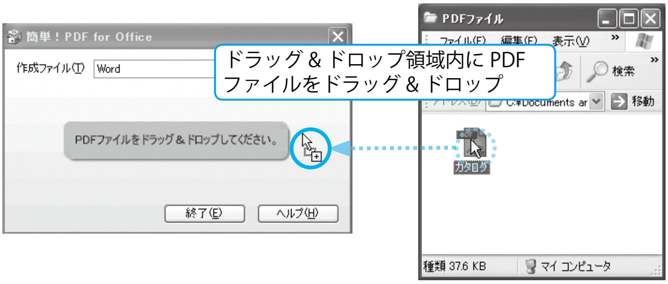
複数ファイル変換での注意点

PDF ファイル以外のファイルは変換されません。

1 ファイル形式を選択する



2 PDF ファイルをドラッグ＆ドロップする



※複数の PDF ファイルを選択して、一度にドラッグ＆ドロップできます。

ファイル名の重複

出力フォルダーに同名のファイルが存在する場合、各ファイル名の末尾には連続した数値番号が付加され、別名で保存されます。

複数ページ構成の PDF ファイルを JPEG/BMP 形式に変換した場合

1 ページごとに 1 つの画像ファイルが作成されます。各ファイル名の末尾には連続した数値番号が付加され、別名で保存されます。

※ Word/Excel/ テキスト形式に変換すると、選択した形式を使用する外部アプリケーションが起動し、作成されたファイルを開きます。

「読取革命」に読み込んだ場合

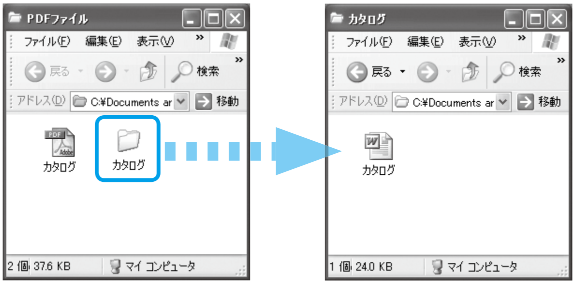
[作成ファイル] リストから「 読取革命 」を選択した場合、TIFF ファイルへ変換され、「読取革命」に読み込まれます。

複数ページ構成の PDF ファイル、または複数の PDF ファイルの場合は、複数ページの TIFF ファイル「簡単！ PDF_(連番).tif」が 1 ファイル作成され、「読取革命」に読み込まれます。

※作成された TIFF ファイルは、「マイドキュメント」の "¥ 読取革命 ¥ 簡単！ PDF.tif" に保存されます。

出力フォルダーに同名のファイルが存在する場合、各ファイル名の末尾には連続した数値番号が付加され、別名で保存されます。

3 実行結果



変換前のファイルが置かれているフォルダー内に変換前のファイルと同名のフォルダーが自動的に作成され、そのフォルダー内に変換処理後のファイルが作成されます。

このページは空白ページです。

簡単！ PDF 変換

簡単！ PDF 変換の概要 246

基本操作の流れ 246

簡単！ PDF 変換の設定 247

簡単！ PDF 変換設定 ダイアログボックスの詳細 248

PDF ファイルに変換する 249

簡単！ PDF 変換の概要

「簡単！ PDF 変換」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立した 1 つのアプリケーションです。「読取革命」を起動することなく使用できます。
画像ファイルを右クリックすると表示されるコンテキストメニューから「簡単！ PDF 変換」を選択して、ダイレクトに PDF ファイルに変換します。

基本操作の流れ

「簡単！ PDF 変換設定」を表示する

↓

変換時の詳細を設定する

変換する PDF ファイルの種類、保存方法、画質、フォントを設定できます。

↓

簡単！ PDF 変換を実行する

選択したパソコン内の画像ファイルを右クリックし、コンテキストメニューから「簡単！ PDF 変換」を選択します。

↓

PDF ファイル形式で作成・保存される

変換前の画像ファイルが置かれているフォルダー内に画像ファイルと同名の PDF ファイルが作成されます。

簡単！ PDF 変換の設定

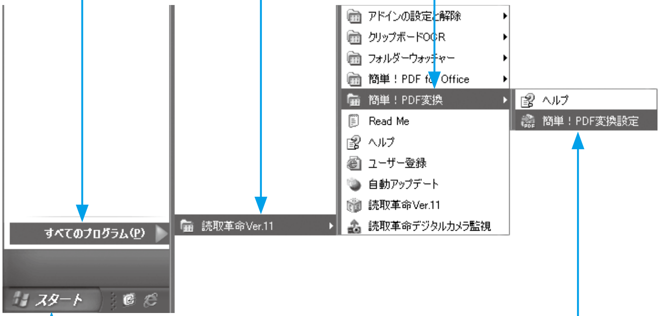
変換する PDF ファイルの種類、保存方法、画質、フォントを設定できます。

1 メニューを選択する

❷ [すべてのプログラム] を選択

❸ [読取革命 Ver.11] を選択

❹ [簡単！ PDF 変換] を選択

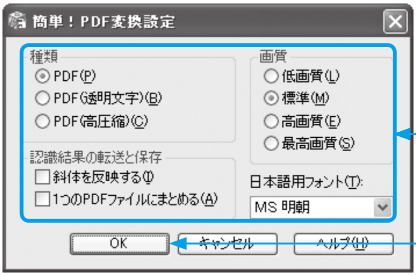


❶ [スタート] をクリック

❺ [簡単！ PDF 変換設定] をクリック

「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスが表示されます。

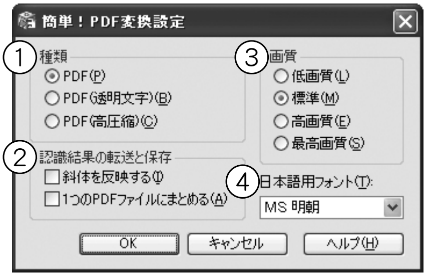
2 設定する



❶設定を変更する

❷ [OK] をクリック

簡単！ PDF 変換設定 ダイアログボックスの詳細



①種類

変換する PDF ファイルの種類を設定します。

[PDF]：

元画像の上に文字認識で再現された文字色の認識結果を重ねて、出力します。

[PDF(透明文字)]：

元画像の上に透明の認識結果を重ねて、出力します。

[PDF(高圧縮)]：

文字画像と背景画像の上に透明の認識結果を重ねて、高い圧縮率で出力します。

②認識結果の転送と保存

変換する PDF ファイルの作成方法を設定します。

[斜体を反映する]：

斜体文字を PDF ファイルに反映するかしないかを設定します。

[1 つの PDF ファイルにまとめる]：

複数の画像ファイルを 1 つの PDF ファイルにまとめて変換する場合に設定します。

③画質

作成する PDF ファイルの画質を設定します。

[低画質]：

PDF ファイルを低画質で保存します。

[標準]：

PDF ファイルを標準画質で保存します。

[高画質]：

PDF ファイルを高画質で保存します。

[最高画質]：

PDF ファイルを最高画質で保存します。

※ ファイルサイズは 4 つの中でもっとも大きくなります。

④日本語用フォント

日本語用のフォントを選択します。

選択できるフォント名

- MS P ゴシック
- MS P 明朝
- MS ゴシック
- MS 明朝

PDF ファイルに変換する

パソコン内に保存されている画像ファイルを選択して PDF ファイルに変換します。

変換対象となる画像ファイル形式

- TIFF ファイル (*.tif,*.tiff)
  ※ 非圧縮 /G3/G4/JPEG/Exif/PackBits に対応
- BMP ファイル (*.bmp)
- JPEG ファイル (*.jpg,*.jpeg)
- PNG ファイル (*.png)
- GIF ファイル (*.gif)

複数ファイル変換での注意点

- 複数ファイルに変換対象外の画像ファイル形式が含まれる場合、そのファイルの変換は行いません。
- 「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスで「1 つの PDF ファイルにまとめる」のチェックボックスがオンの場合は、PDF ファイル名に設定したい画像ファイル上で右クリックし、変換してください。
- 変換中に [中止] をクリックした場合は、既に変換された画像ファイルの数に応じて、PDF ファイルが作成されます。ただし、「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスで「1 つの PDF ファイルにまとめる」のチェックボックスがオンの場合、変換中に [中止] をクリックすると、PDF ファイルは作成されません。

ファイル名の重複

変換後の PDF ファイルが保存されるフォルダーに同名のファイルが存在する場合、各ファイル名の末尾には連続した数値番号が付加され、別名で保存されます。

※画像ファイル内に文字認識された領域がない場合は、画像領域として PDF ファイルが作成されます。

1 画像ファイルを選択する

画像ファイルを選択

※複数の画像ファイルを選択して、一度に変換できます。

2 メニューを選択する

選択した画像ファイルを右クリックし、コンテキストメニューから「簡単！ PDF 変換」を選択

3 実行結果

変換前の画像ファイルが置かれているフォルダー内に画像ファイルと同名の PDF ファイルが作成されます。

このページは空白ページです。

トラブルシューティング・FAQ

トラブルシューティング.....252
　インストール.....252
　起動・画像入力.....252
　アドインの設定と解除.....252
　画像.....253
　認識.....253
　認識結果編集.....254
　転送・終了.....254
　その他.....255
FAQ.....256
　画像の入力.....256
　画像修正.....256
　表領域の編集.....256
　領域枠の設定.....256
　その他.....256

トラブルシューティング

インストール

●「正しいシリアル番号を入力してください。」と表示されます。

【原因】入力したシリアル番号が間違っているか、シリアル番号の入力に全角と半角文字が混在していると思われます。
【対策】シリアル番号を確認し、半角で再入力してください。

起動・画像入力

●「辞書の読み込みに失敗しました。」と表示されます。

【原因 1】「読取革命」が正しくインストールされていない可能性があります。
【対策 1】「読取革命」を再度インストールしてください。(☞「インストール」P.26)
【原因 2】辞書ファイルが壊れている可能性があります。
【対策 2】以下の辞書ファイルを削除し、「読取革命」を再起動してください。

・upstdict.pst　　・urcgdict.rcg

●起動時に前回の作業状態が表示されます。新規に始めるにはどうしたらよいですか？

【原因】[起動時に前回の作業状態を開く] のチェックボックスがオンになっています。
【対策】起動時に新規の状態で始めたい場合、以下の設定を行ってください。

① [オプション] メニューの [環境設定] をクリック
② [認識結果・画像の保存] タブをクリック (☞「[認識結果・画像の保存] タブの設定」P.208)
③ [起動時に前回の作業状態を開く] のチェックボックスをクリックしてオフにする
④ [OK] をクリック

●起動すると、1,2 秒経って Windows の例外処理が発生します。

【原因】ウィルスチェックなどの常駐ソフトが起動されています。(ウィルスチェックなどの常駐ソフトが起動していると、「読取革命」が起動できない場合があります)
【対策】常駐ソフトを終了し、「読取革命」を起動してください。

アドインの設定と解除

●アドイン設定できるアプリケーションは？

次のアプリケーションにアドイン設定できます。
・Microsoft Word 2000/2002/2003
・Microsoft Excel 2000 ※ /2002/2003
・Microsoft PowerPoint 2000/2002/2003
・Adobe Acrobat 6/7
※ Microsoft Excel 2000 は、SR-1 以上に対応しています。

●読取革命のアンインストール後に、アドインの設定を解除できますか？

アンインストール後でも、アドインの設定を解除できます。詳細は、「アンインストール後にアドインの設定を解除する場合」P.219 を参考にして解除を行ってください。

● Microsoft Word/Excel/PowerPoint/Adobe Acrobat のバージョンが複数存在している環境で、アドイン設定されるバージョンは？

Microsoft Word/Excel/PowerPoint では、最新バージョンにアドイン設定されます。
Adobe Acrobat では、インストール日時の新しいものにアドイン設定されます。
アドイン設定されるバージョンは、任意に選択できません。

画像

●自動で傾き補正できません。

【原因】画像によっては、自動傾き補正できない場合があります。
【対策】スキャナーやデジタルカメラから画像を再入力する場合は、画像が傾かないように注意して入力しなおしてください。また、手動で傾き補正を行いたい場合は、[画像] メニューの [傾き補正] から [手動] を選択します。「かんたん認識」の場合は [画像編集] の傾き補正の [傾き角度指定] ラジオボタンをオンにし、数値を入力してください。(☞「かんたん認識」P.142)、(☞「傾き補正」P.161)

●カラーフィルターが実行されません。

【原因】現在の状態が文字認識に最適と判断しています。
【対策】現在の画像状態が認識に最適と判断した場合、カラーフィルターは実行されません。

●作図モードで色を設定したが設定色が黒か白になってしまい、反映されません。

【原因】編集している画像が白黒画像 (2 値画像) です。
【対策】表示されている画像が白黒画像 (2 値画像) の場合、白か黒以外設定できません。
表示する画像の色数によって、設定できる色が異なります。

●カラードロップアウトで色を設定したが反映されません。

【原因 1】RGB 値が異なるため。
【対策 1】TWAIN デバイス (スキャナー) やデジタルカメラなどから読み込まれた画像は、色ムラが発生する場合があります。また、画像の保存ファイル形式によっても色ムラが発生します。肉眼では同色に見えても微妙に色が異なってしまうと、設定した色が反映されません。
本機能は、色ムラの少ない部分や、画面キャプチャーで入力された画像を対象とすることをお勧めします。
【原因 2】表示されている画像のカラー数を超えているため。
【対策 2】表示されている画像のカラー数を超えて設定された場合、一番近い RGB 値の色へ自動的に変更されます。
すべての色に対応するには、画像が 24bit のカラー画像である必要があります。

認識

●手動で領域を設定し、文字認識を実行したところ、領域を自動で設定しなおされてしまいました。

【原因】[領域設定済みのページをレイアウト認識する] チェックボックスがオンになっています。この設定では、領域の設定を解除し、新たに自動で領域を設定しなおしてから、文字認識を行います。
【対策】領域の設定を変えたくない場合、以下の設定を行ってください。
① [オプション] メニューの [環境設定] をクリック
② [認識] タブをクリック (☞「[認識] タブの設定」P.207)
③ [領域設定済みのページをレイアウト認識する] のチェックボックスをクリックしてオフにする
([文字認識] の項目だけ、または「レイアウト認識」と「文字認識」の 2 項目)
④ [OK] をクリック

●文字認識を実行後、画像や領域を修正して再び文字認識したら、認識結果が変わりませんでした。

【原因】[文字認識済みのページを再認識する] のチェックボックスがオフになっています。
【対策】一度文字認識をさせた画像を再認識させたい場合、以下の設定を行ってください。
① [オプション] メニューの [環境設定] をクリック
② [認識] タブをクリック (☞「[認識] タブの設定」P.207)
③ [文字認識済みのページを再認識する] のチェックボックスをクリックしてオンにする
④ [OK] をクリック

●認識率が悪いです。

【原因 1】解像度が低い (200dpi 以下) 場合は、認識率が低下します。
【対策 1】「読取革命」は、解像度 400dpi を推奨しています。TWAIN デバイス (スキャナー) で読み込む際に、400dpi を基準として解像度を変更し、再度認識をお試しください。
【原因 2】画像がかすれていたり、文字がつぶれている可能性があります。
【対策 2】濃度設定などを変更し、TWAIN デバイス (スキャナー) で読み込んでから、再度認識をお試しください。
【原因 3】背景色と文字色が近いものは文字認識率が低下します。
【対策 3】コントラストなど、画像の色調整を行うことにより認識率が上がる場合があります。

認識結果編集

● 2 文字を 1 文字として認識していたので、[候補文字修正] を開き、[文字入力] に 2 文字入力したところ、「1 文字入力してください。」とダイアログボックスが表示され、修正できません。

【原因】[候補文字修正] の [文字入力] では 2 文字以上の入力はできません。
【対策】 [一括修正] では 1 文字を 2 文字に修正できます。修正したい文字の前にカーソルをおき [一括修正] を開いて [修正後の文字] に正しい文字を入力してください。(☞「一括修正で複数の文字を一度に修正する」P.79) または、「文字の分離 (2 文字)」を行ってください。(☞「文字の分離をするには」P.103)

●「読取革命」旧バージョンのパターン辞書は使えますか ?

使用できます。パターン辞書変更 (☞「変更する」P.192)、またはパターン辞書のインポート (☞「インポートする」P.193) で以前のバージョンのパターン辞書ファイル (*.rcg) を指定してください。

●候補文字が表示されません。

英語認識モードで認識すると候補文字は、表示されません。

転送・終了

●どのようなアプリケーションに転送できますか ?

本書の「仕様」 P.267 に記載しています。また、メモ帳などのテキストエディターや、クリップボードを経由して認識結果を他のアプリケーションへ転送することもできます。

●転送したいアプリケーションのアイコンがありません。

「読取革命」起動時に、転送先アプリに登録されていないアプリケーションを追加したい場合は、[オプション] メニューの [転送先アプリの設定] で、ご希望のアプリケーションを追加してください。
(☞「転送先アプリの設定」P.122)

●終了時に保存確認のダイアログボックスを表示しないようにできますか ?

【原因】[認識結果を保存]・[画像を保存] のチェックボックスがオンになっています。
【対策】保存確認のダイアログボックスが不要な場合、以下の設定を行ってください。

① [オプション] メニューの [環境設定] をクリック
② [認識結果・画像の保存] タブをクリック (☞「[認識結果・画像の保存] タブの設定」P.208)
③ [認識結果を保存]・[画像を保存] のチェックボックスをクリックしてオフにする
④ [OK] をクリック

●転送後、文字などの周りにできる枠 (テキストボックス) をつけないようにできますか ?

Microsoft Word(本文) ファイル (*.doc)、一太郎 (本文) ファイル (*.jtd) 形式を選択すると、文字属性の枠 (テキストボックス) なしで転送できます。本文以外の転送形式では、枠は元画像のレイアウトを再現させるためのものですので、枠をはずすことはできません。レイアウトの再現が不要で、文字だけの認識結果が必要な場合は、テキスト形式、または CSV 形式を選択してください。

● Acrobat に転送後、転送先で保存ができません。

転送先のアプリケーションが [Adobe Reader] の場合は、読み込み専用ですので保存できません。転送先での保存が必要な場合は、Adobe Systems 社の [Adobe Acrobat] をインストールし、転送先アプリケーションに指定してください。

●図形領域が正しく転送・保存できません。

【原因】図形領域の対象画像は連続した面や線が濃い単色で描画された線画です。写真など線画以外の画像は正しく転送・保存できない場合があります。

【対策】図形認識の対象に適さない領域は、画像属性に変更して、転送・保存してください。

●認識結果ウィンドウ内で、認識結果が斜体文字として表示されません。

【原因】斜体文字は認識結果ウィンドウ内で反映されません。

【対策】斜体文字は転送、または保存したアプリケーションウィンドウ内で反映されます。
[環境設定]-[出力] タブ -[斜体を反映する] をオンにし、認識結果を転送、または保存してください。
(☞「[出力] タブの設定」P.210)

●翻訳ソフトウェアはインストールされているが、メニューが無効になり使用できない。

インストールされている翻訳ソフトウェアのバージョンが対象外の可能性があります。翻訳ソフトウェアの対応バージョンは、仕様 P.267 を参照してください。

その他

●使用可能なスキャナーは？

TWAIN 対応のスキャナーであれば基本的に問題ありません。

●動作確認済みの TWAIN デバイスを教えてください。

本書 の「動作確認済み機器」P.268 に記載しています。また、「読取革命」のホームページに、動作確認済みの TWAIN デバイスの最新情報を記載しています。(http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/yomikaku/index.html)

●ダイアログボックスが表示され「読取革命」が強制的に終了します。

【原因】「読取革命」または、パソコンの動作環境に問題があります。

【対策】以下の内容を P3 カスタマーサポートセンターへご連絡ください。(☞「アフターサービス」P.273)

- 現象および頻度 (どのようになるかをできるだけ詳しく、また毎回発生するのか)
- Windows の種類とバージョン (2000 Professional / XP Home Edition / XP Professional)
- 現象が発生する直前に行った操作 (できるだけ詳しく)
- 設定 (領域属性・詳細な設定など)
- ページ違反が出るモジュール名とアドレス ([詳細] ボタンで表示)
- 特定の画像で現象が発生するか

●デジタルカメラ監視の常駐をはずしたい。

Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザー名で、以下の設定を行ってください。

①タスクトレイの [読取革命デジタルカメラ監視] アイコンをクリック
② [終了] をクリック
③「スタートアップの登録を解除しますか？」というダイアログボックスの [はい] をクリック

FAQ

画像の入力

■原稿はオリジナル (原本) を使いましょう。
FAX で受け取ったものや、何度もコピーしたものは、にじんで認識しにくい文字になっています。
■原稿が傾かないようにスキャナーにセットし、プレビューで傾きを確認しましょう。
■暗い原稿は、濃度を明るめに設定しましょう。
■解像度は 400dpi に設定することをお勧めします。
■デジタルカメラを使用する場合は、明るい場所で手ぶれや傾きがないように三脚などを使用して撮影しましょう。

画像修正

■傾いている画像は [傾き補正] を行いましょう。
[傾き補正] では、-45.0 ～ +45.0 度の間で補正が行われます。それ以上傾いている画像は [回転] を行ってから、[傾き補正] を実行してください。
■複数ページの画像を一括で [回転]、[傾き補正] する場合は、[一括画像編集] を実行しましょう。
(☞「一括画像編集」P.182)
■汚れている画像は [ノイズ除去] できれいにしましょう。
■必要のない画像は消去しましょう。
必要のない画像を残したままでは、認識処理に余計な時間がかかるうえ、認識結果の編集も煩雑になります。
■ルビのついている文字はルビを消しましょう。
ルビがついていると、ルビも含めて 1 つの文字として認識してしまいます。
■黒地に白の文字で書かれている画像は、[色の反転] を行いましょう。
■網掛けをしている文字は、その部分に対して [ノイズ除去] を行って、網掛けを除去しましょう。
(☞「画像編集」P.155)

表領域の編集

■表領域の罫線が正しく認識されない場合は、[表編集モード] で罫線を追加・削除できます。また、[自動罫線追加] を利用すると、選択した領域を表領域として強制的に認識させることができ、セルの色の違いを認識して自動的に罫線を挿入します。誤認識される表領域は、[作図モード] で、あらかじめ画像に直線や長方形を追加しておくと便利です。
(☞「表を編集する」P.105、「自動罫線追加」P.106、「作図」P.185)

領域枠の設定

■領域枠の属性は正しく設定しましょう。
表領域を文字領域と設定していたり、横書きを縦書きと設定していたりすると、正しく認識できません。
■日本語文書と英文書の領域を分けましょう。
英文書を認識する場合は、[英語認識モード] にした方が速く正確に認識できます。
■罫線を含む文書は、罫線をはずすように領域を設定するか、表領域として設定しましょう。
罫線を含んだまま文字領域として設定すると、罫線を文字の一部として認識してしまう場合があります。

その他

■見出しは、[見出し認識] を行いましょう。そのまま [文字認識] を行うと、見出しの背景に模様が使用されている場合、誤認識の原因となります。
(☞「見出し認識」P.107)
■誤認識の多い文字は [パターン辞書] に登録しましょう。
(☞「パターン辞書」P.190)
■よく出てくる固有名詞や旧漢字の単語は [単語辞書] に登録しましょう。
(☞「単語辞書」P.194)

付録

エラー・メッセージ......258
仕様......266
動作確認済み機器......268
動作環境......268
認識対象文字一覧......269
用語解説......271
アフターサービス......273
索引......275
製品について......277

エラー・メッセージ

エラーメッセージが表示された場合は、下記の表をご覧になり、対策を実行してください。対策を実行しても解決しない場合は、パナソニック P3 カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。(☞「アフターサービス」P.273)

■読取革命 エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策
英数	-100 ～ 100 までの値を入力してください。	シャープネス、明るさ、コントラストのいずれかで、範囲が正しく設定されていません。	範囲を正しく設定してください。
	-45.0 ～ 45.0 までの値を入力してください。	かんたん認識の傾き補正、画像の手動傾き補正、画像の手動見開き補正、自動画像補正の傾き補正、または傾斜ダイアログボックスの傾斜角のいずれかで、角度の範囲が正しく設定されていません。	範囲を正しく設定してください。
	0.01 ～ 4.99 までの値を入力してください。	ガンマ補正ダイアログで、範囲が正しく設定されていません。	範囲を正しく設定してください。
	1 ～ 7136 までの値を入力してください。	リサイズの値が正しく設定されていません。	範囲内で正しい値を入力してください。
	1 ～ 8 までの値を入力してください。	ページ数の値が正しく設定されていません。	範囲内で正しい値を入力してください。
	1 文字入力してください。	2 文字以上の文字を入力しようとしています。	入力する文字数を 1 文字にしてください。
	20 文字以内で入力してください。	入力文字数が 20 文字を超えています。	入力する文字数を 20 文字以内にしてください。
	50 ～ 2400 までの整数を入力してください。	解像度の範囲が正しく設定されていません。	解像度の範囲を正しく設定してください。
	100 文字以内で入力してください。	101 文字以上の文字を入力しようとしています。	入力する文字数を 100 文字以内にしてください。
	1000 ページ以上の入力はできません。	1000 ページ以上の画像を入力しようとしています。	999 ページ以内で画像の入力をしてください。
	OLE の初期化に失敗しました。OLE ライブラリーのバージョンが正しいことを確認してください。	本ソフトウェアの動作に必要な環境が整っていません。	本ソフトウェアを再度インストールしてください。
	TWAIN デバイスが正しく接続されているか、確認してください。	TWAIN でエラーが発生しました。	TWAIN デバイスの接続、電源を確認してください。また、TWAIN デバイス付属の説明書をご覧になり、ドライバーを正しくインストールしてください。
あ行	アクセス権限がないため、アプリケーションを起動できません。	作業フォルダーに対してアクセス権限がないユーザーで起動しようとしています。	アクセス権限を追加するか、Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザーで実行してください。
	印刷範囲が正しくありません。	印刷範囲が正しく設定されていません。	印刷範囲を正しく設定してください。
	上書きしようとしているファイルが読み取り専用のため、保存できません。	読み取り専用のファイルに上書き保存しようとしています。	別のファイル名を指定するか、読み取り専用を解除して保存してください。
	お気に入りがありません。	「ファイル管理革命」にお気に入りが存在しません。	「ファイル管理革命」にお気に入りを作成して、再度実行してください。
か行	解像度が異なるため、結合できません。	指定した 2 つの画像ファイルの解像度が異なります。	同じ解像度の 2 つの画像ファイルを指定してください。
	画像が大きすぎます。	最大サイズ (A4 版 /600dpi) より大きな画像を読み込もうとしています。	最大サイズ (A4 版 /600dpi) 以下の原稿 / 解像度で画像を読み込んでください。
	画像が小さいか、極端に細長いため分割できません。	画像が小さいか、極端に細長いため分割できません。	大きな画像か、縦横均等な画像を使用してください。
	画像が入力されていません。	入力済みの画像ファイルがありません。	画像ファイルを読み込むか、画像の入力方法を変更してください。
	画像ファイルが選択されていません。	入門ウィザードの画像入力で画像ファイルが選択されていません。	画像ファイルを選択するか、画像の入力方法を変更してください。

	メッセージ	原因	対策
か行	画像ファイルが見つかりません。	選択された画像ファイルが存在しません。	画像ファイル名、フォルダー名を確認してください。
	画面の色の設定を High Color(16 ビット) 以上に設定してください。	画面の色の設定が High Color(16 ビット) 未満に設定されています。	コントロールパネルの画面のプロパティから、画面の色の設定を High Color(16 ビット) 以上の色に変更してください。
	関連づけられたアプリケーションがありません。	指定されたアプリケーションが見つかりません。	指定されたアプリケーションが正しくインストールされているか確認してください。またメモリー不足の場合があります。不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。
	罫線を追加できません。 セルの行数または列数の上限を超えました。	表の行数または列数が上限 98 を超えました。	表の行数または列数を 98 以内にしてください。
	現在の起動モードでは実行できません。	Windows XP の「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスにある [許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する] チェックボックスをオンにした状態で、本ソフトウェアを起動しようとしました。	Windows XP の「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスにある [許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する] チェックボックスをオフにして、本ソフトウェアを起動してください。
	この画像は傾きが補正できません。 手動で傾き補正をしてください。	領域が複雑なため、画像の傾きを補正できません。	手動で傾きを補正してください。TWAIN デバイスから画像を入力した場合、画像が傾かないように注意して、画像を再入力してください。
	この形式の画像は読めません。	スキャナーの色設定が 16bit、または 48bit で設定されています。	スキャナーの色設定を 16bit、48bit 以外に設定してください。
	この形式の画像ファイルは読めません。	画像ファイルが壊れているか、または、本ソフトウェアで対応していない形式の画像ファイルを読み込もうとしています。	対応している画像ファイルを読み込んでください。
	この形式のテンプレートは読めません。	本ソフトウェアで対応していない形式のテンプレートを読み込もうとしています。	本ソフトウェアで作成したテンプレートを読み込んでください。
	この文字は登録できません。	ユーザー辞書に登録しようとした文字列に非 JIS コードの文字や記号、または空白が含まれています。	非 JIS コードの文字や記号、空白は入力しないでください。
さ行	作業用ファイルの保存に失敗しました。 不要なファイルを削除してください。	本ソフトウェアをインストールしたドライブの空き容量が不足しています。	本ソフトウェアをインストールしたドライブから不要なファイルを削除してください。
	作業用ファイルの読み込みに失敗しました。	作業用ファイルに異常があります。	本ソフトウェアを再起動してください。
	辞書が見つかりません。	インストールされた専門用語辞書が、何らかの原因で破棄されてしまいました。	本ソフトウェアを再度インストールしてください。
	辞書選択に失敗しました。	選択したファイルが辞書ファイルでないか、または、辞書ファイルに異常があります。	異なるファイルを選択するか、または、選択したファイルを削除してください。
	辞書の読み込みに失敗しました。	辞書ファイルに異常があります。	本ソフトウェアを再度インストールしてください。
	システム単語辞書またはユーザー単語辞書に登録済みです。	登録済みの単語を再び登録しようとしています。	同じ単語は、登録できません。
	指定された名称は既に存在します。 別の名称を指定してください。	指定された名称は既存の認識方法の名称として使用されています。	別の名称を入力してください。
	指定されたファイルは既に存在します。	「ファイル管理革命」に同じ名前のファイルが既に登録されています。	別の名前を指定して、保存してください。
	指定したアプリケーションへの転送に失敗しました。	指定したアプリケーションへの転送中にエラーが発生しました。	指定されたアプリケーションが、正しくインストールされているか確認してください。また、認識結果がない可能性があります。メモリー不足からエラーメッセージが表示される場合があります。不要なアプリケーションを終了してから再度実行してください。

	メッセージ	原因	対策
さ行	指定のアプリケーションは既に登録されています。	指定したアプリケーションは転送先アプリケーションとして既に登録されています。	アプリケーションの保存先パスを確認してください。
	自動表罫線追加に失敗しました。	表が複雑すぎます。	選択範囲を小さくして、再度、実行してください。
	修正後の文字が入力されていません。	「一括修正」ダイアログボックスの [修正後の文字] テキストボックスに文字を入力していません。	[修正後の文字] テキストボックスに修正後の文字を入力して [OK] をクリックしてください。
	常駐タスクの設定保存に失敗しました。	読取革命デジタルカメラ監視の登録に失敗しました。	本ソフトウェアを再度インストールしてください。
	初期化に失敗しました。	実行環境の初期化に失敗しました。	本ソフトウェアを再度インストールしてください。
	処理に必要なディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除して再実行してください。	本ソフトウェアをインストールしたドライブの空き容量が不足しています。	本ソフトウェアをインストールしたドライブから不要なファイルを削除してください。
	既にアプリケーションが起動されています。	本ソフトウェアを多重起動しようとしています。	本ソフトウェアは多重起動できません。
た行	正しい値を入力してください。 入力値の範囲は、2 ～ 400%です。	表示倍率の範囲が正しくありません。	表示倍率の範囲を正しく設定してください。
	単語辞書の保存に失敗しました。	本ソフトウェアをインストールしたドライブの空き容量が不足しています。	本ソフトウェアをインストールしたドライブから不要なファイルを削除してください。
	ディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。	本ソフトウェアをインストールしたドライブの空き容量が不足しています。	本ソフトウェアをインストールしたドライブから不要なファイルを削除してください。
	データを転送できませんでした。	他のアプリケーションがクリップボードを使用中のため、認識結果の転送ができませんでした。	実行中の他のアプリケーションを閉じたあとで再度実行してください。
	転送先アプリケーションに 21 個以上の登録はできません。 下記の登録を削除しました。	転送先アプリケーションに、21 個以上登録しようとしています。	転送先アプリケーションの登録を、20 個以内にしてください。
	転送先アプリケーションを指定してください。	かんたん認識の結果保存で転送先アプリケーションが指定されていません。	転送先アプリケーションを指定するか、結果保存の方法を変更してください。
	転送先アプリケーションを登録してください。	「転送先アプリの設定」ダイアログボックスで、登録アプリケーションが 0 の状態で [OK] を押しました。	転送先アプリケーションを手動で登録してください。
	転送範囲が正しくありません。	転送範囲が正しく設定されていません。	転送範囲を正しく設定してください。
	テンプレートが見つかりません。	指定したテンプレートが見つかりません。	テンプレートの名前、フォルダー名を確認してください。
	テンプレートを指定してください。	かんたん認識のレイアウト認識でテンプレートファイルが指定されていません。	テンプレートファイルを指定するか、レイアウトの方法を変更してください。
な行	認識結果の保存に失敗しました。	指定した形式の保存中にエラーが発生しました。	指定されたアプリケーションが、正しくインストールされているか確認してください。また、メモリー不足からエラーメッセージが表示される場合があります。不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。
	認識した領域がないので文字入力できません。	認識した領域がない場合、文字入力ができません。	認識を行ったあと、文字入力を行ってください。
	認識結果がないため、印刷できません。	認識結果の印刷指定ページに認識結果がないため印刷できません。	認識を行ったあと、認識結果の印刷を行ってください。
	認識できません。	認識対象領域内に文字以外の画像が含まれています。または、手書き文字認識に指定した領域が大きすぎます。	正しく文字領域を設定して認識を行ってください。または、手書き文字認識に指定した領域を小さくして再度認識してください。
	認識方法登録数の上限を超えました。	認識方法を 100 件以上登録しようとしています。	登録可能な認識方法は 100 件までです。

付録

	メッセージ	原因	対策
な行	認識方法ファイルが壊れているか不正です。	指定された認識方法ファイルが壊れているか、正しい認識方法ファイルではありません。	正しい認識方法ファイルを指定して、再度実行してください。
は行	パターン辞書の保存に失敗しました。	本ソフトウェアをインストールしたドライブの空き容量が不足しています。	本ソフトウェアをインストールしたドライブから不要なファイルを削除してください。
	表が複雑なため認識できません。	表の構造が複雑すぎるために認識できません。	表領域を複数の表領域に分割して認識してください。 表領域を分割しても、このメッセージが表示される場合は、文字認識できません。
	ファイル管理革命がインストールされていません。	ファイル管理革命連携には「ファイル管理革命」が必要です。	「ファイル管理革命」をインストール後、再度実行してください。
	ファイルの保存に失敗しました。	保存先のドライブの空き容量が不足しています。	保存先のドライブから不要なファイルを削除してください。
	ファイルの読み込みに失敗しました。	ファイルに異常があります。または、パスワードが設定されている PDF ファイルを読み込んだ可能性があります。	正常なファイルを読み込んでください。 または、PDF ファイルのパスワードを解除し、再度読み込んでください。
	ファイル名には次の文字は使えません。 ￥/ : * ? " < > |	「￥/ : * ? " < > |」は使用できません。	「￥/ : * ? " < > |」は使用しないでください。
	ブラウザーの起動に失敗しました。	WWW ブラウザーが正常にインストールされていません。	WWW ブラウザーをインストールしてください。
	分離線の上限を超えました。 100 個以内にしてください。	文字の分離線の上限 100 個を超えました。	文字の分離線を 100 個以内にしてください。
	ページ数が 1000 ページ以上になるため、実行できません。	実行後のページ数が 1000 ページ以上になります。	実行後のページ数が 999 ページ以内になるようにしてください。
	ヘルプの起動に失敗しました。	表示するヘルプのページが見つかりませんでした。またはヘルプファイルが見つかりませんでした。	[ヘルプ] メニューからヘルプを表示してください。または本ソフトウェアを再度インストールしてください。
	保存するファイル名を指定してください。	かんたん認識の認識結果で保存するファイル名が指定されていません。	保存するファイル名を指定するか、結果保存の方法を変更してください。
	保存範囲が正しくありません。	画像ファイル、または認識結果保存で、保存範囲に存在しないページ番号を設定しています。	保存範囲を正しく設定してください。
ま行	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてください。	処理を実行するための十分なメモリーがありません。	不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。 この操作で解決しない場合は、仮想メモリーを拡大するか、メモリーを増設してください。 (Windows やご使用のパソコンの説明書を参照してください)
	文字が多すぎます。	文字が多すぎるため認識できません。	文字領域を複数の文字領域に分割して認識してください。
	文字サイズが大きすぎます。	パターン辞書に登録できる文字画像サイズの上限を超えています。 または、文字の分離・結合をしようとしている文字画像サイズが大きすぎます。	60 ポイント (縦・横が 21mm、400dpi の場合) 以下の文字パターンを登録してください。 または、選択している範囲の文字数を少なくし、再度実行してください。
や行	ユーザー辞書登録数の上限を超えました。	1 つのユーザー辞書に登録できるパターン数、または単語数の上限を超えました。	ユーザー辞書登録数の上限は、単語辞書が 10,000、パターン辞書は 10,000 です。
	ユーザー定義文字中に認識できない文字があります。	認識できない文字を指定しているため、登録できません。	認識できる文字を指定してください。
ら行	領域が複雑なためレイアウトが認識できません。	領域が複雑なためレイアウトが自動認識できません。	手動で領域を設定してください。
	領域中に文字データがありません。	かんたん認識、または入門ウィザード実行の際に、領域のない画像が含まれています。	領域のない画像を削除し、かんたん認識、または入門ウィザードを実行してください。
	レイアウト編集の起動に失敗しました。	本ソフトウェアの動作に必要な環境が整っていません。	本ソフトウェアを再度インストールしてください。

■レイアウト編集 エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策
か行	起動に失敗しました。	直接「レイアウト編集」が起動されました。または、「かんたん認識」からのファイルの読み込みに失敗しているか、認識エンジンの初期化に失敗しています。	「レイアウト編集」を自動的に起動するには、「かんたん認識」から実行する必要があります。または「読取革命」を再度インストールしてください。
	現在の起動モードでは実行できません。	Windows XP の「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスにある [許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する] チェックボックスをオンにした状態で、「レイアウト編集」を起動しようとしました。	Windows XP の「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスにある [許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する] チェックボックスをオフにして、「レイアウト編集」を起動してください。
	これ以上領域を作成することはできません。	作成できる領域は 1500 個までです。	領域の数が 1500 個以内になるようにレイアウトを編集してください。
さ行	処理に必要なディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除して再実行してください。	「読取革命」をインストールしたドライブの空き容量が不足しています。	「読取革命」をインストールしたドライブから不要なファイルを削除してください。
は行	表が複雑なため認識できません。	表の構造が複雑すぎるために認識できません。	表領域を複数の表領域に分割して認識してください。 表領域を分割しても、このメッセージが表示される場合は、文字認識できません。
	ヘルプの起動に失敗しました。	表示するヘルプのページが見つかりませんでした。またはヘルプファイルが見つかりませんでした。	[ヘルプ] メニューからヘルプを表示してください。または「読取革命」を再度インストールしてください。
	編集中はレイアウト編集を終了できません。	編集中に「レイアウト編集」を終了しようとしました。編集中は、「レイアウト編集」を終了できません。	編集を終了、または、キャンセルし、メイン画面から「レイアウト編集」を終了してください。
ま行	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてください。	処理を実行するために十分なメモリーがありません。	不要なアプリケーションを終了してから、再度実行してください。 この操作で解決しない場合は、仮想メモリーを拡大するか、メモリーを増設してください。 (Windows やご使用のパソコンの説明書を参照してください)
ら行	領域が複雑なためレイアウトが認識できません。	領域が複雑なためレイアウトが自動認識できません。	手動で領域を設定してください。

■アドインの設定と解除 エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策
英数	Acrobat アドインを設定または解除できません。 管理者ユーザー (Administrator) で行ってください。	Acrobat のアドイン設定と解除は、制限ユーザーでは行えません。	管理者ユーザーで再度実行してください。
	Microsoft Excel 2000 を SR-1 以上にバージョンアップさせてください。	Microsoft Excel 2000 がアドインに対応していないバージョンです。	Office のアップデートを実行し、Microsoft Excel 2000 を SR-1 以上にしてください。
	Microsoft Excel の起動に失敗しました。	お使いの環境が不安定な状態になっている可能性があります。	コンピューターを再起動してください。
	Microsoft PowerPoint の起動に失敗しました。	お使いの環境が不安定な状態になっている可能性があります。	コンピューターを再起動してください。
	Microsoft Word の起動に失敗しました。	お使いの環境が不安定な状態になっている可能性があります。	コンピューターを再起動してください。
	OLE の初期化に失敗しました。 OLE ライブラリーのバージョンが正しいことを確認してください。	「アドインの設定と解除」の動作に必要な環境が整っていません。	「読取革命」を再度インストールしてください。

メッセージ		原因	対策
さ行	既にアプリケーションが起動されています。	「アドインの設定と解除」を多重起動しようとしています。	「アドインの設定と解除」は多重起動できません。
や行	読取革命が見つかりません。	「読取革命」が起動できませんでした。	「読取革命」を再度インストールしてください。
	読取革命の起動に失敗しました。	「読取革命」が起動できませんでした。	「読取革命」を再度インストールしてください。
	読取革命の情報が見つかりません。	「読取革命」が起動できませんでした。	「読取革命」を再度インストールしてください。

■クリップボード OCR エラー・メッセージ

メッセージ		原因	対策
さ行	既にアプリケーションが起動されています。	「クリップボード OCR」を多重起動しようとしています。	「クリップボード OCR」は多重起動できません。
は行	ブラウザーの起動に失敗しました。	WWW ブラウザーが正常にインストールされていません。	WWW ブラウザーをインストールしてください。
	ヘルプの起動に失敗しました。	表示するヘルプのページが見つかりませんでした。またはヘルプファイルが見つかりませんでした。	[ヘルプ] メニューからヘルプを表示してください。または「読取革命」を再度インストールしてください。

■フォルダーウォッチャー エラー・メッセージ

メッセージ		原因	対策
あ行	アクセス権限がないため、アプリケーションを起動できません。	作業フォルダーに対してアクセス権限がないユーザーで起動しようとしています。	アクセス権限を追加するか、Administrator またはコンピューターの管理者権限を持つユーザーで実行してください。
か行	監視フォルダーに指定されたパスが見つかりません。	監視フォルダーに指定されたフォルダーが見つかりません。	「環境設定」で存在するフォルダーを指定してください。
	監視フォルダーに指定されたフォルダーへの書き込み権限がありません。 アクセス権の取得については管理者に相談してください。	制限ユーザーで、監視フォルダーに書き込み不可のフォルダーを指定しました。	書き込み可能なフォルダーを指定してください。
	監視フォルダーのパスが長すぎます。	指定可能なパスの長さを超えています。	指定可能な長さの範囲で指定してください。
	監視フォルダーを指定してください。	監視フォルダーが指定されていません。	「環境設定」で監視フォルダーを指定してください。
さ行	既にアプリケーションが起動されています。	「フォルダーウォッチャー」を多重起動しようとしています。	「フォルダーウォッチャー」は多重起動できません。
	既に出力するファイルが存在しています。	「環境設定」-[ファイル名設定]タブで、[ファイル名に数値をつけて別名にする] を選択し、重複するファイルが 999 を超えたため数値が付けられませんでした。	重複するファイルを削除、または移動して再度実行してください。
	実行中にエラーが発生しています。 確認してください。	認識処理中に問題が発生し、処理を中止しました。	状態ウィンドウに表示されるログを確認し、問題を解決してください。
	出力フォルダーに指定されたパスが見つかりません。	出力フォルダーに指定されたフォルダーが存在しません。	「環境設定」で、存在するフォルダーを指定してください。
	出力フォルダーに指定されたフォルダーへの書き込み権限がありません。 アクセス権の取得については管理者に相談してください。	制限ユーザーで、出力フォルダーに書き込み不可のフォルダーを指定しました。	書き込み可能なフォルダーを指定してください。
	出力フォルダーのパスが長すぎます。	指定可能なパスの長さを超えています。	指定可能な長さの範囲で指定してください。
	出力フォルダーを指定してください。	出力フォルダーが指定されていません。	「環境設定」で出力フォルダーを指定してください。

	メッセージ	原因	対策
さ行	前回実行中にエラーが発生しています。 確認してください。	前回起動中に問題が発生したままとなっています。	状態ウィンドウに表示されるログを確認し、問題を解決してください。
た行	ディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。	「読取革命」をインストールしたドライブ、または出力フォルダーに指定されているドライブの空き容量が不足しています。	「読取革命」をインストールしたドライブ、または出力フォルダーに指定されているドライブから不要なファイルを削除してください。
	ディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。 監視を中断しました。	空き容量が不足したため、監視処理を中止しました。	出力フォルダーに指定されているドライブから不要なファイルを削除してください。
は行	フォルダー監視間隔には 1 ～ 60 までの数字を指定してください。	フォルダー監視間隔に 1 ～ 60 以外の数値、または文字列が指定されています。	1 ～ 60 までの半角数字を入力してください。
	フォルダー監視間隔を指定してください。	フォルダー監視間隔が指定されていません。	「環境設定」で、フォルダー監視間隔を指定してください。
	ヘルプの起動に失敗しました。	表示するヘルプのページが見つかりませんでした。またはヘルプファイルが見つかりませんでした。	[ヘルプ] メニューからヘルプを表示してください。または「読取革命」を再度インストールしてください。
ま行	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてください。	処理を実行するための十分なメモリーがありません。	不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。 この操作で解決しない場合は、仮想メモリーを拡大するか、メモリーを増設してください。 (Windows やご使用のパソコンの説明書を参照してください)
	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてください。 監視を中断しました。	メモリー不足のため監視処理を中止しました。	不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。

■簡単！ PDF 変換 エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策
英数	1000 ページ以上の PDF ファイルは作成できません。	1000 ページ以上の画像ファイルを PDF ファイルに変換しようとしています。	999 ページ以内で画像ファイルを変換してください。
	PDF ファイルへの変換に失敗しました。	「読取革命」をインストールしたドライブの空き容量が不足しています。または処理を実行するために十分なメモリーがありません。	「読取革命」をインストールしたドライブから不要なファイルを削除してください。またはメモリー不足からエラーメッセージが表示される場合があります。不要なアプリケーションを終了してから再度実行してください。
か行	現在の起動モードでは実行できません。	Windows XP の「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスにある [許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する] チェックボックスをオンにした状態で、「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスを起動しようとしました。	Windows XP の「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスにある [許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する] チェックボックスをオフにして、「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスを起動してください。
	この形式の画像ファイルは読めません。	画像ファイルが壊れているか、または「簡単！ PDF 変換」で対応していない形式の画像ファイルを読み込もうとしています。	対応している画像ファイルを読み込んでください。
さ行	処理中です。 処理が終了後、再度実行してください。	前回の変換処理中に、再度変換が実行されました。	前回の変換処理が終了してから、再度変換を実行してください。
	既にアプリケーションが起動されています。	「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスを多重起動しようとしています。	「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスは多重起動できません。

メッセージ		原因	対策
た行	ディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。	「読取革命」をインストールしたドライブの空き容量が不足しています。	「読取革命」をインストールしたドライブから不要なファイルを削除してください。
は行	ファイルの保存ができませんでした。 画像ファイルをデスクトップなどの書き込み可能な場所にコピーしてから変換を行ってください。	保存先のフォルダーが書き込み不可になっているか、保存先のドライブの空き容量が不足している可能性があります。	保存先のフォルダーを書き込み可能な状態に設定してください。または保存先のドライブから不要なファイルを削除してください。
	ヘルプの起動に失敗しました。	表示するヘルプのページが見つかりませんでした。またはヘルプファイルが見つかりませんでした。	[ヘルプ] メニューからヘルプを表示してください。または「読取革命」を再度インストールしてください。
ま行	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてください。	処理を実行するための十分なメモリーがありません。	不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。 この操作で解決しない場合は、仮想メモリーを拡大するか、メモリーを増設してください。 (Windows やご使用のパソコンの説明書を参照してください)

仕様

入力画像	解像度	50 ～ 2,400dpi(400dpi を推奨)			
	原稿サイズ	・最大 A4 版 (600dpi の場合)　　・最大 A3 版 (400dpi の場合)			
	ファイル書式	・TIFF 形式 (非圧縮 /G3/G4/JPEG/Exif/PackBits)(*.tif/*.tiff) ・ペイントブラシファイル (*.dcx/*.pcx) ・Kodak 形式 (*.fpx/*.pcd) ・Icon および Cursor ファイル (*.ico/*.cur/*.ani) ・Windows メタファイル (*.wmf/*.emf) ・XpicMap(*.xpm) ・Windows AVI(*.avi) ・Dr. Halo(*.cut) ・Portable Network Graphics(*.png) ・Encapsulated PostScript(*.eps) ・WordPerfect(*.wpg) ・XBit Map(*.xbm) ・Silicon Graphics Image(*.sgi) ・Adobe PDF ファイル (*.pdf) ・Graphic Interchange Format(*.gif) ・DocuWorks バインダー文書 (*.xbd) ※	・BMP 形式 (*.bmp) ・JPEG 形式 (*.jpg/*.jpeg) ・FAX 形式 (*.fxs/*.ica) ・Macintosh Pict(*.pct) ・Windows クリップボード (*.clp) ・Interchange File Format(*.iff) ・Portable Bitmap Utilities(*.pbm) ・Photoshop 3.0(*.psd) ・Truevision TARGA(*.tga) ・Sun Raster(*.ras) ・X window Dump(*.xwd) ・Flic Animation(*.flc) ・IntergraphRLE(*.itg) ・DocuWorks 文書 (*.xdw) ※		
		※ *.xdw/*.xbd ファイルを入力する場合は、別途、富士ゼロックス社の DocuWorks 6 をインストールする必要があります。			
画像編集	・消去 ・傾き補正 ・シャープネス ・長方形化 ・消しゴム	・色の反転 ・回転 ・エッジ強調 ・カラーフィルター	・トリミング ・上下反転 ・減色 ・カラードロップアウト	・ノイズ除去 ・左右反転 ・明るさ ・コピー ・傾斜 ・コントラスト ・一括画像編集	・切り取り ・リサイズ ・ガンマ補正 ・作図
日本語 文字認識	対象書体	マルチフォント (明朝体 , ゴシック体 , 教科書体 , ワープロ体 , 新聞文字　など)			
	対象文字種	約 4,000 字 英字 , 数字 , ひらがな , カタカナ , 記号 , 第 1 水準漢字 , 第 2 水準漢字の一部 (551 字), ギリシャ文字の一部			
	対象文字 サイズ	6 ～ 60 ポイント (400dpi の場合)			
	単語辞書	約 140,000 語 (ユーザー登録も可能)			
	専門用語辞書	ジャンル	単語数	ジャンル	単語数
		ＣＡＤ	1,342 語	軍事	22,500 語
		ＬＡＮ	3,077 語	計測・精密機械	1,996 語
		インターネット	942 語	建築	11,239 語
		エネルギー	3,153 語	原子力	3,717 語
		ガス・ガス設備全般	8,753 語	光学・カメラ・レンズ	2,631 語
		テレコミュニケーション	7,458 語	航空工学・エアロスペース	71,672 語
		パソコン・パソコンソフト	4,430 語	情報工学・一般情報処理	52,227 語
		ビジネス	48,912 語	生物化学バイオ関連	18,214 語
		プラント	20,505 語	繊維・衣服	3,310 語
		マッキントッシュ	1,414 語	船舶	9,239 語
		レーダー	893 語	鉄道	1,320 語
		医学・薬学	199,992 語	電気・電子	22,507 語
		化学・有機	11,046 語	半導体	3,092 語
		科学・一般自然科学	19,370 語	飛行機・ヘリ	4,618 語
		環境・エコロジー	2,814 語	物理	3,140 語
		機械・メカトロ	20,431 語	物流 (ロジステック)	2,275 語
		気象	1,491 語	米軍軍事規格	10,898 語
		金属・鉱物	5,066 語	法律	4,503 語
		金融	2,357 語	輸入車マニュアル	3,323 語
英語 文字認識	対象書体	マルチフォント (Century, Helvetica, Courier　など斜体も可)			
	対象文字種	101 字 英字 , 数字 , 記号			
	対象文字 サイズ	6 ～ 60 ポイント (400dpi の場合)			
レイアウト認識	対象文書	印刷文書			
	抽出する領域	文字領域 (縦書き / 横書きを自動判定), 表領域 , 図形 , 画像			
表認識	対象とする表	縦罫線と横罫線からなる表			
	対象線種	実線類 , 点線類 , 破線類 , 鎖線類			
	行列の最大値	98 行× 98 列 (セル数＝ 9,604 個)			

図形認識	対象とする画像	連続した面、および線が濃い単色で描画された線画
	対象線種	直線 , ベジェ曲線 , 円弧
	出力色	各輪郭線の内部、および各中心線ごとに 1 色
	線幅	線幅の出力は 1 種類 (線幅の再現は行わない)
QR コード	対象とするモデル	モデル 2
	対象とするバージョン	2 ～ 6
	エラー訂正レベル	L/M/Q/H
	モード	数字 / 英数字 /8 ビットバイト / 漢字 / 混在
	漢字	シフト JIS 0x8140 ～ 0x9ffc, 0xe040 ～ 0xebbf
	モジュールサイズ	7 ピクセル以上
	解像度	400dpi を推奨
認識結果出力形式	転送	Microsoft Word (2000 / 2002 / 2003) Microsoft Excel (2000 / 2002 / 2003) Microsoft PowerPoint (2000 / 2002 / 2003) 一太郎 (2004 / 2005 / 2006) Adobe Reader(6 / 7), Adobe Acrobat(6 / 7) Internet Explorer5.0 以上 Netscape Navigator 7.0 以上 (XML は非対応) メモ帳などのテキストエディター その他 (クリップボードに出力)
	クリップボード経由	Windows に対応したアプリケーション
	ファイル書式	TXT , CSV , RTF , JTD (一太郎 2004/2005/2006) , DOC (Word 2000/2002/2003) XLS (Excel 2000/2002/2003) , PPT (PowerPoint 2000/2002/2003) , HTML , XML , PDF
画像出力形式	ファイル書式	・BMP 形式　・TIFF 形式 (非圧縮 /G4/JPEG)　・JPEG 形式 ・PCX 形式　・DCX 形式
アドイン対象アプリケーション	Microsoft Word (2000 / 2002 / 2003) Microsoft Excel (2000 ※ / 2002 / 2003) Microsoft PowerPoint (2000 / 2002 / 2003) Adobe Acrobat(6 / 7) ※ Microsoft Excel 2000 は、SR-1 以上に対応しています。	
翻訳対応アプリケーション	ATLAS V12/V13 ATLAS 翻訳パーソナル 2006 コリャ英和！一発翻訳 2007	
その他	機能	・文字列の検索　・文字列の置換　・文字列の全角→半角変換 ・文字列の半角→全角変換　・作図　・自動罫線追加

動作確認済み機器

スキャナー・デジタルカメラ(当社における動作確認状況)	▶スキャナー (TWAIN 対応機種)	
	松下電器	KV-S2026C / S2046C / S7065CN / S3065C / S1025CN
	キヤノン	CanoScan 9950F / 9950FV / 8400F / 8400FV / 5200F / 9900F / 8200F / 8600F / 4400F / 3000F / LiDE80 / LiDE40 / LiDE60 / LiDE70 / LiDE500F / LiDE500FV / LiDE600F / 8000F / 5000F / 5000 / 5400F / LiDE50 / LiDE30 / LiDE20 / D2400UF, PIXUS MP950 / MP900 / MP800 / MP790 / MP770 / MP730 /MP 500 / MP370 / MP170
	エプソン	CC-600PX , ES-10000G , GT-7300U / 7400U / 8300UF / 8400UF / 9300UF / 9400UF / 9800F / F500* / F520* / F550* / F570* / F600 / F650 / F700 / S600 / X700 / X750 / X800 / X900 , PM-A750 / A850 / A890 /A950 , PX-A650 * メーカーダイアログから、マルチフォトフィーダを利用しての連続読み込みは行えません。
	日本 HP	HP PSC 1315 / 2355 / 2450 , HP Photosmart 2575 / 2710 , HP Officejet 7210 / 7410
	Lexmark	X2250 / X2350 / X5270 / X6170
	ブラザー	MFC-410CN / 5840CN , DCP-1000J
	PFU	ScanSnap S500
	▶デジタルカメラ	
	松下電器	Lumix DMC- LC1 / LC20 / LC33 / LC40 / LC43 / LC70 / F1 / FZ1 / FZ2 / FZ3 / FZ10 / FZ20 / FX1 / FX2 / FX5 / FX7 / FX8 / FX01 / FX07 , D-snap SV-AS10
	キヤノン	IXY Digital 200a / 30a / 300a / 320 / 400 / 450 / 500 / 55 / 70 / 800 IS / L , Power Shot A30 / A40 / A60 / A70 / A80 / A85 / A95 / A100 / A200 / A300 / A400 / G3 / G5 / G6 / Pro1 / S1 IS / S45 / S50 / S60 / S70
	カシオ	QV-R4 / R40 , GV-20 , EXILIM EX-P600 / S2 / S3 / S20 / S770 / Z3 / Z40 / Z500 / Z1000 / Z700
	リコー	Caplio GX / RR1/ RX / 400G wide
	エプソン	PhotoPC Link L-300 / 400
	コダック	DCS Pro 14n , EasyShare LS743 Zoom
	コニカミノルタ	Revio C2 , Digital Revio KD-310Z / 400Z / 500Z / 510Z , DiMAGE A1 / F200 / F300 / G400 / G530 / G600 / Xg / Xt / X20 / X50 / Z1
	富士写真	FinePix A202 / A203 / A210 / A303 / A310 / A330 / A340 / A345 / E510 / E550 / F401 / F402 / F410 / F420 / F440 / F450 / F601 / F610 / F700 / F710 / F810 / M603 / S304 / S602 / S5000 / S7000 / S2Pro / 4500 Plus / 4800Z / Z3 / Z30
	三洋電機	DSC-SX560 / MZ2 / MZ3 / AZ1 / AZ3 / J1 / J2 / J4 / S1 / S3 / S4 , DMX-C1 / C4
	※各機種の対応 OS は製造元へお問い合わせください。 ※上記以外の機種についても、順次確認予定です。 なお、最新の動作確認機種につきましては、「読取革命」のホームページをご覧ください。 (http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/yomikaku/index.html)	

動作環境

コンピューター本体	Pentium III 以上の CPU を搭載したパーソナルコンピューター
基本ソフトウェア	Windows 2000 Professional 日本語版 SP4 以上 Windows XP Home Edition 日本語版 Windows XP Professional 日本語版
最小稼動メモリー	256MB(384MB 以上を推奨)
ハードディスク	370MB 以上の空き容量
ディスプレイ	800 × 600 以上 (1024 × 768 以上を推奨)、High Color(16 ビット) 以上

認識対象文字一覧

▶日本語文字認識

英字　52 字

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

数字　10 字

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

ひらがな　82 字

ぁあぃいぅうぇえぉおかがきぎくぐけげこごさざしじすずせぜそぞただちぢっつづてでとどなにぬねのはばぱひ
びぴふぶぷへべぺほぼぽまみむめもゃやゅゆょよらりるれろわゐゑをん

カタカナ　85 字

ァアィイゥウェエォオカヵガキギクグケヶゲコゴサザシジスズセゼソゾタダチヂッツヅテデトドナニヌネノハバ
パヒビピフブプヘベペホボポマミムメモャヤュユョヨラリルレロワヰヱヲンヴ

ギリシャ文字 (一部)　32 字

Γ Θ Λ Ξ Π Σ Υ Φ Ψ Ω

α β γ δ ε ζ η θ ι λ μ ν ξ π ρ σ τ υ φ χ ψ ω

JIS 記号の一部　151 字

、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』
【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※→←↑↓∈∋
⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰〒♪†‡¶ ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

※下記の文字は、手書き領域の認識対象文字です。(70 字)

、。，．・：；？！゛゜〃仝々／～…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》
「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴￥＄％＃＆＊＠○●□■※〒→←↑↓

JIS 第一水準漢字　2,965 字

亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或粟袷安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉囲夷委威
尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢逸稲茨芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤蔭院陰隠韻吋右
宇烏羽迂雨卯鵜窺丑碓臼渦嘘唄欝蔚鰻姥厩浦瓜閏噂云運雲荏餌叡営嬰影映曳栄永泳洩瑛盈穎頴英衛詠鋭液疫益駅
悦謁越閲榎厭円園堰奄宴延怨掩援沿演炎焔煙燕猿縁艶苑薗遠鉛鴛塩於汚甥凹央奥往応押旺横欧殴王翁襖鴬鴎黄岡
沖荻億屋憶臆桶牡乙俺卸恩温穏音下化仮何伽価佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂禍禾稼箇花苛茄荷華菓蝦課嘩
貨迦過霞蚊俄峨我牙画臥芽蛾賀雅餓駕介会解回塊壊廻快怪悔恢懐戒拐改魁晦械海灰界皆絵芥蟹開階貝凱劾外咳害
崖慨概涯碍蓋街該鎧骸浬馨蛙垣柿蛎鈎劃嚇各廓拡撹格核殻獲確穫覚角赫較郭閣隔革学岳楽額顎掛笠樫橿梶鰍潟割
喝恰括活渇滑葛褐轄且鰹叶椛樺鞄株兜竃蒲釜鎌噛鴨栢茅萱粥刈苅瓦乾侃冠寒刊勘勧巻喚堪姦完官寛干幹患感慣憾
換敢柑桓棺款歓汗漢澗潅環甘監看竿管簡緩缶翰肝艦莞観諌貫還鑑間閑関陥韓館舘丸含岸巌玩癌眼岩翫贋雁頑顔願
企伎危喜器基奇嬉寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄機帰毅気汽畿祈季稀紀徽規記貴起軌輝飢騎鬼亀偽儀妓宜戯技擬欺犠
疑祇義蟻誼議掬菊鞠吉吃喫桔橘詰砧杵黍却客脚虐逆丘久仇休及吸宮弓急救朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧牛去居巨
拒拠挙渠虚許距鋸漁禦魚亨享京供侠僑兇競共凶協匡卿叫喬境峡強彊怯恐恭挟教橋況狂狭矯胸脅興蕎郷鏡響饗驚仰
凝尭暁業局曲極玉桐粁僅勤均巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊芹菌衿襟謹近金吟銀九倶句区狗玖矩苦躯駆駈駒具愚虞喰空偶
寓遇隅串櫛釧屑屈掘窟沓靴轡窪熊隈粂栗繰桑鍬勲君薫訓群軍郡卦袈祁係傾刑兄啓圭珪型契形径恵慶慧憩掲携敬景
桂渓畦稽系経継繋罫茎荊蛍計詣警軽頚鶏芸迎鯨劇戟撃激隙桁傑欠決潔穴結血訣月件倹倦健兼券剣喧圏堅嫌建憲懸
拳捲検権牽犬献研硯絹県肩見謙賢軒遣鍵険顕験鹸元原厳幻弦減源玄現絃舷言諺限乎個古呼固姑孤己庫弧戸故枯湖
狐糊袴股胡菰虎誇跨鈷雇顧鼓五互伍午呉吾娯後御悟梧檎瑚碁語誤護醐乞鯉交佼侯候倖光公功効勾厚口向后喉坑垢
好孔孝宏工巧巷幸広庚康弘恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩港溝甲皇硬稿糠紅紘絞綱耕考肯肱腔膏航荒行衡講
貢購郊酵鉱砿鋼閤降項香高鴻剛劫号合壕拷濠豪轟麹克刻告国穀酷鵠黒獄漉腰甑忽惚骨狛込此頃今困坤墾婚恨懇昏
昆根梱混痕紺艮魂些佐叉唆嵯左差査沙瑳砂詐鎖裟坐座挫債催再最哉塞妻宰彩才採栽歳済災采犀砕砦祭斎細菜裁載
際剤在材罪財冴坂阪堺榊肴咲崎埼碕鷺作削咋搾昨朔柵窄策索錯桜鮭笹匙冊刷察拶撮擦札殺薩雑皐鯖捌錆鮫皿晒三
傘参山惨撒散桟燦珊産算纂蚕讃賛酸餐斬暫残仕仔伺使刺司史嗣四士始姉姿子屍市師志思指支孜斯施旨枝止死氏獅
祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌諮資賜雌飼歯事似侍児字寺慈持時次滋治爾璽痔磁示而耳自蒔辞汐鹿式識鴫竺軸宍雫
七叱執失嫉室悉湿漆疾質実蔀篠偲柴芝屡蕊縞舎写射捨赦斜煮社紗者謝車遮蛇邪借勺尺杓灼爵酌釈錫若寂弱惹主取
守手朱殊狩珠種腫趣酒首儒受呪寿授樹綬需囚収周宗就州修愁拾洲秀秋終繍習臭舟蒐衆襲讐蹴輯週酋酬集醜什住充
十従戎柔汁渋獣縦重銃叔夙宿淑祝縮粛塾熟出術述俊峻春瞬竣舜駿准循旬楯殉淳準潤盾純巡遵醇順処初所暑曙渚庶
緒署書薯藷諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝匠升召哨商唱嘗奨妾娼宵将小少尚庄床廠彰承抄招掌捷昇昌昭晶松梢樟樵沼
消渉湘焼焦照症省硝礁祥称章笑粧紹肖菖蒋蕉衝裳訟証詔詳象賞醤鉦鍾鐘障鞘上丈丞乗冗剰城場壌嬢常情擾条杖浄
状畳穣蒸譲醸錠嘱埴飾拭植殖燭織職色触食蝕辱尻伸信侵唇娠寝審心慎振新晋森榛浸深申疹真神秦紳臣芯薪親診身

辛進針震人仁刃塵壬尋甚尽腎訊迅陣靭笥諏須酢図厨逗吹垂帥推水炊睡粋翠衰遂酔錐錘随瑞髄崇嵩数枢趨雛据杉椙
菅頗雀裾澄摺寸世瀬畝是凄制勢姓征性成政整星晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請逝醒青静斉税脆隻席惜戚斥昔
析石積籍績脊責赤跡蹟碩切拙接摂折設窃節説雪絶舌蝉仙先千占宣専尖川戦扇撰栓栴泉浅洗染潜煎煽旋穿箭線繊羨
腺舛船薦詮賎践選遷銭銑閃鮮前善漸然全禅繕膳糎噌塑岨措曾曽楚狙疏疎礎祖租粗素組蘇訴阻遡鼠僧創双叢倉喪壮
奏爽宋層匝惣想捜掃挿掻操早曹巣槍槽漕燥争痩相窓糟総綜聡草荘葬蒼藻装走送遭鎗霜騒像増憎臓蔵贈造促側則即
息捉束測足速俗属賊族続卒袖其揃存孫尊損村遜他多太汰詑唾堕妥惰打柁舵楕陀駄騨体堆対耐岱帯待怠態戴替泰滞
胎腿苔袋貸退逮隊黛鯛代台大第醍題鷹滝瀧卓啄宅托択拓沢濯琢託鐸濁諾茸凧蛸只叩但達辰奪脱巽竪辿棚谷狸鱈樽
誰丹単嘆坦担探旦歎淡湛炭短端箪綻耽胆蛋誕鍛団壇弾断暖檀段男談値知地弛恥智池痴稚置致蜘遅馳築畜竹筑蓄逐
秩窒茶嫡着中仲宙忠抽昼柱注虫衷註酎鋳駐樗瀦猪苧著貯丁兆凋喋寵帖帳庁弔張彫徴懲挑暢朝潮牒町眺聴脹腸蝶調
諜超跳銚長頂鳥勅捗直朕沈珍賃鎮陳津墜椎槌追鎚痛通塚栂掴槻佃漬柘辻蔦綴鍔椿潰坪壷嬬紬爪吊釣鶴亭低停偵剃
貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵挺提梯汀碇禎程締艇訂諦蹄逓邸鄭釘鼎泥摘擢敵滴的笛適鏑溺哲徹撤轍迭鉄典填天展店添
纏甜貼転顛点伝殿澱田電兎吐堵塗妬屠徒斗杜渡登菟賭途都鍍砥砺努度土奴怒倒党冬凍刀唐塔塘套宕島嶋悼投搭東
桃梼棟盗淘湯涛灯燈当痘祷等答筒糖統到董蕩藤討謄豆踏逃透鐙陶頭騰闘働動同堂導憧撞洞瞳童胴萄道銅峠鴇匿得
徳涜特督禿篤毒独読栃橡凸突椴届鳶苫寅酉瀞噸屯惇敦沌豚遁頓呑曇鈍奈那内乍凪薙謎灘捺鍋楢馴縄畷南楠軟難汝
二尼弐迩匂賑肉虹廿日乳入如尿韮任妊忍認濡禰祢寧葱猫熱年念捻撚燃粘乃廼之埜嚢悩濃納能脳膿農覗蚤巴把播覇
杷波派琶破婆罵芭馬俳廃拝排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒梅楳煤狽買売賠陪這蝿秤矧萩伯剥博拍柏泊白箔粕舶薄迫曝
漠爆縛莫駁麦函箱硲箸肇筈櫨幡肌畑畠八鉢溌発醗髪伐罰抜筏閥鳩噺塙蛤隼伴判半反叛帆搬斑板氾汎版犯班畔繁般
藩販範釆煩頒飯挽晩番盤磐蕃蛮匪卑否妃庇彼悲扉批披斐比泌疲皮碑秘緋罷肥被誹費避非飛樋簸備尾微枇毘琵眉美
鼻柊稗匹疋髭彦膝菱肘弼必畢筆逼桧姫媛紐百謬俵彪標氷漂瓢票表評豹廟描病秒苗錨鋲蒜蛭鰭品彬斌浜瀕貧賓頻敏
瓶不付埠夫婦富冨布府怖扶敷斧普浮父符腐膚芙譜負賦赴阜附侮撫武舞葡蕪部封楓風葺蕗伏副復幅服福腹複覆淵弗
払沸仏物鮒分吻噴墳憤扮焚奮粉糞紛雰文聞丙併兵塀幣平弊柄並蔽閉陛米頁僻壁癖碧別瞥蔑箆偏変片篇編辺返遍便
勉娩弁鞭保舗鋪圃捕歩甫補輔穂募墓慕戊暮母簿菩倣俸包呆報奉宝峰峯崩庖抱捧放方朋法泡烹砲縫胞芳萌蓬蜂褒訪
豊邦鋒飽鳳鵬乏亡傍剖坊妨帽忘忙房暴望某棒冒紡肪膨謀貌貿鉾防吠頬北僕卜墨撲朴牧睦穆釦勃没殆堀幌奔本翻凡
盆摩磨魔麻埋妹昧枚毎哩槙幕膜枕鮪柾鱒桝亦俣又抹末沫迄侭繭麿万慢満漫蔓味未魅巳箕岬密蜜湊蓑稔脈妙粍民眠
務夢無牟矛霧鵡椋婿娘冥名命明盟迷銘鳴姪牝滅免棉綿緬面麺摸模茂妄孟毛猛盲網耗蒙儲木黙目杢勿餅尤戻籾貰問
悶紋門匁也冶夜爺耶野弥矢厄役約薬訳躍靖柳薮鑓愉愈油癒諭輸唯佑優勇友宥幽悠憂揖有柚湧涌猶猷由祐裕誘遊邑
郵雄融夕予余与誉輿預傭幼妖容庸揚揺擁曜楊様洋溶熔用窯羊耀葉蓉要謡踊遥陽養慾抑欲沃浴翌翼淀羅螺裸来莱頼
雷洛絡落酪乱卵嵐欄濫藍蘭覧利吏履李梨理璃痢裏裡里離陸律率立葎掠略劉流溜琉留硫粒隆竜龍侶慮旅虜了亮僚両
凌寮料梁涼猟療瞭稜糧良諒遼量陵領力緑倫厘林淋燐琳臨輪隣鱗麟瑠塁涙累類令伶例冷励嶺怜玲礼苓鈴隷零霊麗齢
暦歴列劣烈裂廉恋憐漣煉簾練聯蓮連錬呂魯櫓炉賂路露労婁廊弄朗楼榔浪漏牢狼篭老聾蝋郎六麓禄肋録論倭和話歪
賄脇惑枠鷲亙亘鰐詫藁蕨椀湾碗腕

JIS 第二水準漢字　JIS 第 2 水準　551 字

弌丶乖舒于仄佛佗佇侈佻佩侑俎俘俑俐俤倚倅伜俯倆會偕傀傅傚僊僥僭價儡兌兪冑冤冦冪冲冰冽凛几處凩凭凰夘刎
刮剄剌剋剌剔剪剽劒劈辧勁勦匈匍匯厖厠厦參簒雙叟曼吽吼吝呵咎咳呻咀咄咆咸咬咤哭哺啜啖唸喀喊喘啼喩喇嗚嗅
嗜嘔嘴嘲嘸噫噪囁囃囮囹圈國圓團圖嗇址坏垠埃埒堡毀塹墟壹壽夥夭奎奘奢奸妁佞姜姚娑娃婉娶婢媚嫂嬌孕孚孵學
宦宸寇寞寥寫對尨尹屁屎屏屹岑岫峙崔嵌嶮嶽嶼巍巫已帚帑帛帷幄幔幟幇廂廣廬廰廸彝弑弩彗彙彭彷彿徊徘徨忖悳
忿恚恪恂恍恣恟恬恙悍悃悄悛悒悋悖悴悽惘愕惶惺愧慄慟憬憚憑罹懺戈戌截戮扁扨抒拗拏拉拵挾捉揆揉搦摯撥攬擲
攘敞敲斂斟旁旛旱昶昴晏晨晟晰暉曖眩曰朧杞枅柩柝檜栞條梵棹棡楷楸楡槐槃榜榴槨樅橄檻櫃歿殤殯殲殳殼毬毫毯
汪沁泄泗洽洸洙洵洒浚浹浙濤涅淵涵涸淆淮渾渫游滉滓溥漑滸漿漱漓潭澪瀋濾瀾炒炳烋焉焙煥煕煌熹熾燎燧爛爰珈
珀琥琲瑕瑶璋璧瓊甕甦疆疵疸疼痍痙痰瘍瘤癈癩皓皺盧眩眸睨睹瞑瞰瞼矣礦礪磋礒祀祠祗祚祓禧秉笏笙笞筥筧筰箏
篁篆簑籐籤粳紆絆絲絨絣綺總綸緞緻繩纒罠羞翔耘聊聘聚聳聶肆肛胚胱脛脩脯腱膀膠臍舅芒茉茲茫荼莉萍莽萬蔡蓼
蕭薔藪薇蘆虔蛉蛛蛯蜀蜃蜷蜻蝸螢雖袁袱裔裴裹訃訥誂誅誦諧諠謐謳謨譚豺貪貳賤贅赳趙趾蹊踪躇躊躬躾軋輛輦轜
辣迢迪逡逍逞隨邁邨邱鄙醸鉉銕鋏鋮鎬鎔鏃鏝閔閭雍霖霾靱靫竟頌頷颯餉饉饅饒饌馥馮駝駱騏驀鬘魏鮑鮨鴉鴬鸚鸞
黎

▶英語文字認識 --

英字　52 字

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

数字　10 字

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

記号　39 字

! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [＼] ^ _ { | } ~ £ ¥ § ≪ ¬ ° ± ≫

用語解説

ADF

Auto Document Feeder の略。原稿を自動的に連続して読み込むことができる装置。

ANI

アニメーションのカーソルファイルに与えられる拡張子。

AVI

Audio Video Interleaved Format の略。RIFF 仕様を採用したサウンドや動画のための Windows マルチメディアファイル形式。

BMP

画像ファイルの書式の 1 つ (ビットマップ)。画像ファイルを扱うアプリケーションの多くが対応している。

CLP

Windows のクリップボードの内容を保存したファイル形式。

CSV

表計算ソフトで使用するファイル書式。Microsoft Excel や Lotus1-2-3 などで使用できる。

CUT

Dr.Halo ファイル形式の 1 つで、デバイス非依存型の画像ファイル。

CUR

カーソルファイルに与えられる拡張子。

DCF

Design rule for Camera File system の略。日本電子工業振興協会の規格。デジタルカメラ、および関連機器における画像ファイル、画像に関連するファイルの記録、再生など取り扱いに関する仕様。

DCX

米 Zsoft 社が開発した複数ページ対応のビットマップファイルフォーマット。PC 用のビットマップアプリケーションの多くが対応している。

DOC

ワープロソフトで使用するファイル書式。Microsoft Word で使用できる。

EMF

EMF(Enhanced Meta File) は図や絵などクリップアートを保存する画像ファイル形式。

EPS

EPS(Encapsulated PostScript file) は、解像度の低いディスプレイでの表示用データを内部に持った PostScript ファイル形式。

FXS

画像ファイル形式の 1 つ。Delrina 社によって開発された FAX 形式の画像フォーマット。

FLC

Autodesk 社のソフトウェアで使用される動画ファイル形式。

FPX

Hewlett-Packard 社、Eastman Kodak 社、Live Picture 社、Microsoft 社 が共同で開発した Flash Pix という画像ファイル形式の 1 つ。複数の解像度のデータを 1 つのファイルに持ち、出力に応じて適切な解像度で表示できる。

GIF

Graphics Interchange Format の略。CompuServe 社で開発された画像形式。256 色までの画像を保存できる。

HTML

Hyper Text Markup Language の略。文章の中に画像や音声、動画にリンクを持たせ、クリックすることで関連項目を表示できる。インターネットのブラウザーで閲覧できる。

ICA

IBM によって開発されたファイル形式。「読取革命」では MO:DCA 形式 CCITT Group3 または Group4 画像の IOCA ファイルと MO:DCA なしの形式に対応している。

ICO

アイコンファイルに与えられる拡張子。

IFF

コモドール社製のアミガシステムとファイルのやりとりをする場合に使用される形式。グラフィックス以外に音声の保存も可能。

ITG

Intergraph 社の ITG で単色のビットマップ形式で保存される。

JPEG

Joint Photographic Coding Experts Group の略。
カラー静止画像の圧縮方式の国際規格。
フルカラー画像のファイルサイズを小さく抑えたい場合によく用いられる。
「読取革命」では、JTIF/JFIF/ プログレッシブ JPEG/Exif 形式の読み込みが可能。

JTD

ワープロソフトで使用するファイル書式。一太郎で使用できる。

PBM

Portable Bitmap Utilities で定義されている 3 つのファイル形式の 1 つ。pbm はモノクロファイル形式となる。

PCD

Eastman Kodak 社と Philips 社が共同で開発した PhotoCD という CD-ROM の規格。写真画像をデジタルデータとして収録できる。

PCT

Macintosh で一般的な画像ファイル形式。QuickDraw で使用される。

PCX

米 Zsoft 社が開発したビットマップファイルフォーマット。海外で幅広く使用されている画像ファイルの書式の 1 つ。PC 用のビットマップアプリケーションの多くが対応している。

PDF

Portable Document Format の略。Adobe Systems 社が開発し、特定のプラットフォームに依存せずに表示できる。

PNG

Portable Network Graphics の略。GIF 形式よりも多くの色数が扱え、圧縮してもデータの損失がない。現在 Web 上で使われる GIF や JPEG に代わるものといわれている。

PPT

プレゼンテーションソフトで使用するファイル書式。Microsoft PowerPoint で使用できる。

Proxy

「代理」の意。
企業などの LAN 環境からインターネットにアクセスする場合、直接アクセスせずに、代理としてインターネットの接続をプロキシサーバーが行う。

PSD

Adobe Systems 社の Adobe Photoshop で作成されたファイル形式。

QR コード

2 次元コードの一種で、株式会社デンソーウェーブが開発。縦、横に情報を持つことで、記録できる情報量を増加させたコード。

RAS

Sun Raster 形式で、UNIX ではごく一般的に使用されるファイル形式。

RGB

光の 3 原色をコンピューターで表現する表記法の 1 つ。R(赤)、G(緑)、B(青) の組み合わせですべての色が表現できる。

RTF

Rich Text Format の略。文字サイズなどの文字属性を含む文書情報を記述したファイル書式。Microsoft Word、ワープロソフトなどで使用できる。

SGI

Silicon Graphics 社のワークステーションで作成された RGB 形式のファイル。

TGA

Truevision 社のグラフィックボードで使用されていた画像形式。TGA は Targa のビットマップ形式ファイル。

TIFF

Tag Image File Format の略。この書式ではファイルを圧縮して保存できる。複数の圧縮形式に対応しているが、「読取革命」では G3、G4 圧縮、非圧縮、JPEG、Exif、PackBits の形式の読み込み、非圧縮、JPEG 圧縮および G4 圧縮の保存に対応している。

TWAIN

Tool Without An Interesting Name の略。このシステムをパソコンに組み込むことで、TWAIN デバイス (イメージスキャナー)、デジタルカメラなどを使用できる。

TXT

文字データを扱うための基本的なファイル書式 (テキスト)。ワープロソフトなど、文字を扱うアプリケーションで使用される。

WMF

WMF(Windows Meta File) は図や絵などクリップアートを保存する画像ファイル形式。

WPG

コーレル社の Draw 系ソフトやワードプロセッサーで使用されるファイル形式。

XBD

富士ゼロックス社の DocuWorks バインダー文書。
「読取革命」は DocuWorks 6 に対応している。

XBM

MIT で開発された X Windows システムで使用されるカーソルとアイコン用のファイル形式。

XDW

富士ゼロックス社の DocuWorks 文書。
「読取革命」は DocuWorks 6 に対応している。

XLS

表計算ソフトで使用するファイル書式。Microsoft Excel で使用できる。

XML

eXtensible Markup Language の略。文字、画像、動画、音を統合管理し、統一した操作性で処理するための形式。

XPM

X Windows システムで使用される X PixMap 形式。メモ帳などで表示できる。

XWD

X Windows システムで画面上のウィンドウの内容を保存するファイル形式。

チェックボックス

オプション項目の選択や非選択を決めるボックス。

ラジオボタン

グループの中から 1 つの項目を選択するボタン。

アフターサービス

本製品に対するご意見、ご質問は、下記にお問い合わせください。
お問い合わせに対するご返答に多少時間を頂戴する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

名称	P3 カスタマーサポートセンター 電話・FAX によるお問い合わせ窓口です。
TEL	03-3436-1888
FAX	03-3436-1889
受付時間	月曜日〜金曜日 (土日・祝日を除きます) 10:00 〜 12:00、12:45 〜 17:00

お願い

お問い合わせの際は、ご質問内容と併せて、別紙の「サポート依頼書」の項目を弊社窓口までお知らせ願います。

お問い合わせ窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を対応や確認などのために使用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、サポート業務を委託する場合やその他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に開示・提供しません。

「P3 カスタマーサポートセンター」の Web サイトにおける個人情報の取り扱いについてはこちらをご参照ください。

http://panasonic.jp/info/privacy.html

このページは空白ページです。

索引

【英数字】

2 文字 103
3 文字以上 104
QR コード認識 226
ScanSnap の設定 38
TWAIN 専用ダイアログ 36
TWAIN デバイス設定 35
TWAIN デバイス入力 51

【あ行】

明るさ 176
アドインの解除 216
アドインの設定と解除 216
アンインストール 29
一括画像編集 182
一括修正 79
印刷 88, 89
インストール 26
英語認識モード 101
エッジ強調 175

【か行】

解像度の設定 119
回転 165
拡大 61
画像ウィンドウ 20
画像ファイルを開く 52
画像ファイルを保存 85
画像を印刷 88
傾き補正 161
画面キャプチャー入力 55
画面構成 14
カラードロップアウト 179
カラーフィルター 173
カラーリアル表示 72, 73
環境設定 202, 233
監視しない 232
監視する 232
簡単！ PDF for Office 18, 240
簡単！ PDF 変換 19, 246
かんたんナビ 42
かんたん認識 132
ガンマ補正 178
起動 41
切り取り 74, 75
クリップボード OCR 222
クリップボード画像の入力 54
傾斜 168
消しゴムモード 63, 64, 159
現在のページ 67, 69
減色 172
候補文字修正 80
コピー 74, 75
コントラスト 177

【さ行】

作業状態を開く 111
作業状態を保存 110
削除 76, 77, 97
作図 185
作図モード 63, 64
左右反転 167
自動アップデート 32
自動傾き補正 161
自動罫線追加 106
次ページ 56
シャープネス 174
縮小 61
手動傾き補正 162
消去 157
上下反転 166
ステータスバー 22, 237
設定 94
全角→半角変換 78
選択したページ 66, 69
選択した領域 68, 69
専門用語辞書 199
操作モード 23, 63
属性変更 98

【た行】

縦に分割して表示 126
単語辞書 194
長方形化 169
ツールバー 21, 127, 128, 237
次へ 59
テキスト表示 72
デジカメ入力 49
転送 87
転送先アプリツールバー 21
転送先アプリの設定 122
テンプレートを開く 113
テンプレートを保存 112
統合 97
閉じる 90
ドライバー 35
ドラッグモード 63, 65
トリミング 158

【な行】

日本語認識モード 101
入門ウィザード 45
認識結果ウィンドウ 20
認識結果の読み上げ 108
認識結果を印刷 89
認識結果を転送 87
認識結果を保存 86
ノイズ除去 160

【は行】

ハイパーチェッカー 72, 73
パターン辞書...190
貼り付け 74, 75
半角→全角変換 78
表示倍率...61
表編集モード...63, 64, 105
ファイル管理革命へ送る..129
フォルダーウォッチャー 18, 230
フォント設定...120
ページ一覧ウィンドウ 20
ページ移動 59
ページ呼出 57
ページを結合する...116
ページを分割する...114
保存 85
翻訳 109

【ま行】

前へ 59
前ページ...56
見出し認識 107
見開き補正 163
メーカーダイアログ...35
文字認識..69
文字の結合 102
文字の分離 103
文字列の検索..82
文字列の置換..83

【や行】

横に分割して表示...126
読取革命の終了 91
読取順序変更...121

【ら行】

リサイズ..170
領域設定モード 63, 64, 156
領域表示..72, 73
領域枠 94
レイアウト認識 66

製品名	日本語・英語活字カラー OCR ソフト 「読取革命 Ver.11」ダウンロード版
品番	PTS-RDN0120
取扱説明書	「読取革命 Ver.11」ダウンロード版　取扱説明書 2006 年 12 月　　第 1 版

松下電器産業株式会社
パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社
〒 105-0014
東京都港区芝 1 丁目 7 番 17 号　住友不動産芝ビル 3 号館